



KONICA MINOLTA

CD 87 DP / CD 67 DP CD 57 DP / CD 54 DP

取扱説明書

はじめに

このたびは、CD87DP/CD67DP/CD57DP/CD54DP をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前には、本書を必ずお読みください。

安全かつ効率的にご利用いただくために、本書をよくお読みいただき、本機の正しい使い方を十分ご理解の上、末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

また、本書はいつでもご使用いただけますよう、大切に保管してください。

商標について

・Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

印刷・複製に関する注意事項

印刷機で、何を印刷してもよいとは限りません。特に法律によって、単にその印刷物を所有するだけでも罰せられるものもありますのでご注意ください。

1. 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券地方証券は印刷することは禁止されています。
たとえ、見本の印が押してあっても印刷することはできません。
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類の印刷も禁止されています。
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は印刷することは禁止されています。
- 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類の印刷もできません。

関係法律

- 通貨及証券模造取締法
- 外国に於て流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

2. 注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数を印刷する以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手に印刷しない方がよいと考えられています。

3. 著作権の目的となっているもの

- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作権は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するために印刷する以外は禁じられています。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

JIS C61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しています。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。



色覚の個人差を問わずできるだけ多くの方に見やすいようカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO 法人 CUDO によって認定された製品です。

おことわり

改良のため、仕様等記載事項が予告なしに変更になることがあります。

不明な事項は販売会社にお問合せ願います。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 安全上の注意事項

◇安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

<絵表示の例>



○記号は、禁止行為であることを表しています。

図の中や周囲に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を禁止したり指示する内容を表しています。

図の中に、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

●使用上の注意

⚠ 警告



●万一、異物（金属片、水、液体）が機械内部に入った場合、そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

→まず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして、販売会社にご連絡ください。



●万一、発熱していたり、煙が出ている場合、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。

→まず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして、販売会社にご連絡ください。



●この機器の開口部や隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

→火災、感電のおそれがあります。



●この機器の上に花瓶、植木鉢、コップや水の入った容器または金属類を置かないでください。

→こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

警告



- 用紙によっては機器の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を十分するように心がけてください。

●接地接続について

警告



- 必ず接地接続をしてください。
→接地接続されないで万一、漏電した場合は、火災、感電のおそれがあります。

接地対象

- コンセントの接地端子
- 銅片など 650 mm以上地中に埋めたもの
- D 種接地工事をしている接地端子

次のようなところには、絶対に接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用接地線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- 水道管や蛇口（配線の途中がプラスチックになっている場合は、接地の役目を果たしません。）

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に接続してください。
又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から取り外してから外してください。

●電源及び電源コードについての注意

警告



- 製品に使用する電源コードは、必ず製品に同梱している電源コードをご使用ください。
電源コードは対象製品専用です。他の機器には転用しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
又、タコ足配線をしないでください。
→火災、感電のおそれがあります。



- 電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。
そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。
→火災、感電のおそれがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
→感電のおそれがあります。

警告



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。

→重い物を乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

→コードが傷つき火災、感電のおそれがあります。

●分解や改造の禁止

警告



●この機器を改造しないでください。

→火災、感電のおそれがあります。



●この機器のカバーは外さないでください。

→内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

●使用時の注意

警告



●機器にもたれたり、強い力を加えたり、衝撃を与えないでください。

→動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●使用場所の注意

警告



●湿気やホコリの多い場所に置かないでください。

→火災、感電のおそれがあります。



●機器を設置したらキャスター止めをしてください。

→動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

注意



- この機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
→コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。



- この機器を移動させる場合は、開閉 / 挿抜できるユニット（ドラム、スキャナー、原稿押え板など）は必ず閉じた状態にしてください。
→手や指の挟みこみや、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
→落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- 直射日光の当たりやすい場所やストーブなどの熱器具の側を避けてください。
高温、低温、多湿の場所は避けてください。
→用紙が吸湿して、紙づまりやシワの原因になります。



- 長期間製品を使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
→絶縁劣化により、漏電のおそれがあります。

●清掃時の注意

注意



- 清掃作業をするときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
→清掃中誤って製品を運転させてしまい、けがをするおそれがあります。



- 清掃のときなど機械内部および周辺で、可燃スプレーや溶剤を使用しないでください。
→機械内部にガスがたまり引火し、火災、爆発のおそれがあります。

●セキュリティー上の注意

注意



- コンピューターとUSB ケーブルや、LAN ケーブル、無線 LAN にて接続する場合、コンピューターに対しウイルス対策ソフトを導入し、ご使用ください。



- USB メモリを利用した印刷をされる場合は接続前にコンピューターでウイルススキャンを実施してください。

⚠ 注意



- LAN や、無線 LAN を利用しご使用になられる場合、適切な設定のファイヤーウォールの内側でご使用ください。

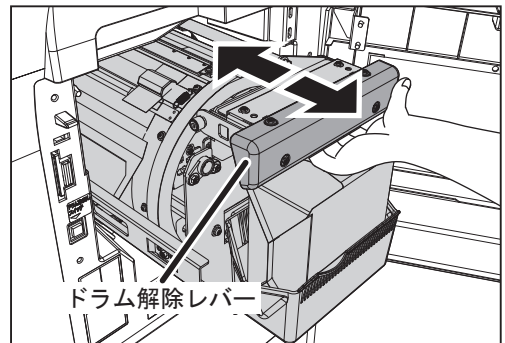


- 制作した版が再利用されるおそれがありますので、ご注意ください。
再利用防止策として、再製版機能を OFF（標準）にする。電源を落とす。制作された版を適切に廃棄する。セキュリティ排版ボックス（オプション）を装着する。がございましたのでご活用ください。

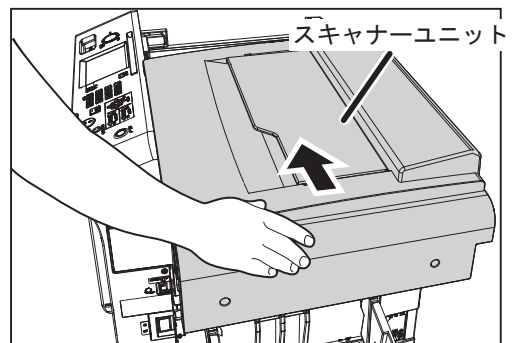
●開閉・取出し時の注意

⚠ 注意

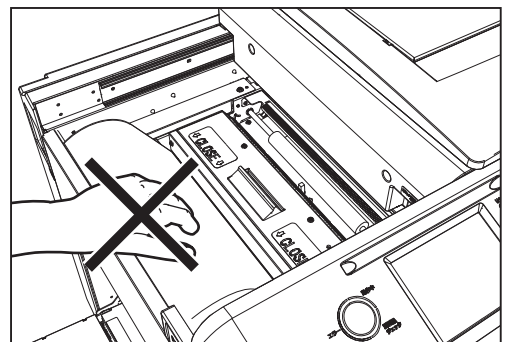
- 「ドラム」を挿抜するときは、必ず「ドラム解除レバー」を持ってください。
→ 「ドラム解除レバー」を持たずに挿抜すると、手や指を挟むおそれがあります。



- 「スキャナーユニット」を閉めるときは、図の位置を持ってスライドしてください。



- 「スキャナーユニット」をスライドするときは、手や指を挟まないように注意してください。



●インクに関しての注意

注意



●インクが目や口に入った場合は、速やかに水で洗い流し、医師に相談してください。



●インクが皮膚に付着した場合は、速やかに水や石けんで洗い流してください。



●インクは、子供の手の届かないところに保管してください。

インクについて

- インクパックの取り扱いは、消耗品の交換の項を参照ください。
インクパックの交換（→ P. 206）
- インクは、(財)日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク基準の、インクに関するすべての認定基準に適合しています。
- インクは、SDS（化学物質等安全データシート）を備えています。
- インクには、印刷インキ工業連合会「印刷インキに関する自主規制（ネガティブリスト規制）」で規制される物質を処方構成成分として添加していません。
- インクに使用しているポリマーは、ハロゲン系元素を含むポリマーを処方構成成分として添加していません。
- インク中の石油系溶剤から JIS K2536 で検出される芳香族成分の割合は、インクの容量比 1.0% 未満です。
- インク中の石油系溶剤の割合は 30% 以下であり、かつ VOC 成分の割合が 5% 未満です。

インクの保管について

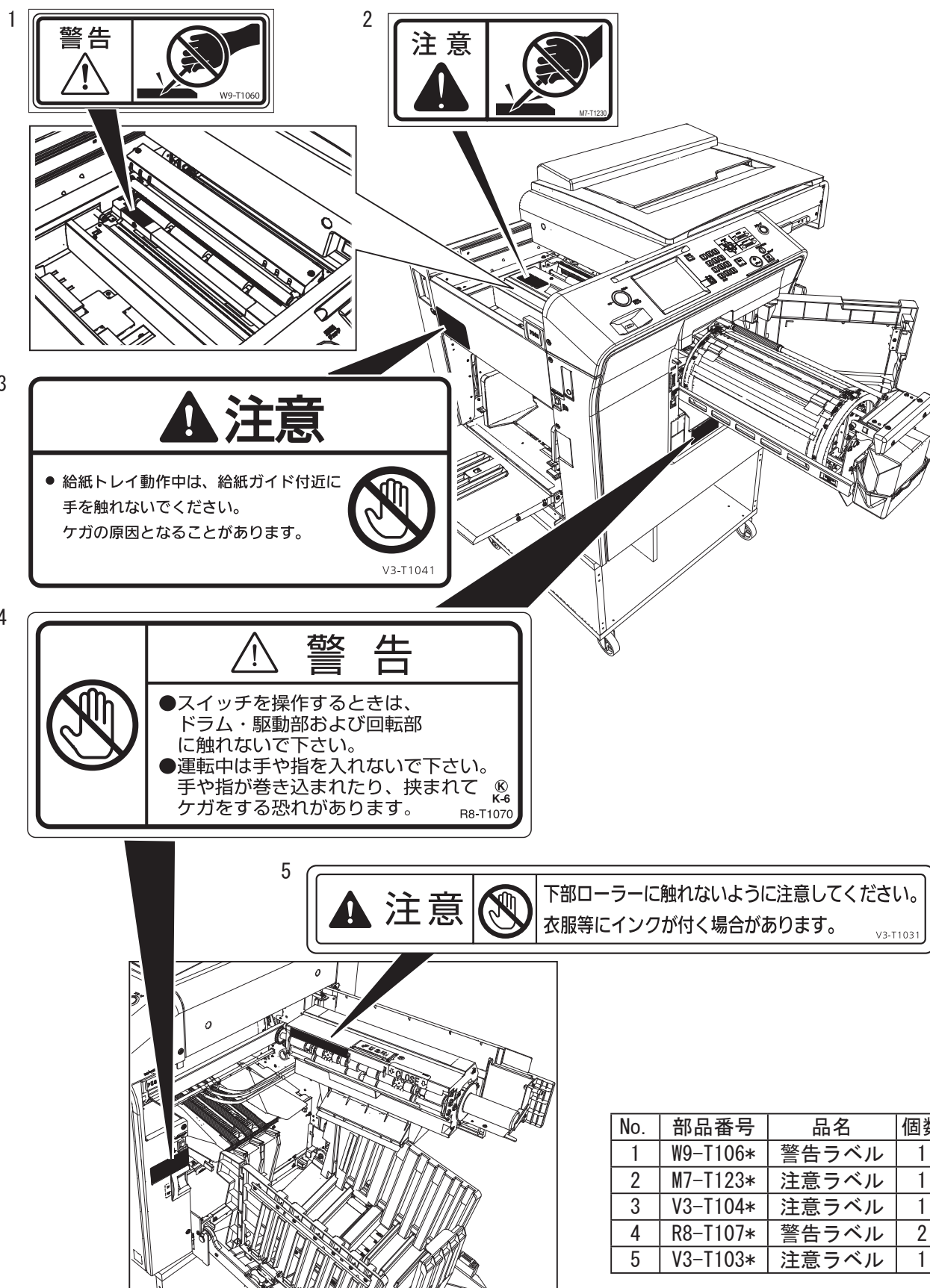
- 直射日光の当たらない、低温で乾燥したところに置いてください。
適正保管温度 -5℃ ～ 40℃
- 火気に近づけないでください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全銘板の貼り付け位置

安全銘板は、常に汚れや破損のないようにしてください。

もし、破損・紛失した場合は、サービスマンにお申し付けください。



● 取扱説明書内の使用マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

重要

：操作・保守において誤った取り扱いをすると、製品の性能が発揮できなかったり、故障の原因となるおそれがある内容を示します。

参考

：操作・保守において参考になることや、製品の性能などについての情報です。

次ページへ続く…

：操作手順が次のページに続くことを示しています。

(→ P.00「××××」)：関連する事項が書かれているページと項目を示しています。

機能索引

本機が備えている機能を簡単に紹介します。

製版で使用する機能

倍率

→ P. 28、P. 36



お好みの大きさに拡大 / 縮小します。

用紙サイズ

→ P. 29



用紙サイズを設定します。
不定型のサイズも設定します。

読取濃度

→ P. 45



原稿を読み取る濃さを調整します。

製版濃度

→ P. 46



製版の濃さを調整します。

原稿種類

→ P. 49



原稿に適したモードを設定します。

プレビュー

→ P. 56



製版する前に、印刷イメージを確認します。

多面印刷

→ P. 60



1 枚の用紙に同じ原稿を複数プリントします。

2in1

→ P. 64



2 枚の原稿を 1 枚の用紙にプリントします。

ブック影消し

→ P. 73



本などのとじ部分や周囲の影を消してプリントします。

90°回転

→ P. 78



原稿を 90° 回転してプリントします。

180°回転

→ P. 80



原稿を 180° 回転してプリントします。

原稿編集

→ P. 82



プレビューを見ながら、原稿を編集してプリントします。

再製版機能

→P. 103



前回製版したイメージを再製版します。

原稿サイズ

→P. 105



プリントする原稿のサイズを設定します。

製版開始位置設定

→P. 125



製版開始位置を天地（上下）方向へ任意にずらします。

省インクモード

→P. 129



原稿読取濃度を変更することでインクを節約してプリントします。

原稿濃度読取

→P. 135



原稿全体の濃度を読み取り、最も明るい部分を識別します。

原稿セットミス検知

→P. 143



原稿台ガラスに原稿が正しくセットされていない場合にお知らせします。

ファインスタート

→P. 165



刷り始めから鮮明にプリントします。

プレプリント

→P. 169



製版後、初めの何枚かをプリント枚数にカウントしないように設定します。

仕上がり確認

→P. 173



製版が終了し、1枚プリントして停止します。

プリントで使用する機能

オート給紙調整

→ P. 53



サバキ圧、補助サバキ高さ、給紙圧を調整します。

印刷スピード

→ P. 31



印刷スピードを調整します。

印刷濃度

→ P. 47



プリントの濃さを調整します。

印刷位置

→ P. 51



プリントする画像の位置を調整します。

用紙の種類

→ P. 121



プリントする用紙に適したモードを設定します。

重送検知

→ P. 123



用紙の重ね送りを検知します。

短冊用紙

→ P. 127



幅の狭い「のし紙」をプリントするときを設定します。

インク補給

→ P. 131



インクの補給をします。

機密保持

→ P. 133



機密文書などのプリントを禁止します。

インターバルプリント

→ P. 137



一定の間隔をあけてプリントします。

区分け / 原稿別プリント

→ P. 139



必要枚数を区分けしてプリントしたり、原稿ごとにプリント枚数を変えます。

トップブローファン

→ P. 145



トップブローファンの風量を調整します。

ロングペーパー

→P. 147



長い用紙をプリントするときに使用します。

オンラインモード

→ P. 149



コンピューターを使用してプリントするときに、使用します。

最適プリント

→P. 167



設定した印刷スピードにより、最適な印刷濃度に調整します。

リピートカウンタ

→ P. 171



設定枚数プリント終了後、設定枚数をリピートします。

プリント中の印刷位置調整

→P. 175



プリント中に印刷位置を調整します。

その他の機能

メモリ機能設定

→P. 108



各種の設定を保存したり、必要に応じて設定を呼び出します。

初期設定

→P. 151



「標準モード」の設定を変更します。

ショートカット設定

→P. 154



よく使う機能を、基本画面下にアイコン表示することで、ワンタッチで希望の機能と呼出します。

省エネモード

→P. 157



一定時間操作されないと、液晶（タッチパネル）を自動的に OFF し、消費電力を低減します。

オートパワーオフ

→P. 159



一定時間操作されないと、自動的に電源を切ります。

オートリセット

→P. 163



一定時間操作されないと、自動的にリセットし、設定を「標準モード」に戻します。

液晶の明るさ調整

→P. 177



液晶（タッチパネル）の明るさを調整します。

日付時刻

→P. 179



日付時刻を設定します。

ブザー設定

→P. 181



ブザー音量、ブザー音の ON/OFF を設定します。

ネットワーク設定

→P. 183



ネットワークの設定をします。

言語設定

→P. 197



液晶に表示される言語を設定します。

情報

→P. 199



トータル製版・印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、日付時刻、ショートカット設定の内容を確認します。

目次

はじめに	i
安全上のご注意（必ずお守りください）	iii
安全上の注意事項	iii
安全銘板の貼り付け位置	ix
機能索引	xi

第 1 章 お使いになる前に

各部の名称とはたらき	2
本体外観	2
本体内部	3
排紙側外観 / 内部	4
操作パネル部	6
基本画面の見方	7
メニュー画面の見方	8
電源の入れかた / 切りかた	9
電源を入れる	9
電源を切る	9
標準モードについて	10
使用できる原稿 / 用紙について	11
使用できる原稿	11
使用できる用紙	12

第 2 章 基本的な機能を使ってプリントする

プリント前の準備	14
用紙のセットのしかた	14
空送り、2 枚送りが発生する場合	15
用紙の補給と載せ換えのしかた	17
排紙台のセットのしかた	18
排紙台の収納のしかた	19
ジャンプ台のセットのしかた	20
原稿のセットのしかた	21
原稿の置きかた	21
原稿台ガラスに原稿をセットする	21
自動原稿送り装置（ADF）（オプション）に原稿をセットする	22
基本的なプリントのしかた	24
基本的な機能を使ってプリントする	24
自動原稿送り装置（ADF）（オプション）を使ってプリントする	26
拡大 / 縮小する	28
定型原稿から定型用紙へ拡大 / 縮小する	28
用紙サイズの選び方	29
用紙サイズの設定による製版範囲について	29
用紙サイズの設定のしかた	29
用紙サイズのユーザ設定のしかた	30

印刷スピードの調整	31
印刷スピードの調整について	31
印刷スピードの調整のしかた	31
TOP SPEED の設定のしかた	32

第3章 便利な機能を使ってプリントする

拡大 / 縮小する	36
拡大 / 縮小について	36
すこし小さめにプリントする	37
オートズーム	39
任意に拡大 / 縮小する（任意ズーム）	41
天地（上下） / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する（独立変倍）	43
濃度調整のしかた	45
濃度調整について	45
読取濃度の調整について	45
読取濃度の調整のしかた	45
製版濃度の調整について	46
製版濃度の調整のしかた	46
印刷濃度の調整について	47
印刷濃度の調整のしかた	47
写真やカラー原稿をプリントする	49
原稿種類について	49
原稿種類の設定のしかた	49
印刷位置を調整する	51
印刷位置調整について	51
オート給紙調整	53
オート給紙調整について	53
給紙調整のしかた	53

第4章 その他の機能

編集機能 プレビュー	56
プリントする原稿を確認する	56
編集機能 多面印刷	60
1 枚の用紙に複数プリントする	60
多面印刷の設定のしかた（2 面取り / 4 面取り / 8 面取り / 16 面取り）	62
2in1 について	64
2in1 の設定のしかた	64
ADF（オプション）を使用した 2in1 のしかた	67
任意面取り	69
任意面取りの設定のしかた	69
切取線について	71
切取線の設定のしかた	71

目次

編集機能	ブック影消し	73
	ブック影消しについて.....	73
	影消しの範囲について.....	74
	ブック影消しの設定のしかた.....	75
編集機能	90°回転	78
	90° 回転について.....	78
	90° 回転の設定のしかた.....	78
編集機能	180°回転	80
	180° 回転について.....	80
	180° 回転の設定のしかた.....	80
編集機能	原稿編集	82
	原稿編集について.....	82
	メイクアップについて.....	82
	メイクアップの設定のしかた.....	84
	メイクアップ追加、消去エリア入替.....	96
	トリミングについて.....	100
	トリミングの設定のしかた.....	100
編集機能	再製版機能	103
	再製版機能について.....	103
	再製版機能の設定のしかた.....	103
編集機能	原稿サイズ	105
	原稿サイズについて.....	105
	原稿サイズの設定のしかた.....	105
	原稿サイズのユーザ設定のしかた.....	107
特殊機能	メモリ機能設定	108
	メモリ機能設定について.....	108
	メモリ機能設定のしかた.....	108
	保存している設定を呼出す.....	114
	保存している設定をクリアする.....	119
特殊機能	用紙の種類	121
	用紙の種類について.....	121
	用紙種類の設定のしかた.....	121
特殊機能	重送検知	123
	重送検知について.....	123
	重送検知の設定のしかた.....	123
特殊機能	製版開始位置設定	125
	製版開始位置について.....	125
	製版開始位置の設定のしかた.....	125
特殊機能	短冊用紙	127
	短冊用紙について.....	127
	短冊用紙の設定のしかた.....	127
特殊機能	省インクモード	129
	省インクモードについて.....	129
	省インクモードの設定のしかた.....	129
特殊機能	インク補給	131
	インク補給について.....	131
	インク補給のしかた.....	131

特殊機能 機密保持	133
機密保持について	133
機密保持の設定のしかた	133
特殊機能 原稿濃度読取	135
原稿濃度読取について	135
原稿濃度読取の設定のしかた	135
特殊機能 インターバルプリント	137
インターバルプリントについて	137
インターバルプリントの設定のしかた	137
特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする	139
区分け / 原稿別プリントについて	139
区分け / 原稿別プリントの設定のしかた	140
区分け / 原稿別プリントの入力のしかた	141
テープで区分けしてプリントする（テープクラスタ装着機のみ）	142
特殊機能 原稿セットミス検知	143
原稿セットミス検知について	143
原稿セットミス検知の設定のしかた	143
特殊機能 トップブローファン	145
トップブローファンについて	145
トップブローファンの設定のしかた	145
特殊機能 ロングペーパー	147
ロングペーパーについて	147
ロングペーパーの設定のしかた	147
周辺機能 オンラインモード	149
コンピューターを使ってプリントする	149
オンラインモードの設定のしかた	149
マニュアル設定時の増刷の解除のしかた	150
環境機能 初期設定	151
初期設定について	151
初期設定のしかた	151
環境機能 ショートカット設定	154
ショートカット設定について	154
ショートカット設定のしかた	155
環境機能 省エネモード	157
省エネモードについて	157
省エネモードの設定のしかた	157
環境機能 オートパワーオフ	159
オートパワーオフについて	159
時刻でパワーオフの設定のしかた	159
時間経過でパワーオフの設定のしかた	161
環境機能 オートリセット	163
オートリセットについて	163
オートリセットの設定のしかた	163
環境機能 ファインスタート	165
ファインスタートについて	165
ファインスタートの設定のしかた	165

目次

環境機能 最適プリント	167
最適プリントについて	167
最適プリントの設定のしかた	167
環境機能 プレプリント	169
プレプリントについて	169
プレプリントの設定のしかた	169
環境機能 リピートカウンタ	171
リピートカウンタについて	171
リピートカウンタの設定のしかた	171
環境機能 仕上がり確認	173
仕上がり確認について	173
仕上がり確認の設定のしかた	173
環境機能 プリント中の印刷位置調整	175
プリント中の印刷位置調整について	175
プリント中の印刷位置調整の設定のしかた	175
環境機能 液晶の明るさ	177
液晶の明るさ調整について	177
液晶の明るさ調整の設定のしかた	177
環境機能 日付時刻	179
日付時刻について	179
日付時刻の設定のしかた	179
環境機能 ブザー設定	181
ブザー設定について	181
ブザー設定のしかた	181
環境機能 ネットワーク設定	183
ネットワーク設定について	183
ネットワーク設定のしかた	183
基本画面の説明	186
クイックセットアップ	187
アドバンスドセットアップ	188
初期化	189
暗証番号の変更	190
暗証の変更	192
暗証機能の設定	195
環境機能 言語設定	197
言語設定について	197
言語設定のしかた	197
環境機能 情報	199
情報について	199
情報の確認のしかた	199
エラー履歴の確認のしかた	201

第5章 消耗品の交換のしかた

インクパックの交換	206
インクパックの交換について	206
インクパックの交換のしかた	206
ロールマスターの交換	209
ロールマスターの交換について	209
ロールマスターの交換のしかた	209
使用済みマスターの処理のしかた	212
使用済みマスターの処理について	212
使用済みマスター処理のしかた	212
ドラムユニットの交換	214
ドラムユニットの交換について	214
ドラムの取り出ししかた	214
ドラムのセットのしかた	215
サバキユニットの交換	217
サバキユニットの交換について	217
サバキユニットの交換のしかた	217
補助サバキの交換	218
補助サバキの交換のしかた	218

第6章 こんなときには

故障かな？と思われたとき	220
メッセージが表示されたとき	221
プリント中に用紙を補給するとき	224
プリント中に用紙がなくなったとき	224
プリント中に用紙を補給するとき	224
用紙サイズを変更するとき	225
紙づまりを起こしたとき	227
左側紙づまり（給紙トレイ）	227
右側紙づまり（排紙台）	228
ドラムに用紙が巻きついているとき	229
排版ミスを起こしたとき	231
ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた	231
着版ミスを起こしたとき	234
マスターの取り除きかた	234
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	235
ロールマスターのセットのしかた	235
消耗品情報入力画面が表示されたとき	237
インク情報入力画面の入力のしかた	237
ロールマスター情報入力画面の入力のしかた	240
ADF 原稿づまりを起こしたとき	243

第 7 章 日常のお手入れ

日常のお手入れのしかた	246
-------------------	-----

第 8 章 仕様／アフターサービス

仕様	248
保証および保守サービス	251
使用済み製品の回収とリサイクルについて	252

付 録

索引	254
----------	-----

第 1 章

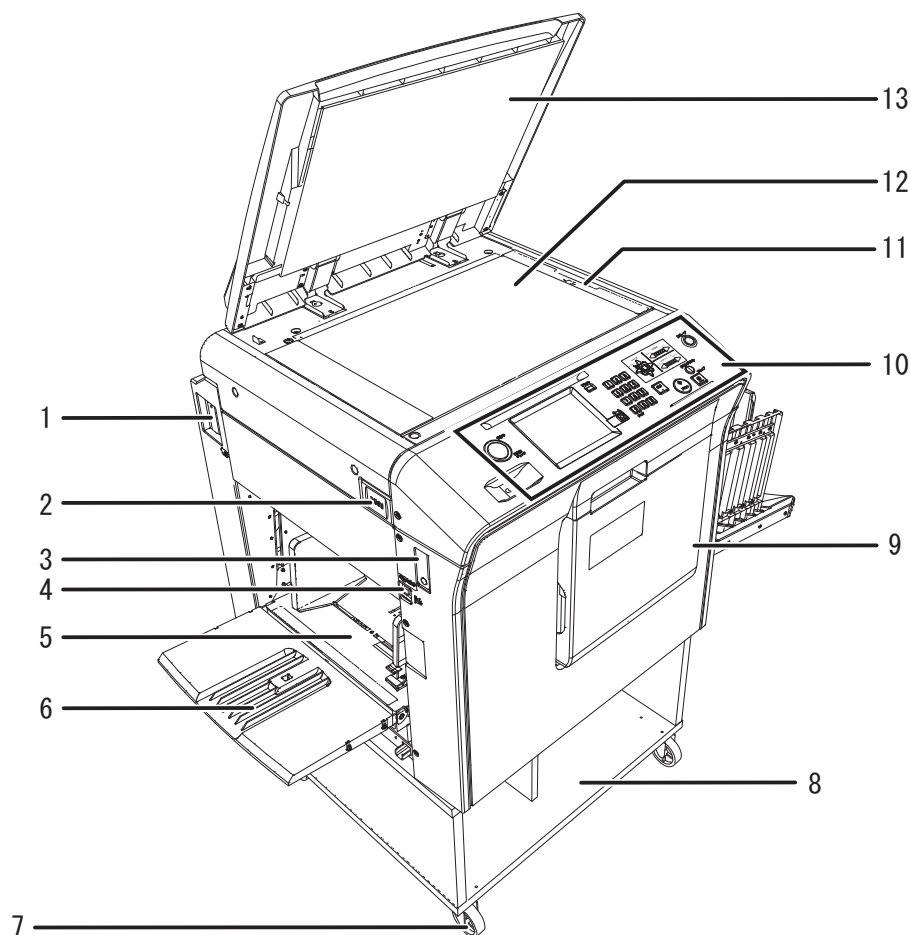
お使いになる前に

この章では、各部の名称、操作パネルの名称とはたらき、使用できる原稿 / 用紙についての説明など、ご使用の前に理解していただきたい事項について説明します。

各部の名称とはたらき	2
本体外観	2
本体内部	3
排紙側外観 / 内部	4
操作パネル部	6
基本画面の見方	7
メニュー画面の見方	8
電源の入れかた / 切りかた	9
電源を入れる	9
電源を切る	9
標準モードについて	10
使用できる原稿 / 用紙について	11
使用できる原稿	11
使用できる用紙	12

各部の名称とはたらき

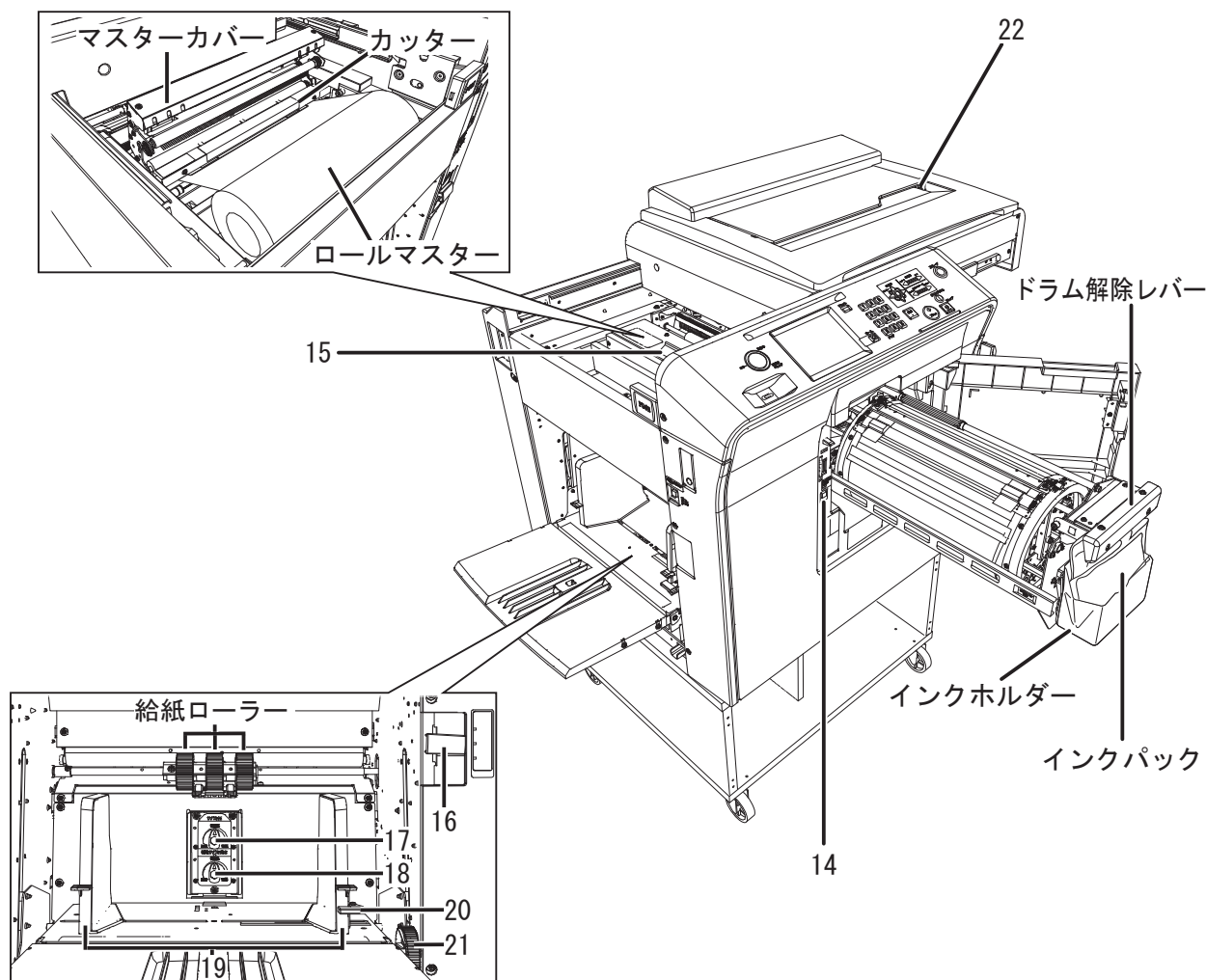
本体外観



No.	名称	はたらき	参照ページ
1	コンピューター用コネクタ	コンピューターと接続するときに使います。※構成により異なります。	－
2	スキャナー開閉スイッチ	スキャナーを開けるときに押します。	209、234、235
3	USB ポート	USB メモリを接続するときに使います。※構成により異なります。	－
4	給紙トレイ下降スイッチ	給紙トレイを下げるときに押します。	17、224、225、227
5	給紙トレイ	用紙をセットします。	14、17
6	補助トレイ	用紙をセットします。	14
7	キャスター止め	専用キャビネットを床に固定するとき使います。本機を設置するときは、必ず2つのキャスター止めにロックしてください。	－
8	専用キャビネット	この台の上に本機を置きます。※構成により異なります。	－
9	前カバー	インクパックやドラムユニットの交換などをするときに開けます。	206、214、231
10	操作パネル	動作や状態を表示したり、機能の設定をします	6
11	目盛板	原稿を目盛に合わせて置きます。	21
12	原稿台ガラス	原稿を置きます。	21
13	原稿押え板	原稿台ガラスに置いた原稿を押さえます。	21

本体内部

マスターカバー内部とその周辺

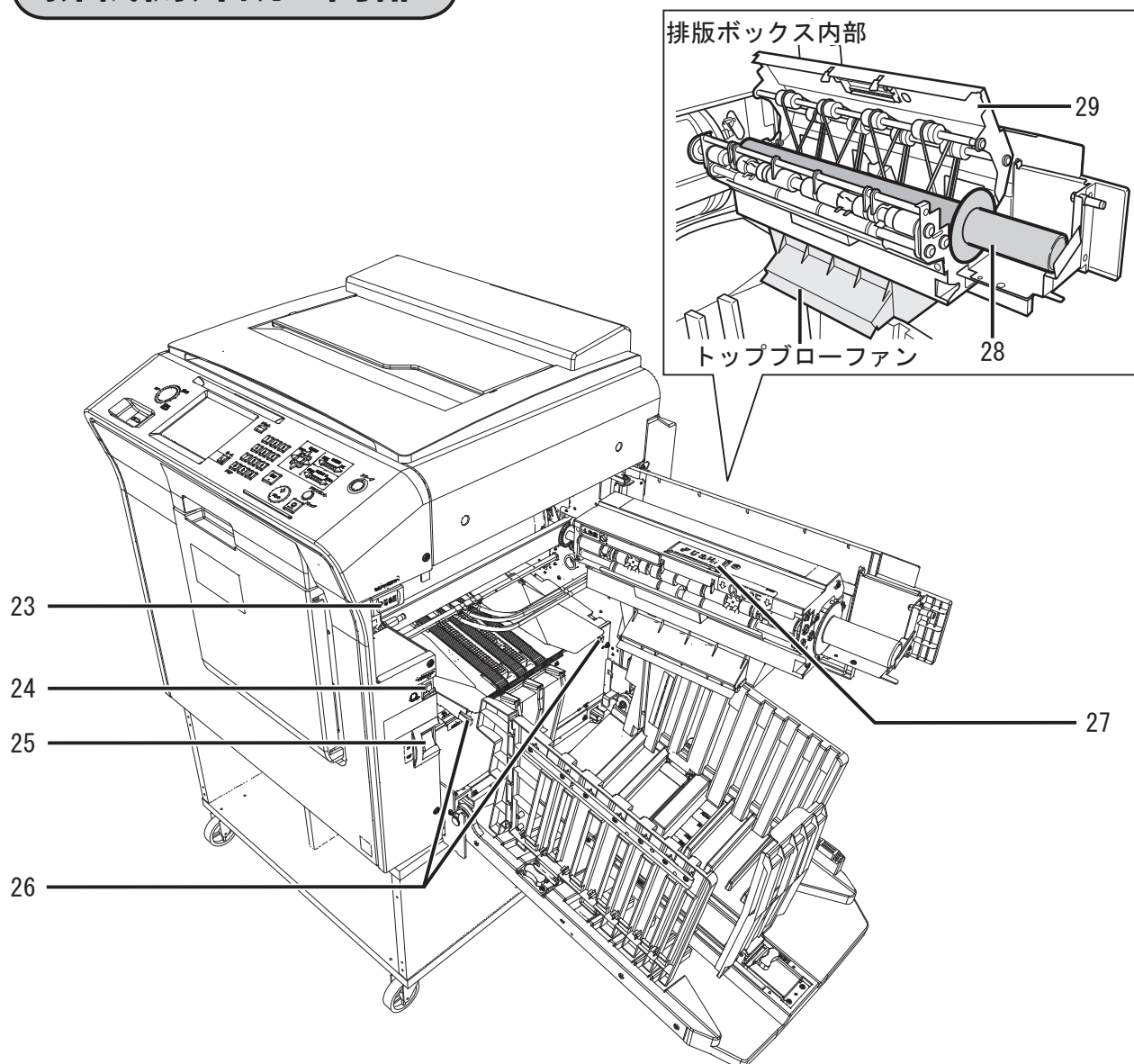


1

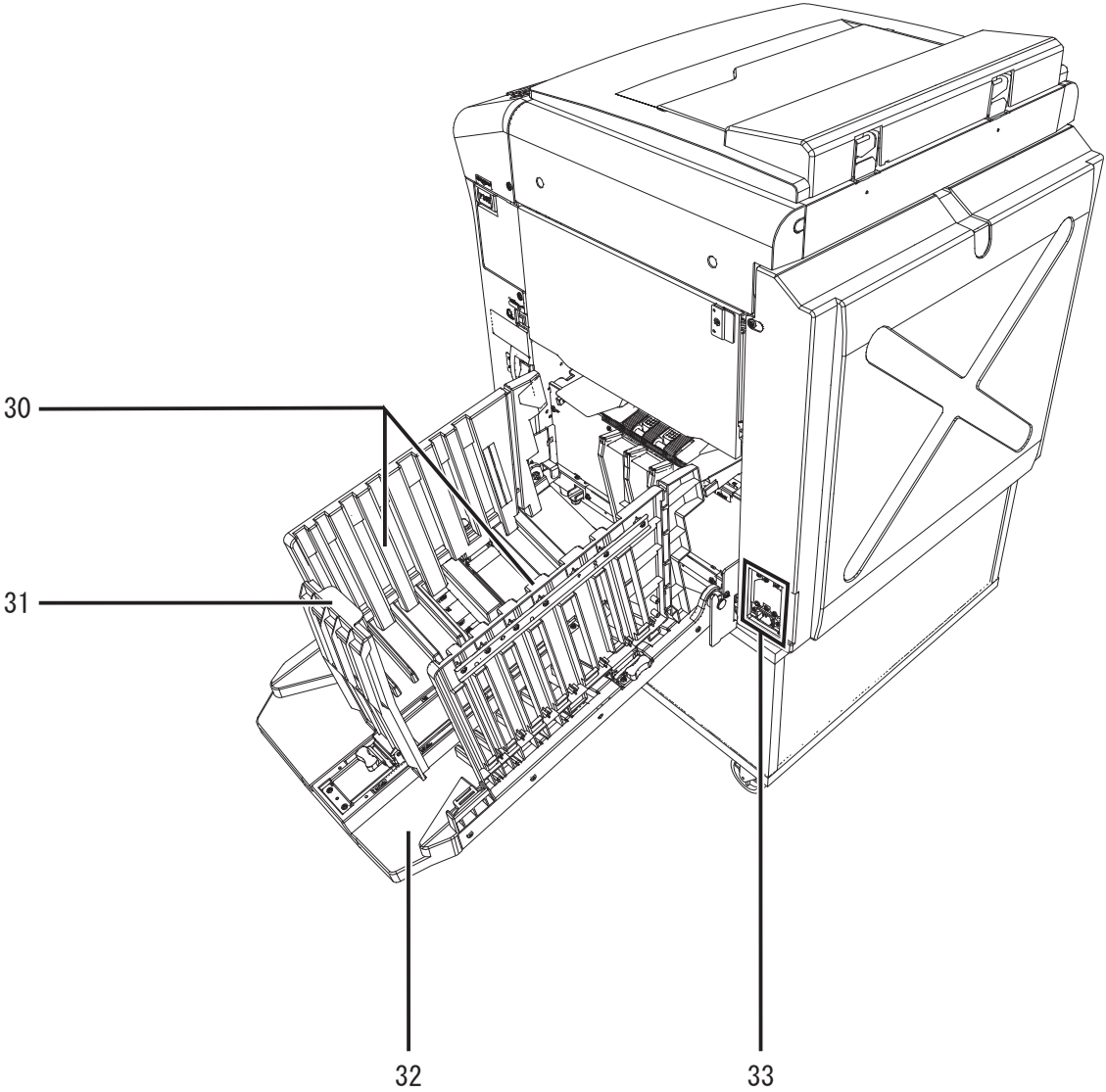
お使いになる前に

No.	名称	はたらき	参照ページ
14	ドラム取出しスイッチ	押すとドラムが回転しドラム取出し位置で止まります。取出し位置で止まると LED が点灯します。	214、231
15	マスターカバー PUSH レバー	ロールマスターをセットするときなどに押すと、マスターカバーが開きます。	209、235
16	給紙圧レバー	用紙厚さに合わせて圧力を調整します。※ CD57DP/CD54DP のみ	15
17	サバキ圧調整ツマミ	用紙厚さに合わせてサバキ圧力を調整します。※ CD57DP/CD54DP のみ	15
18	補助サバキ高さ調整 ツマミ	用紙厚さに合わせて補助サバキ高さを調整します。 ※ CD57DP/CD54DP のみ	15
19	給紙ガイド	用紙の幅に合わせてスライドさせます。	14
20	給紙ガイドロックレ バー	レバーをつまんで、給紙ガイドを用紙幅に合わせます。	14
21	給紙横微動ダイヤル	印刷位置（左右方向）を調整します。 ※ CD57DP/CD54DP のみ	52
22	スキャナーユニット	原稿の画像を読み取ります。 ロールマスターをセットするときに開けます。	209、234、 235

排紙側外観 / 内部

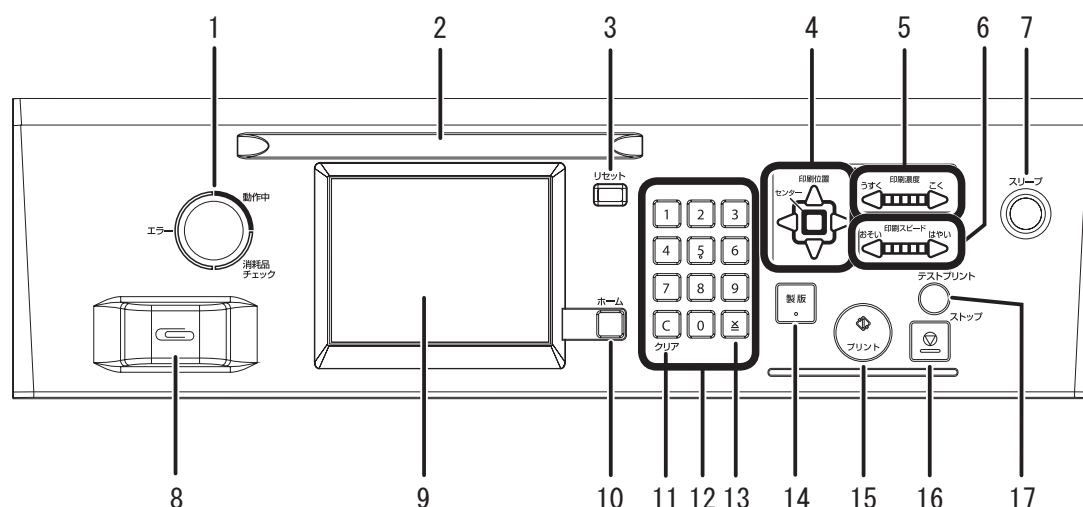


No.	名称	はたらき	参照ページ
23	排版ボックス開閉スイッチ	排版ボックスを開くときに押します。	212、228、229
24	用紙排出スイッチ	押している間、ドラムが回転します。紙づまりなどの処理をするときに使います。	227、228、229
25	電源スイッチ	電源を入れたり、切ったりするときに使います。	9
26	ジャンプ台レバー	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	20
27	排版ボックス PUSH レバー	使用済みマスターを処理するときなどに押すと、排版カバーが開きます。	212
28	排版ロール	使用済みマスターを処理するときに使います。	212
29	排版カバー	使用済みマスターを処理するときに開けます。	212



No.	名称	はたらき	参照ページ
30	サイドフェンス	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	18
31	ストッパー	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	18
32	排紙台	プリントされた用紙を受けます。	18
33	オプション接続コネクター	オプションを使用するとき、コネクターを接続します。	-

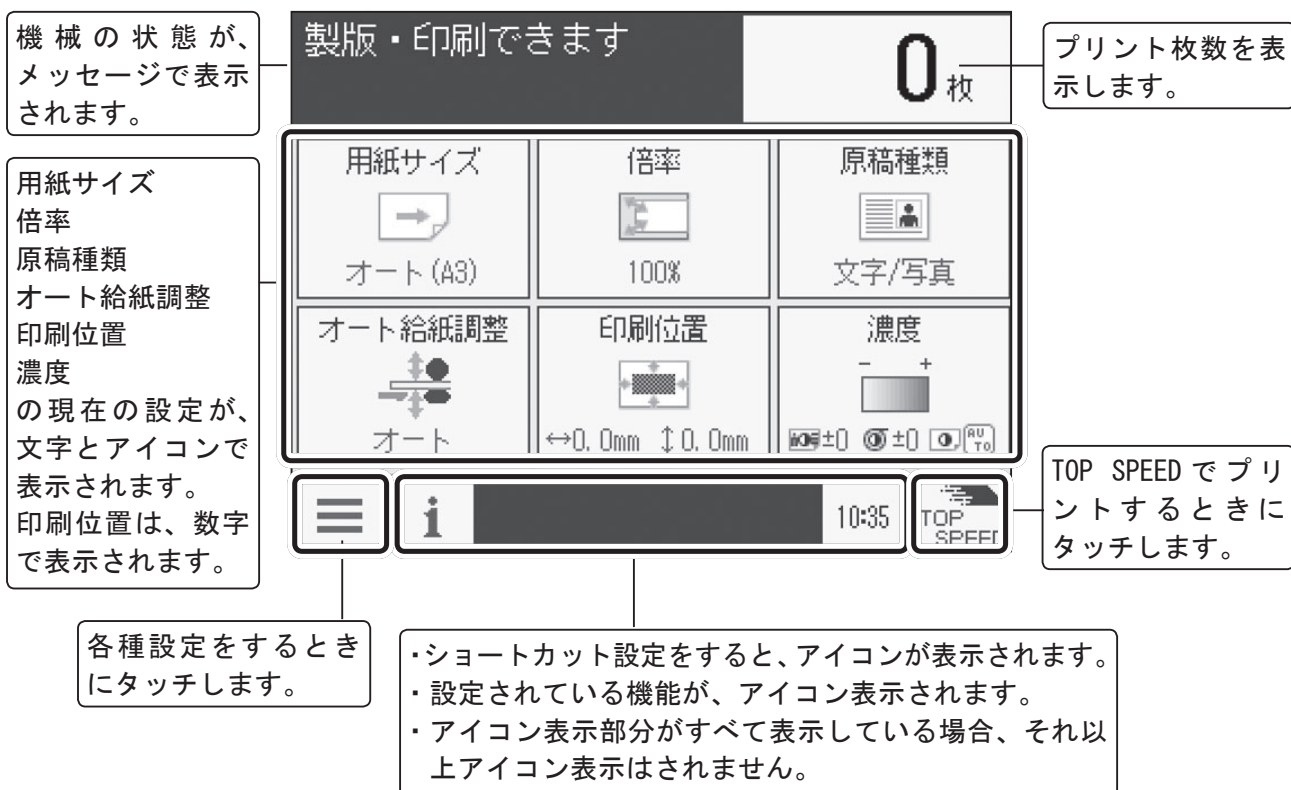
操作パネル部 (CD87DP/CD67DP の操作パネルで説明しています)



名称	はたらき
1 お知らせランプ	本機動作中は「青」が点灯、パネル上にエラーメッセージが表示されたときはLED全体が「赤色」に点滅、消耗品交換メッセージが表示されたときはLED下半分が「赤色」に点滅します。
2 ペン置き	ペンを置きます。
3 リセットキー	操作パネルの設定を標準モードに戻します。メモリされていない設定はクリアされます。
4 印刷位置調整キー	印刷位置（天地（上下）/ 左右）を調整するときに押します。 ※ CD57DP/CD54DP には、印刷位置調整キー◁ ▷のみついています。
5 印刷濃度調整キー	印刷濃度を調整するときに押します。
6 印刷スピード調整キー	印刷スピードを調整するときに押します。
7 スリープキー	スリープキーを押すと液晶（タッチパネル）がOFFして消費電力を低減します。
8 クリップ置き	原稿をとめているクリップを置きます。
9 液晶（タッチパネル）	プリント枚数など本機の設定を表示します。設定を変更するときにタッチします。エラーが発生したときは、メッセージを表示します。
10 ホームキー	ホームキーを押すと、基本画面に戻ります。
11 クリアキー	プリント枚数をクリアしたり、入力した数値をクリアするときに押します。
12 テンキー	プリント枚数を入力したり、数値を入力するときに押します。
13 ×キー	区分け / 原稿別プリントでプリント枚数と組数を入力するときに押します。
14 製版キー	製版を開始するときに押します。プリント中の場合、製版できません。プリント枚数をクリアしてから製版してください。
15 プリントキー	プリントを開始するときに押します。製版はしません。プリントキーランプが消えているとき（機密保持が設定されているとき、ドラムにマスターが装着されていないとき、エラーが表示されているとき、プリント枚数が入力されていないとき）はプリントできません。
16 ストップキー	プリントを途中で止めたいときに押します。製版動作中に押すと、製版終了後に止まります。
17 テストプリントキー	1枚だけプリントしたいときに押します。濃度や印刷位置を確認したいときに使用します。

基本画面の見方

- 液晶（タッチパネル）に、操作の状態やメッセージが表示されます。



※上記表示画面は CD87DP で説明しています。その他の機種においては表示されない文字、アイコンがあります。

重要

液晶（タッチパネル）およびボタンは決して強く押さないでください。

メニュー画面の見方

- 基本画面で、「メニュー」をタッチすると、メニュー画面に切り替わります。



※上記表示画面は CD87DP で説明しています。その他の機種においては表示されない文字、アイコンがあります。

重要

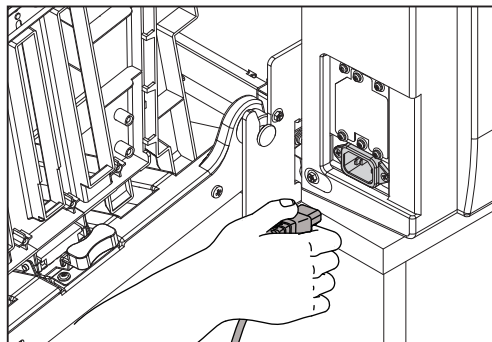
液晶（タッチパネル）およびボタンは決して強く押さないでください。

電源の入れかた / 切りかた

電源の入れかた / 切りかたについて説明します。

電源を入れる

- 1 電源プラグを本体のインレットに差し込みます。



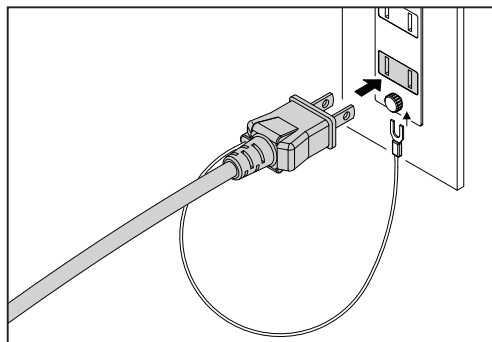
1

お使いになる前に

- 2 接地線を接続し、反対側の電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告

- 接地接続してください。
接地接続されないで万一、漏電した場合は、
火災、感電のおそれがあります。

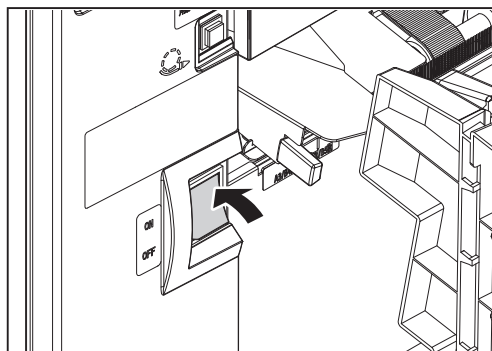


- 3 電源スイッチの「ON」側を押してください。
液晶（タッチパネル）に、「KONICA MINOLTA」が表示され、
機械のウォーミングアップが始まります。

液晶（タッチパネル）に、基本画面が表示されると、
使用可能になります。

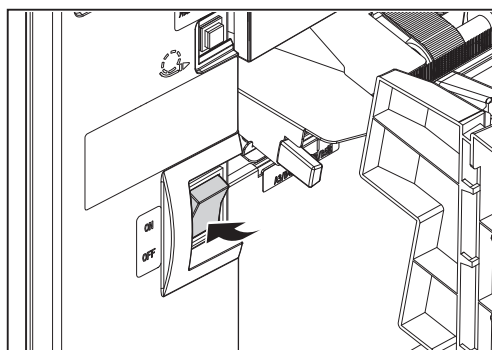
このとき本機の各機能は「標準モード」に設定されます。

（参考→ P. 10 「標準モードについて」）



電源を切る

- 1 電源スイッチの「OFF」側を押してください。



標準モードについて

電源を入れたときや「リセットキー」を押したとき、各機能は「標準モード」に設定されます。
標準モードの設定内容は次のとおりです。

ただし、初期設定を変更されている場合は、設定されている内容になります。

プリント枚数	: 0 枚
用紙サイズ	: オート (CD87DP/CD67DP)、A3 (CD57DP)、B4 (CD54DP)
倍率	: 100%
製版濃度	: ± 0
読取濃度	: ± 0
原稿種類	: 文字多め / 写真少なめ
原稿サイズ	: オート (CD87DP/CD67DP)、OFF (CD57DP/CD54DP)
印刷位置	: 0.0mm
印刷濃度	: ± 0
印刷スピード	: 3 速
省インクモード	: OFF
90° 回転	: OFF (CD87DP/CD67DP)

使用できる原稿／用紙について

使用できる原稿

●原稿台の場合

- ・ 10kg 以下のシート、ブック原稿
- ・ 原稿のサイズ : 最大 297mm × 432mm

●自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) の場合

- ・ 原稿の厚さ : 64g/m² ~ 128g/m² [55kg ~ 110kg]
- ・ 原稿のサイズ : 最大 297mm × 432mm
最小 100mm × 148mm
- ・ 原稿トレイ積載容量 : 100 枚 (64g/m² [55kg])、85 枚 (80g/m² [69kg])

重要

●以下の原稿は、自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) では使用できません。

- ・ 糊付けや大きな穴 (とじ穴) のあいている原稿
- ・ ステープルやクリップなどでとめてある原稿
- ・ 大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある原稿
- ・ 破れていたり、先端がギザギザになっている原稿
- ・ 感熱紙、カーボン紙等化学処理された原稿
- ・ OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度の高い原稿
- ・ アート紙、コート紙などの表面が滑りやすい原稿
- ・ 修正液、糊などを使用している原稿
- ・ 切り貼りされた原稿

●原稿は、必ず同一サイズのものを使用してください。正常に動作しない場合があります。

使用できる用紙

●給紙トレイにセットできる用紙と、排紙台の積載量

- 用紙の種類 : 45g/m² ～ 210g/m² [39kg ～ 180kg]
(上質紙、中質紙、更紙、再生紙、封筒、ハガキ)
- 用紙のサイズ : 最大 320mm × 450mm
最小 100mm × 148mm
- 用紙の積載量 : 給紙トレイ 1,500 枚 (64g/m² [55kg])、1,200 枚 (80g/m² [69kg])
排紙台 1,500 枚 (64g/m² [55kg])、1,200 枚 (80g/m² [69kg])
TOP SPEED 印刷時 (CD87DP/CD67DP) は、1,000 枚 (64g/m² [55kg]、一般上質紙)、
800 枚 (80g/m² [69kg]、一般上質紙)

※用紙の種類等の条件により、記載の枚数を積載できない場合があります。

※用紙には坪量の異なる古紙パルプ配合率 100% の再生紙が使用できます。

※封筒の種類等の条件により使用できない場合があります。

重要

- 以下のような用紙は使用できません。
 - ・糊付けや大きな穴（とじ穴）のあいている用紙
 - ・ステープルやクリップなどでとめている用紙
 - ・大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある用紙
 - ・破れていたり、先端がギザギザになっている用紙
 - ・感熱紙、カーボン紙、ラベルシール等化学処理された用紙
 - ・OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度の高い用紙
 - ・アート紙、コート紙などの表面が滑りやすい用紙
 - ・切り貼りされた用紙
- TOP SPEED 印刷時の制限事項は、「TOP SPEED の設定のしかた」を参照してください。
(参考→ P. 32 「TOP SPEED の設定のしかた」)

第 2 章

基本的な機能を使ってプリントする

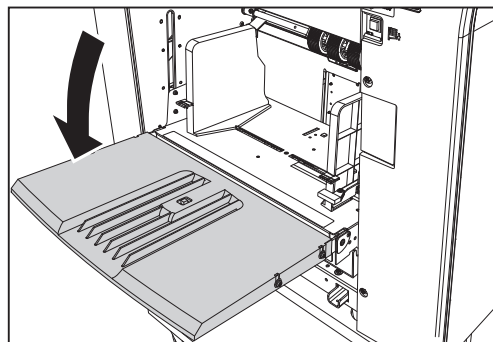
この章では、簡単なプリントのしかた、原稿のセット方法、拡大／縮小の方法など、プリントをするための基本となる事項について説明します。

.....	
プリント前の準備	14
用紙のセットのしかた	14
空送り、2枚送りが発生する場合	15
用紙の補給と載せ換えのしかた	17
排紙台のセットのしかた	18
排紙台の収納のしかた	19
ジャンプ台のセットのしかた	20
原稿のセットのしかた	21
原稿の置きかた	21
原稿台ガラスに原稿をセットする	21
自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) に原稿をセットする	22
基本的なプリントのしかた	24
基本的な機能を使ってプリントする	24
自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) を使ってプリントする	26
拡大／縮小する	28
定型原稿から定型用紙へ拡大／縮小する	28
用紙サイズの選び方	29
用紙サイズの設定による製版範囲について	29
用紙サイズの設定のしかた	29
用紙サイズのユーザ設定のしかた	30
印刷スピードの調整	31
印刷スピードの調整について	31
印刷スピードの調整のしかた	31
TOP SPEED の設定のしかた	32
.....	

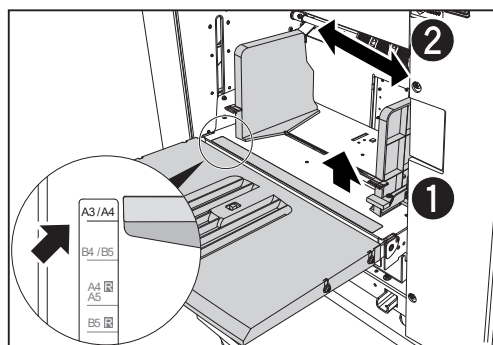
プリント前の準備

用紙のセットのしかた

- 1 「補助トレイ」を開いてください。



- 2 「給紙ガイドロックレバー」をつまんで、「給紙ガイド」を用紙サイズに合わせてください。



- 3 用紙をよくさばき、そろえてください。

重要

用紙をセットするときは、必ず用紙をさばいてください。給紙ミスや紙づまりの原因になります。



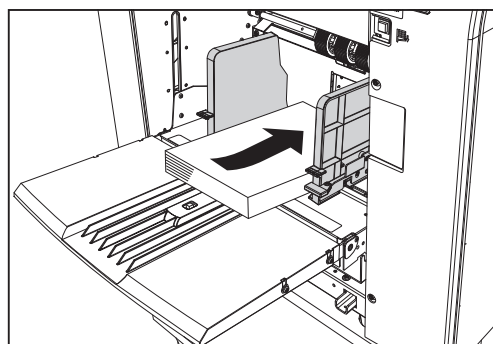
- 4 そろえた用紙を「給紙ガイド」の間に置き、そのまま機械内部に向かって軽くつきあててください。

参考

用紙は一般上質紙 (64g/m²[55kg]) で 1,500 枚セットできます。

重要

用紙の種類等の条件により、1,500 枚積載できない場合があります。



空送り、2枚送りが発生する場合

● CD87DP/CD67DP の場合

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「オート給紙調整」をタッチしてください。

3 「マニュアル」をタッチしてください。

4 「サバキ圧」を調整してください。

● 空送りが発生する場合

「サバキ圧」を「-（マイナス）」方向に調整してください。

● 2枚送りが発生する場合

「サバキ圧」を「+（プラス）」方向に調整してください。

「サバキ圧」で調整をしても改善されないときは、「補助サバキ高さ」で補助サバキ高さを調整してください。

● 空送りが発生する場合

「補助サバキ高さ」を「-（マイナス）」方向に調整してください。

● 2枚送りが発生する場合

「補助サバキ高さ」を「+（プラス）」方向に調整してください。

「給紙圧」はセットする用紙厚さに合わせてください。

● 空送りが発生する場合

「給紙圧」を「厚紙」に合わせてください。

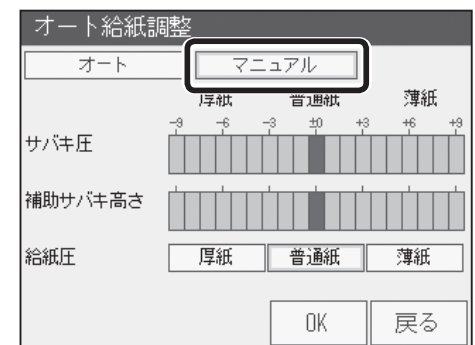
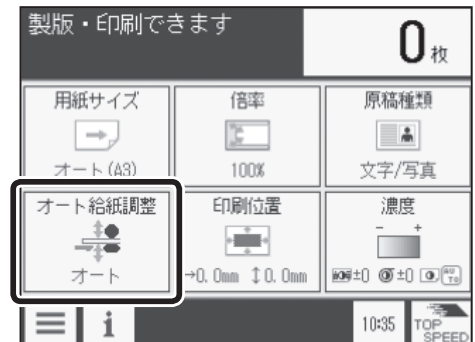
● 2枚送りが発生する場合

「給紙圧」を「薄紙」に合わせてください。

重要

- ハガキ、厚紙をプリントするときは、補助サバキ高さを「厚紙」方向にしてください。
- 用紙先端にキズがつくときは、補助サバキ高さを「厚紙」方向にしてください。

5 「OK」をタッチしてください。



2

基本的な機能を使ってプリントする

● CD57DP/CD54DP の場合

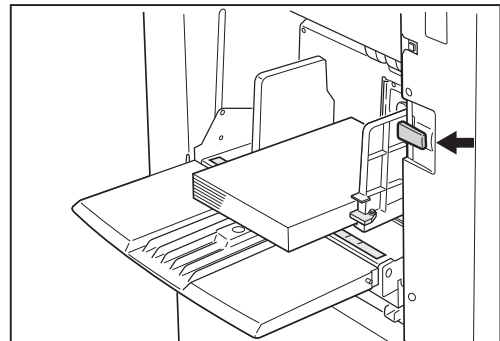
1 「給紙圧レバー」をセットする用紙厚さに合わせてください。

●空送りが発生する場合

「給紙圧レバー」を上を上げて「厚紙」に合わせてください。

●2枚送りが発生する場合

「給紙圧レバー」を下に下げて「薄紙」に合わせてください。



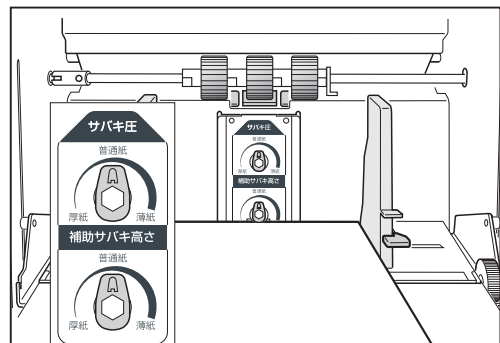
2 「サバキ圧調整つまみ」でサバキ圧を調整してください。

●空送りが発生する場合

「サバキ圧調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。

●2枚送りが発生する場合

「サバキ圧調整つまみ」を「薄紙」方向に回してください。



3 「サバキ圧調整つまみ」で調整をしても改善されないときは、「補助サバキ高さ調整つまみ」で補助サバキ高さを調整してください。

●空送りが発生する場合

「補助サバキ高さ調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。

●2枚送りが発生する場合

「補助サバキ高さ調整つまみ」を「薄紙」方向に回してください。

重要

●ハガキ、厚紙をプリントするときは、補助「サバキ高さ調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。

●用紙先端にキズがつくときは、「補助サバキ高さ調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。

用紙の補給と載せ換えのしかた

プリントの途中に用紙を補充したり、違うサイズ of 用紙に載せかえるときは、「給紙トレイ下降スイッチ」を押して、「給紙トレイ」を下げてください。

- 1 機械が停止していることを確認してください。
プリント中の場合は「ストップキー」を押してください。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押してください。
スイッチを押している間、「給紙トレイ」は下降を続けます。

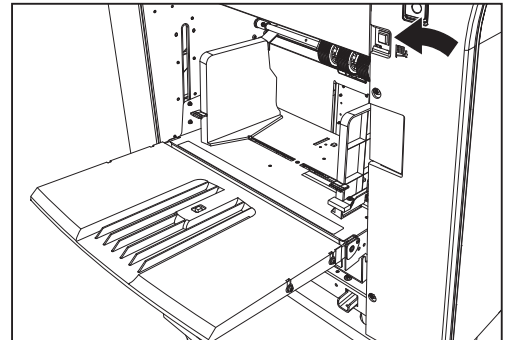
参考

用紙がなくなったときや用紙を全て取り除いたときは、「給紙トレイ」が自動的に下がります。

- 3 「用紙のセットのしかた」の手順 2、3、4 をしてください。
(参考→ P. 14 「用紙のセットのしかた」)

重要

- 違うサイズの用紙に載せかえたときは、「サイドフェンス」、「ストッパー」もセットしなしてください。
- 紙質が異なる用紙に載せかえたときは、「給紙圧レバー」、「サバキ圧調整つまみ」、「補助サバキ高さ調整つまみ」を調整してください。



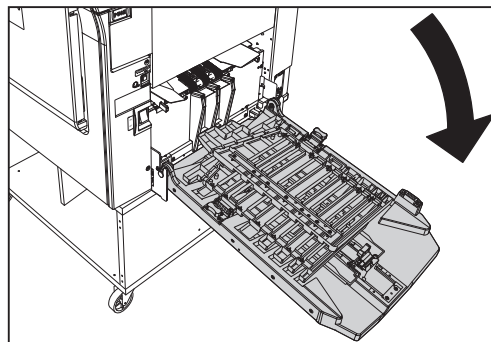
2

基本的な機能を使ってプリントする

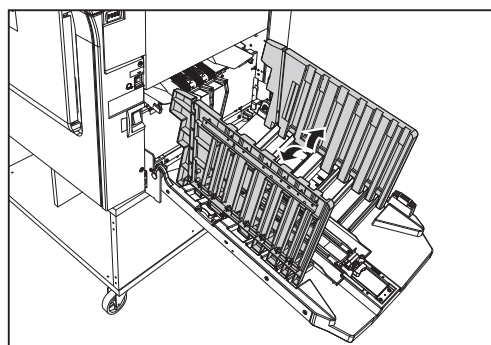
排紙台のセットのしかた

「排紙台」のセットのしかたについて説明します。

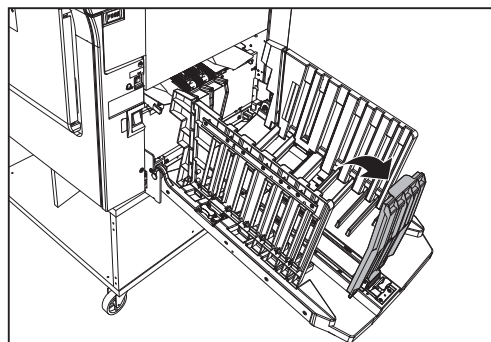
- 1 「排紙台」を開いてください。



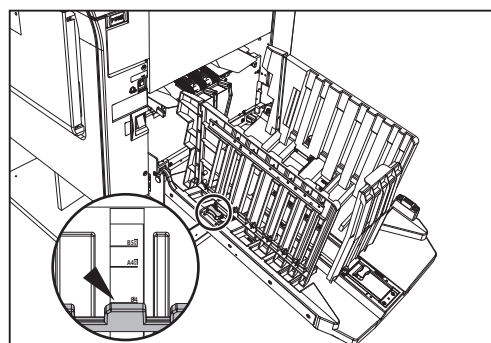
- 2 「サイドフェンス」を起こしてください。



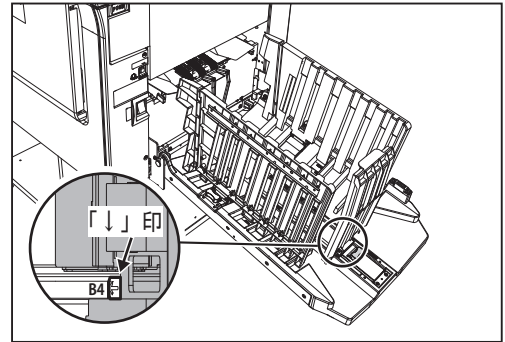
- 3 「ストッパー」を起こしてください。



- 4 「サイドフェンス」のツマミを持って、「サイドフェンス」を用紙サイズが目盛に合わせてください。

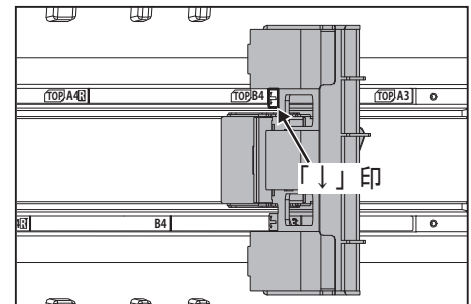


- 5 「ストッパー」のツマミを持って、「↓」を用紙サイズ
の目盛に合わせてください。



重要

CD87DP/CD67DP の場合
TOP SPEED でプリントする場合は、「↓」を「TOP」
目盛の用紙サイズに合わせてください。



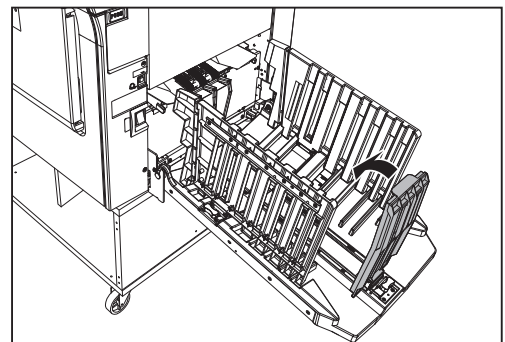
2

基本的な機能を使ってプリントする

排紙台の収納のしかた

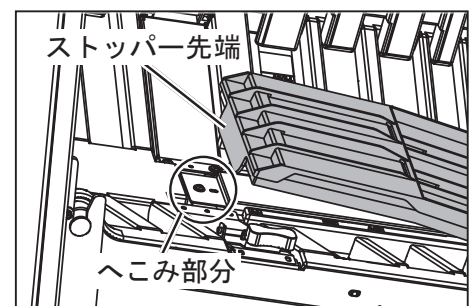
「排紙台」の収納のしかたについて説明します。

- 1 「ストッパー」を内側にたたんでください。



重要

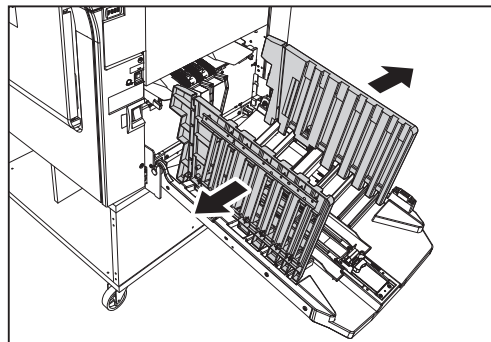
「ストッパー」の先端が排紙台のへこみ部分にく
るように「ストッパー」を移動してください。



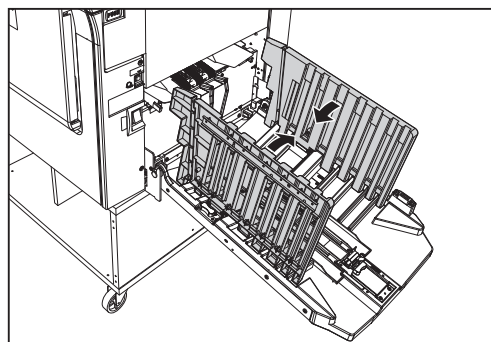
次ページへ続く...

プリント前の準備

- 2 「サイドフェンス」を外側にいっぱいまで移動してください。



- 3 「サイドフェンス」を内側にたたんでください。



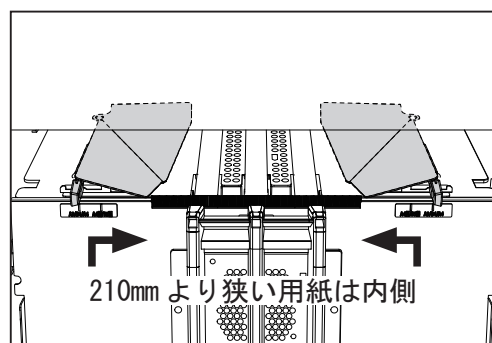
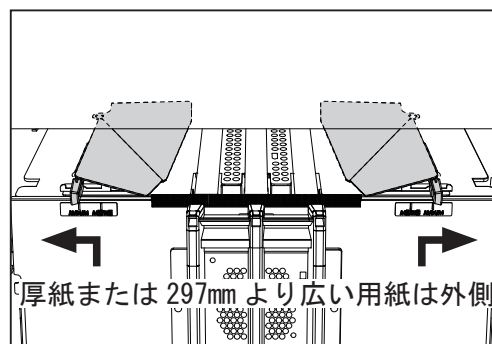
ジャンプ台のセットのしかた

「ジャンプ台」のセットのしかたについて説明します。

- 1 「ジャンプ台レバー」を持って、用紙サイズの位置に合わせてください。

参考

- 「ジャンプ台レバー」を A3/B4/A4 の位置から移動する場合は、「ジャンプ台レバー」を少し持ち上げて移動させてください。
- 非常に厚い紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を外側の位置にセットしてください。
- 用紙の幅が 297 mm より広い用紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を外側の位置にセットしてください。
- 用紙の幅が 210 mm より狭い用紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を内側の位置にセットしてください。



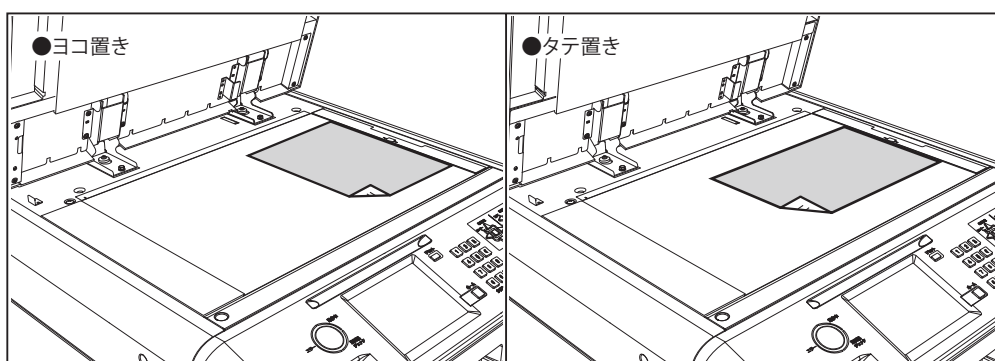
原稿のセットのしかた

原稿の置きかた

原稿の置きかたには、「ヨコ置き」と「タテ置き」の2通りがあります。

重要

- A4/B5/A5 サイズの原稿は、ヨコ置き、タテ置きの両方とも可能です。
- タテ置きは、A4 → A3 などの定型原稿から定型用紙への拡大 / 縮小のときにお使いください。
- A3/B4 サイズの原稿は、タテ置きのみ可能です。

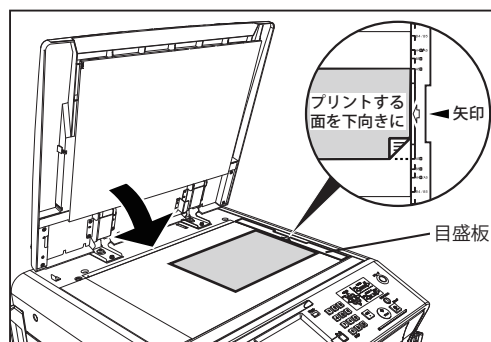


原稿台ガラスに原稿をセットする

- 1 「原稿押え板」を静かに開いてください。
- 2 原稿はプリントする面を下向きに、「目盛板」に合わせて置いてください。

参考

定型サイズ以外の原稿をセットするときは、原稿の中央を「目盛板」の「←」に合わせてください。

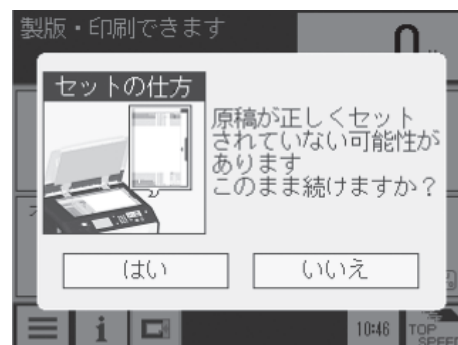


次ページへ続く…

3 「原稿押え板」を静かに閉じてください。

重要

- 「原稿台ガラス」に厚い本などをセットするときは、「原稿押え板」を強く押えないでください。「原稿台ガラス」が破損してけがをするおそれがあります。
- 原稿をセットする前に、必ず電源を入れてください。
- 「原稿セットミス検知」の設定が ON の場合、原稿が「目盛板」の中央からズレてセットされているとき、液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。原稿を再セットしてください。



自動原稿送り装置 (ADF)(オプション) に原稿をセットする

複数のシート状の原稿を続けて製版 / プリントする場合は、「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」に原稿をセットします。「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」に原稿をセットすると、原稿トレイの原稿がなくなるまで、製版とプリントを自動的に繰り返します。

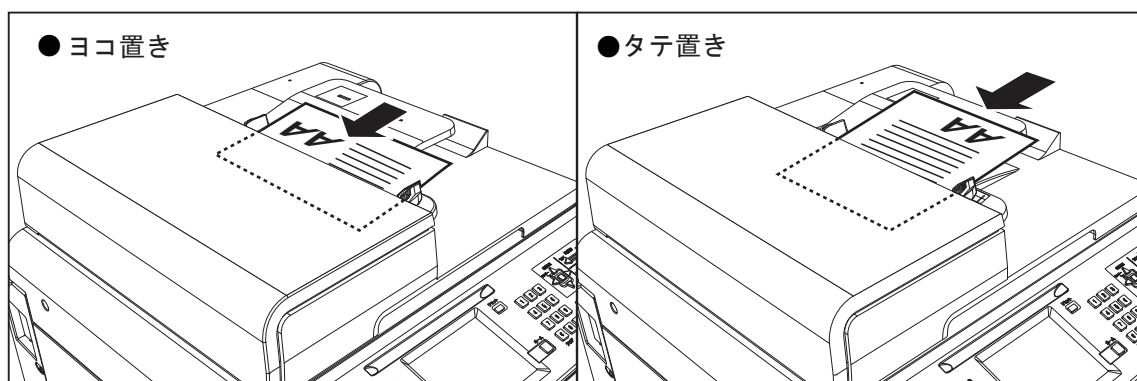
重要

- 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」に原稿をセットすると、自動的に自動原稿送りモードになり、「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」にセットした原稿を優先して製版します。
- 切り貼りされた原稿は使用できません。
(参考→ P. 11 “使用できる原稿／用紙について”)

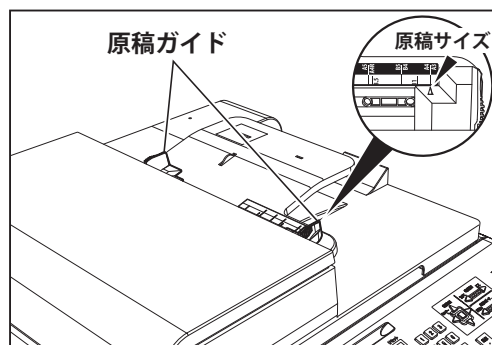
原稿の置きかたには「ヨコ置き」、「タテ置き」の 2 通りがあります。

重要

- 「A4/B5/A5 サイズ」の原稿は、ヨコ置き、タテ置きの両方とも可能です。
- タテ置きは、「A4 → A3」などの定型原稿から定型用紙への拡大 / 縮小のときにお使いください。
- 「A3/B4 サイズ」の原稿は、タテ置きのみ可能です。
- 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」では、ブック影消し機能は使用できません。



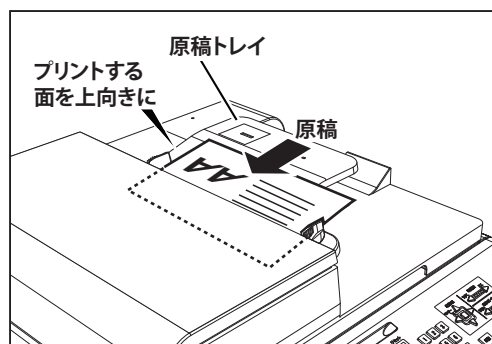
- 1 「原稿ガイド」を「原稿サイズ」に合わせてください。



- 2 原稿はプリントする面を上向にして、「原稿トレイ」にセットしてください。
セットした原稿は、一番上から順番に製版されます。

重要

製版やプリント中に、セットした原稿を抜き取ったり、追加したりしないでください。



基本的なプリントのしかた

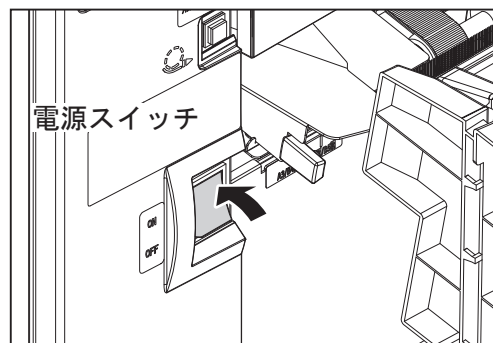
基本的な機能を使ってプリントする

- 1 電源スイッチを「ON」側に押してください。
(参考→P.9「電源の入れかた / 切りかた」)

参考

すでに電源が入っているときは、「リセットキー」を押してください。

前に使用された方の設定が残っているとき、「リセットキー」を押すことで「標準モード」に戻ります。



- 2 用紙をセットしてください。
(参考→P.14「用紙のセットのしかた」)
- 3 原稿をセットしてください。
(参考→P.21「原稿のセットのしかた」)
- 4 「排紙台」をセットしてください。
(参考→P.18「排紙台のセットのしかた」)
- 5 「ジャンプ台」をセットしてください。
(参考→P.20「ジャンプ台のセットのしかた」)
- 6 液晶（タッチパネル）が基本画面になっていることを確認してください。



- 7 各種機能の設定をしてください。

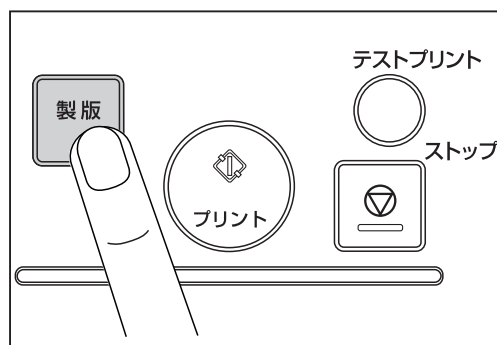
- 8 「製版キー」を押してください。
製版が終わると、自動的に1枚だけプリントされます。

重要

このプリントは、仕上がりを確認するための予備プリントです。実際の仕上がりプリントに比べインクが薄いことがあります。

参考

「製版キー」を押す前にプリント枚数が入力されていると、その枚数分プリントされます。

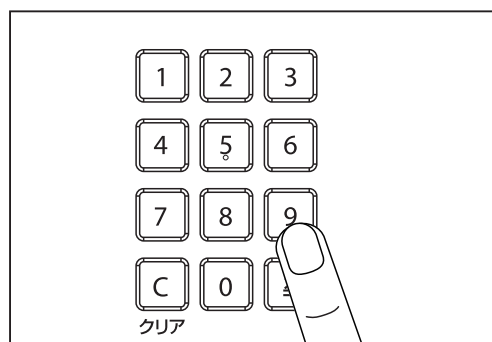


- 9 プリント位置、濃度など仕上がり具合を確認してください。

- 10 「テンキー」を押して、プリントする枚数を入力してください。

参考

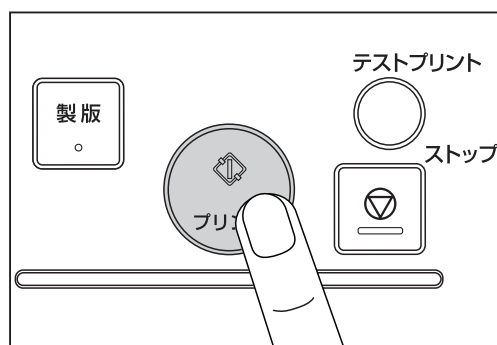
- プリント枚数は、9999枚まで設定できます。
- プリント枚数を変更するときは、「クリアキー」を押して入力し直してください。



- 11 「プリントキー」を押してください。
プリントされるごとに、液晶（タッチパネル）の枚数が減っていきます。
プリントされた用紙は、「排紙台」に排出されます。

参考

途中でプリントを止めたいときは、「ストップキー」を押してください。その状態からプリントを再開するときは、「プリントキー」を押してください。



- 12 複数の原稿をプリントする場合は、手順3～11を繰り返してください。

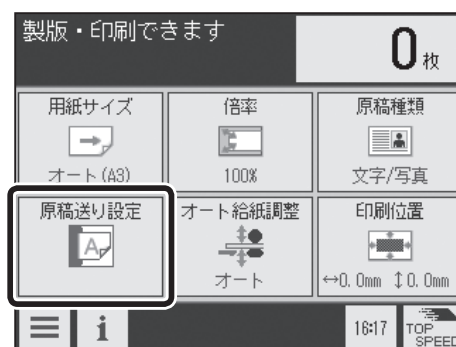
自動原稿送り装置（ADF）（オプション）を使ってプリントする

- 1 「基本的な機能を使ってプリントする」の手順1～5を実施してください。
(参考→P. 24「基本的な機能を使ってプリントする」)

- 2 液晶（タッチパネル）が基本画面になっていることを確認してください。

自動原稿送り装置（ADF）（オプション）が設置されている場合、基本画面に「原稿送り設定」が表示されます。

- 3 「原稿送り設定」をタッチしてください。



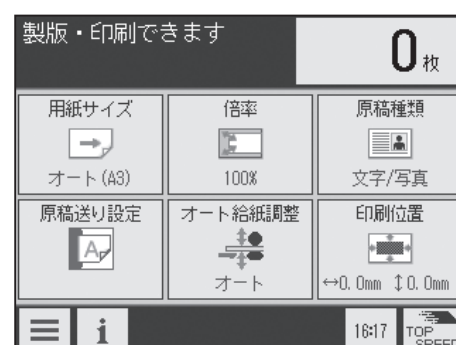
- 4 「原稿送り設定」の画面でセットした原稿に合わせて「原稿タイプ / 原稿セット方向 / 原稿開き方向 / 最終ページ」を選択、設定してください。

参考

- 「原稿セット方向」と「原稿開き方向」を正しく設定しないと、印刷イメージの上下が逆になる場合があります。
- 「原稿タイプ」の設定が「両面原稿」の時、「最終ページ」の設定を「片面」にすると、最後の原稿の裏面は製版しません。



- 5 基本画面に戻ります。



- 6 各種機能の設定をしてください。

- 7 「製版キー」を押してください。
製版が終わると、自動的に1枚だけプリントされます。

重要

このプリントは、仕上がりを確認するための予備プリントです。実際の仕上がりプリントに比べインクが薄いことがあります。

参考

「製版キー」を押す前にプリント枚数が入力されていると、その枚数分プリントされます。

- 8 プリント位置、濃度など仕上がり具合を確認してください。

- 9 「テンキー」を押して、プリントする枚数を入力してください。

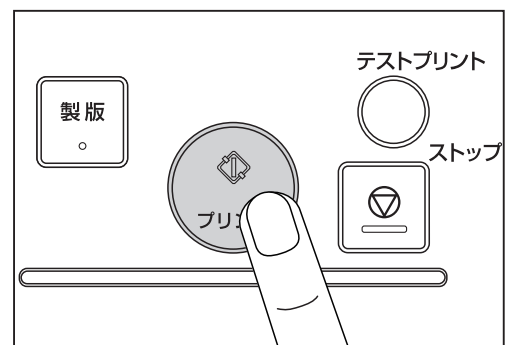
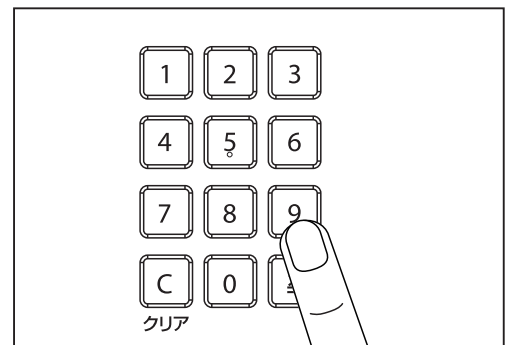
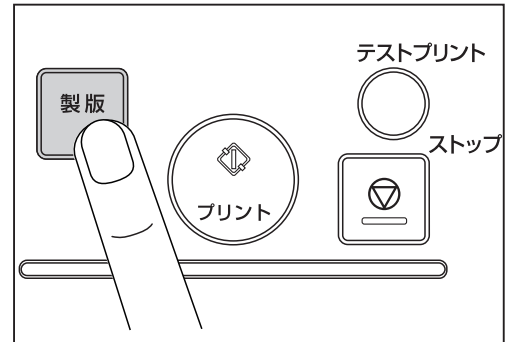
参考

- プリント枚数は、9999枚まで設定できます。
- プリント枚数を変更するときは、「クリアキー」を押して入力し直してください。

- 10 「プリントキー」を押してください。
プリントされるごとに、液晶（タッチパネル）の枚数が減っていきます。
プリントされた用紙は、「排紙台」に排出されます。

参考

- 設定したプリント枚数のプリントが終わると、続けて次の製版が始まります。
- 途中でプリントを止めたいときは、「ストップキー」を押してください。その状態からプリントを再開するときは、「プリントキー」を押してください。



拡大／縮小する

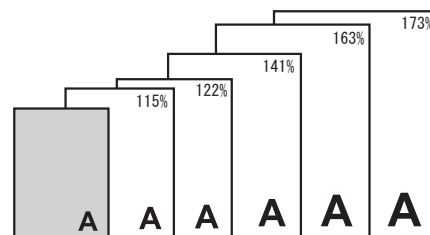
定型原稿から定型用紙へ拡大／縮小する

定型原稿から、定型用紙に拡大／縮小できる倍率は、次のとおりです。

● 拡大する

定型サイズ of 原稿を定型サイズ of 用紙へ拡大してプリントします。

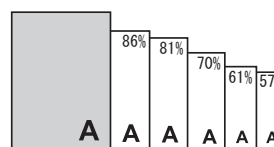
- 173% A5R → B4 (CD54DP)
- 163% B5R → A3 (CD87DP/CD67DP/CD57DP)
- 141% A4R → A3/B5R → B4/A5R → A4R/A5 → A4
- 122% A4R → B4/A5R → B5R/A5 → B5
- 115% B4 → A3/B5R → A4R/B5 → A4



● 縮小する

定型サイズ of 原稿を定型サイズ of 用紙へ縮小してプリントします。

- 86% A3 → B4 / A4R → B5R/A4 → B5
- 81% B4 → A4R/B5R → A5R/B5 → A5
- 70% A3 → A4R/B4 → B5R / A4R → A5R/A4 → A5
- 61% A3 → B5R (CD87DP/CD67DP/CD57DP)
- 57% B4 → A5R (CD54DP)



- 1 「倍率」をタッチしてください。
倍率の一覧が表示されます。



- 2 設定したい倍率をタッチしてください。
倍率が設定され、基本画面に戻ります。

参考

● 100%に戻したい場合

- ・「倍率」をタッチして 100% をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
- この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

倍率	
100%	オートズーム
163% B5R→A3	141% A4R→A3 B5R→B4
122% A4R→B4 A5R→B5R	115% B4→A3 B5R→A4R
86% A3→B4 A4R→B5R	81% B4→A4R B5R→A5R
70% A3→A4R B4→B5R	61% A3→B5R

※ CD57DP/CD54DP には、オートズーム機能は付いていません。

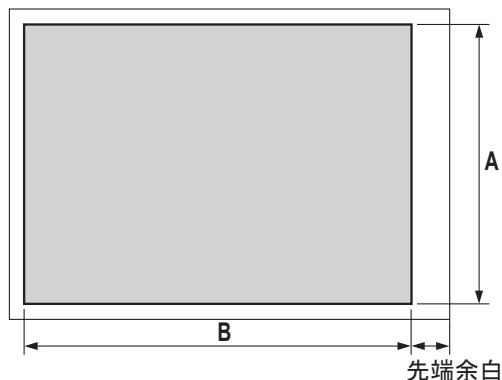
用紙サイズの選び方

用紙サイズの設定による製版範囲について

画像を読み取り、製版できる範囲は図のとおりです。

先端から約 7 mm はプリントできません。これを先端余白といいます。

用紙選択	製版範囲	
	A (± 1%)	B (± 1%)
A3	290 mm	411 mm
A4R	206 mm	288 mm
A4	290 mm	201 mm
B4	253 mm	355 mm
A5R	144 mm	201 mm
A5	206 mm	139 mm
B5R	178 mm	248 mm
B5	253 mm	173 mm



重要

- 原稿サイズ OFF 設定の印刷範囲になります。
- 用紙サイズの設定は、製版する前に設定してください。
- 用紙サイズを設定せずに、小さいサイズの下紙にプリントすると、機械内部やプリントが汚れることがあります。
- 違うサイズの下紙を、設定したまま多面印刷すると、正しくレイアウトされません。

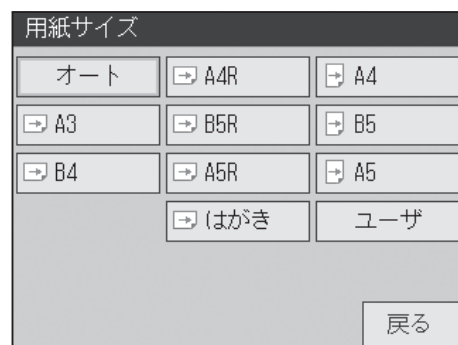
用紙サイズの設定のしかた

- 1 「用紙サイズ」をタッチしてください。
用紙サイズの一覧が表示されます。



- 2 設定したい用紙サイズをタッチしてください。
用紙サイズが設定され、基本画面に戻ります。

※ CD57DP/CD54DP には、オート機能は付いていません。



2

基本的な機能を使ってプリントする

用紙サイズのユーザ設定のしかた

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「用紙サイズ」をタッチしてください。



3 「ユーザ」をタッチしてください。



4 10ヶ所に保存できます。保存する場所をタッチしてください。



5 「A」、「B」の寸法を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は、「テンキー」からも入力できます。

参考

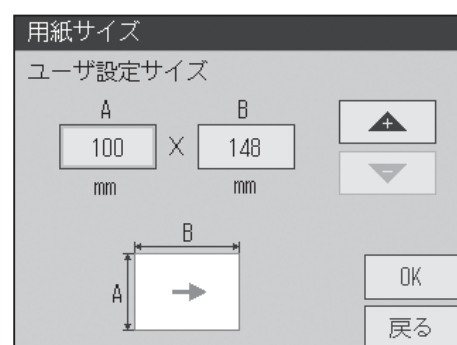
●ユーザ設定サイズの最小、最大は以下の通りです。

最小：100mm × 148mm

最大：320mm × 450mm

（ロングペーパー機能使用時、320mm × 540mm）

注意：ロングペーパー機能 ON 時には 450mm 以上の入力ができますが、機能 OFF の場合は最大 450mm に自動で切り替わります。



6 「OK」をタッチしてください。

印刷スピードの調整

印刷スピードの調整について

印刷スピードは、1 速～5 速(45 枚 / 分～ 155 枚 / 分)までの 5 段階の調整と、TOP SPEED(200 枚 / 分)の調整ができます。電源を入れたときの設定は、標準スピードで 3 速(約 100 枚 / 分)です。ただし、初期設定で印刷スピードを変更しているときは、設定している印刷スピードになります。

参考

- CD57DP/CD54DP の印刷スピードは、1 速～5 速(45 枚 / 分～ 135 枚 / 分)までの 5 段階の調整と、TOP SPEED(155 枚 / 分)の調整になります。
- 用紙の種類や、プリントする画像によっては、高速あるいは低速時に紙づまりが発生したり、紙ぞろいが悪くなることがあります。印刷スピードを「おそい」または、「はやい」に変更して、快適にプリントできるスピードに調整します。
- プリント中でも、印刷スピードを変えることができます。(TOP SPEED には変更できません。)
- ロングペーパー機能使用時は、すべての速度が 2 回転で 1 回の搬送となるために印刷速度は各速度の半分となります。

2

基本的な機能を使ってプリントする

印刷スピードの調整のしかた

- 1 「印刷スピード調整キー」を押し、スピードを調整してください。

「はやい」を押すと、印刷スピードが速くなります。

「おそい」を押すと、印刷スピードが遅くなります。



参考

- 3 速(約 100 枚 / 分)(標準)に戻したい場合は、以下の 2 通りの方法があります。
 1. 「印刷スピード調整キー」を押し、「印刷スピード表示ランプ」を中央(3 速の位置)に移動させてください。
 2. 「ストップキー」を押した後、「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷スピードに戻ります。

TOP SPEED の設定のしかた

● CD87DP/CD67DP の場合

1 「TOP SPEED」をタッチしてください。



2 右図注意が表示されます。
「排紙台」のストッパーを使用する用紙サイズの「TOP」目盛の位置に合わせて、「OK」をタッチしてください。
(参考→ P. 18 「排紙台のセットのしかた」)



重要

● TOP SPEED 使用時の制限事項

- ・印刷可能長は、432mm 以下となります。
- ・封筒・ハガキは、印刷できません。
- ・「ストッパー」を「TOP」目盛の用紙サイズに合わせる必要があります。
(参考→ P. 18 「排紙台のセットのしかた」)
- ・B4 より長い用紙を印刷する場合、テープクラスタ（オプション）は使用できません。
- ・排紙容量は、1,000 枚（64g/m² [55kg]：一般上質紙）となります。

● TOP SPEED 印刷時の注意事項

- ・紙受け性能が損なわれる場合があります。
- ・印刷位置性能が若干損なわれる場合があります。
- ・用紙によっては、しわや紙づまりが発生する場合があります。
- ・印刷濃度が「オート」に切り替わります。
- ・紙受け性能が損なわれた場合は TOP SPEED を下げてください。

参考

- 3 速（約 100 枚 / 分）（標準）に戻したい場合
 - ・「印刷スピード調整キー」を押し、「印刷スピード表示ランプ」を中央（3 速の位置）に移動させてください。
 - ・「ストップキー」を押した後、「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。
ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷スピードに戻ります。

- 3 TOP SPEED が有効になると、「印刷スピード表示ランプ」が 5 速の位置で点滅します。

TOP SPEED を OFF にすると、右図注意が表示されます。
「排紙台」の「ストッパー」を使用する用紙サイズの
目盛の位置に合わせて、「OK」をタッチしてください。
（参考→ P. 18 「排紙台のセットのしかた」）



2

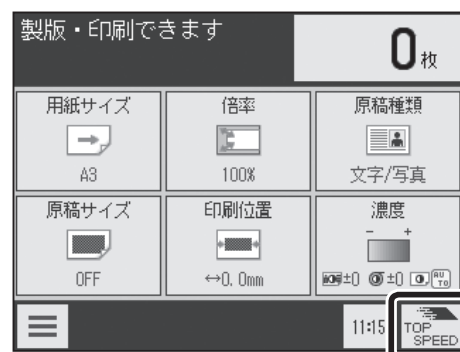
基本的な機能を使ってプリントする

● CD57DP/CD54DP の場合

- 1 「TOP SPEED」をタッチしてください。

重要

- TOP SPEED 使用時の注意事項
紙受け性能が損なわれる場合があります。
印刷位置性能が若干損なわれる場合があります。
使用用紙によっては、しわが発生する場合があります。
紙受け性能が損なわれた場合は TOP SPEED を
下げてください。



参考

- 3 速（約 100 枚 / 分）（標準）に戻したい場合
 - ・「印刷スピード調整キー」を何回か押し、「印刷スピード表示ランプ」を中央に移動させてください。
 - ・「ストップキー」を押した後、「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。
ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷スピードに戻ります。

- 2 TOP SPEED が有効になると、「印刷スピード表示ランプ」が 5 速の位置で点滅します。

MEMO

[illegible]

第 3 章

便利な機能を使ってプリントする

この章では、便利な機能を使ってプリントする方法について説明します。

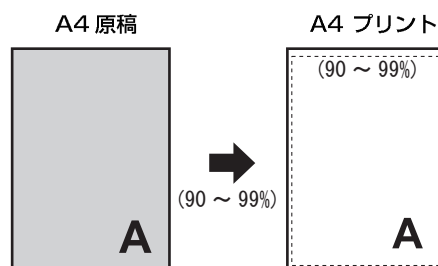
.....	
拡大 / 縮小する	36
拡大 / 縮小について	36
すこし小さめにプリントする	37
オートズーム	39
任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム)	41
天地 (上下) / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する (独立変倍)	43
濃度調整のしかた	45
濃度調整について	45
読取濃度の調整について	45
読取濃度の調整のしかた	45
製版濃度の調整について	46
製版濃度の調整のしかた	46
印刷濃度の調整について	47
印刷濃度の調整のしかた	47
写真やカラー原稿をプリントする	49
原稿種類について	49
原稿種類の設定のしかた	49
印刷位置を調整する	51
印刷位置調整について	51
オート給紙調整	53
オート給紙調整について	53
給紙調整のしかた	53
.....	

拡大 / 縮小する

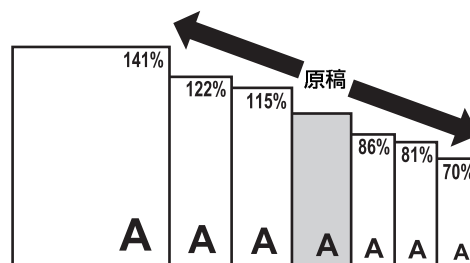
拡大 / 縮小について

お好みの大きさに拡大 / 縮小してプリントできます。

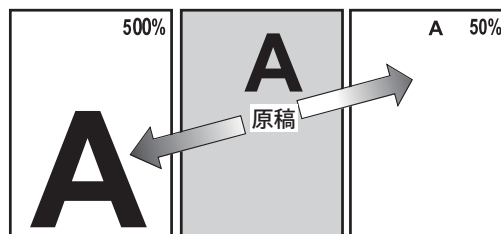
- すこし小さめにプリントする → P. 37
原稿をわずかに縮小 (90 ~ 99%) してプリントします。



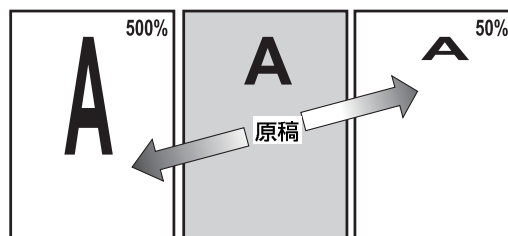
- オートズーム → P. 39
原稿のサイズと用紙のサイズから、倍率を自動設定します。
※ CD57DP/CD54DP には、オートズーム機能は付いていません。



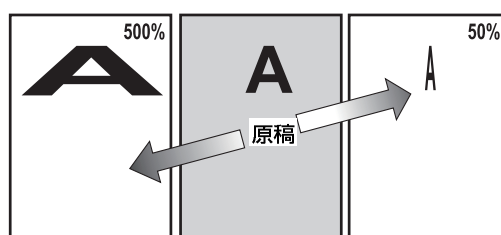
- 任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム) → P. 41
1% きざみに任意の倍率 (50 ~ 500%) に拡大 / 縮小してプリントします。



天地 (上下) 方向の場合



左右方向の場合



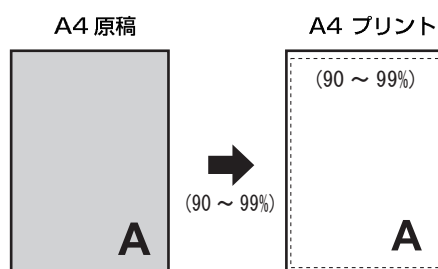
- 天地 (上下) / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する (独立変倍) → P. 43
天地 (上下) / 左右それぞれ 1% きざみに任意の倍率 (50 ~ 500%) に拡大 / 縮小してプリントします。

すこし小さめにプリントする

90 ~ 99% の倍率に原稿をわずかに縮小してプリントします。
印刷物にとじ代をつけたいときや、製版エリア外に文字や図
がある原稿をプリントするときに使用します。

重要

「すこし小さめにプリントする」は、製版する前に設定し
てください。

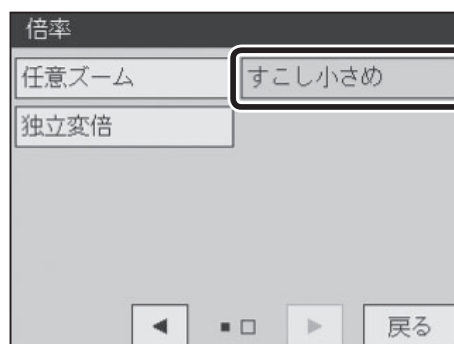
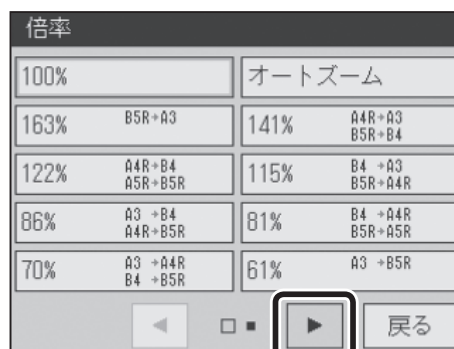
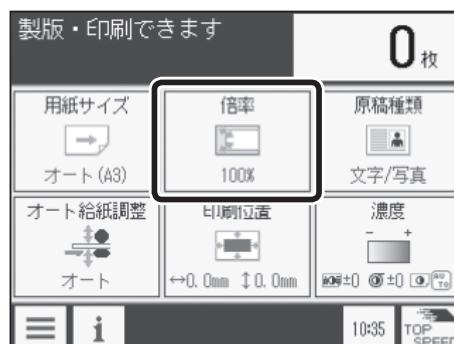


1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを
確認してください。

2 「倍率」をタッチしてください。
倍率の一覧が表示されます。

3 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

4 「すこし小さめ」をタッチしてください。



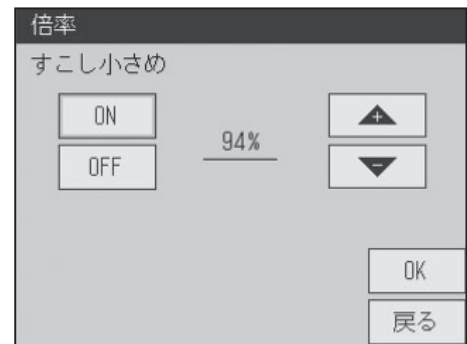
3

便利な機能を使ってプリントする

拡大 / 縮小する

- 5 「ON」をタッチし、90～99%から倍率を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は、「テンキー」からも入力できます。

- 6 「OK」をタッチしてください。
倍率が設定され、基本画面に戻ります。



参考

- 100%に戻したい場合
 - ・再度「すこし小さめ」をタッチして「OFF」をタッチし「OK」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

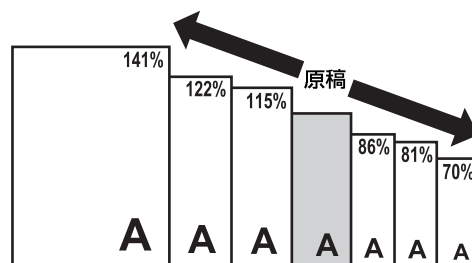
オートズーム

重要

※ CD57DP/CD54DP には、オートズーム機能は付いていません。

原稿と用紙を置くだけで、用紙に最適な原稿倍率に自動変更し、製版・プリントします。
オートズームの倍率は、あらかじめ決められた倍率（50% ～ 500%）から自動的に設定します。

200%	A5R → A3
173%	A5R → B4
163%	B5R → A3
141%	A4R → A3 / B5R → B4 / A5R → A4R / A5 → A4
122%	A4R → B4 / A5R → B5R / A5 → B5
115%	B4 → A3 / B5R → A4R / B5 → A4
86%	A3 → B4 / A4R → B5R / A4 → B5
81%	B4 → A4R / B5R → A5R / B5 → A5
70%	A3 → A4R / B4 → B5R / A4R → A5R / A4 → A5
61%	A3 → B5R
57%	B4 → A5R
50%	A3 → A5R

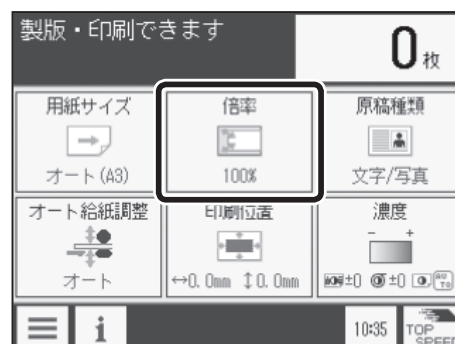


重要

- オートズームの設定は、製版する前に設定してください。
- オートズームを設定しているときは、原稿サイズ設定を OFF にすることはできません。
- CD57DP/CD54DP をお使いの方は、使用する用紙のサイズと原稿のサイズを必ず設定してください。間違った用紙サイズ、もしくは原稿サイズを設定していると、正しい倍率が得られません。

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

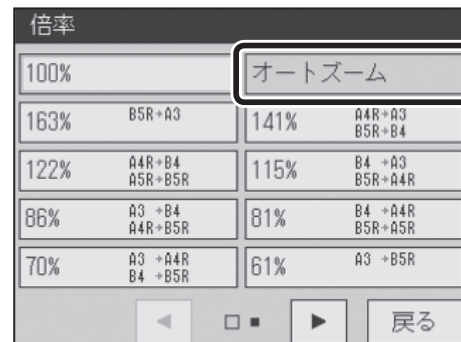
2 「倍率」をタッチしてください。
倍率の一覧が表示されます。



次ページへ続く...

拡大 / 縮小する

- 「オートズーム」をタッチしてください。
- 「オートズーム」が設定され、基本画面に戻ります。



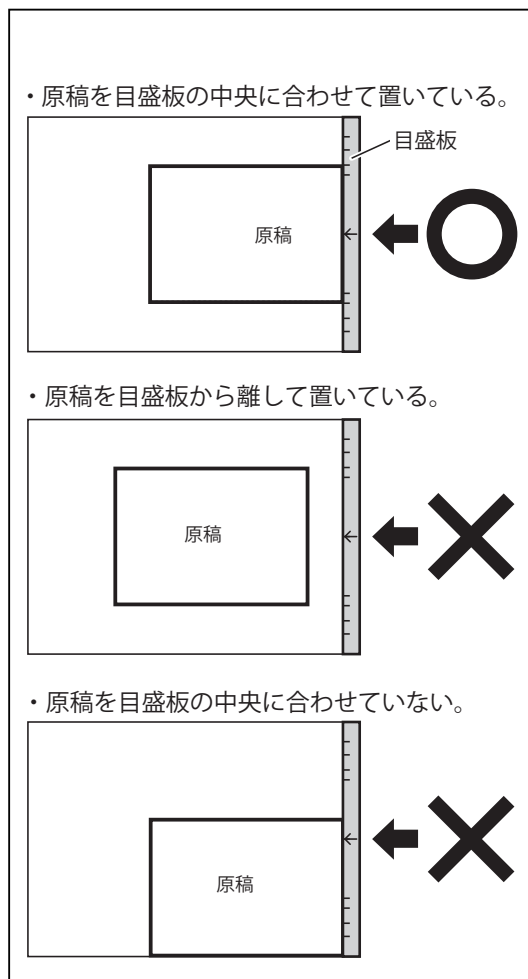
- 用紙をセットしてください。
(参考→P. 14「用紙のセットのしかた」)

重要

- CD57DP/CD54DP でオートズーム機能のない機種をお使いの方は
 - ・使用する印刷用紙のサイズと原稿のサイズを、必ず設定してください。
間違った用紙サイズ、もしくは原稿サイズを設定していると、正しい倍率が得られません。
 - ・原稿を図の「x」のように置くと、正しい倍率にならない場合があります。

参考

- 100%に戻したい場合
 - ・「倍率」をタッチして「100%」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



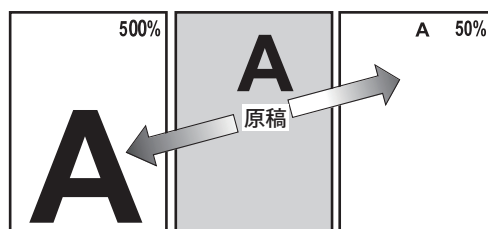
- 製版・プリントをしてください。

任意に拡大 / 縮小する（任意ズーム）

倍率を 50 ～ 500% まで、1% きざみで任意に設定できます。

重要

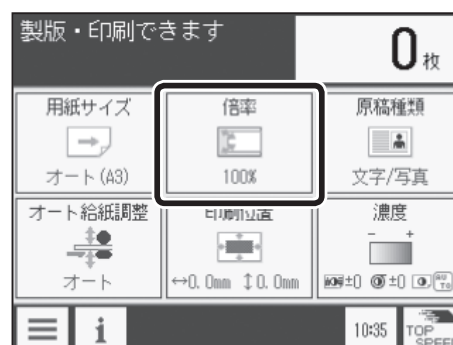
任意ズームは、製版する前に設定してください。



1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

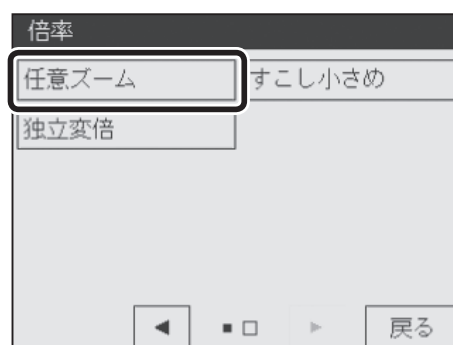
2 「倍率」をタッチしてください。
倍率の一覧が表示されます。

3 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



倍率	
100%	オートズーム
163% B5R→A3	141% A4R→A3 B5R→B4
122% A4R→B4 A5R→B5R	115% B4→A3 B5R→A4R
86% A3→B4 A4R→B5R	81% B4→A4R B5R→A5R
70% A3→A4R B4→B5R	61% A3→B5R

4 「任意ズーム」をタッチしてください。



3

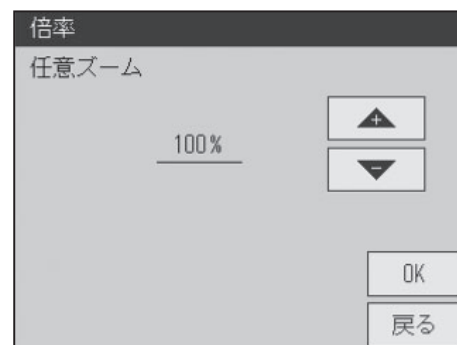
便利な機能を使ってプリントする

次ページへ続く…

拡大 / 縮小する

- 5 50 ~ 500% から倍率を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は、「テンキー」からも入力できます。

- 6 「OK」をタッチしてください。
倍率が設定され、基本画面に戻ります。



重要

大きな倍率で製版すると、文字や線がギザギザになることがあります。

参考

- 100% に戻したい場合
 - ・「倍率」をタッチして「100%」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

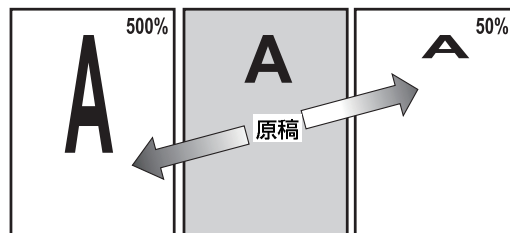
天地（上下） / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する（独立変倍）

天地（上下）、左右それぞれの倍率を、50～500%まで1%きざみで任意に設定できます。

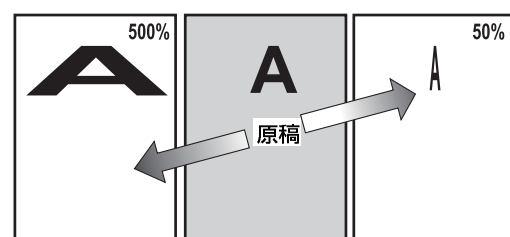
重要

独立変倍は、製版する前に設定してください。

天地（上下）方向の場合



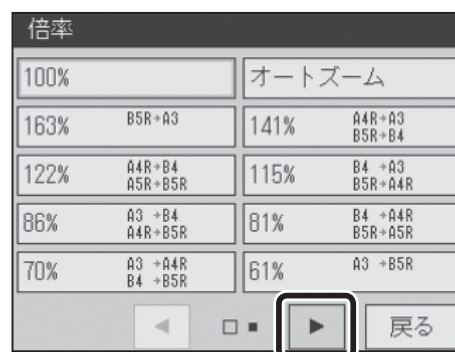
左右方向の場合



1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「倍率」をタッチしてください。
倍率の一覧が表示されます。

3 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

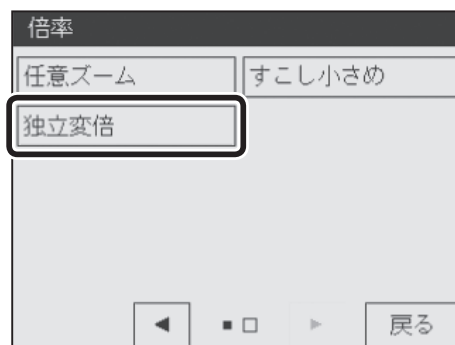


3

便利な機能を使ってプリントする

次ページへ続く…

4 「独立変倍」をタッチしてください。



5 50 ~ 500% から A (左右)、B (天地 (上下)) の倍率を設定してください。

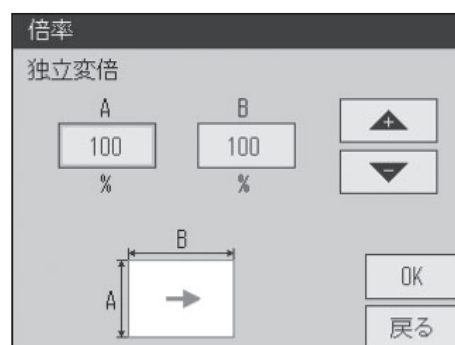
「A」を選択し、「+」「-」で数値を設定してください。

「B」も同じ手順で数値を設定してください。

「+」をタッチすると、数値が大きくなります。

「-」をタッチすると、数値が小さくなります。

数値は、「テンキー」からも入力できます。



6 「OK」をタッチしてください。

倍率が設定され、基本画面に戻ります。

重要

大きな倍率で製版すると、文字や線がギザギザになることがあります。

参考

● 100% に戻したい場合

- ・「倍率」をタッチして「100%」をタッチしてください。
- ・「リセットキー」を押してください。

この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

濃度調整のしかた

濃度調整について

製版したあと、プリントが薄いときは印刷濃度を調整します。印刷濃度を調整しても対処できなかったときは、製版濃度を調整し、製版をやり直してください。

重要

- 印刷濃度を変更したときは、そのままプリントできます。
- 製版濃度を変更したときは、製版をやり直してください。
- 読取濃度を変更したときは、製版をやり直してください。

読取濃度の調整について

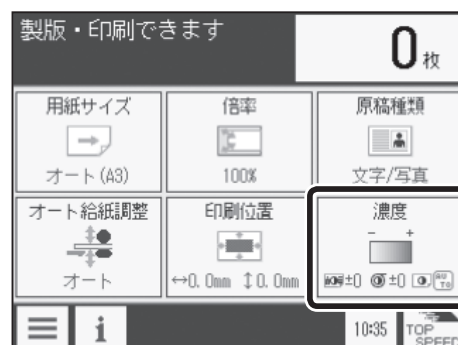
スキャナー読取りの濃さを、5段階で調整できます。
原稿の細線などがプリントされないときは、調整してください。
原稿の色が薄いときは、「こく」に調整します。
原稿の色が濃いときは、「うすく」に調整します。

重要

- 読取濃度は、製版する前に設定してください。
- 読取濃度を調整しても、細線がプリントされない場合があります。

読取濃度の調整のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「濃度」をタッチしてください。



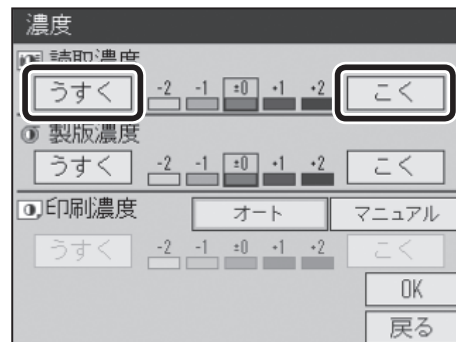
次ページへ続く…

濃度調整のしかた

- 3 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチしてください。
原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチしてください。
- 4 「OK」をタッチしてください。
手順 3 で調整した濃度が設定されます。

参考

- 標準に戻したい場合
 - ・再度「濃度」をタッチして「±0」に調整して「OK」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



製版濃度の調整について

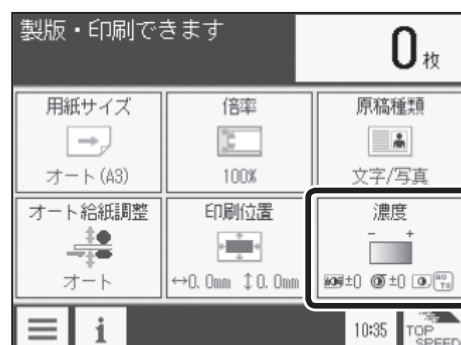
製版の濃さを 5 段階で調整できます。
原稿の色が薄いときは、「こく」に調整します。
原稿の色が濃いときは、「うすく」に調整します。

重要

製版濃度は、製版する前に設定してください。

製版濃度の調整のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「濃度」をタッチしてください。

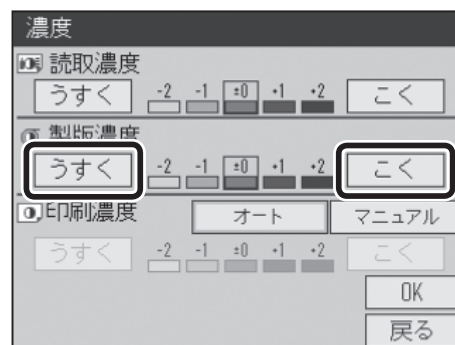


- 3 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチしてください。
原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチしてください。

- 4 「OK」をタッチしてください。
手順3で調整した濃度が設定されます。

参考

- 標準に戻したい場合
 - ・再度「濃度」をタッチして「±0」に調整して「OK」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



印刷濃度の調整について

プリントの濃さを5段階で調整できます。

濃く（インクの転写量を多く）したいときは、「こく」に調整します。

薄く（インクの転写量を少なく）したいときは、「うすく」に調整します。

印刷濃度の調整のしかた

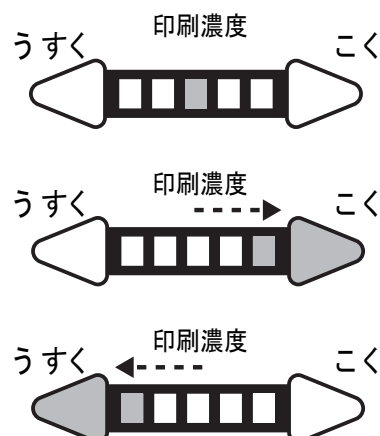
2通りの調整方法があります。

- 操作パネルの「印刷濃度調整キー」から調整する場合

- 1 「印刷濃度調整キー」を押し、印刷濃度を調整してください。

「こく」を押すと、濃度が濃くなります。

「うすく」を押すと、濃度が薄くなります。



参考

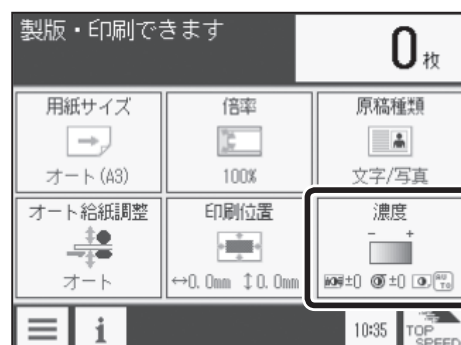
- 標準に戻したい場合
 - ・「印刷濃度調整キー」を何回か押し、「印刷濃度表示ランプ」を中央に移動させてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。
ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷濃度に戻ります。

濃度調整のしかた

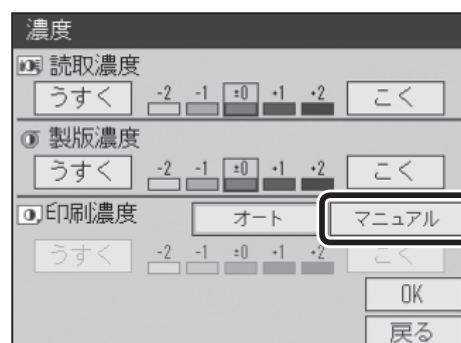
● 液晶（タッチパネル）から調整する場合

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「濃度」をタッチしてください。



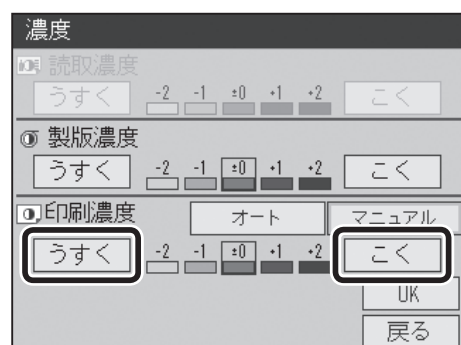
3 「マニュアル」をタッチしてください。



4 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチしてください。原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチしてください。オートを設定しておくと、印刷スピードに合わせて自動的に印刷濃度を調整します。

重要

- オートに設定していても、印刷濃度調整キーで印刷濃度を変更すると、マニュアル設定に切り替わります。



5 「OK」をタッチしてください。
手順4で調整した濃度が設定されます。

参考

- 標準に戻したい場合
 - ・ 再度「濃度」をタッチして「±0」に調整し「OK」をタッチしてください。
 - ・ 「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

写真やカラー原稿をプリントする

原稿種類について

本機には、文字原稿や写真原稿をきれいにプリントするために、8つのモードがあります。

文字	文字原稿をきれいにプリントします。
文字多め / 写真少なめ	文字と写真が混在した原稿をきれいにプリントします。 特に文字が多く、写真が少ない原稿をプリントするのに適しています。
写真多め / 文字少なめ	文字と写真が混在した原稿をきれいにプリントします。 特に写真が多く、文字が少ない原稿をプリントするのに適しています。
写真	写真の微妙な濃淡やカラー原稿の画像をきれいにプリントします。
イラスト	図、挿絵等が多い原稿の画像をきれいにプリントします。
えんぴつ	鉛筆などで書かれた薄い原稿をきれいにプリントします。
網点処理（標準）	網点処理されていない写真原稿などに網点をかけます。 写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。
網点処理（細かい）	網点処理されていない写真原稿などに細かい網点をかけます。 写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。

重要

これらの設定は、製版する前にしてください。

原稿種類の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「原稿種類」をタッチしてください。
原稿種類の一覧が表示されます。



3

便利な機能を使ってプリントする

次ページへ続く...

写真やカラー原稿をプリントする

- 3 「文字、文字多め / 写真少なめ、写真多め / 文字少なめ、写真、イラスト、えんぴつ、網点処理（標準）、網点処理（細かい）」のいずれかをタッチしてください。
原稿種類が設定され、基本画面に戻ります。

参考

「えんぴつ、網点処理（標準）、網点処理（細かい）」に設定する場合は、画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

原稿種類

☐ 文字

☐ 文字多め/写真少なめ

☐ 写真多め/文字少なめ

☐ 写真

☐ イラスト

◀ ◻ ▶ 戻る

原稿種類

☒ えんぴつ

☐ 網点処理(標準)

☐ 網点処理(細かい)

◀ ◻ ▶ 戻る

印刷位置を調整する

印刷位置調整について

製版が終わった後、プリントする画像の位置、「天地（上下）方向↕ 15mm、左右方向↔ 10mm」を、微調整できます。

CD87DP/CD67DP は、印刷位置調整を「印刷位置調整キー」で調整します。

CD57DP/CD54DP は、印刷位置調整「天地（上下）方向」のみ「印刷位置調整キー」で調整します。

（参考→ P. 52 「● CD57DP/CD54DP で印刷位置（左右）を調整する」）

重要

- 通常プリント中は、調整できません。「ストップキー」を押して、動作を止めてから位置調整をしてください。
- プリント中の印刷位置調整を「する」に設定しているときは、プリント中でも調整できますが、「天地（上下）方向↕ 30 段階、左右方向↔ 20 段階」の調整範囲になります。
（参考→ P. 175 「環境機能 プリント中の印刷位置調整」）
- 短冊用紙を「ON」に設定しているときは、印刷位置は↕ 0.0 mmの位置で使用してください。
（参考→ P. 127 「特殊機能 短冊用紙」）

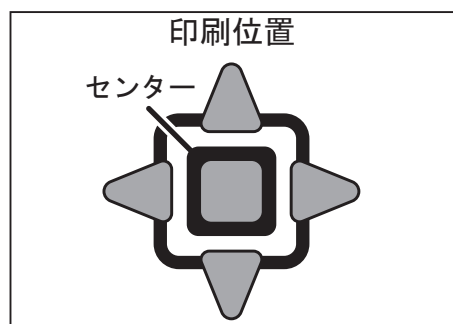
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。



- 2 「印刷位置調整キー」を押してください。

参考

液晶（タッチパネル）の「印刷位置」をタッチしても、印刷位置調整画面が表示されます。



3

便利な機能を使ってプリントする

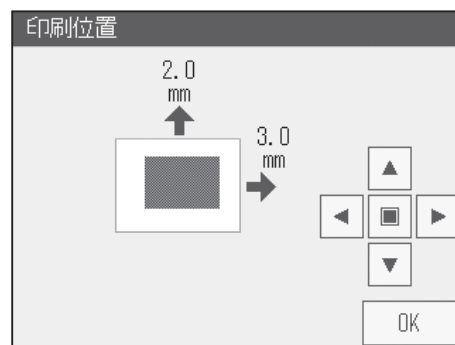
次ページへ続く…

印刷位置を調整する

- 3 印刷位置調整画面が表示されます。
1 回押すごとに、0.5mm ずつ移動します。

参考

- 画面上にも調整キーが表示されます。
タッチすれば、「印刷位置調整キー」と同様に調整が可能です。
約 5 秒間キーをタッチしなければ、設定され基本画面に戻ります。
- 標準に戻したい場合
 - ・「印刷位置調整キー」の「センター」を押してください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



● CD57DP/CD54DP で印刷位置 (左右) を調整する

「給紙トレイ」右側にある、「給紙横微動ダイヤル」を回してください。

- CD87DP/CD67DP は、左右方向の印刷位置調整を「印刷位置調整キー」でします。

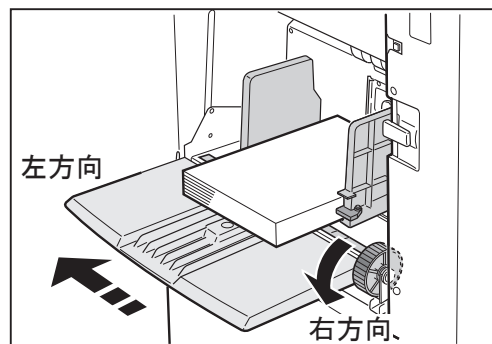
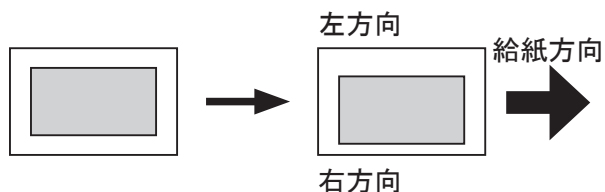
重要

- 目盛を見ながら、センターからどのくらい移動したかを確認してください。
- 印刷位置を調整したときは、プリント終了後に必ずセンターに戻してください。

ダイヤルを手前に回すと、給紙トレイが左へ移動します。

参考

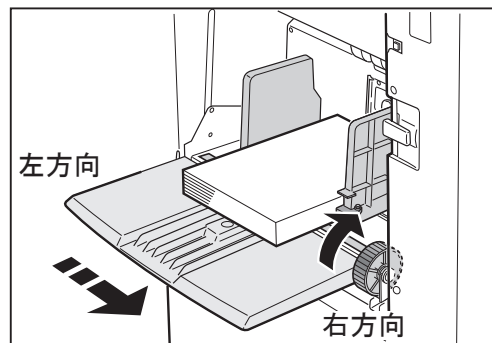
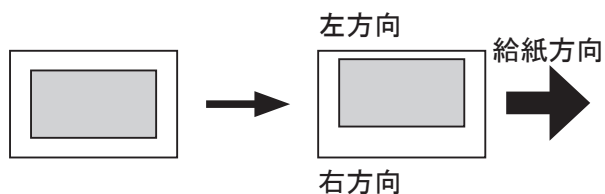
- 印刷位置が用紙の右方向に移動します。



ダイヤルを奥に回すと給紙トレイが右へ移動します。

参考

- 印刷位置が用紙の左方向に移動します。



オート給紙調整

オート給紙調整について

プリントする用紙サイズとプリント時の給紙タイミングを監視し、サバキ圧、補助サバキ高さ、給紙圧を常に最適な状態にします。

使用する用紙によっては、オート給紙調整を「オート」にしても、空送りや2枚送りが発生する場合があります。その場合は、オート給紙調整を「マニュアル」にしてサバキ圧、補助サバキ高さ、給紙圧を個別に調整できます。

重要

オート給紙調整は CD87DP/CD67DP のみの機能です。CD57DP/CD54DP は「サバキ圧調整つまみ」、「補助サバキ高さ調整つまみ」、「給紙圧レバー」で調整します。

参考

A4 未満の厚紙で空送りが発生した際は、印刷スピードを遅くすることで改善する場合があります。

給紙調整のしかた

●オートの場合

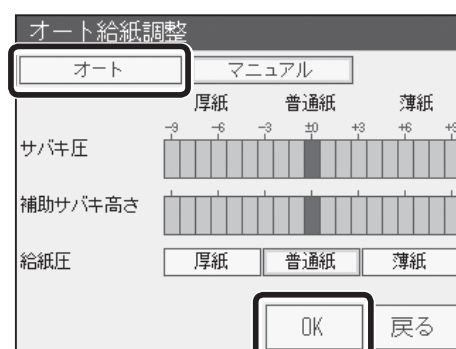
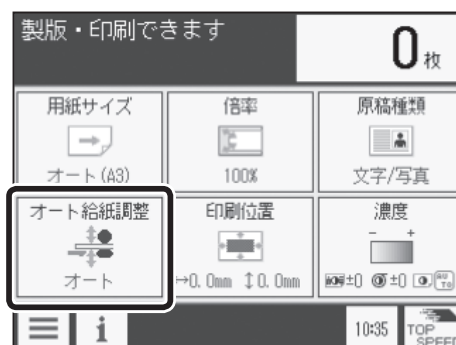
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「オート給紙調整」をタッチしてください。
オート給紙調整の画面が表示されます。

- 3 「オート」をタッチしてください。

参考

機械側で判断しますのでタッチパネルのアイコンはマスクされます。

- 4 「OK」をタッチしてください。
基本画面に戻ります。



オート給紙調整

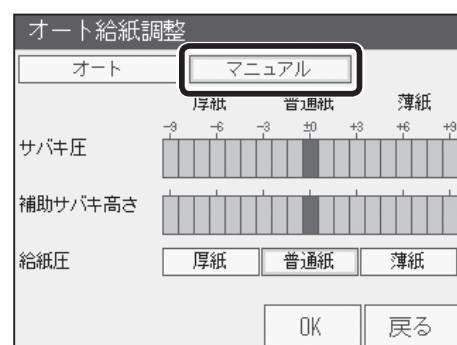
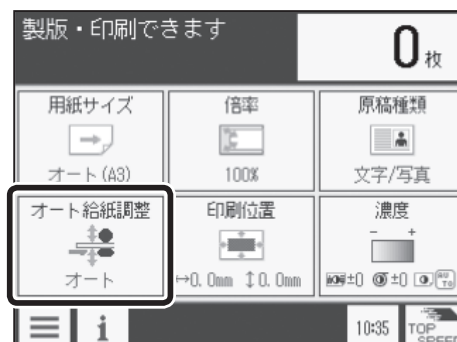
●マニュアルの場合

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「オート給紙調整」をタッチしてください。
オート給紙調整の画面が表示されます。
- 3 「マニュアル」をタッチしてください。
- 4 「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」、「給紙圧」を調整します。
(参考→ P. 15 「空送り、2 枚送りが発生する場合」)

参考

「マニュアル」の場合のみ、プリント中に「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」、「給紙圧」が調整できます。

- 5 「OK」をタッチしてください。
基本画面に戻ります。



第4章 その他の機能

この章では、いろいろな機能を説明します。

編集機能	プレビュー	56
編集機能	多面印刷	60
編集機能	ブック影消し	73
編集機能	90° 回転	78
編集機能	180° 回転	80
編集機能	原稿編集	82
編集機能	再製版機能	103
編集機能	原稿サイズ	105
特殊機能	メモリ機能設定	108
特殊機能	用紙の種類	121
特殊機能	重送検知	123
特殊機能	製版開始位置設定	125
特殊機能	短冊用紙	127
特殊機能	省インクモード	129
特殊機能	インク補給	131
特殊機能	機密保持	133
特殊機能	原稿濃度読取	135
特殊機能	インターバルプリント	137
特殊機能	区分け / 原稿別プリントをする	139
特殊機能	原稿セットミス検知	143
特殊機能	トップブローファン	145
特殊機能	ロングペーパー	147
周辺機能	オンラインモード	149
環境機能	初期設定	151
環境機能	ショートカット設定	154
環境機能	省エネモード	157
環境機能	オートパワーオフ	159
環境機能	オートリセット	163
環境機能	ファインスタート	165
環境機能	最適プリント	167
環境機能	プレプリント	169
環境機能	リピートカウンタ	171
環境機能	仕上がり確認	173
環境機能	プリント中の印刷位置調整	175
環境機能	液晶の明るさ	177
環境機能	日付時刻	179
環境機能	ブザー設定	181
環境機能	ネットワーク設定	183
環境機能	言語設定	197
環境機能	情報	199

編集機能 プレビュー

プリントする原稿を確認する

製版をする前に、液晶（タッチパネル）に印刷イメージを表示して確認ができます。
たとえば、拡大／縮小をした場合に、プリントが用紙サイズに収まるか確認をする場合などに便利です。

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

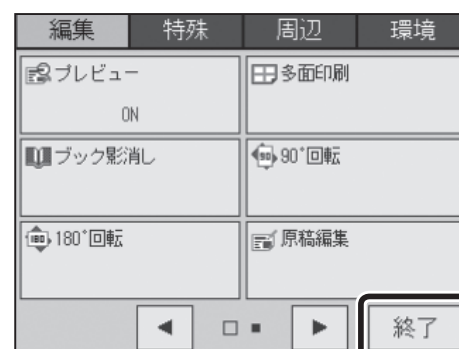
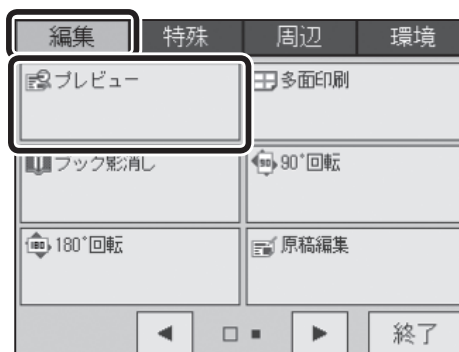
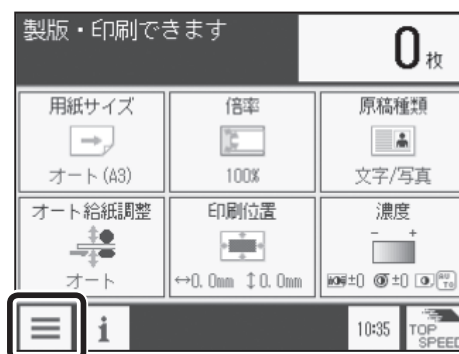
2 「メニュー」をタッチしてください。

3 「編集」をタッチしてください。

4 「プレビュー」をタッチしてください。

5 「ON」をタッチしてください。

6 「終了」をタッチしてください。



参考

プレビューの設定をすると、基本画面下にプレビューのアイコンが表示されます。

アイコンをタッチすれば、プレビュー設定画面が表示され、設定を変更できます。

ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。

- 7 原稿をセットし、「製版キー」を押してください。

参考

「原稿セットミス検知」の設定が「ON」の場合、「原稿台ガラスに原稿が置かれていない可能性があります。このまま続けますか？」と表示されます。

「いいえ」をタッチして、原稿をセットしてから再度「製版キー」を押してください。

(参考→P. 21「原稿のセットのしかた」)

- 8 原稿を読み取り、液晶（タッチパネル）に読み取ったデータを表示します。

重要

表示されるデータは、用紙サイズに収まるように、処理されたものになります。

参考

- ズーム機能を使用する場合。
(参考→P. 58「●ズーム機能を使う」)
- 移動機能を使用する場合。
(参考→P. 59「●移動機能を使う」)

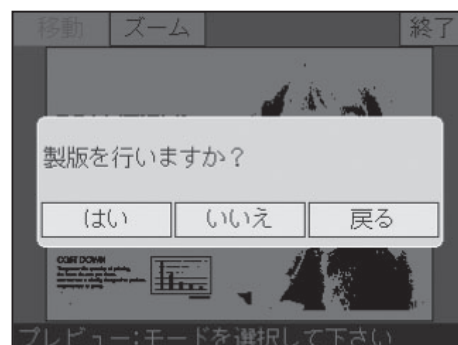
- 9 「製版キー」を押すか、「終了」をタッチしてください。

- 10 「はい」をタッチすると、製版が開始します。
「いいえ」をタッチすると、基本画面に戻ります。
「戻る」をタッチすると、プレビュー画面に戻ります。



4

その他の機能



●ズーム機能を使う

原稿の一部をペンタッチすることにより拡大表示できます。

ズーム1 < ズーム2 < ズーム3 < ズーム4

ズーム1 操作パネル上に原稿全体を表示します。

ズーム2 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して2倍に拡大表示します。

ズーム3 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して4倍に拡大表示します。

ズーム4 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して8倍に拡大表示します。

- 1 「ズーム」をタッチしてください。
「ズーム1」/「ズーム2」/「ズーム3」/「ズーム4」のいずれかをタッチしてください。
ここでは「ズーム2」をタッチしたとして説明します。

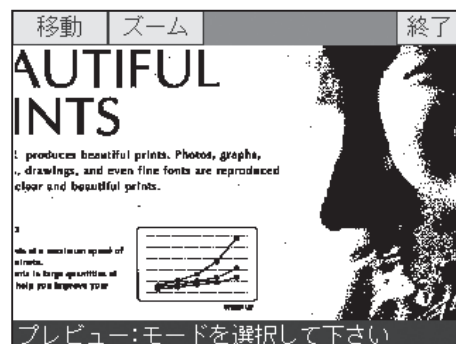


- 2 拡大したいエリアの中心をタッチしてください。
エリアが拡大されます。

もし「ズーム1」/「ズーム3」/「ズーム4」に変更したい場合は、「ズーム」をタッチし変更してください。

参考

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する際は、「移動」をタッチ後、画面上をタッチしながら原稿の見たところへ移動してください。ただし、「ズーム1」を選択している場合は、移動できません。



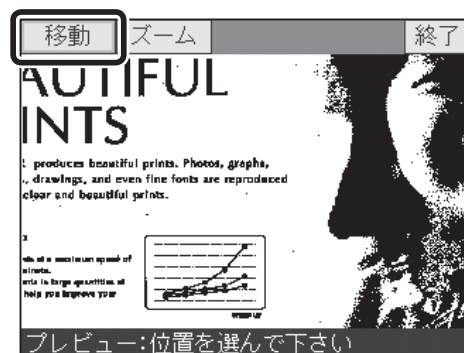
●移動機能を使う

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する場合、画面上をタッチしながら、原稿の見たいところへ移動できます。

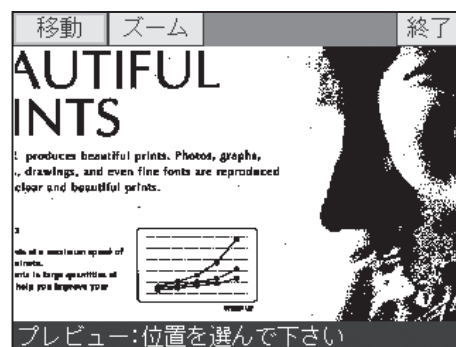
- 1 「移動」をタッチしてください。

参考

「ズーム 2」 / 「ズーム 3」 / 「ズーム 4」を選択しているときのみ移動できます。



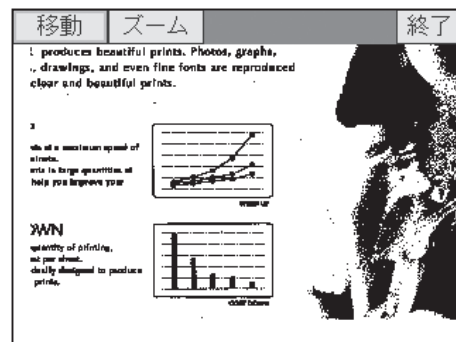
- 2 画面上をタッチしたまま見たいところへ移動してください。



- 3 見たいところが表示されたら離してください。

参考

移動機能を終了したい場合は再度、「移動」をタッチするか他の機能をタッチしてください。



4

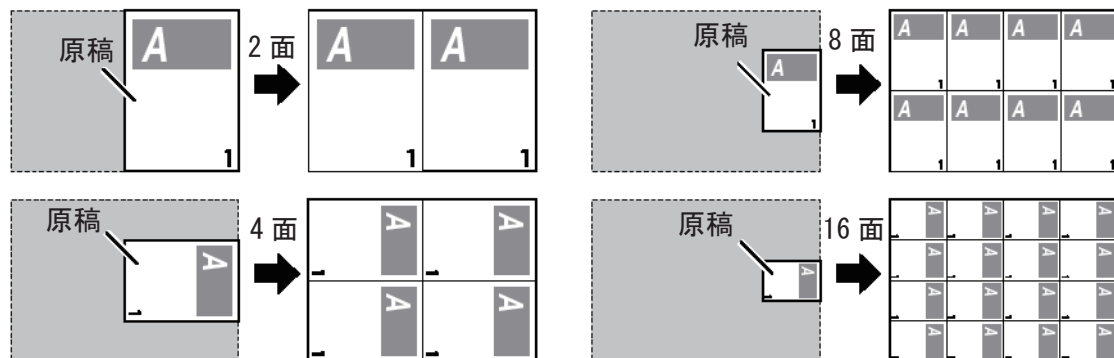
その他の機能

1 枚の用紙に複数プリントする

1 枚の用紙に、同じ原稿を複数プリントしたり、2 枚の原稿を 1 枚の用紙にプリントしたりできます。

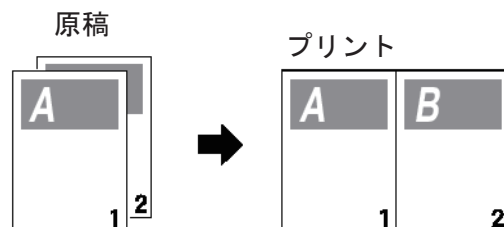
●多面印刷 (2 面取り / 4 面取り / 8 面取り / 16 面取り)

1 枚の用紙に、同じ原稿を複数プリントします。



●2in1

2 枚の原稿を 1 枚の用紙に、プリントできます。



●任意面取り

不定型な原稿を面取りできます。

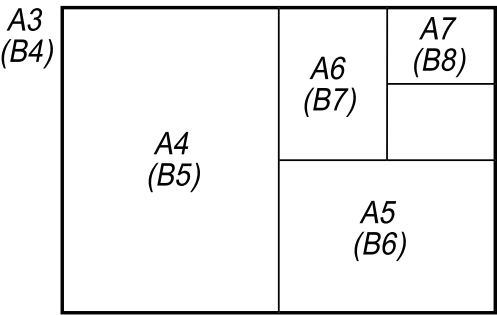
●切取線

原稿間に切取線を入れることができます。
プリント後のカットが、容易にできます。

重要

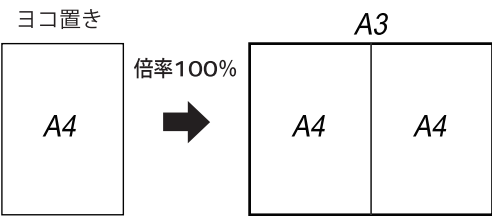
通常の製版より製版時間が長くなります。

- ・多面印刷（2 面取り / 4 面取り / 8 面取り / 16 面取り）
1 枚の用紙に、同じ原稿を複数（2 面、4 面、8 面、16 面）
プリントできます。
縮小拡大するときは、右図を参考に設定をしてください。

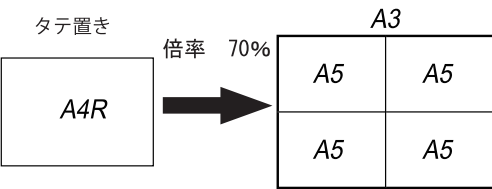


参考

- 倍率と原稿の置き方
 - ・ A4 の原稿を A3 に「2 面プリント」するとき



- ・ A4 の原稿を A3 に「4 面プリント」するとき



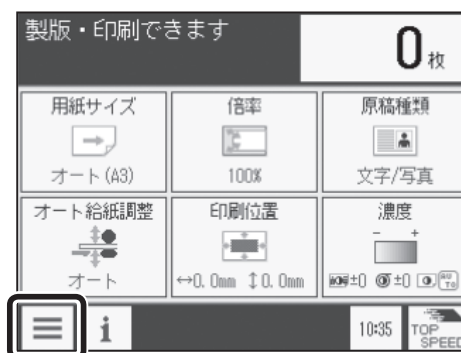
4

その他の機能

多面印刷の設定のしかた（2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り）

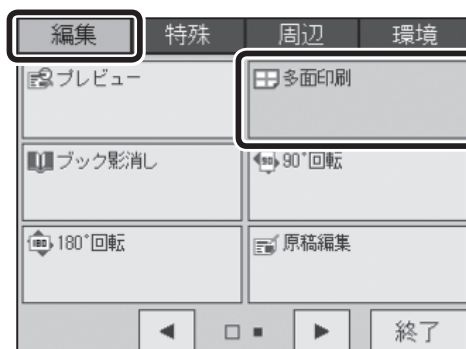
1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。



3 「編集」をタッチしてください。

4 「多面印刷」をタッチしてください。
多面印刷の一覧が、表示されます。



5 「2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り」の設定したい項目をタッチしてください。
ここでは「2面取り」に設定したものと説明します。
「2面取り」を、タッチしてください。

参考

- 多面印刷を OFF（標準）にする場合
 - ・「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



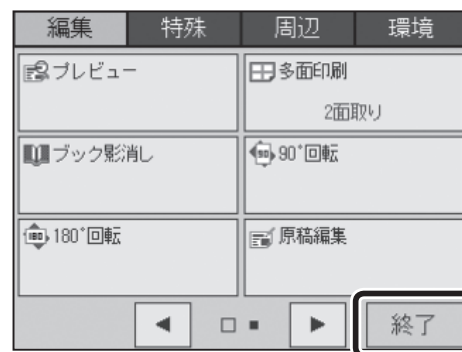
6 「終了」をタッチしてください。

参考

多面印刷の設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。

アイコンをタッチすれば、多面印刷設定画面が表示され、設定を変更できます。

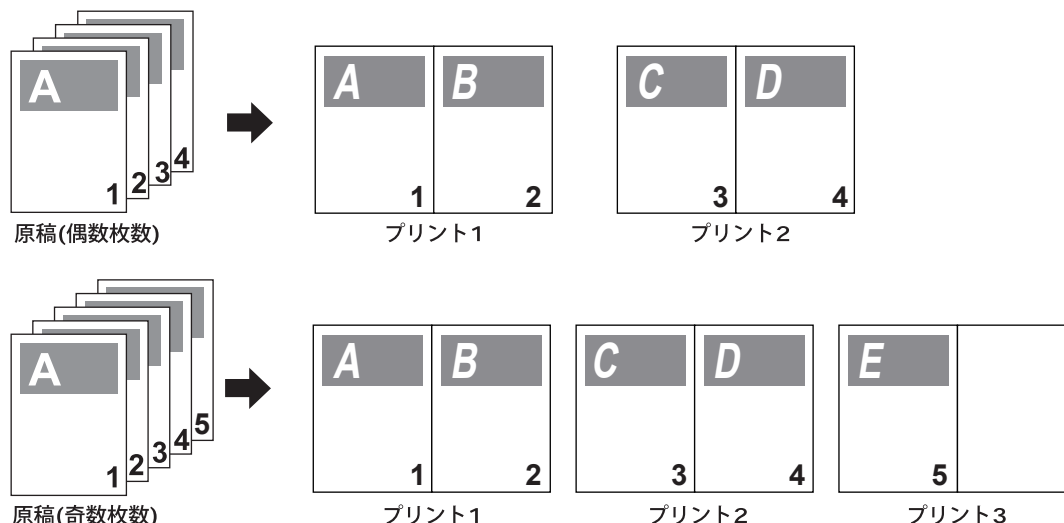
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



2in1 について

2 枚の小さいサイズの下稿を、1 枚の用紙にプリントでき、袋としプリントが簡単にできます。
このモードを「2in1 レイアウトモード」といいます。

「2in1 レイアウトモード」を使うと、次のようにレイアウトされます。

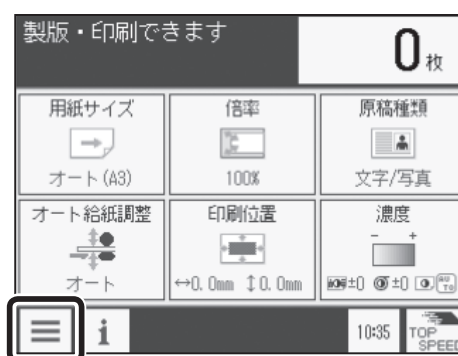


重要

- 「2in1」の設定は、製版する前に設定してください。
- 等倍でプリントするときは、原稿 2 枚分の大きさの用紙を、使用してください。
- 原稿を 2 枚ならべて、拡大 / 縮小すると、ちょうど印刷用紙のサイズになるように、倍率を設定してください。
- 「2in1 レイアウトモード」を使用するときは次のことに注意してください。
 - ・原稿 2 枚が入る用紙サイズと、倍率が設定されていること。
 - ・定型外の下稿を使用すると、正常にレイアウトされないことがあります。

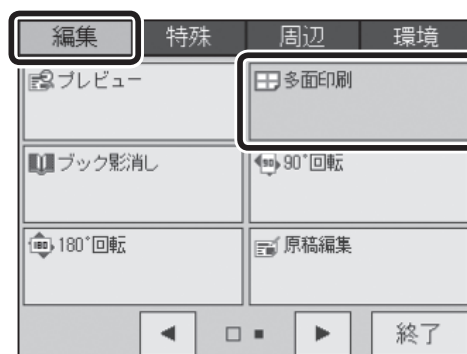
2in1 の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。



3 「編集」をタッチしてください。

4 「多面印刷」をタッチしてください。
多面印刷の一覧が表示されます。



5 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



6 「2in1」をタッチしてください。

参考

- 2in1 を OFF（標準）にする場合
 - ・「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



7 「配置順序」をタッチしてください。

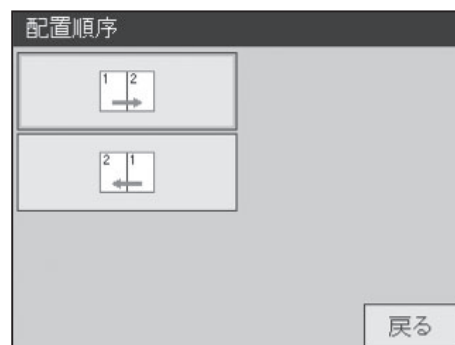


4

その他の機能

次ページへ続く…

- 8 原稿の配置を選択してタッチしてください。



- 9 原稿の方向、とじ方向、2in1 方向を選択してタッチしてください。



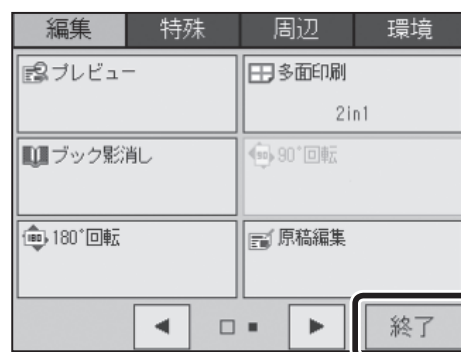
- 10 原稿セット方向が表示されます。
表示された方向に原稿をセットして、「OK」をタッチしてください。



- 11 「終了」をタッチしてください。

参考

2in1 の設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、多面印刷の設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



- 12** 「製版キー」を押してください。
1枚目の原稿がスキャンされ、終了すると液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。

参考

- 1枚目の原稿読取終了後、次のメッセージが表示されます。
「スキャン終了」 1枚目の原稿で2in1処理をします。
「中止」 1枚目の原稿を破棄します。



- 13** 2枚目の原稿をセットし、「製版キー」を押してください。

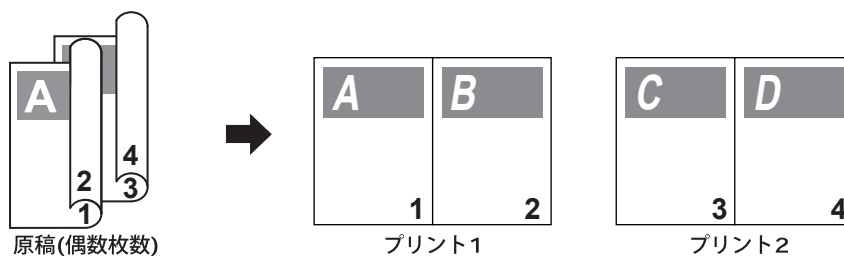
参考

- 正しくレイアウトされなかった場合、次の点を確認してください。
 - ・ 原稿の向き
 - ・ 原稿サイズ、用紙サイズ、倍率
 - ・ 「2in1」をする向き

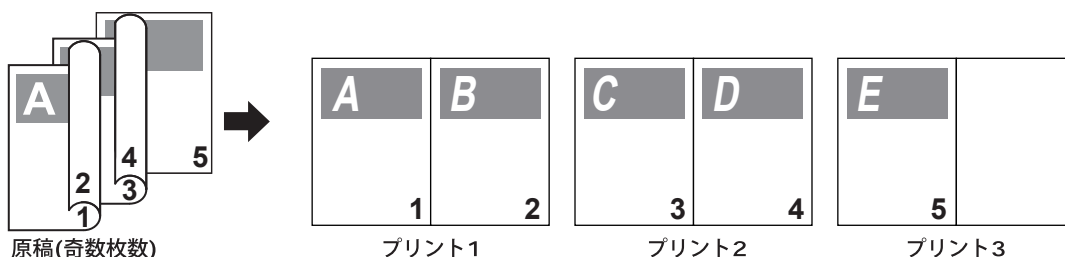
ADF(オプション)を使用した2in1のしかた

両面原稿で「2in1 レイアウトモード」を使うと、次のようにレイアウトされます。

●原稿が偶数ページの場合

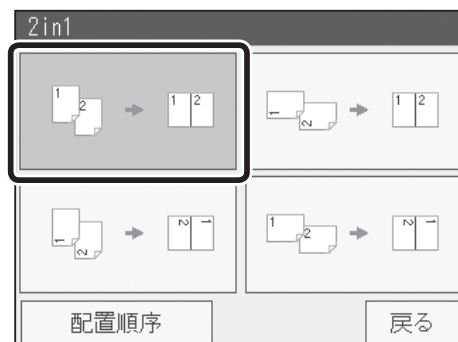


●原稿が奇数ページの場合



- 1 「2in1 の設定のしかた」の手順 1 ～ 8 を実施してください。
(参考→ P. 64 「2in1 の設定のしかた」)

- 2 原稿の方向、とじ方向、2in1 方向を選択して、タッチしてください。
ここでは、画面の左上を選択したとして説明します。



- 3 原稿セット方向が表示されます。
表示された方向に原稿をセットしてください。
(参考→ P. 22 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) に原稿をセットする」)
「OK」をタッチしてください。

重要

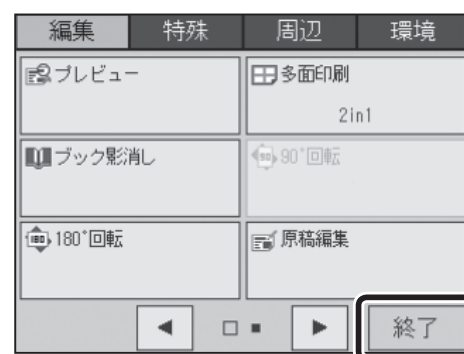
ADF に原稿をセットしていないと原稿台ガラスの原稿をスキャンします。



- 4 「終了」をタッチしてください。

参考

2in1 の設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、多面印刷の設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



- 5 「製版キー」を押してください。
「原稿送り設定」が「片面原稿」の場合、2 枚続けてスキャンされてから製版を開始します。
「原稿送り設定」が「両面原稿」の場合、両面がスキャンされてから製版を開始します。

任意面取り

用紙のタテ方向、ヨコ方向それぞれ任意の数の面取りができます。

任意面取りの設定のしかた

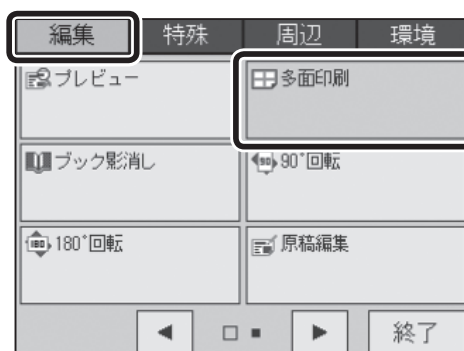
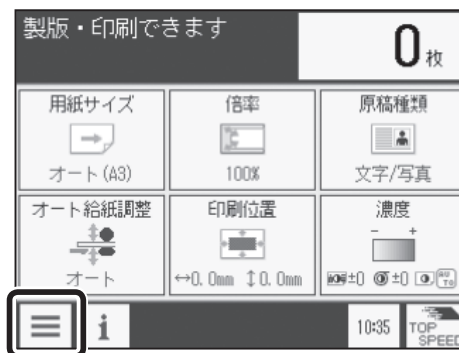
1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。

3 「編集」をタッチしてください。

4 「多面印刷」をタッチしてください。
多面印刷の一覧が表示されます。

5 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



4

その他の機能



次ページへ続く…

6 「任意面取り」をタッチしてください。

参考

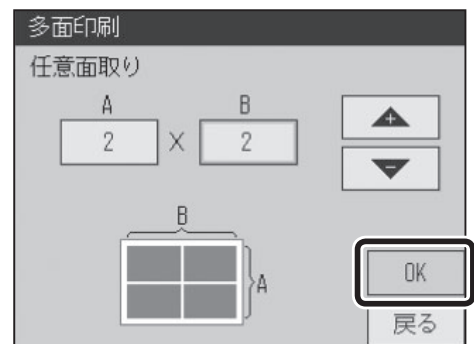
- 任意面取りを OFF（標準）にする場合
 - ・「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



7 面取り数選択画面が表示されます。
Aの辺、Bの辺の面取り数を設定し「OK」をタッチしてください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は「テンキー」からも入力できます。

参考

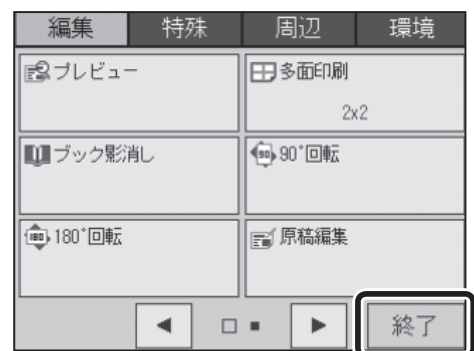
「A」1～5 × 「B」1～5 まで設定できます。



8 「終了」をタッチしてください。

参考

任意面取りの設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、多面印刷設定画面が表示され設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。

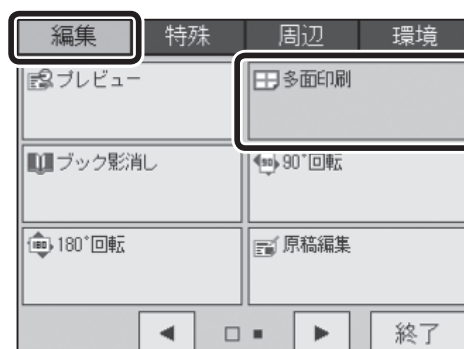
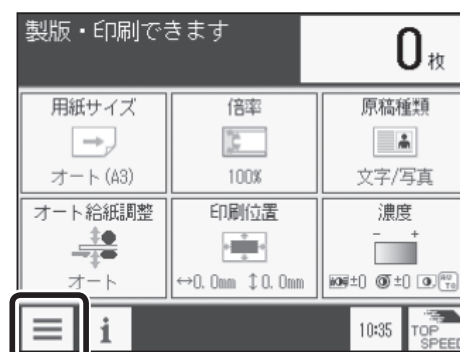


切取線について

原稿間に切取線を入れることができます。プリント後のカットが容易にできます。

切取線の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 「多面印刷」をタッチしてください。
多面印刷の一覧が表示されます。
- 5 「多面印刷」の種類を選択する画面の、「切取線」のアイコンをタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

- 6 切取線を入れる場合は「ON」、入れない場合は「OFF」をタッチしてください。
切取線が設定されます。

参考

- 切取線を OFF（標準）にする場合
 - ・「多面印刷」をタッチして、左下の「切取線」のアイコンをタッチしてください。
 - ・「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



- 7 「多面印刷」の種類を選択する画面に戻ります。
プリントする多面印刷を選択してください。



編集機能 ブック影消し

ブック影消しについて

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、周囲や中央の影を消してプリントします。

参考

イメージが薄いときは原稿濃度読取の設定を使用してください。

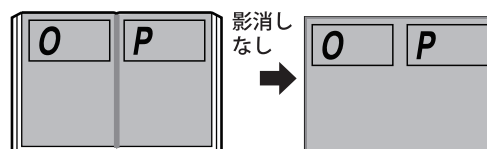
(参考→ P. 135 「特殊機能 原稿濃度読取」)

重要

- ブック影消しの設定は、製版する前に設定してください。
- 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」でブック影消しは使用できません。
- 通常の製版より製版時間が長くなります。

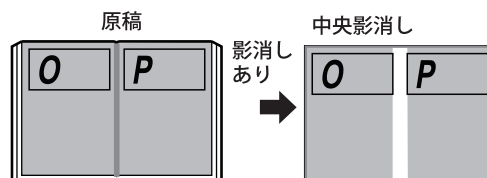
● OFF

原稿の周囲約 2mm の影を消します。



● 中央影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、15mm 幅で中央の影のみ消してプリントします。

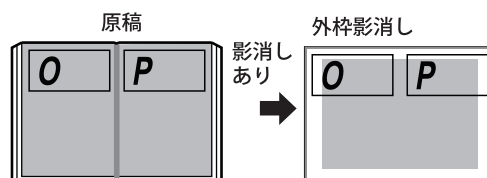


重要

- 原稿の周囲約 2mm の影は消されます。

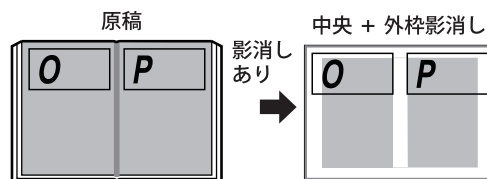
● 外枠影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、6mm 幅で周囲の影のみ消してプリントします。



● 中央 + 外枠影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、中央 15mm 幅、周囲 6mm 幅の影のみ消してプリントします。



4

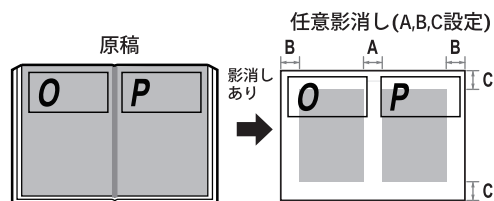
その他の機能

●任意影消し

本などの中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、影の周囲を指定して消し、プリントします。(0～99mmまで消したい範囲を設定できます。)

重要

- 影消しを指定(0～99mm)しても、多少の誤差が生じる場合があります。
- 「B」、「C」で2mm以下を設定されていても、周囲2mmの影が消されます。



影消しの範囲について

重要

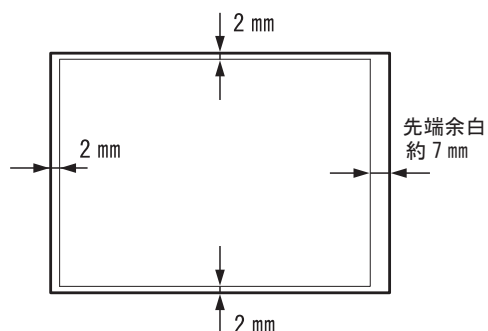
「OFF」の場合は、原稿の周囲約2mmの影を消します。

●影消し「OFF」の場合

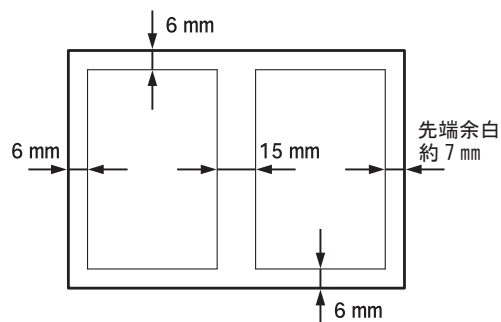
プリントされた先端余白は、紙をドラムからはがすための余白です。「任意影消し」で7mmより小さい値を設定しても、この用紙先端部分は、約7mmの余白になります。

「任意影消し」で指定(0～99mm)しても、多少の誤差が生じる場合があります。

各影消し寸法は図のとおりです。



●各影消しの場合

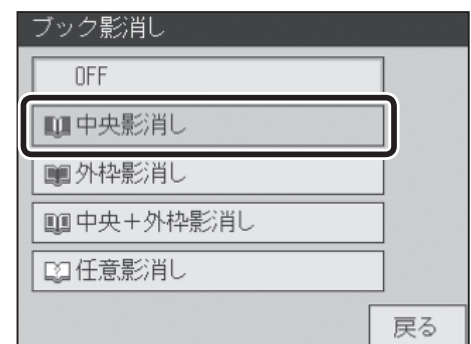
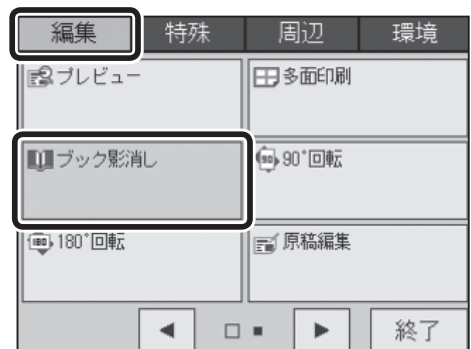
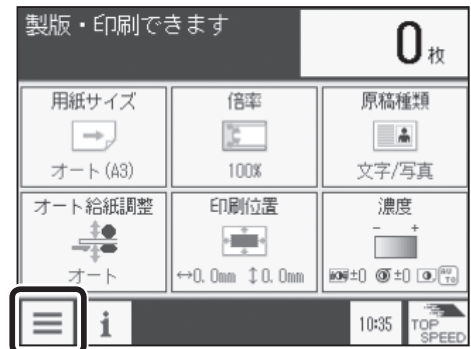


ブック影消しの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 「ブック影消し」をタッチしてください。
ブック影消しの一覧が表示されます。
- 5 設定したい項目をタッチしてください。
ここでは「中央影消し」を、設定したとして説明します。
- 6 設定したい原稿サイズをタッチしてください。
原稿サイズの設定をしないと、正常にブック影消しができません。

参考

- 「オート」を設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。
- CD57DP/CD54DP には、オート機能は付いていません。
- 「ユーザ」を設定するときは、「原稿サイズ」の項を参考してください。
(参考→P.107「原稿サイズのユーザ設定のしかた」)
- 厚手の本を使用された場合、「オート」では正常に原稿サイズを、検知できないことがあります。
「オート」以外の原稿サイズに設定してください。



4

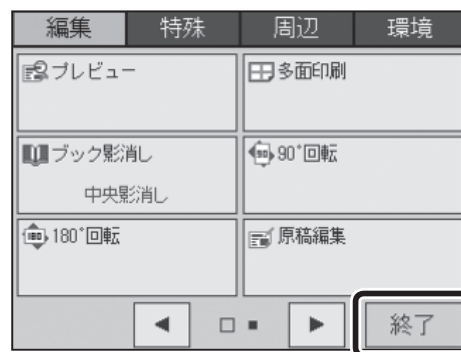
その他の機能

次ページへ続く…

7 ブック影消しが設定されます。

参考

- ブック影消しを OFF（標準）にする場合
 - ・「ブック影消し」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
 この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



8 「終了」をタッチしてください。

参考

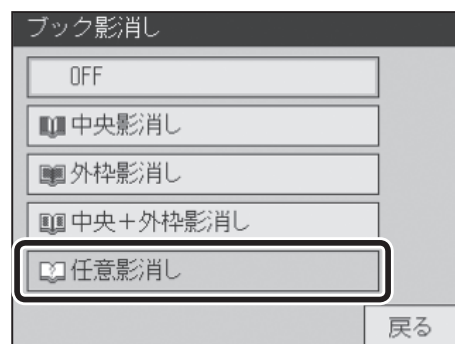
ブック影消しの設定をすると、基本画面下にブック影消しのアイコンが表示されます。
 アイコンをタッチすれば、ブック影消し設定画面が表示され設定を変更できます。
 ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。

●手順5で「任意影消し」に設定した場合

1 設定したい原稿サイズをタッチしてください。
原稿サイズの設定をしないと、正常にブック影消しができません。

参考

- 「オート」を設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。
- CD57DP/CD54DP には、オート機能は付いていません。
- 厚手の本を使用された場合、「オート」では正常に原稿サイズを検知できないことがあります。「オート」以外の原稿サイズに設定してください。

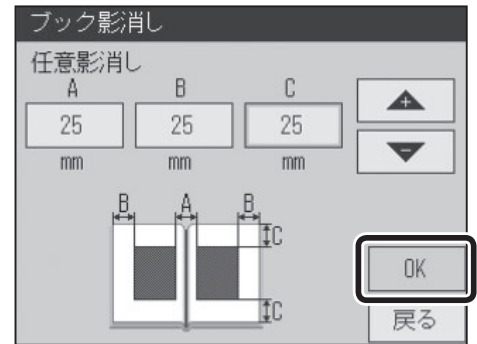


- 2 「A」、「B」、「C」の寸法を設定し、「OK」をタッチしてください。

「A」をタッチし「+」、「-」で範囲を設定してください。
 「+」をタッチすると、影消し範囲が広がります。
 「-」をタッチすると、影消し範囲が狭くなります。
 数値は「テンキー」からも入力できます。
 「B」、「C」も同じ手順で範囲を設定してください。

参考

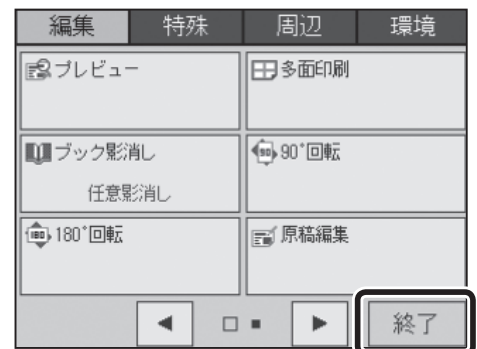
0 ～ 99 mmの範囲で設定できます。



- 3 「終了」をタッチしてください。

参考

ブック影消しの設定をすると、基本画面下にブック影消しのアイコンが表示されます。
 アイコンをタッチすれば、ブック影消し設定画面が表示され設定を変更できます。
 ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



4

その他の機能

編集機能 90°回転

90°回転について

原稿をイメージ上で右に 90° 回転させます。

倍率をオートに設定することで、A3 サイズ の原稿をタテ置きしたものを縮小し、A4 ヨコ置きの用紙にプリントできます。

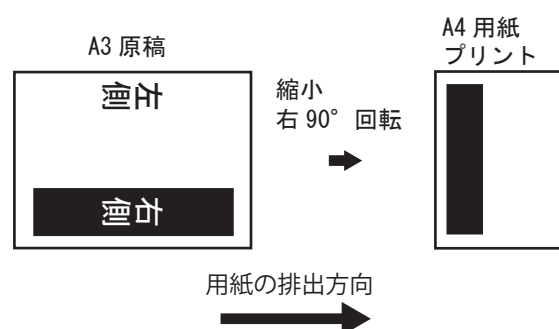
参考

- 元画像の左側・右側に黒ベタ部分が多い原稿を使用される場合などは、黒ベタ部分がプリントの後端に来るように、回転方向を設定してください。

例：A3 原稿の右側に黒ベタ部分が多い場合は、右 90° 回転に設定してください。

そうすると、排出される用紙の後端に原稿の右側部分がプリントされ、紙づまりを防ぐことができます。

- 「180° 回転」を ON にすることにより、270° 回転ができます。

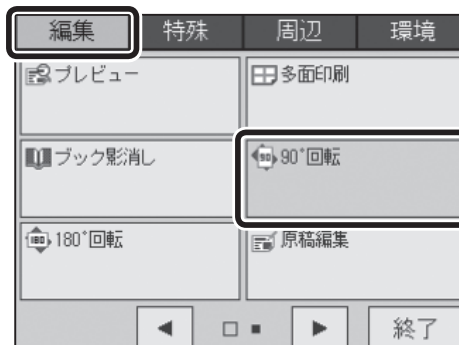
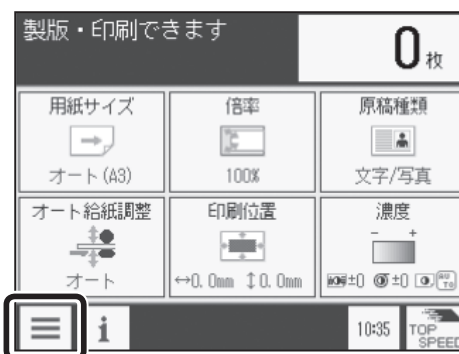


重要

通常の製版より、製版時間が長くなります。

90°回転の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 「90° 回転」をタッチしてください。
90° 回転選択画面が表示されます。



- 5 「オート」または「ON」をタッチしてください。
- ・「オート」設定している用紙サイズの向きに合わせて原稿を回転してプリントします。
- ※ CD57DP/CD54DP には、オート機能は付いていません。

・「ON」 右に 90° 回転します。



- 6 90° 回転が設定されます。

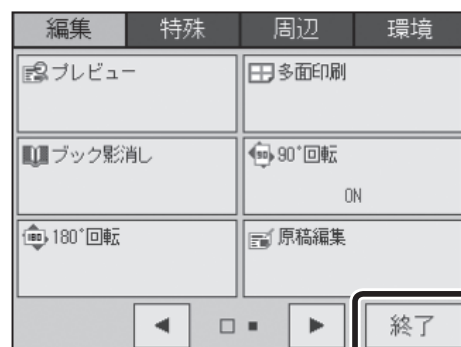
参考

- 90° 回転を OFF（標準）にする場合
 - ・「90° 回転」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
- この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

- 7 「終了」をタッチしてください。

参考

90° 回転の設定をすると、基本画面下に 90° 回転のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、90° 回転設定画面が表示され設定を変更できます。ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



4

その他の機能

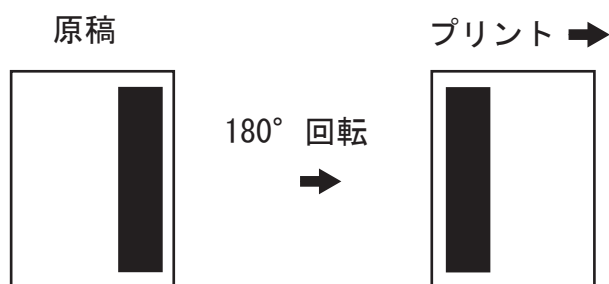
編集機能 180°回転

180°回転について

原稿をイメージ上で180°回転させます。

参考

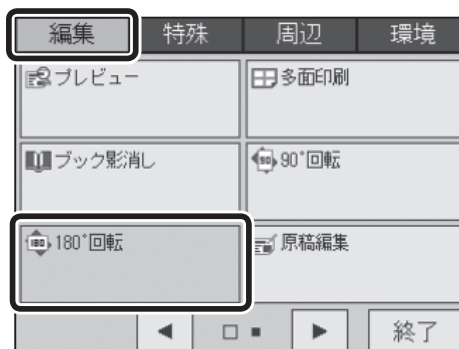
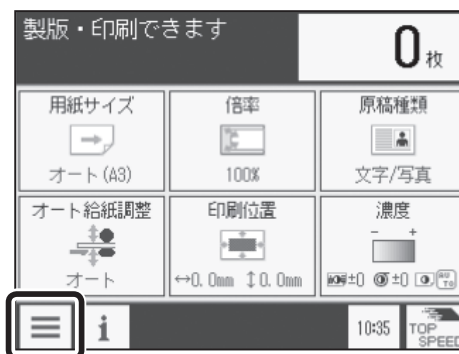
- 元画像の右側に、黒ベタ部分が多い原稿を使用される場合などは、180°回転をONにすることにより、黒ベタ部分が、用紙の後端にプリントされ、紙づまりを防ぐことができます。



- 「再製版機能」を使用する場合にも設定できます。

180°回転の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 「180°回転」をタッチしてください。
180°回転選択画面が表示されます。



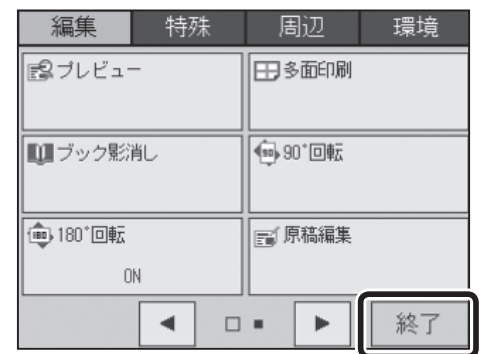
5 「ON」をタッチしてください。



6 「終了」をタッチしてください。
180°回転が設定されます。

参考

- 180°をOFF（標準）にする場合
 - ・「180°回転」をタッチし、「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押す。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。
- 180°回転の設定をすると、基本画面下に180°回転のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、180°回転設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



4

その他の機能

編集機能 原稿編集

原稿編集について

原稿を編集する機能です。

原稿編集には、メイクアップとトリミングがあります。

- メイクアップ

文字、写真混在原稿などを編集し、きれいに製版ができます。

- トリミング

原稿の必要な部分を指定して、不要部分を取り除きプリントできます。

倍率が「オート」のときは、設定している用紙サイズに自動的に「拡大」「縮小」プリントできます。

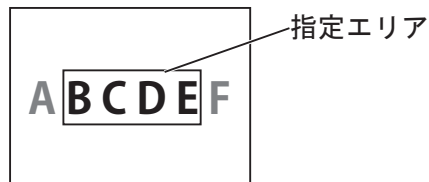
メイクアップについて

文字、写真混在原稿などを文字・消去・袋文字 / 模様・白黒反転のエリア指定して、きれいに製版できます。

編集モード

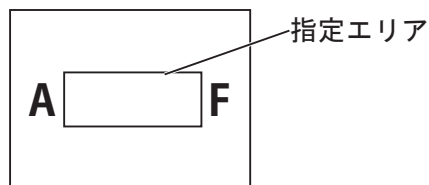
- 文字

文字、写真混在原稿など、文字部分をエリア指定すると適正濃度でより文字を強調して、きれいに製版できます。



- 消去

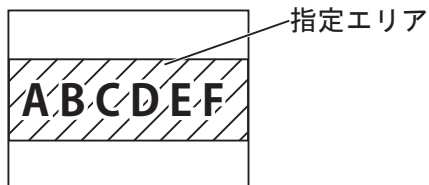
原稿の不要部分を自在に消去でき、必要な部分だけを製版します。
2色刷りの場合は、“消去エリア入替え”により最初に指定したエリアの内・外を切り替えることが可能で、再度エリアを指定することなく2色プリントができます。



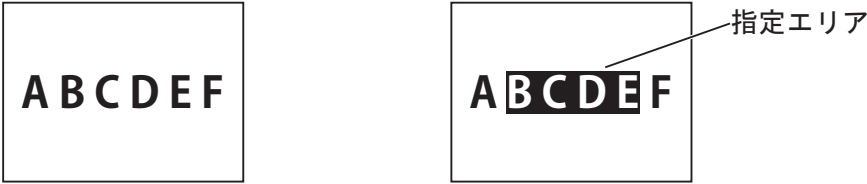
- 袋文字 / 模様

袋文字
模様

タイトルや商品名をアピールしたいときに、簡単に袋文字がつけれます。
網掛けや地模様など、17種類の模様の中から、イラストや下地として原稿をグレードアップできます。



●白黒反転 見出し文字など表題部分を強調したいときに、指定エリアの白と黒を反転します。



重要

●各モードには優先順位があります。他のモードとエリアが重なった部分は、最も優先順位の高いモードが有効となります。

1. 消去
2. 白黒反転
3. 袋文字 / 模様
4. 文字
- (数字が小さいほど優先順位は高くなります。)

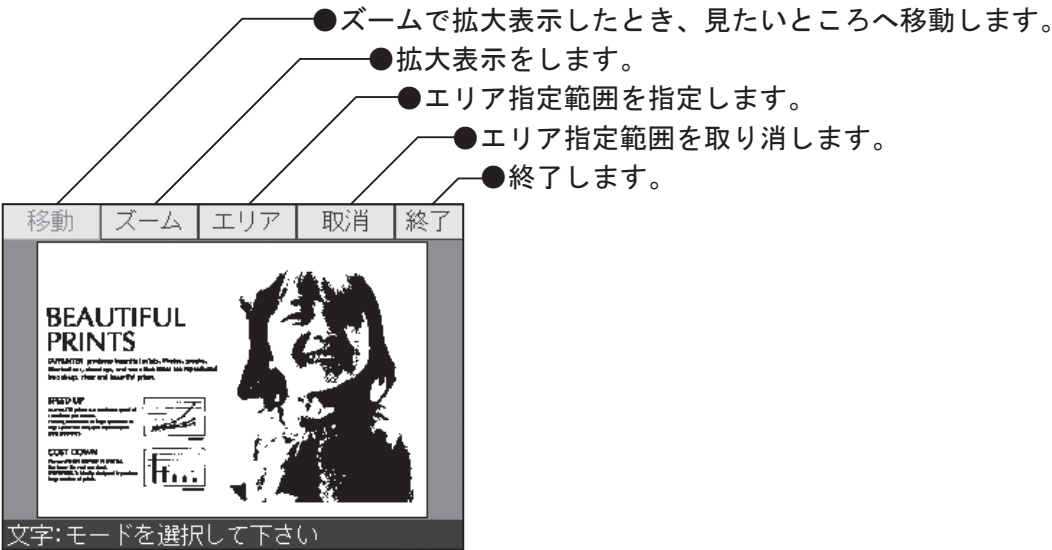
●「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」では使用できません。

●編集モードに対する原稿種類の一覧表です。

- : OK
△ : 編集モードの文字で、エリア指定をしたエリアのみ編集モードが反映されます。
× : 編集モードは使用できません。

原稿種類	編集モード			
	文字	消去	袋文字 / 模様	白黒反転
文字	×	○	○	○
文字／写真	○	○	○	○
写真／文字	○	○	○	○
写真	○	○	△	○
イラスト	○	○	○	○
えんぴつ	×	○	○	○
網点処理 (標準)	×	○	×	○
網点処理 (細かい)	×	○	×	○

●原稿読取時の画面

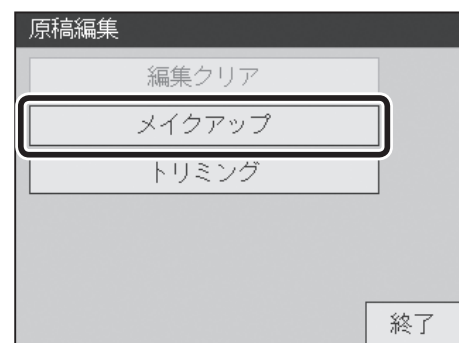
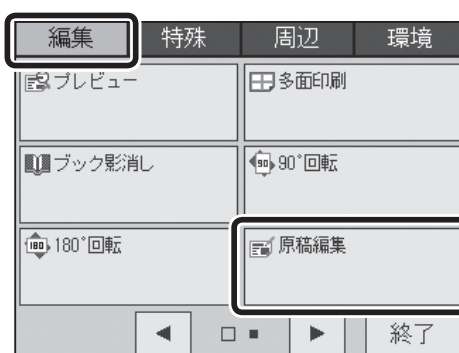


メイクアップの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「原稿種類」をタッチしてください。
お好みの原稿種類に設定してください。
- 3 「メニュー」をタッチしてください。
- 4 「編集」をタッチしてください。
- 5 「原稿編集」をタッチしてください。
- 6 「メイクアップ」をタッチしてください。

参考

「原稿サイズ」を「OFF」に設定して、イメージをスキャンすると、「用紙サイズ」で設定されたサイズでスキャンされます。



- 8 液晶(タッチパネル)に「原稿をスキャンしますか?」が表示されます。「はい」をタッチしてください。
原稿の読み取りが、開始されます。
“スキャンしています” “しばらくお待ち下さい” が表示されているときは、電源を入れなおしたり、「リセットキー」は押さないでください。

参考

- イメージは、「原稿種類」の設定に関係なく、文字モードでスキャンされます。
- イメージは、「倍率」の設定に関係なく、100%の倍率でスキャンされます。

- 9 原稿の読み取りが終了すると、右の画面が表示されます。ここでは「文字」をタッチしたとして説明します。

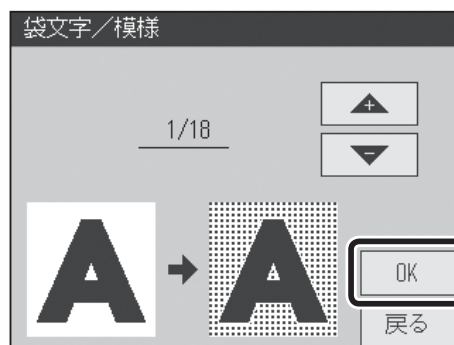
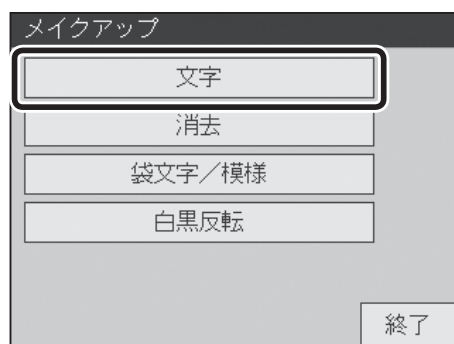
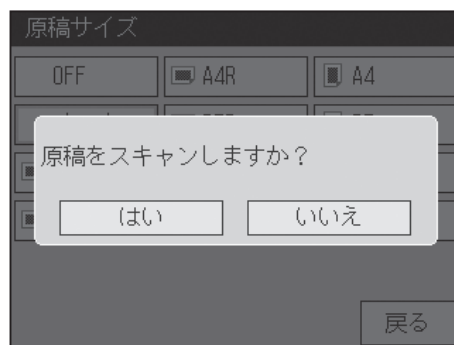
参考

- 「袋文字 / 模様」をタッチした場合
 - ▲▼で袋文字 / 模様を指定してください。(「テンキー」でも指定できます)
 - 袋文字は 18/18 を指定してください。
 - 模様は 1/18 ~ 17/18 の中から指定してください。(袋文字 / 模様については 89 ページ参照)
 - 「OK」をタッチしてください。

- 10 「エリア」をタッチしてください。

参考

このときに拡大表示したいエリアがあれば、「ズーム」をタッチしてください。原稿の一部を拡大して見ることができ、エリアの指定がしやすくなります。



4

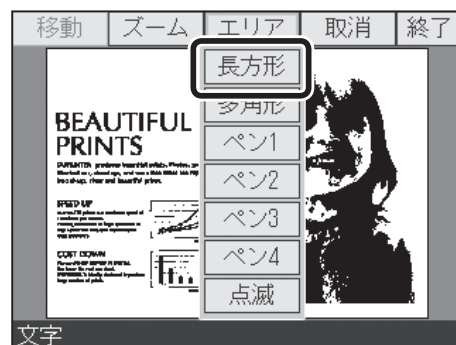
その他の機能

次ページへ続く...

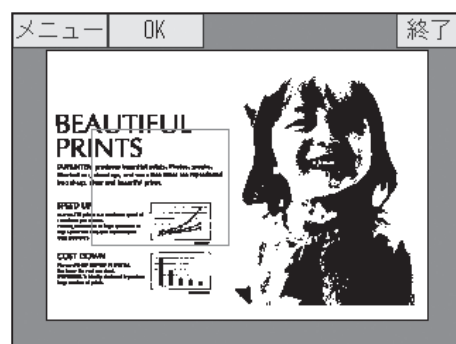
- 11 エリア指定方法をタッチしてください。
ここでは「長方形」をタッチしたとして説明します。

参考

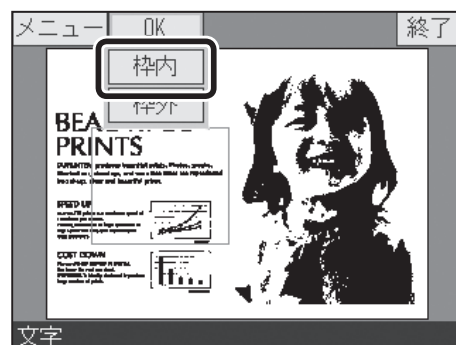
- 「長方形」・「多角形」・「ペン1」・「ペン2」・「ペン3」・「ペン4」から、適切な入力方法をタッチしてください。あらかじめ「点滅」を指定しておくと、エリア設定した際に、設定したエリアが点滅表示します。点滅表示を終了したい場合は、「エリア」をタッチし、「点滅」をタッチしてください。
- 「長方形」もしくは「多角形」を選択時、エリア指定方法を変更したい場合は、「メニュー」をタッチしてください。



- 12 エリアを指定してください。
1. 指定したいエリアの始点に軽くタッチしてください。
 2. タッチしたまま移動させるとエリアが変化します。
 3. 画面から離すとエリアが決定します。
※エリアを決め直したいときは、もう一度1～3の手順にしたがってください。
 4. 「OK」をタッチしてください。



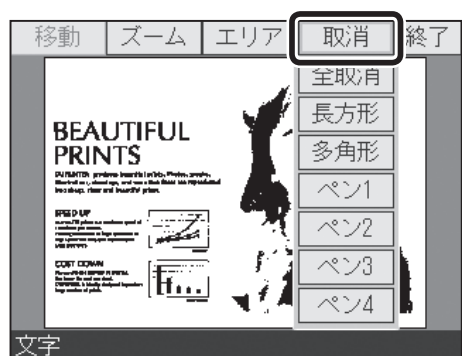
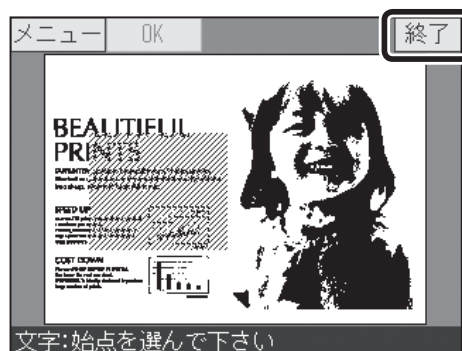
5. エリアの「枠内」か、「枠外」をタッチしてください。
ここでは「枠内」をタッチします。
「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。
(参考→P. 92「●エリア指定機能を使う」)



13 「終了」をタッチしてください。

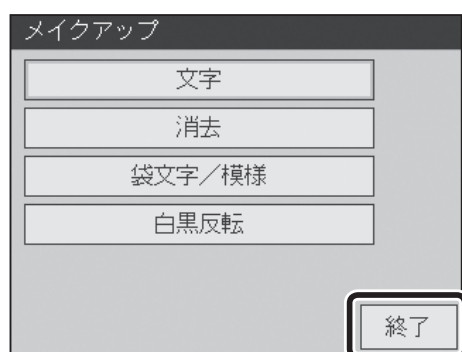
参考

- 取り消したい場合は「取消」をタッチしてください。
「取消」をタッチすると右図のように表示が変わります。
- ・ 「全取消」をタッチすると設定したエリアすべてが取り消せます。
- ・ 「長方形」/「多角形」をタッチすると指定したエリアを取り消せます。
- ・ 「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると取り消したい部分がペン入力で取り消せます。



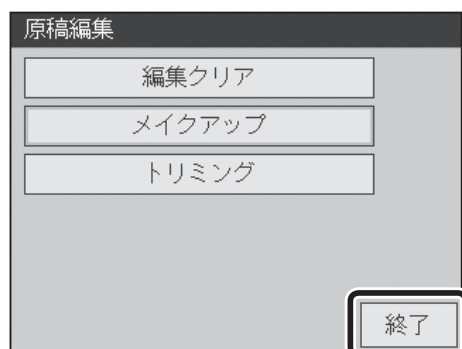
4

14 「終了」をタッチしてください。
メイクアップが設定されます。



その他の機能

15 「終了」をタッチしてください。



次ページへ続く...

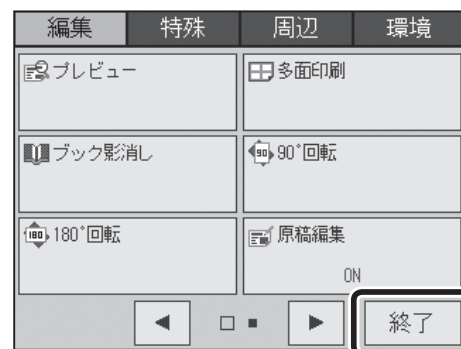
16 「終了」をタッチしてください。

参考

原稿編集の設定をすると、基本画面下に原稿編集のアイコンが表示されます。

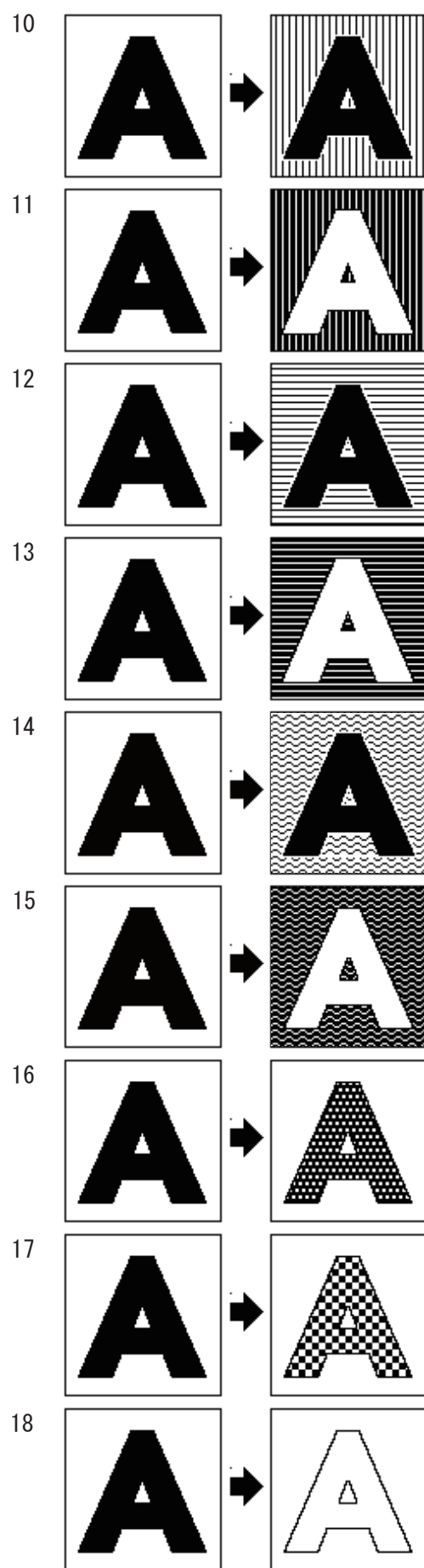
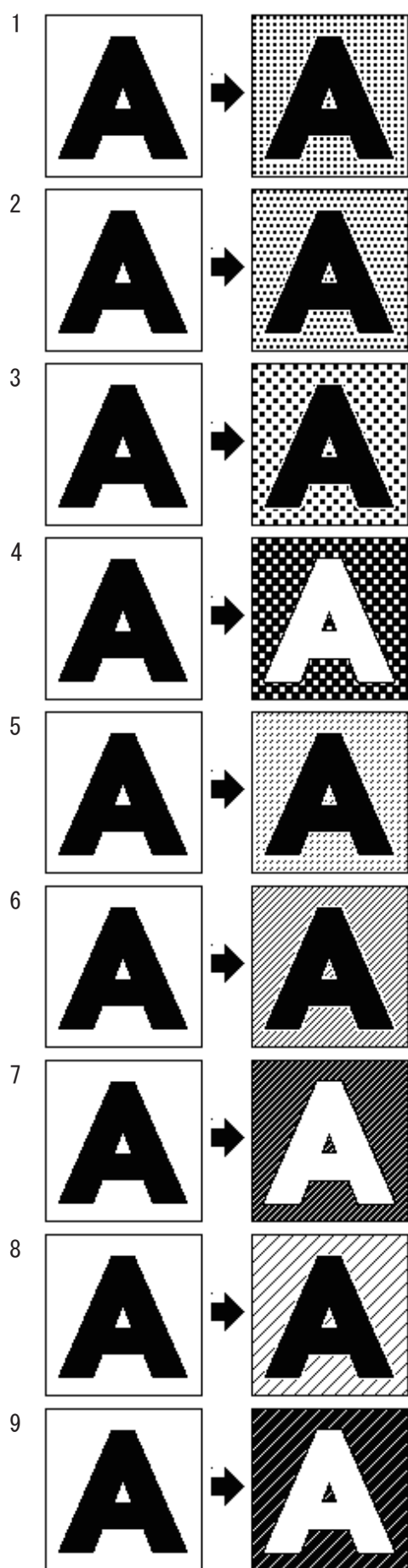
アイコンをタッチすれば、原稿編集設定画面が表示され設定を変更できます。

ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



17 「製版キー」を押してください。
編集した内容を反映した製版をします。

下記の袋文字 / 模様が選択できます。



4

その他の機能

●ズーム機能を使う

原稿の一部をペンタッチすることにより、拡大表示できます。

ズーム1 < ズーム2 < ズーム3

ズーム1 操作パネル上に原稿全体を表示します。

ズーム2 ペンタッチされた周辺エリアを、ズーム1 に対して2倍に拡大表示します。

ズーム3 ペンタッチされた周辺エリアを、ズーム1 に対して4倍に拡大表示します。

- 1 「ズーム」をタッチしてください。
「ズーム1」/「ズーム2」/「ズーム3」のいずれかをタッチしてください。
ここでは「ズーム2」を、タッチしたとして説明します。

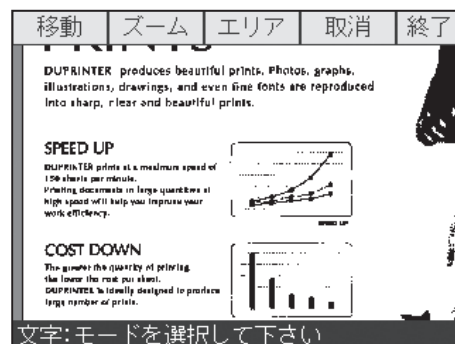


- 2 拡大したいエリアの中心を、タッチしてください。
エリアが拡大されます。

もし「ズーム1」/「ズーム3」に変更したい場合は、「ズーム」をタッチし変更してください。

参考

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する際は、「移動」をタッチ後、画面上をタッチしながら、原稿の見たいたいところへ移動してください。ただし、「ズーム1」を選択している場合は移動できません。



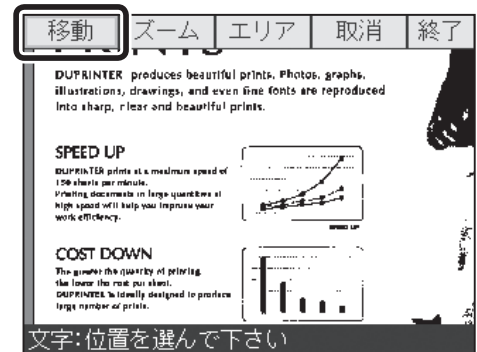
●移動機能を使う

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する場合、画面上をタッチしながら、原稿の見たいところへ移動できます。

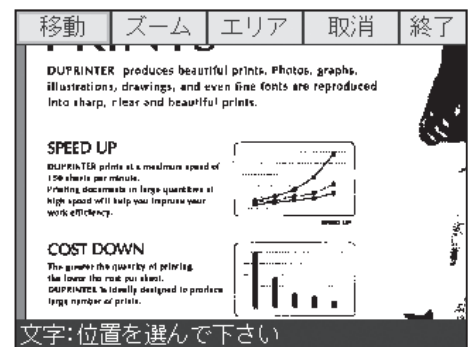
- 1 「移動」をタッチしてください。

参考

「ズーム2」/「ズーム3」を選択しているときのみ移動できます。



- 2 画面上をタッチしたまま、見たいところへ移動してください。



- 3 見たいところが表示されたら離してください。

参考

移動機能を終了したい場合は再度、「移動」をタッチするか、他の機能をタッチしてください。



4

その他の機能

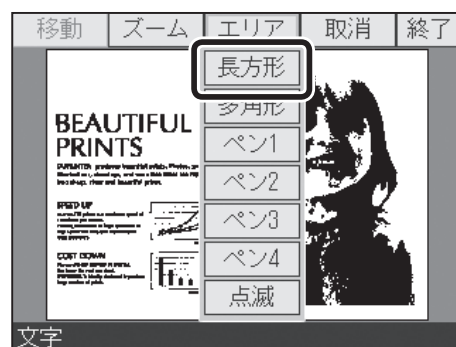
●エリア指定機能を使う

原稿の内容に合わせて、長方形・多角形・ペン1・ペン2・ペン3・ペン4 の6種類の方法を選択できます。

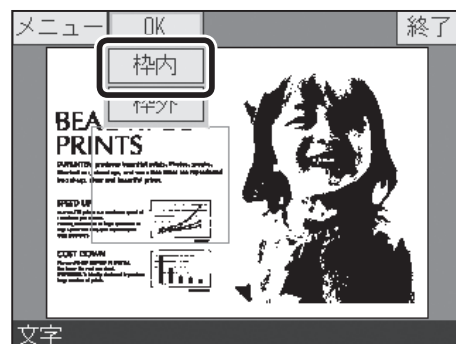
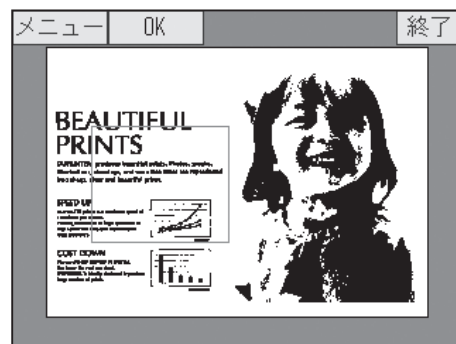
- ・長方形 長方形のエリアを指定できます。
- ・多角形 最大 15 角形でエリア指定できるので、複雑な形のエリア指定ができます。
- ・ペン 1/2/3/4 ペンでエリア指定ができます。

●長方形によるエリア指定

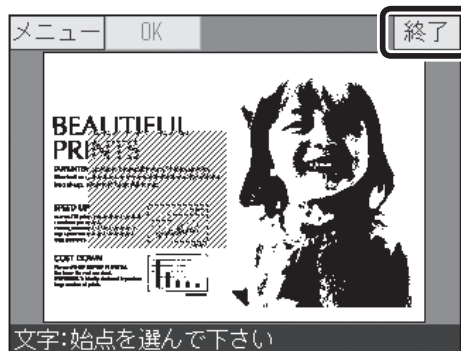
- 1 「エリア」をタッチしてください。
「長方形」をタッチしてください。



- 2 エリアを指定してください。
1. 指定したいエリアの始点に、軽くタッチしてください。
 2. タッチしたまま移動させると、エリアが変化します。
 3. 画面から離すと、エリアが決定します。
※エリアを決め直したいときは、もう一度1～3の手順にしたがってください。
 4. 「OK」をタッチしてください。
 5. エリアの「枠内」か「枠外」をタッチしてください。
ここでは「枠内」をタッチしています。
「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。

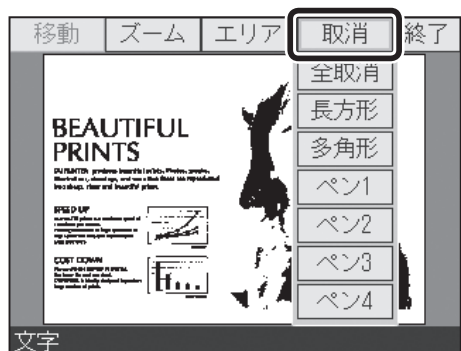


- 3 指定したエリアがOKであれば、「終了」をタッチしてください。



参考

- 取り消したい場合は、「取消」をタッチしてください。
「取消」をタッチすると、右図のように表示が変わります。
 - ・ 「全取消」をタッチすると、設定したエリアすべてが取り消せます。
 - ・ 「長方形」/「多角形」をタッチすると、指定したエリアを取り消せます。
 - ・ 「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると、取り消したい部分がペン入力で取り消せます。

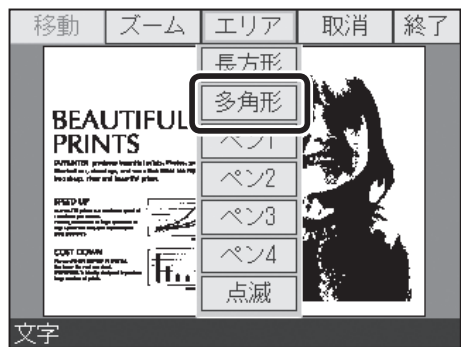


4

その他の機能

● 多角形によるエリア指定

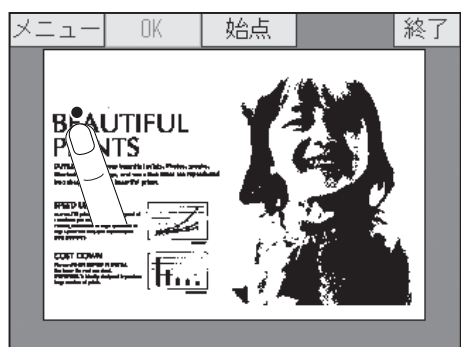
- 1 「エリア」をタッチしてください。
「多角形」をタッチしてください。



- 2 指定したいエリアの始点を、軽くタッチしてください。

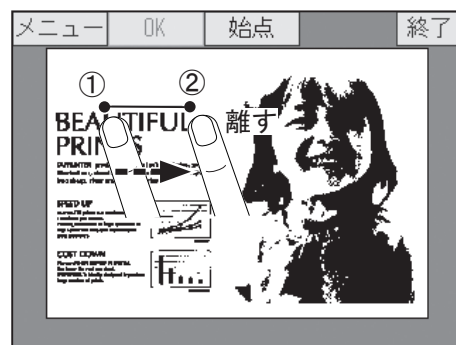
重要

多角形の各辺が交差しないように、各ポイントを決めてください。もし、交差した場合は、不完全な多角形エリアが指定されますので注意してください。



次ページへ続く...

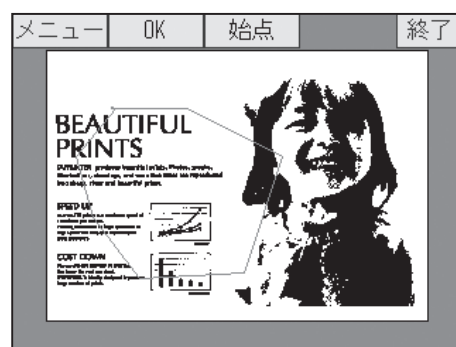
- 3 タッチしたまま移動させ、ポイントが決まれば、一度離してください。(一辺目決定)



- 4 さらに、二辺目をタッチ後、タッチしたまま移動させ、ポイントが決まれば再度離してください。(二辺目決定) 同様の方法で、最大 15 角形以内まで指定できます。 また、最大 15 角形以内の場合には、「OK」をタッチすることにより、最終のポイントと始点とを結び、多角形エリアが完成します。

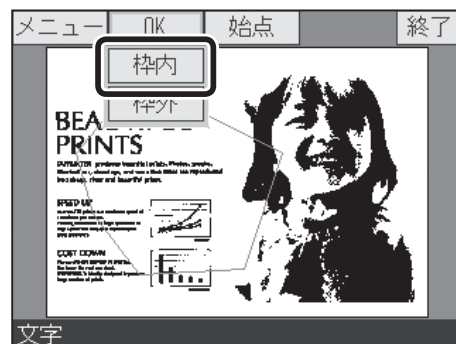
参考

- 二辺以上で「OK」をタッチできます。
- 始点位置を決めた後、再度始点を決めなおす場合は、「始点」をタッチしてください。



- 5 エリアが完成したら、「OK」をタッチしてください。

- 6 エリアの「枠内」か「枠外」をタッチしてください。ここでは「枠内」をタッチしています。「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。



参考

- 取り消したい場合は「取消」をタッチしてください。
「取消」をタッチすると、下図のように表示が変わります。
 - ・「全取消」をタッチすると、設定したエリアすべてが取り消せます。
 - ・「長方形」/「多角形」をタッチすると、指定したエリアを取り消せます。
 - ・「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると、取り消したい部分がペン入力で取り消せます。



●ペン入力によるエリア指定

- 1 「エリア」をタッチしてください。
「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」の中からペンサイズを、タッチしてください。
ここでは「ペン2」をタッチしたとして説明します。

ペンは、1～4は円形の大きさの異なるサイズで、エリアを指定します。



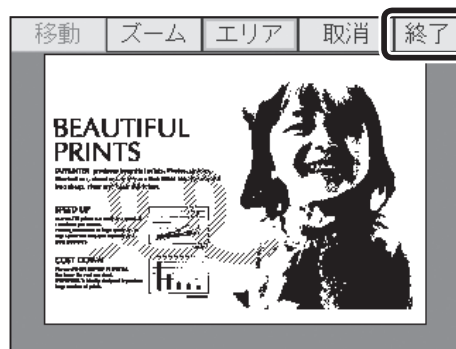
4

その他の機能

- 2 指定したいエリアに軽くタッチして、エリアを指定してください。
- 3 指定したエリアがOKであれば、「終了」をタッチしてください。

参考

取り消したい場合は、「取消」をタッチしてください。

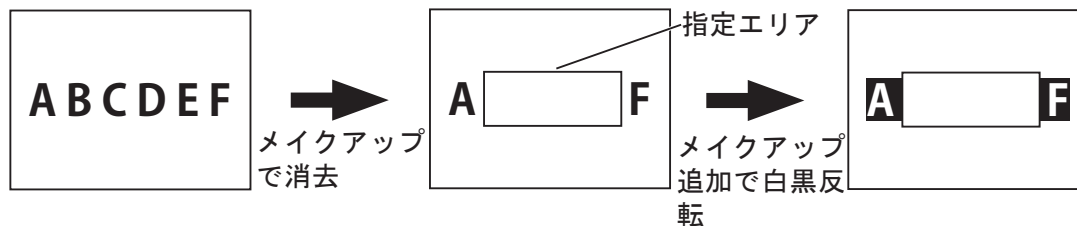


メイクアップ追加、消去エリア入替

メイクアップの設定が終了しているとき、「メイクアップ追加」/「消去エリア入替」/「新規メイクアップ」ができます。

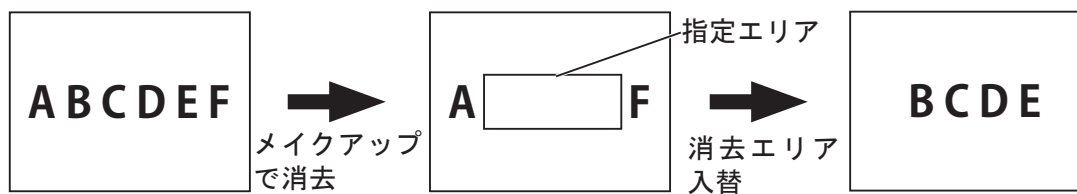
・メイクアップ追加

メイクアップ設定したものに、さらにメイクアップを追加設定できます。



・消去エリア入替

メイクアップの消去モードで設定された内側（外側）消去を、外側（内側）消去に切り替えて製版・プリントできます。



・新規メイクアップ

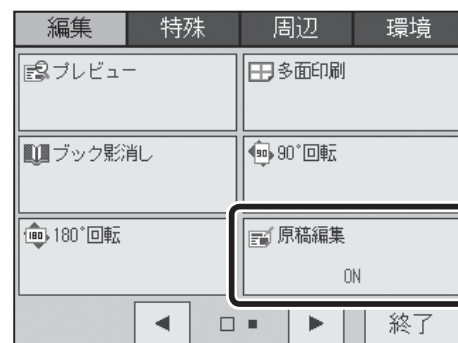
現在のメイクアップ設定を取消して、新たな原稿でメイクアップできます。

重要

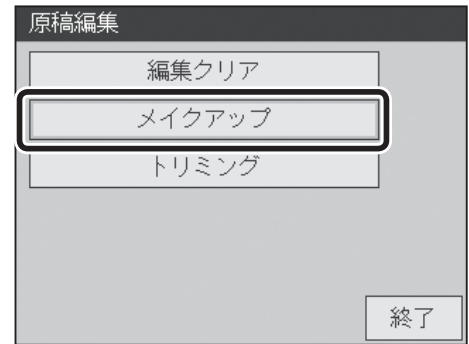
メイクアップで消去モードが設定されていない場合は、消去エリア入替は指定できません。

●メイクアップ追加を使う

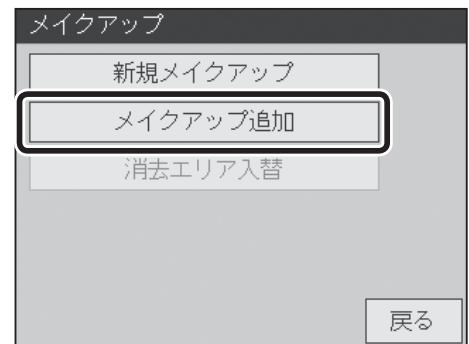
- 1 メイクアップ設定終了後、「原稿編集」をタッチしてください。



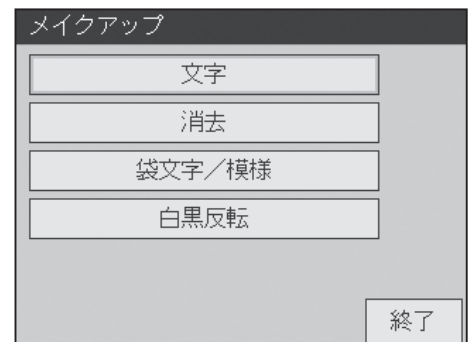
- 2 「メイクアップ」をタッチしてください。



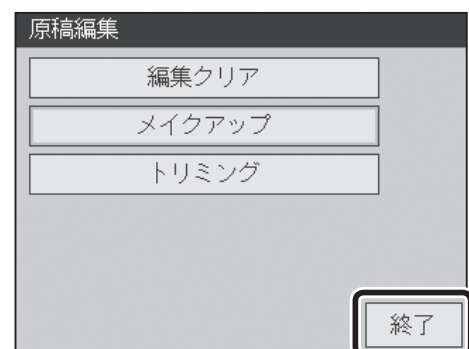
- 3 「メイクアップ追加」をタッチしてください。



- 4 追加したいモードをタッチし、メイクアップしてください。
(参考→ P. 82 「メイクアップについて」)



- 5 「終了」をタッチしてください。

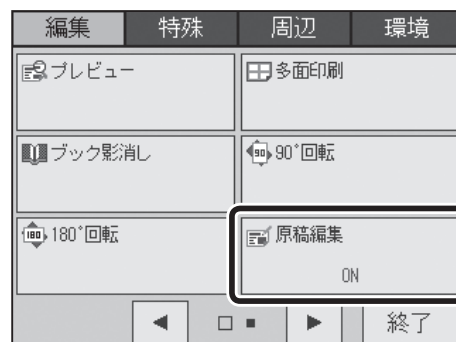


4

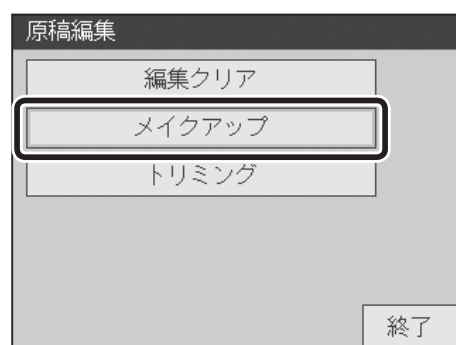
その他の機能

●消去エリア入替を使う

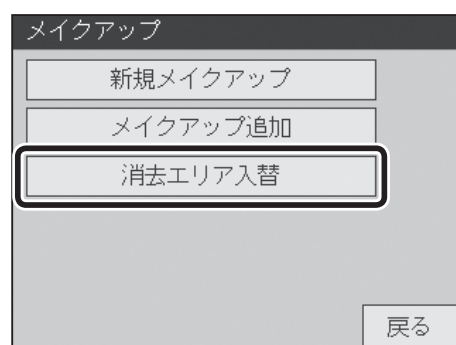
- 1 メイクアップの消去モード設定終了後、「原稿編集」をタッチしてください。



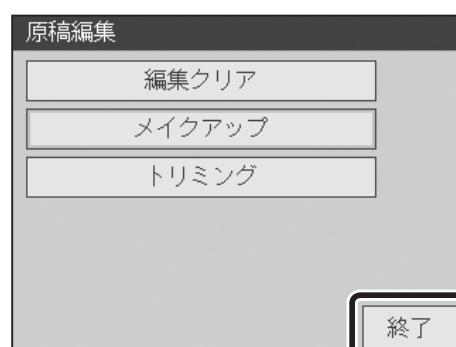
- 2 「メイクアップ」をタッチしてください。



- 3 「消去エリア入替」をタッチしてください。
消去エリア入替が終了しました。

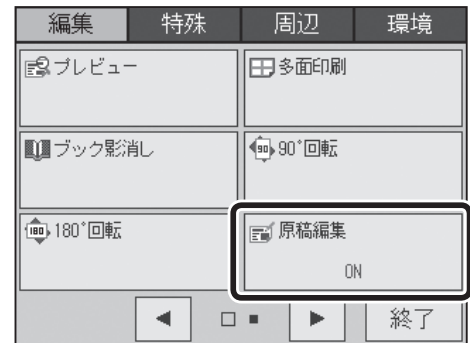


- 4 「終了」をタッチしてください。

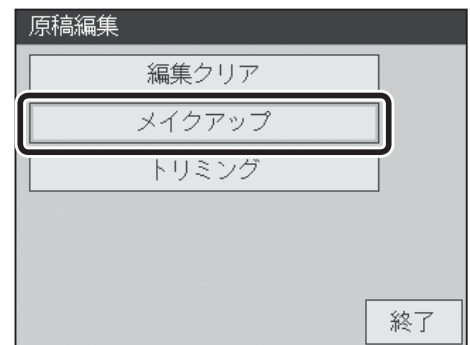


●新規メイクアップを使う

- 1 メイクアップ設定終了後、「原稿編集」をタッチしてください。

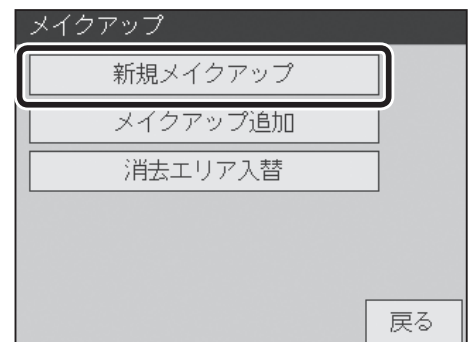


- 2 「メイクアップ」をタッチしてください。



- 3 「新規メイクアップ」をタッチしてください。

「メイクアップの設定のしかた」の手順8から、メイクアップをしてください。
(参考→P. 84「メイクアップの設定のしかた」)



4

その他の機能

トリミングについて

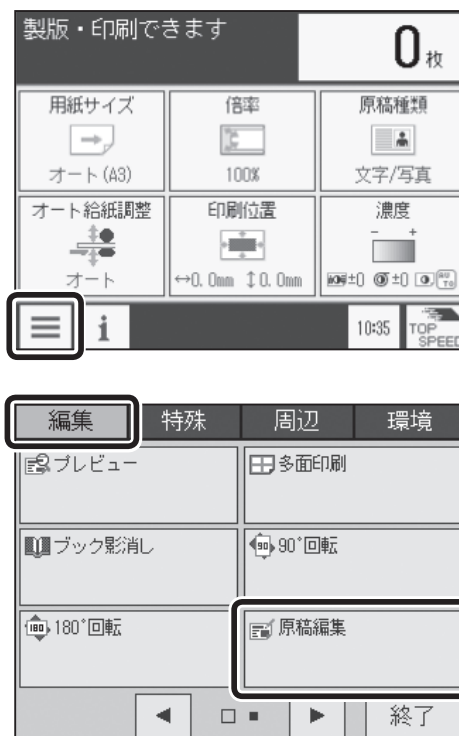
原稿の必要な部分を指定して、不要部分を取り除きプリントできます。
倍率で「オート」を設定していると、自動的に拡大 / 縮小をします。
倍率を設定していると、設定している倍率で拡大 / 縮小をします。
トリミング後にもメイクアップできます。

重要

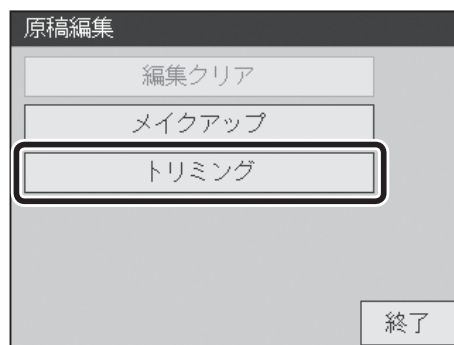
- メイクアップ後、トリミングはできません。必ずメイクアップをする前に、トリミングをしてください
- 「自動原稿送り装置（ADF）（オプション）」では使用できません。

トリミングの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 「原稿編集」をタッチしてください。



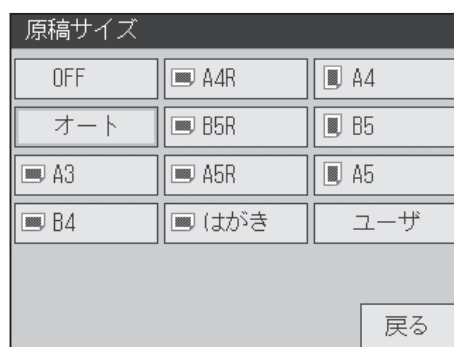
5 「トリミング」をタッチしてください。



6 設定したい「原稿サイズ」をタッチしてください。

参考

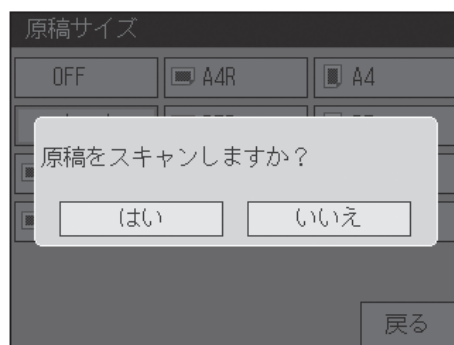
「原稿サイズ」を「OFF」にしてイメージをスキャンすると「用紙サイズ」設定されたサイズでスキャンされます。



7 液晶（タッチパネル）に「原稿をスキャンしますか？」が表示されます。「はい」をタッチしてください。原稿の読み取りが開始されます。 “スキャンしています” “しばらくお待ち下さい”が表示されているときは、電源を入れなおしたり、「リセットキー」は押さないでください。

参考

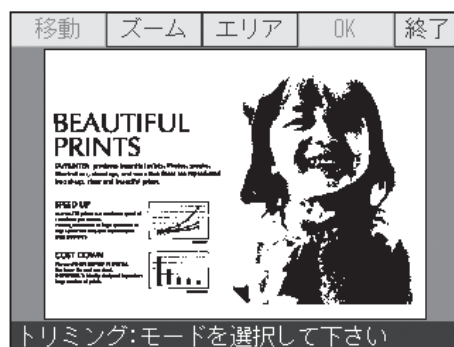
- イメージは「原稿種類」の設定に関係なく、文字モードでスキャンされます。
- イメージは「倍率」の設定に関係なく、100%の倍率でスキャンされます。



8 「エリア」をタッチしてください。

参考

このときに拡大表示したいエリアがあれば、ズームを選択してください。
原稿の一部を拡大して見ることができ、指定しやすくなります。

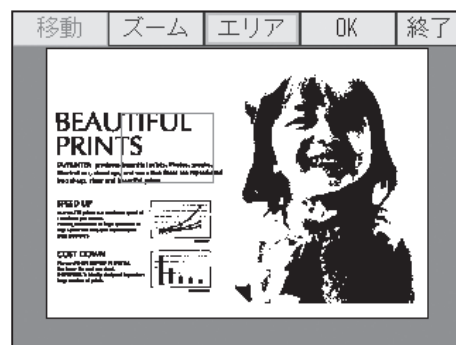


4

その他の機能

次ページへ続く...

- 9 エリアを指定してください。
1. 指定したいエリアの始点に軽くタッチしてください。
 2. タッチしたまま移動させると、エリアが変化します。
 3. 画面から離すとエリアが決定します。
※エリアを決め直したいときは、もう一度1～3の
手順にしたがってください。
 4. 「OK」をタッチしてください。



- 10 エリアが指定され終了します。

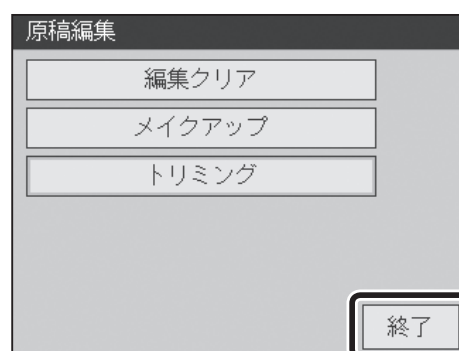
- 11 「終了」をタッチしてください。

参考

原稿編集の設定をすると、基本画面下に原稿編集のアイコンが表示されます。

アイコンをタッチすれば、原稿編集設定画面が表示され設定を変更できます。

ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



- 12 「製版キー」を押してください。
トリミングを反映した製版をします。

トリミングした原稿をメイクアップしたい場合は、「メイクアップ」項にしたがってください。
(参考→P. 82「メイクアップについて」)

編集機能 再製版機能

再製版機能について

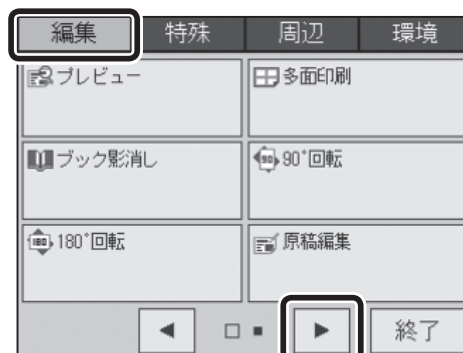
再製版機能は、前回スキャンした原稿イメージを製版するための機能です。

重要

- 電源を切ると、保存されているイメージは消去されます。
- 「リセットキー」を押すと、保存されているイメージは消去されます。
- 電源を入れたとき、または何もスキャンされていないときは、この機能を使用できません。
- 最後にスキャンされたイメージが保存されます。
- 機密保持が設定されているときは、この機能を使用できません。
- 「180°回転」を設定して、再製版できます。

再製版機能の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「編集」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



4

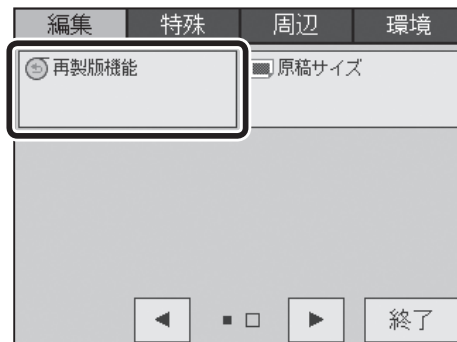
その他の機能

次ページへ続く…

5 「再製版機能」をタッチしてください。

重要

「再製版機能」の表示がマスクされている場合は、タッチできません。



6 「ON」をタッチしてください。

参考

- 再製版機能を OFF（標準）にする場合
 - ・「再製版機能」をタッチし「OFF」をタッチしてください。
 - ・「リセットキー」を押してください。
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。また、イメージは消去され一度製版をしないと「再製版機能」はタッチできません。



7 「終了」をタッチしてください。

参考

再製版機能の設定をすると、基本画面下に再製版機能のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、再製版機能設定画面が表示され設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



編集機能 原稿サイズ

原稿サイズについて

プリントする原稿サイズを設定します。

参考

以下の原稿を使用する場合は原稿サイズを設定してください。

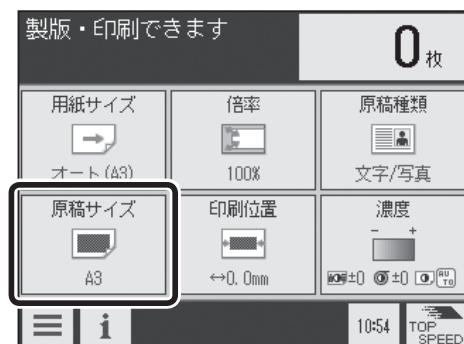
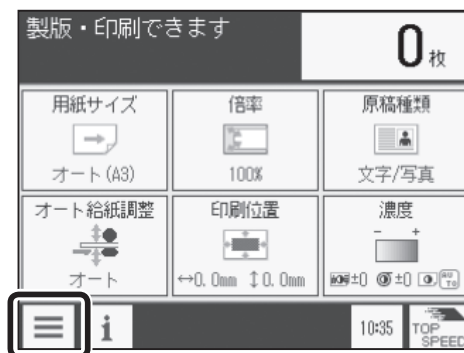
- 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」に原稿をヨコ置きした場合。
- 不定型の用紙を原稿に用いた場合。
- 原稿サイズを正しく読めない場合。
- 設定された用紙サイズよりも、使用される原稿サイズが小さい場合は、原稿サイズの大きさをプリントされます。用紙サイズを優先させたい場合は、原稿サイズを「OFF」にしてください。

原稿サイズの設定のしかた

- 1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。

参考

CD57DP/CD54DP (ADF オプションなし) は、基本画面の「原稿サイズ」をタッチして、手順 6 へ進んでください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

3 「編集」をタッチしてください。

4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

5 「原稿サイズ」をタッチしてください。

6 使用する原稿サイズをタッチしてください。
原稿サイズが設定されます。

参考

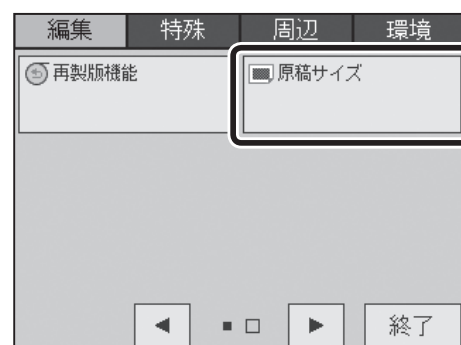
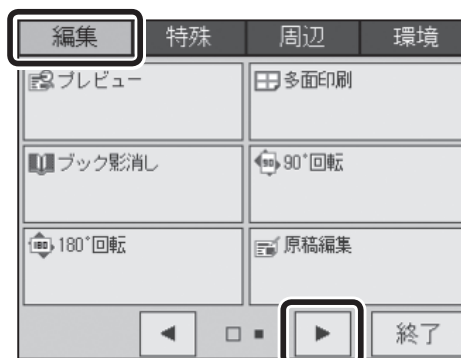
「オート」に設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。

※ CD57DP/CD54DP にはオート機能はついていません。

7 「終了」をタッチしてください。

参考

CD57DP/CD54DP (ADF オプションなし) は、原稿サイズを選択すると基本画面に戻ります。



原稿サイズのユーザ設定のしかた

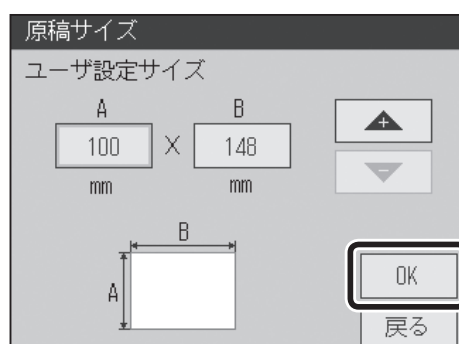
1 「原稿サイズ」をタッチしてください。



2 「ユーザ」をタッチしてください。

3 「A」、「B」の寸法を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は「テンキー」からも入力できます。

4 「OK」をタッチしてください。



4

その他の機能

● 「ブック影消し」を設定している場合

5 ブック方向をタッチしてください。



特殊機能 メモリ機能設定

メモリ機能設定について

枚数・組数 / メモリの名前 / 各機能設定 / 区分け, 原稿別プリントを、あらかじめ設定し保存しておくことができます。その保存した設定を使用したいときに呼出して、製版 / プリントできます。必要に応じて、変更したり、設定を確認できます。

メモリに枚数・組数の入力をし、必要に応じてメモリの名前の変更、各機能設定や区分け、原稿別プリントの設定をして保存します。電源を切っても、設定は消去されません。

●メモリについて

メモリは計 9 個 (MEMORY1 ~ 9) あります。

指定した枚数と組数の設定を 1 セットとし、90 セットまでまとめて設定できます。

●メモリの名前変更

工場出荷時にはメモリに「MEMORY *」という名称がついています。

必要に応じて名前を変更してください。

●各機能設定

保存できる設定は次のとおりです。

・印刷スピード、印刷位置、用紙サイズ、倍率、原稿種類、濃度、オート給紙調整 (CD87DP / CD67DP のみ)、多面印刷、ブック影消し、90° 回転、180° 回転、原稿サイズ、省インクモード、ショートカット設定

メモリ機能設定のしかた

1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。



3 「特殊」をタッチしてください。

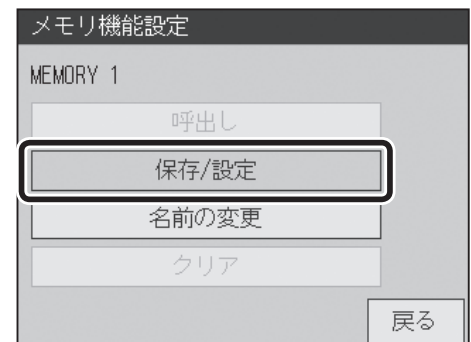
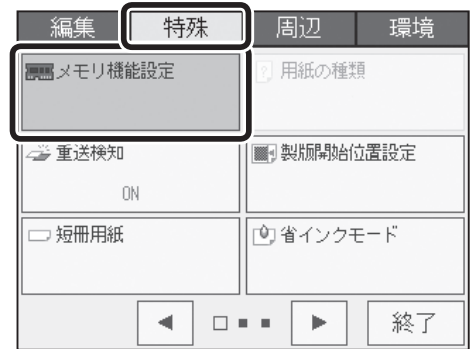
4 「メモリ機能設定」をタッチしてください。

5 保存したいメモリ番号をタッチしてください。

6 「保存 / 設定」をタッチしてください。

参考

保存されていない場合は、「呼出し」、「クリア」をタッチできません。



4

その他の機能

次ページへ続く...

●枚数・組数を入力する

- 7** 枚数・組数入力画面が、表示されます。
「テンキー」を押して枚数・組数を、入力してください。
(参考→P.139「区分け / 原稿別プリントについて」)

例) 「3」、「×」、「3」、「×」、と押すと右の画面のように
入力されていきます。

参考

- 入力を間違えた場合は、間違えた箇所をタッチし、「テンキー」で数値を入力してください。
 - ・全てクリアしたい場合は、「全クリア」をタッチしてください。
 - ・画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。
 - ・原稿別に区分け処理をする場合は、「区分け」をタッチし「原稿別プリント」をタッチしてください。

メモリ機能設定					
1:	0 枚	1 組	6:	0 枚	1 組
2:	0 枚	1 組	7:	0 枚	1 組
3:	0 枚	1 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組
区分け			切替		
全クリア			保存		
◀ 1/9 ▶			戻る		

メモリ機能設定					
1:	3 枚	3 組	6:	0 枚	1 組
2:	3 枚	3 組	7:	0 枚	1 組
3:	3 枚	3 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組
区分け			切替		
全クリア			保存		
◀ 1/9 ▶			戻る		

●各機能設定をする

- 8** 「切替」をタッチしてください。

メモリ機能設定					
1:	3 枚	3 組	6:	0 枚	1 組
2:	3 枚	3 組	7:	0 枚	1 組
3:	3 枚	3 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組
区分け			切替		
全クリア			保存		
◀ 1/9 ▶			戻る		

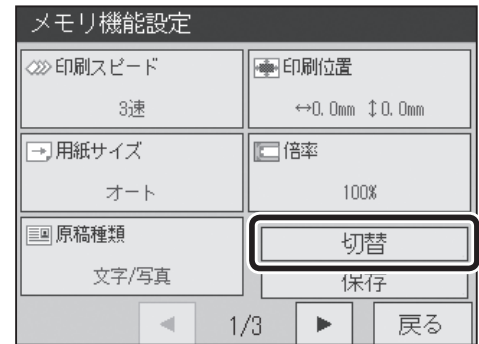
- 9** 設定を変更したい箇所をタッチし機能設定を変更してください。

参考

画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると次のページが表示されます。

メモリ機能設定	
印刷スピード 3速	印刷位置 ↔0.0mm ↓0.0mm
用紙サイズ オート	倍率 100%
原稿種類 文字/写真	切替
	保存
◀ 1/3 ▶	戻る

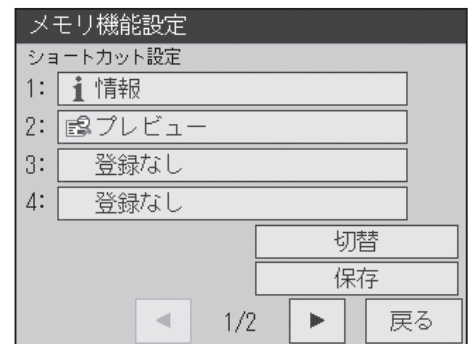
- 10 「切替」をタッチしてください。



- 11 ショートカットを登録する場所をタッチしてください。

参考

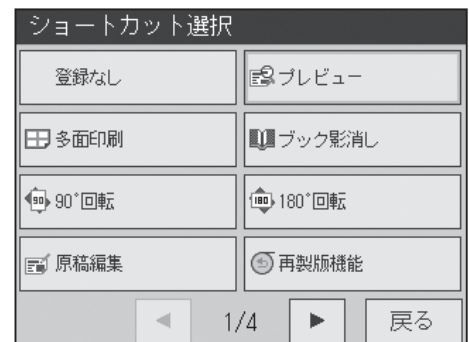
ショートカットは最大6個まで登録できます。



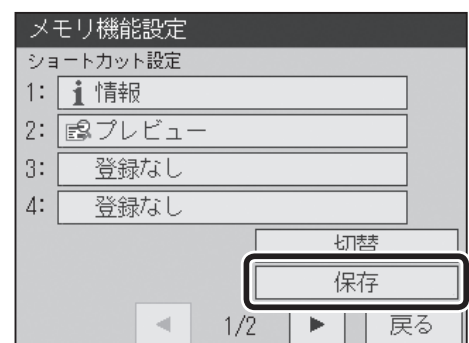
- 12 登録するショートカットをタッチしてください。
(参考→P.154「環境機能 ショートカット設定」)

参考

ショートカットを取消す場合は、「登録なし」をタッチしてください。



- 13 「保存」をタッチしてください。
設定保存中は電源を切らないでください。



●名前の変更をする

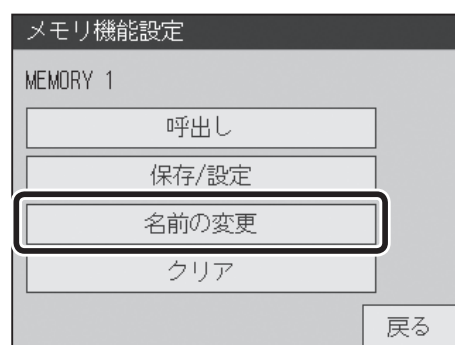
- 1 設定したいメモリ番号をタッチしてください。



- 2 「名前の変更」をタッチしてください。

参考

保存されていない場合は、「呼出し」、「クリア」を選択できません。



- 3 入力する文字をタッチしてください。



文字を消すときに使用します。



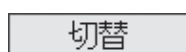
名前の下のカースルを右へ移動します。



名前の下のカースルを左へ移動します。



名前を設定します。



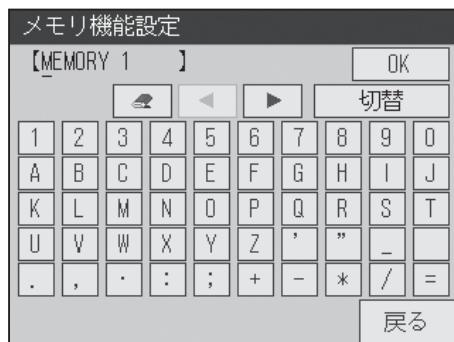
英大文字、英小文字、カタカナと入力画面を切り替えます。



●カタカナ入力の場合



●英数字大文字入力の場合



●英数字小文字入力の場合



4

「OK」をタッチしてください。
名前が設定されます。



その他の機能

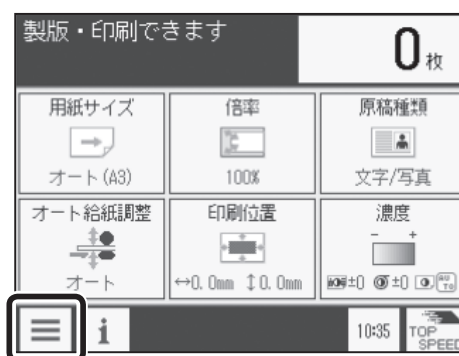
4

保存している設定を呼出す

あらかじめ、保存した設定を使用したいときに呼出して、製版 / プリントをします。
必要に応じて追加修正、呼出したメモリの枚数・組数のクリア、組数を2～5倍に変更できます。
この場合の変更は、一時的なものなので、変更した設定は保存されません。

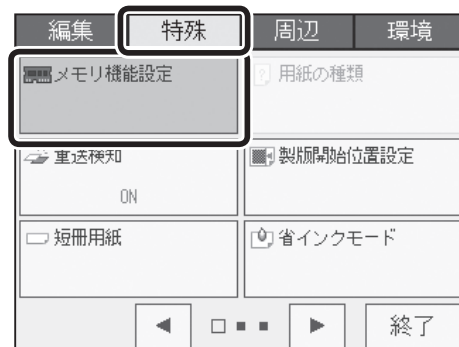
1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。




3 「特殊」をタッチしてください。

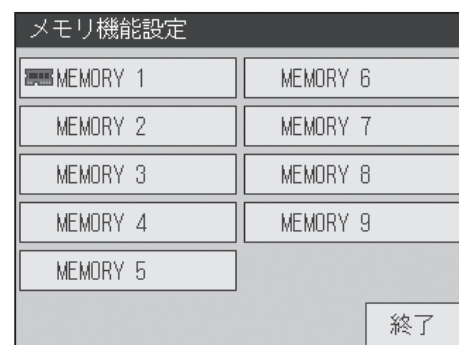
4 「メモリ機能設定」をタッチしてください。



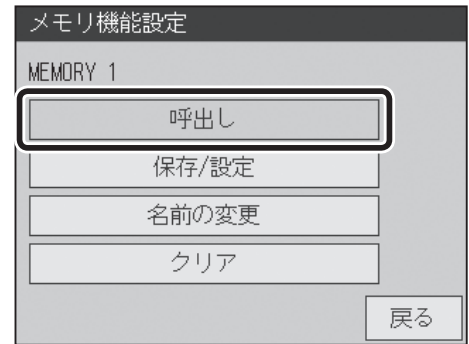
5 呼出したいメモリ番号をタッチしてください。

参考

保存されているメモリには、左にのアイコンが表示されます。



6 「呼出し」をタッチしてください。



参考

- 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。
- ここで「呼出し」をタッチすると、保存している設定が呼出されます。



4

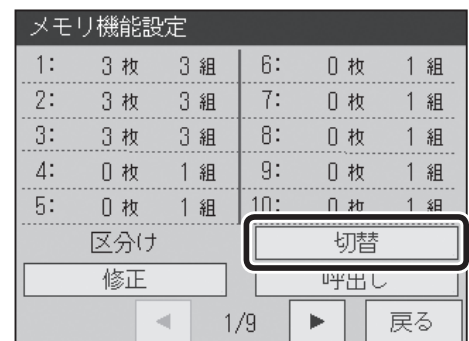
その他の機能

●保存されている設定を確認する

1 「切替」をタッチしてください。
保存されている設定が、表示されます。

参考

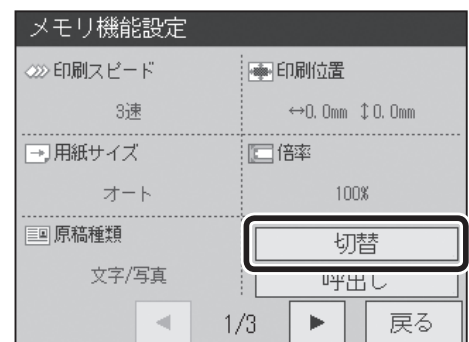
- 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。
- ここで「呼出し」をタッチすると、保存している設定が呼出されます。



重要

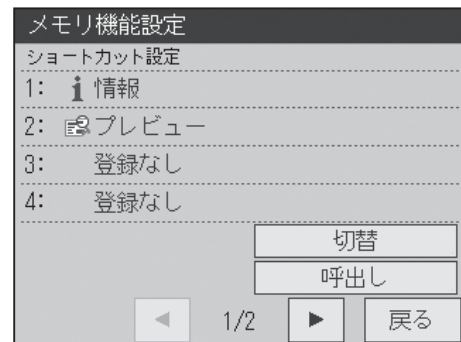
設定を変更できません。

2 「切替」をタッチしてください。



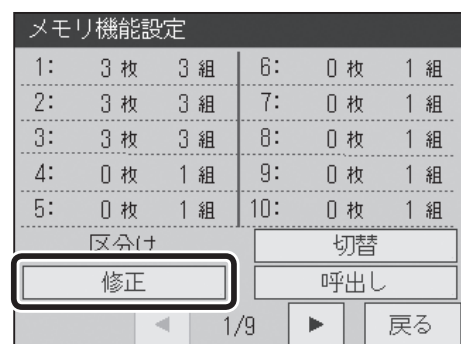
次ページへ続く…

- 3 ショートカット設定が表示されます。

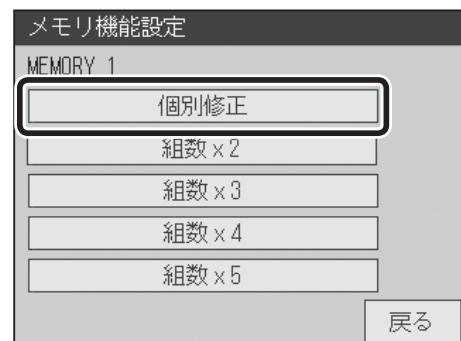


●枚数・組数を修正する

- 1 「修正」をタッチしてください。



- 2 「個別修正」をタッチしてください。

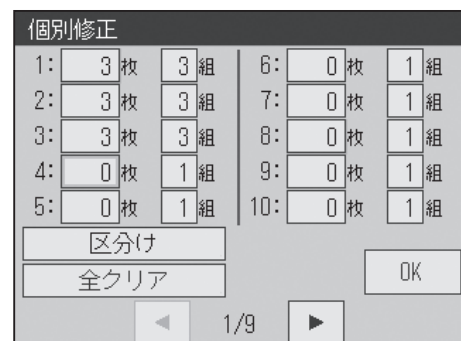


- 3 保存されている枚数・組数が、表示されます。
変更したい箇所をタッチし、「テンキー」で数値を入力してください。

参考

- 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。
- 「全クリア」をタッチすると、枚数・組数が全てクリアされます。

- 4 「OK」をタッチしてください。



- 5 「呼出し」をタッチしてください。
修正を反映した設定が呼出されます。

参考

修正した内容は保存されません。

メモリ機能設定					
1:	3 枚	3 組	6:	0 枚	1 組
2:	3 枚	3 組	7:	0 枚	1 組
3:	3 枚	3 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組
区分け			切替		
修正			呼出し		
◀ 1/9 ▶			戻る		

- 6 「終了」をタッチしてください。

編集	特殊	周辺	環境
メモリ機能設定		用紙の種類	
重送検知 ON		製版開始位置設定	
<input type="checkbox"/> 短冊用紙		<input type="checkbox"/> 省インクモード	
◀ ◻ ◻ ◻ ▶		終了	

4

その他の機能

●組数を 2 ～ 5 倍に変更して呼び出す

- 1 「修正」をタッチしてください。

メモリ機能設定					
1:	3 枚	3 組	6:	0 枚	1 組
2:	3 枚	3 組	7:	0 枚	1 組
3:	3 枚	3 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組
区分け			切替		
修正			呼出し		
◀ 1/9 ▶			戻る		

- 2 「組数 × *」をタッチしてください。

メモリ機能設定	
MEMORY 1	
個別修正	
組数 × 2	
組数 × 3	
組数 × 4	
組数 × 5	
戻る	

次ページへ続く...

- 3 保存されている組数から組数を2～5倍にして表示されます。

参考

- 枚数が0枚の場合は、組数は1組のままです。
- 組数が99組を超える場合は、99組になります。
- 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。

メモリ機能設定					
1:	3枚	6組	6:	0枚	1組
2:	3枚	6組	7:	0枚	1組
3:	3枚	6組	8:	0枚	1組
4:	0枚	1組	9:	0枚	1組
5:	0枚	1組	10:	0枚	1組
区分け			切替		
修正			呼出し		
1/9			戻る		

- 4 「呼出し」をタッチしてください。
修正を反映した設定が呼出されます。

参考

修正した内容は保存されません。

メモリ機能設定					
1:	3枚	6組	6:	0枚	1組
2:	3枚	6組	7:	0枚	1組
3:	3枚	6組	8:	0枚	1組
4:	0枚	1組	9:	0枚	1組
5:	0枚	1組	10:	0枚	1組
区分け			切替		
修正			呼出し		
1/9			戻る		

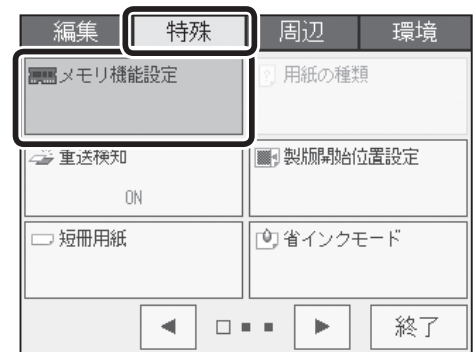
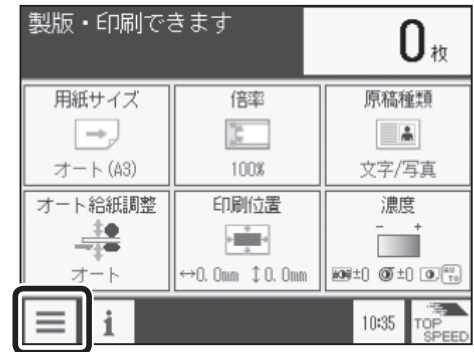
- 5 「終了」をタッチしてください。

編集	特殊	周辺	環境
メモリ機能設定		用紙の種類	
重送検知 ON		製版開始位置設定	
短冊用紙		省インクモード	
		終了	

保存している設定をクリアする

メモリに保存している設定をクリアします。

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「メモリ機能設定」をタッチしてください。




4

その他の機能

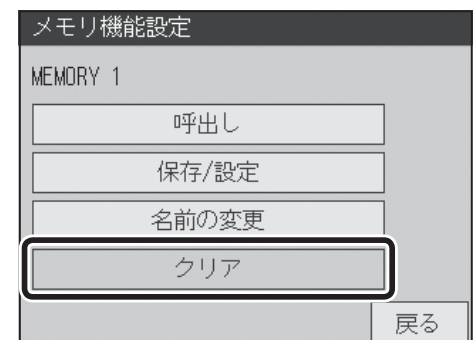
- 5 クリアしたいメモリ番号をタッチしてください。

参考

保存されているメモリには、左にのアイコンが表示されます。



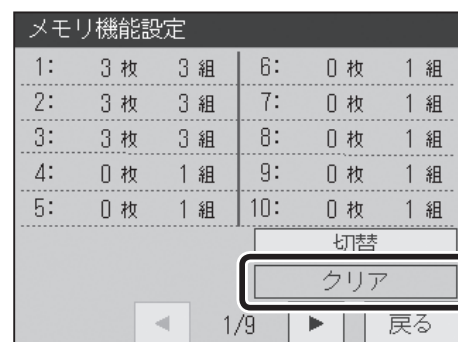
- 6 「クリア」をタッチしてください。



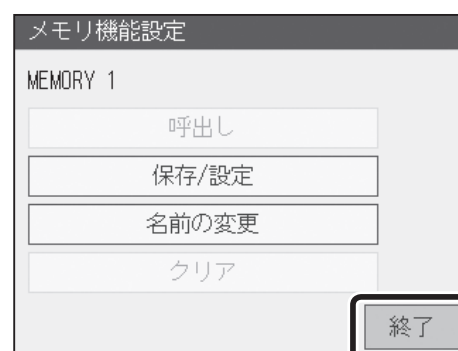
次ページへ続く…

7 保存されている設定を確認してください。

8 「クリア」をタッチしてください。
保存されている設定がクリアされます。



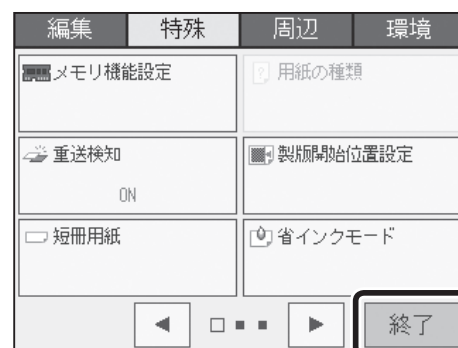
9 「終了」をタッチしてください。



10 「終了」をタッチしてください。



11 「終了」をタッチしてください。



特殊機能 用紙の種類

用紙の種類について

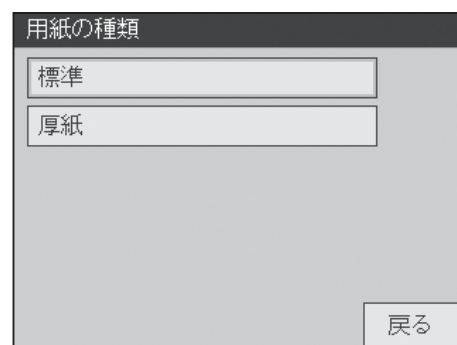
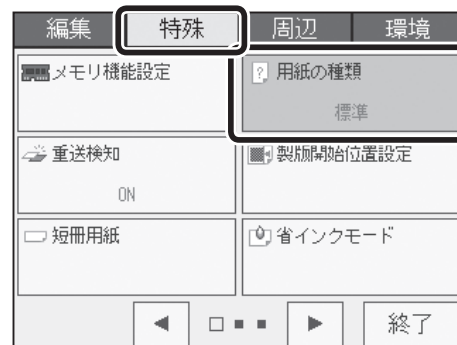
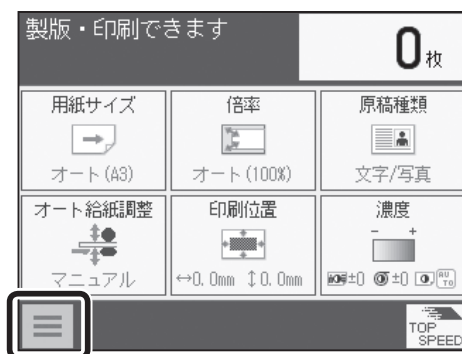
使用する用紙の種類を選択することで給紙を安定させます。

参考

- オート給紙調整が「オート」の場合は設定できませんので、「マニュアル」に変更してください。
- CD57DP/CD54DP には、オート給紙調整機能は付いていません。

用紙種類の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「用紙の種類」をタッチしてください。
- 5 「標準」、「厚紙」から、使用する用紙に応じた項目をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

6 「終了」をタッチしてください。

参考

厚紙に設定すると、基本画面下に用紙の種類のアイコンが表示されます。

アイコンをタッチすれば、用紙の種類設定画面が表示され、設定を変更できます。

ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



● 「重送検知」を「ON」に設定している場合

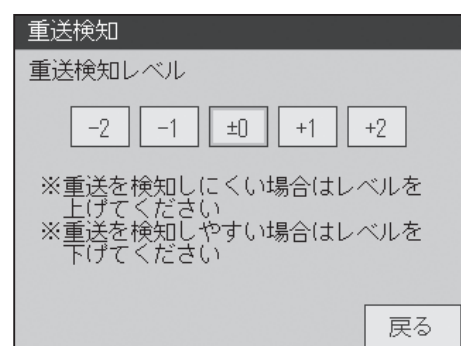
7 「重送検知レベル」設定画面が表示されます。

「重送検知レベル」をタッチしてください。

重送検知が設定されます。

参考

- 重送を検知しにくい場合は、検知レベルを「+」の方を、タッチしてください。
- 重送を検知しやすい場合は、検知レベルを「-」の方を、タッチしてください。



特殊機能 重送検知

重送検知について

用紙が2枚以上重なって送られると、重送検知機能がはたらき、パネル上に用紙の2枚送りを検出したことをお知らせします。

参考

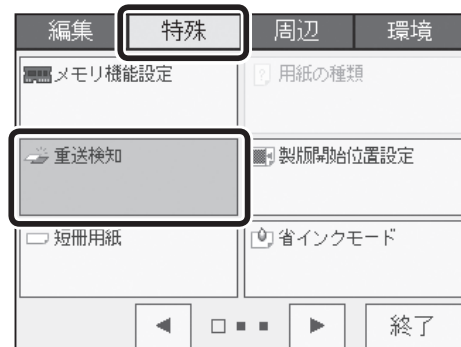
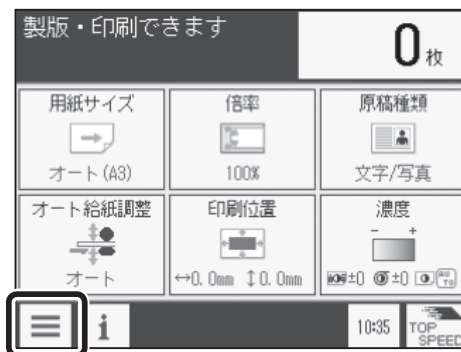
- 色のついた用紙、両面印刷、2度刷り、誤って厚さの違う用紙が混ざっているときは、重送と検知することがあります。
- 「テープクラスタ（オプション）」を装着した機械は、テープクラスタの設定を「ON」にしていると、重送が発生した箇所に、テープを挿入します。
- CD57DP/CD54DPには重送検知機能はついていません。

重要

- 出荷時は「ON」に設定されています。
- 短冊用紙を「ON」に設定しているときは使用できません。

重送検知の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「重送検知」をタッチしてください。



その他の機能

次ページへ続く…

5 「ON」をタッチしてください。

参考

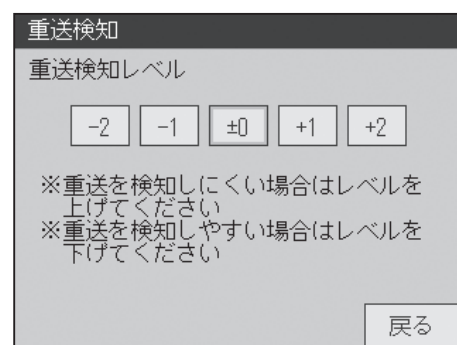
- 重送検知を OFF にする場合
 - ・ 「重送検知」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



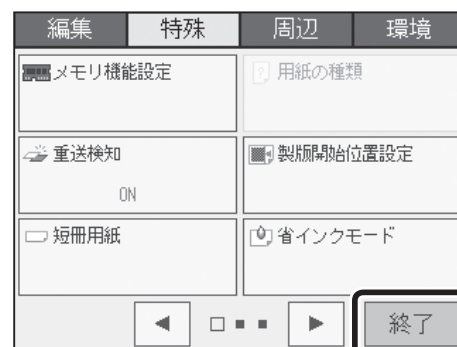
6 「重送検知レベル」をタッチしてください。
重送検知が設定されます。

参考

- 重送を検知しにくい場合は、検知レベルを「+」の方をタッチしてください。
- 重送を検知しやすい場合は、検知レベルを「-」の方をタッチしてください。



7 「終了」をタッチしてください。



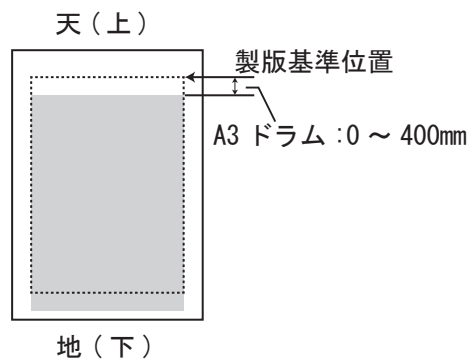
特殊機能 製版開始位置設定

製版開始位置について

製版開始位置を天地（上下）方向へ任意にずらすことができます。
プリントする画像の位置を用紙に合わせて調整する場合に使用します。

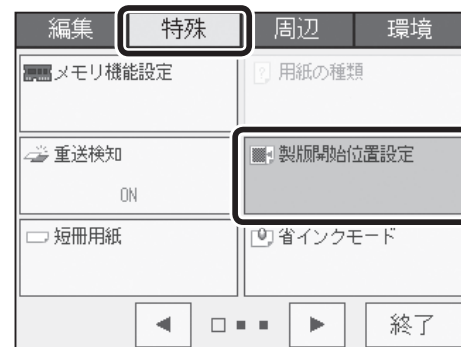
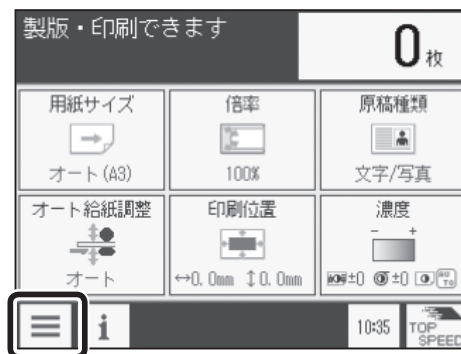
重要

- CD54DP には製版開始位置の設定はありません。
- 製版開始位置の変更が可能な範囲は 0mm ～ 400mm です。
- 製版開始位置の設定は電源を切っても記憶されています。
- 通常の製版より製版時間が長くなります。
- コンピューターを使用してプリントする場合も有効です。



製版開始位置の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「製版開始位置設定」をタッチしてください。



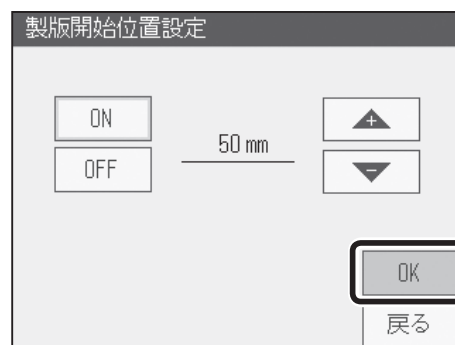
次ページへ続く…

- 5 「ON」をタッチしてください。



- 6 製版開始位置を設定してください。
「+」をタッチすると数値が大きくなります。
「-」をタッチすると数値が小さくなります。
0mm ~ 400mm まで設定できます。
数値は「テンキー」からも入力できます。

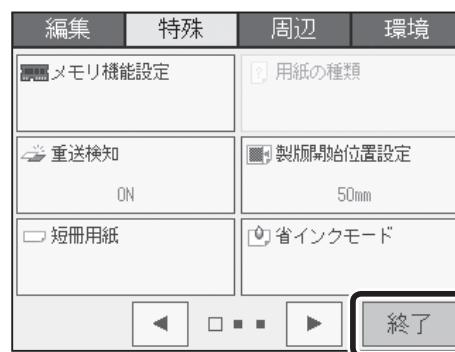
- 7 「OK」をタッチしてください。
製版開始位置が設定されます。



- 8 「終了」をタッチしてください。

参考

製版開始位置を設定すると基本画面下に製版開始位置のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば製版開始位置設定画面が表示され設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



特殊機能 短冊用紙

短冊用紙について

幅の狭い「のし紙」をプリントする場合に、設定してください。

参考

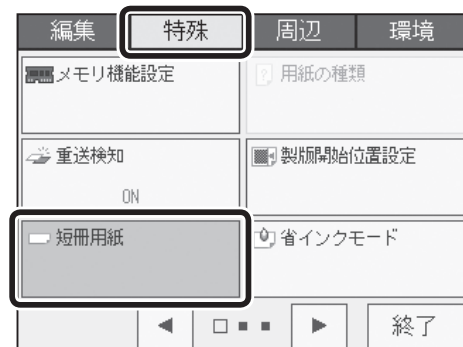
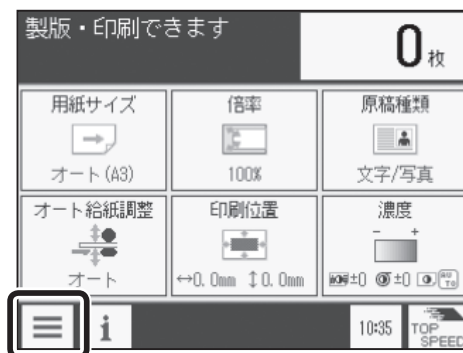
- 幅の狭い「のし紙」を使用する場合は、短冊紙対応キット（オプション）が必要です。
- 短冊紙対応キットを取り付けても、用紙幅 50mm 以下の用紙は、セットできません。

重要

- 短冊用紙の設定を使用する場合は、印刷位置（左右）の調整はしないでください。印刷位置は、「 \updownarrow 0.0mm」の位置で使用してください。
- 短冊用紙を「ON」に設定すると、重送検知は強制的に「OFF」になります。

短冊用紙の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「短冊用紙」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

- 5 「ON」をタッチしてください。
短冊用紙が設定されます。

参考

- 短冊用紙を OFF（標準）にする場合
 - ・「短冊用紙」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



- 6 「終了」をタッチしてください。

参考

短冊用紙の設定をすると、基本画面下に短冊用紙のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、短冊用紙設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



特殊機能 省インクモード

省インクモードについて

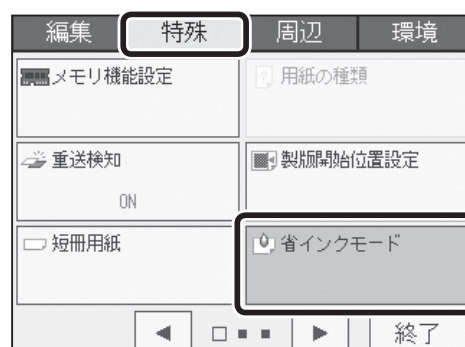
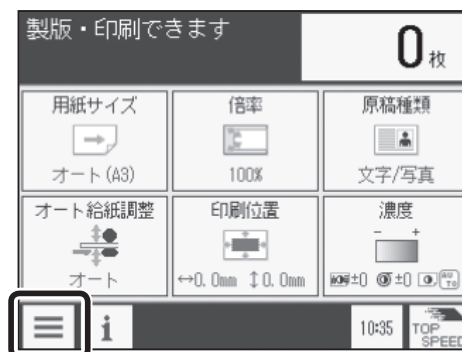
原稿読取濃度を変更することにより、インクを最大 20% 程度節約してプリントできます。

重要

- 印刷イメージが、多少薄くなる場合があります。
- 省インクモードに設定するときは、製版からしてください。
- 原稿および他の機能設定により大きく異なります。
- 再製版、パソコンインターフェース、USB メモリマネージャー（オプション）、内蔵メモリ（オプション）では使用できません。

省インクモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 「省インクモード」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く…

- 5 「ON」をタッチしてください。
省インクモードが設定されます。

参考

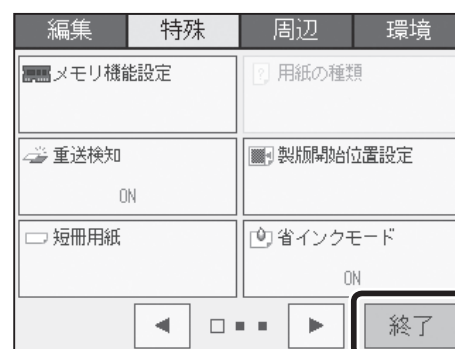
- 省インクモードを OFF（標準）にする場合
 - ・「省インクモード」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



- 6 「終了」をタッチしてください。

参考

省インクモードの設定をすると、基本画面下に省インクモードのアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、省インクモード設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



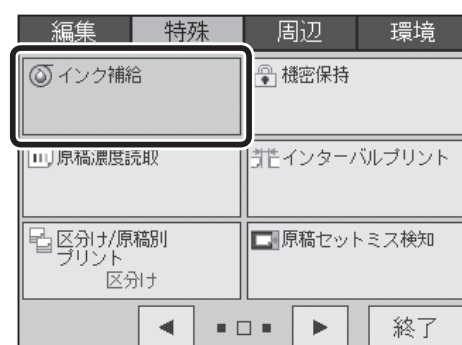
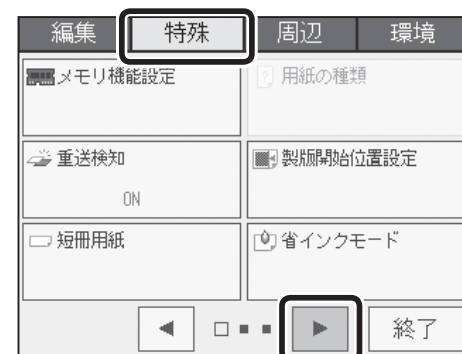
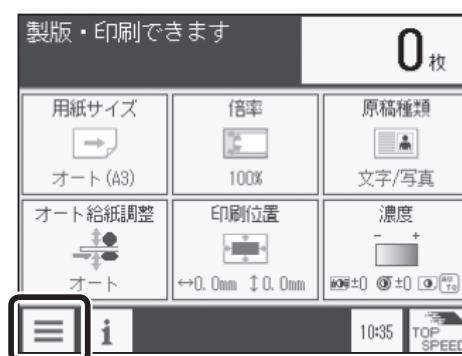
特殊機能 インク補給

インク補給について

インクを装着したときに、強制的にドラムにインクの補給をします。

インク補給のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「インク補給」をタッチしてください。



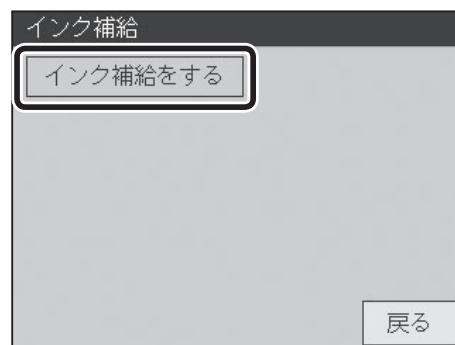
4

その他の機能

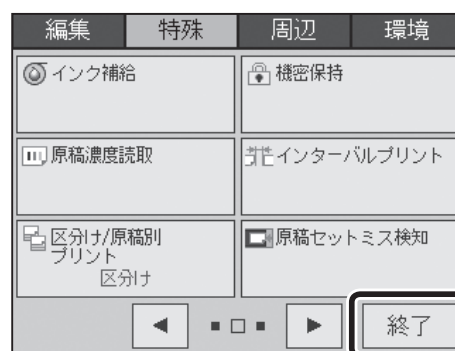
次ページへ続く…

- 6 「インク補給をする」をタッチしてください。
インク補給が始まります。

インクが補給されると「ピッ」と音がなり機械が停止します。



- 7 「終了」をタッチしてください。



特殊機能 機密保持

機密保持について

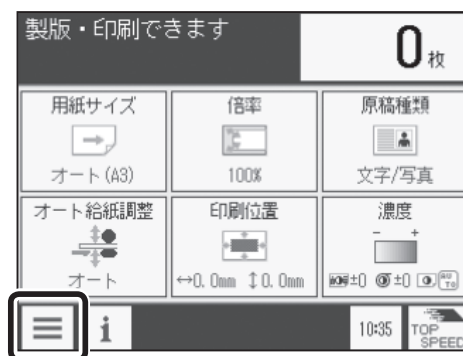
- 機密文書など、他の人に見られたくないとき、簡単な操作でプリントを禁止できます。製版しないと、プリントができません。
- ドラムに巻かれているマスターを排版し、何も製版されていないマスターをドラムに巻きつけることができます。

重要

- 機密保持を設定すると、プリントとテストプリントと再製版機能ができなくなります。プリントとテストプリントと再製版機能以外は、使用できます。
- 電源を切っても機密保持は解除されません。
- 機密保持が設定されていても製版できます。
- 一度製版すると、機密保持は解除されます。

機密保持の設定のしかた

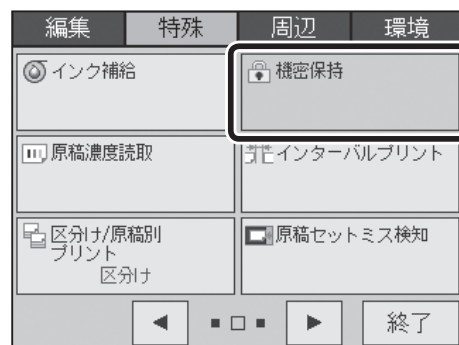
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



その他の機能

次ページへ続く...

5 「機密保持」をタッチしてください。



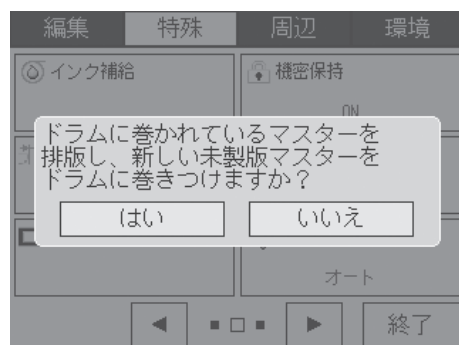
6 「ON」をタッチしてください。
ドラムに巻かれているマスターを排版し、新しい未製版のマスターをドラムに巻きつけるか、を選択できます。



「はい」をタッチするとドラムに巻かれているマスターを排版し、何も製版されていないマスターをドラムに巻きつけます。

「いいえ」をタッチすると、機密保持を設定する前のマスターが巻きついたままになります。

次に製版するまで「プリントキー」や、「テストプリントキー」で、プリントできません。

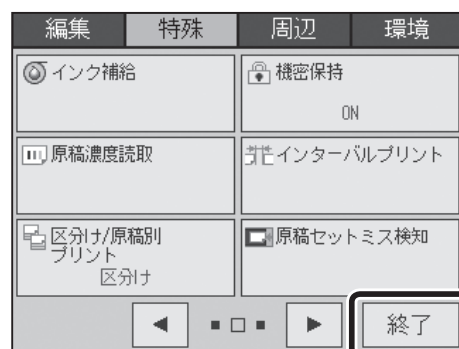


7 「終了」をタッチしてください。

参考

機密保持の設定をすると、基本画面下に機密保持のアイコンが表示されます。

ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



特殊機能 原稿濃度読取

原稿濃度読取について

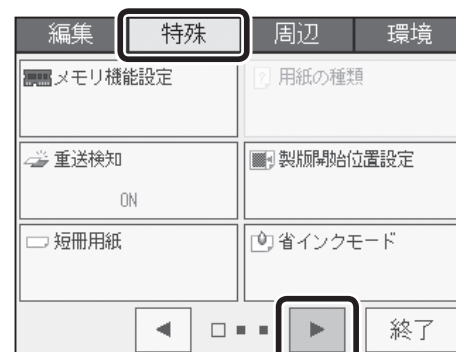
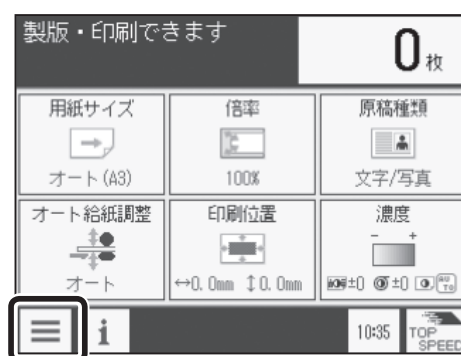
原稿濃度読取の設定は、原稿をより繊細に読み取るための設定です。
原稿全体の濃度を読み取り、原稿の最も明るい部分を識別します。
本などの中央がとじてある原稿を読み取って、プリントするとき有効です。

重要

- 原稿全体の濃度を読み取るために、「原稿濃度読取」を OFF に設定している場合より、製版時間が若干長くなります。
- 「自動原稿送り装置 (ADF) (オプション)」で製版する場合、「原稿濃度読取」は使用できません。
- 「原稿濃度読取」を OFF に設定している場合、原稿先端に黒ベタ部分があると、うすくプリントされます。このような場合は、「原稿濃度読取」を ON に設定してください。
例：本、原稿先端に黒ベタがある原稿

原稿濃度読取の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

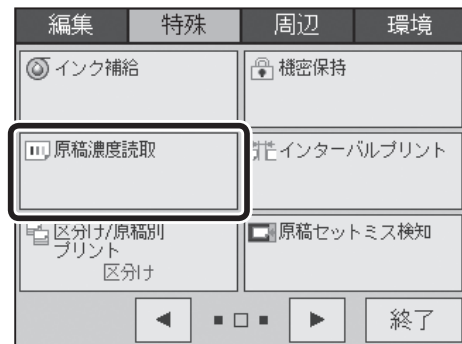


4

その他の機能

次ページへ続く...

5 「原稿濃度読取」をタッチしてください。



6 「ON」をタッチしてください。
原稿濃度読取が設定されます。

参考

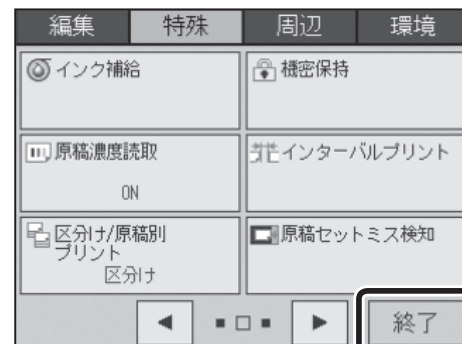
- 原稿濃度読取を OFF（標準）にする場合
 - ・ 「原稿濃度読取」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



7 「終了」をタッチしてください。

参考

原稿濃度読取の設定をすると、基本画面下に原稿濃度読取のアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、原稿濃度読取設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



特殊機能 インターバルプリント

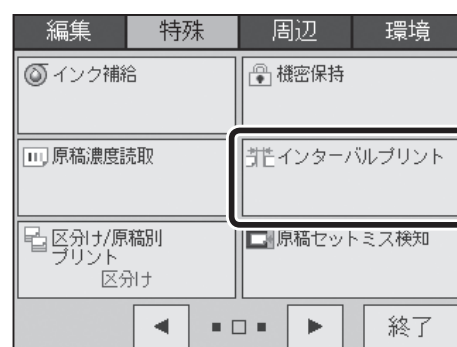
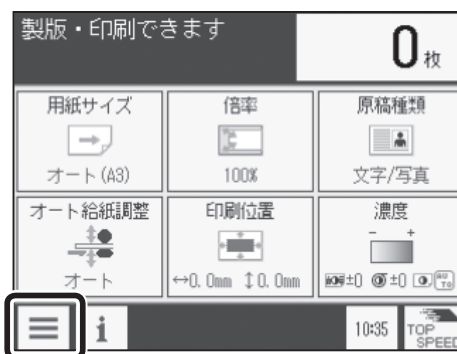
インターバルプリントについて

プリント時、一定の間隔をあけて、プリントします。設定時間は1秒～99秒の間で設定できます。

- 区分け 指定した枚数を1組とし、1組ごとに設定時間（インターバル）をあけて、プリントできます。テーブルスタ使用時は、機能がはたらきません。
- 1枚ずつ 1枚ごとに設定時間（インターバル）をあけて、プリントできます。

インターバルプリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「インターバルプリント」をタッチしてください。



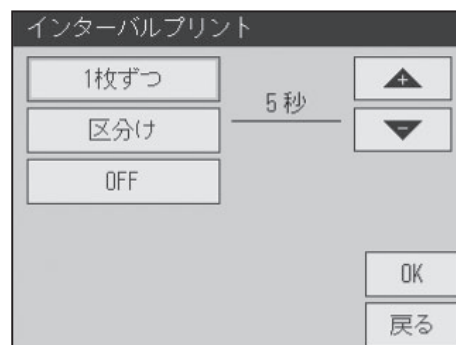
4

その他の機能

次ページへ続く…

6 「1枚ずつ」または「区分け」をタッチしてください。

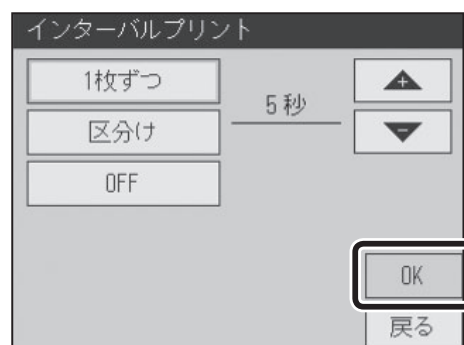
7 設定時間（1秒～99秒）を入力してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は「テンキー」からも入力できます。



8 「OK」をタッチしてください。
インターバルプリントが設定されます。

参考

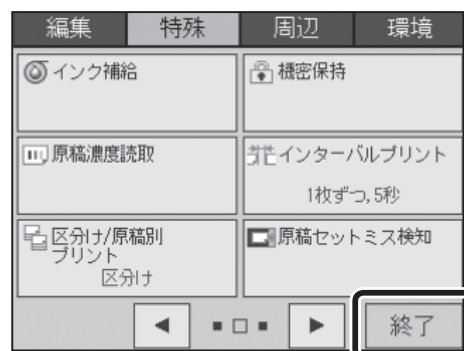
- インターバルプリントを OFF（標準）にする場合
・「インターバルプリント」をタッチし、「OFF」をタッチしてください。



9 「終了」をタッチしてください。

参考

インターバルプリントの設定をすると、基本画面下にインターバルプリントのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、インターバルプリント設定画面が表示され、設定を変更できます。ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする

区分け / 原稿別プリントについて

●区分けプリント

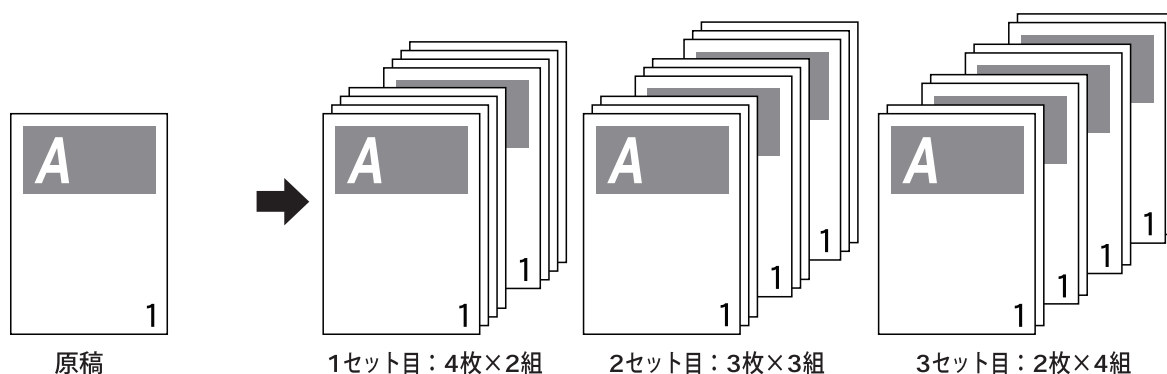
指定した枚数を1組とし、指定した組数だけ、プリントできます。

指定した枚数と組数の設定を、1セットとして90セットまでまとめて設定できます。

「テーブルクラスタ（オプション）」を装着しているときは、1組のプリントが終わるごとにテープを挿入します。

重要

区分けプリントの設定は、製版する前に設定してください。

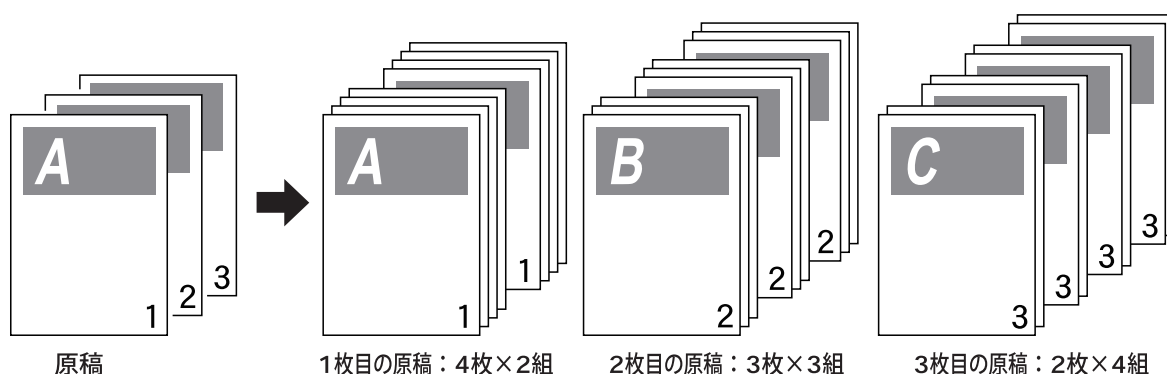


●原稿別プリント

原稿ごとにプリント枚数を変えることができます。あらかじめ90セット分の原稿について、それぞれのプリント枚数を設定できます。

重要

原稿別プリントの設定は、製版する前に設定してください。



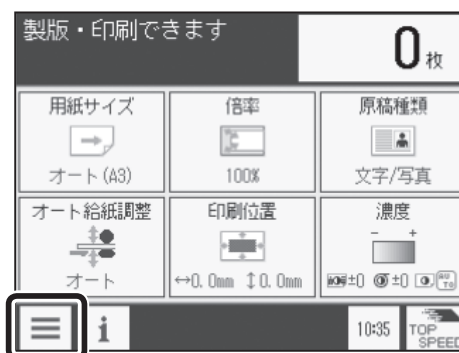
4

その他の機能

区分け / 原稿別プリントの設定のしかた

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。

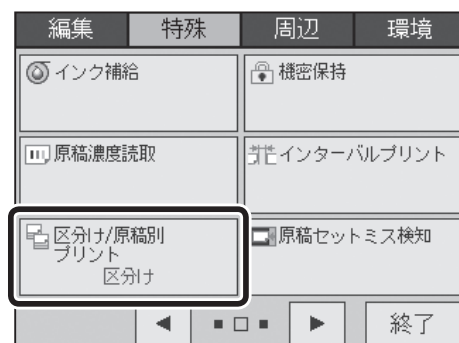


3 「特殊」をタッチしてください。

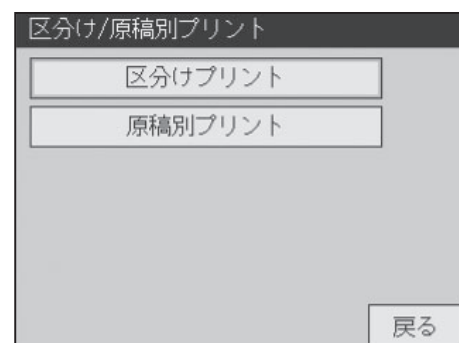
4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



5 「区分け / 原稿別プリント」をタッチしてください。



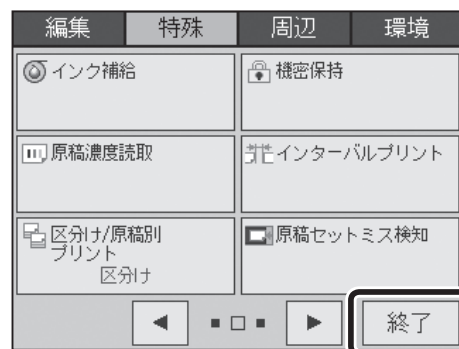
6 「区分けプリント」または「原稿別プリント」をタッチしてください。
区分け / 原稿別プリントが設定されます。



- 7 「終了」をタッチしてください。

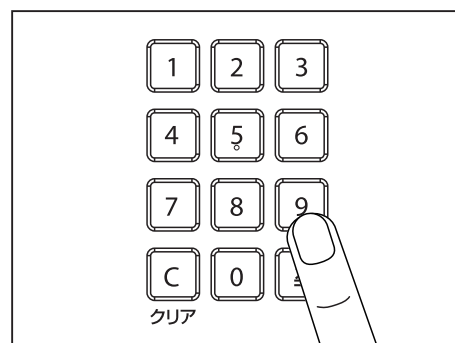
参考

原稿別プリントに設定すると、基本画面下に区分け / 原稿別プリントのアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、区分け / 原稿別プリント設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



区分け / 原稿別プリントの入力のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 プリント枚数表示部分をタッチしてください。
- 3 「テンキー」を押してプリント枚数を入力してください。
- 4 「 \times キー」を押してください。
プリント枚数が確定されます。
- 5 「テンキー」を押して組数を入力してください。
- 6 「 \times キー」を押してください。
組数が確定されます。
- 7 手順3～6を繰り返してください。
90セットまで入力が可能です。



4

その他の機能

次ページへ続く...

特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする

8 「OK」をタッチしてください。

枚数／組数を入力してください

1:	3 枚	3 組	6:	0 枚	1 組
2:	3 枚	3 組	7:	0 枚	1 組
3:	3 枚	3 組	8:	0 枚	1 組
4:	0 枚	1 組	9:	0 枚	1 組
5:	0 枚	1 組	10:	0 枚	1 組

区分け
全クリア

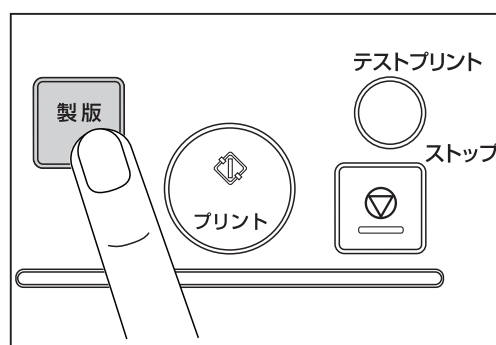
OK

1/9 戻る

9 「製版キー」を押してください。

重要

- 最終に入力した枚数と組数よりプリントします。
- 入力した全てのプリントが、終了するまで「製版キー」を受け付けません。
- 途中でプリントをやめたいときは、「ストップキー」を押したあと、「クリアキー」を押してください。
- 枚数・組数入力画面でも区分けプリント / 原稿別プリントの設定の切り替えができます。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所をタッチし、「テンキー」で再入力してください。



テープで区分けしてプリントする（テープクラスタ装着機のみ）

指定した枚数を1組として、指定した組数だけプリントし、1組プリントし終わるごとにテープを挿入します。また、指定した枚数と組数の設定を、1から90セットまでまとめて設定できます。

重要

- テープによる区分けをするには、「テープクラスタ（オプション）」が必要です。
- 「テープクラスタ（オプション）」の取り扱いについては、「テープクラスタ（オプション）」の取扱説明書を参照してください。

特殊機能 原稿セットミス検知

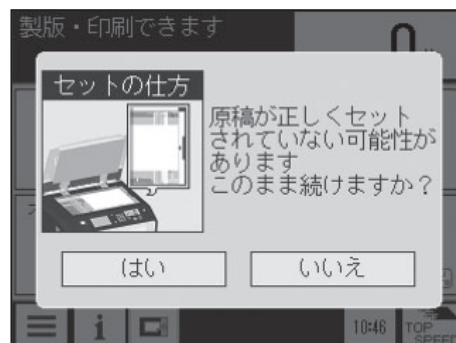
原稿セットミス検知について

原稿を読み取るときに、「原稿台ガラス」に原稿が置かれていなかったり、原稿が正しくセットされていない場合にお知らせします。

(参考→P. 21 「原稿台ガラスに原稿をセットする」)

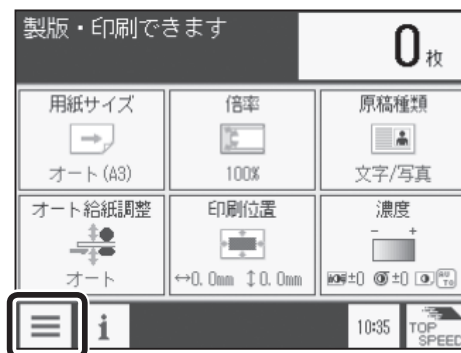
重要

- 標準設定では、原稿セットミス検知の設定は「OFF」になっています。
- 原稿の角が曲がっていたりすると、誤って検知される場合があります。
- 誤って検知されるときは、原稿セットミス検知の設定を「OFF」にしてください。



原稿セットミス検知の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

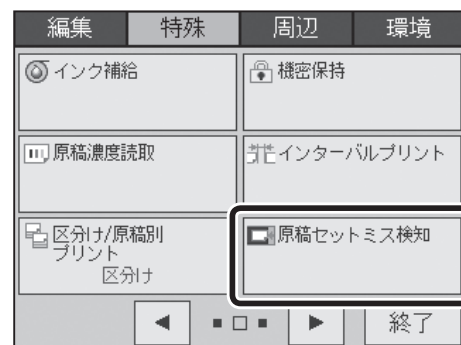


4

その他の機能

次ページへ続く...

- 5 「原稿セットミス検知」をタッチしてください。



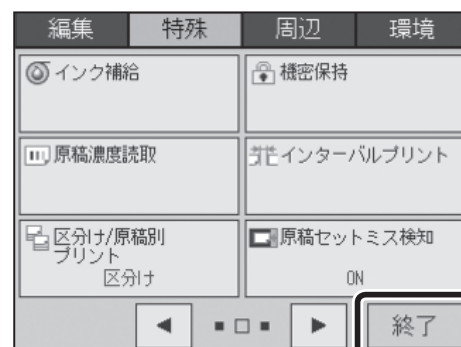
- 6 「ON」をタッチしてください。
原稿セットミス検知が設定されます。

参考

- 原稿セットミス検知を OFF（標準）にする場合
 - ・「原稿セットミス検知」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



- 7 「終了」をタッチしてください。



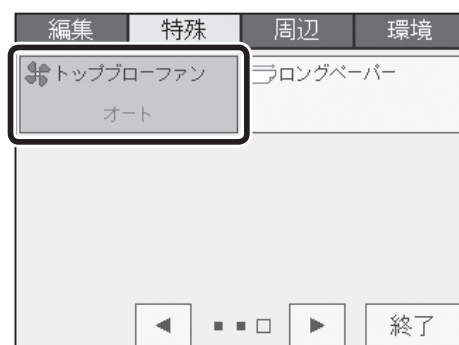
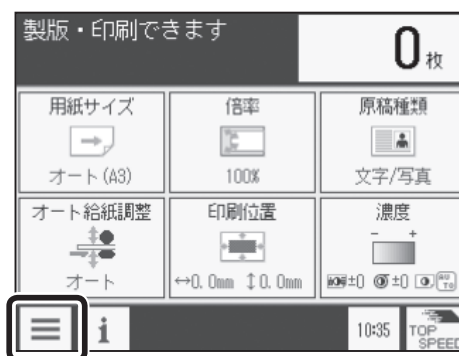
特殊機能 トップブローファン

トップブローファンについて

通常、トップブローファンの風量は自動的に調節されます。
特殊な用紙を使用してプリントをする場合や、原稿の黒ベタの状態適切に排紙できない場合は、トップブローファンの風量を調整して正常に排紙させることができます。
CD57DP/CD54DP には、トップブローファンの設定はありません。

トップブローファンの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「トップブローファン」をタッチしてください。



4

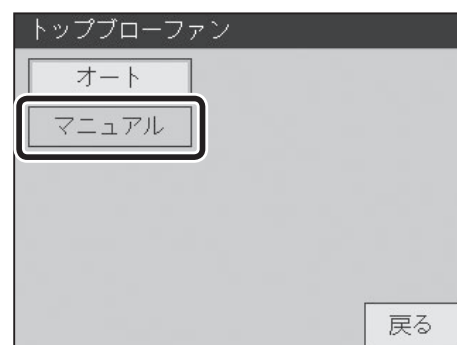
その他の機能

次ページへ続く…

6 「マニュアル」をタッチしてください。

参考

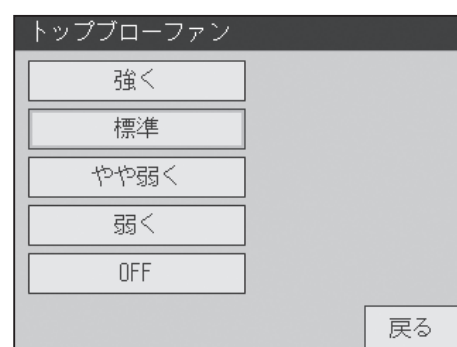
- オートを設定した場合
用紙サイズによって自動で風量が、「標準」と「やや弱く」を切り替えて調整されます。



7 トップブローファンの風量をタッチしてください。
トップブローファンが設定されます。

参考

「弱く」<「やや弱く」<「標準」<「強く」の順で風量が強くなります。
「OFF」に設定すると、トップブローファンから風が出ません。



8 「終了」をタッチしてください。

参考

トップブローファンを「マニュアル」に設定すると、基本画面下にトップブローファンのアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、トップブローファン設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



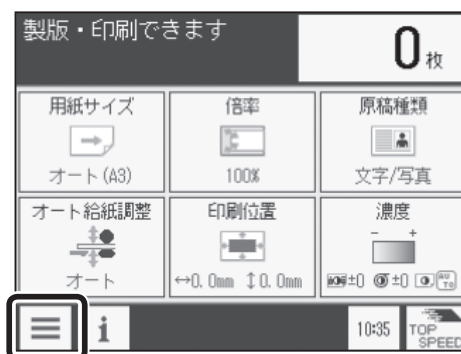
特殊機能 ロングペーパー

ロングペーパーについて

- CD54DP には、ロングペーパーの設定はありません。
- ロングペーパーの設定を「ON」にすると 450mm 以上、540mm 以下の用紙を通すことができますが、印刷速度、用紙サイズ、用紙種類、印刷面積がロングペーパー専用仕様となります。
 - ・ 印刷速度 各速度の半分
 - ・ 用紙サイズ 最大 320 x 540mm
 - ・ 用紙種類 用紙長さ 148 ~ 499mm : 45 ~ 210g/m² [39 ~ 180kg]
用紙長さ 500 ~ 540mm : 45 ~ 157g/m² [39 ~ 135kg]
 - ・ 印刷面積 最大 290 x 411mm
- 用紙搬送は 2 回転 1 回方式になります。すべての速度が 2 回転で 1 回の搬送となるために印刷速度は各速度の半分となります。
- 用紙の長さが 500mm より長い場合、耐刷性が低下することがあります。
- 用紙の長さが 500mm より長い薄紙を使用した場合、原稿によっては用紙にインク汚れが付くことがあります。
- 450mm 以上、540mm 以下の用紙を通す場合、「LPU 専用給紙台」と「LPU 専用紙受け」が必要です。

ロングペーパーの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「特殊」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を 2 回タッチしてください。



次ページへ続く...

4

その他の機能

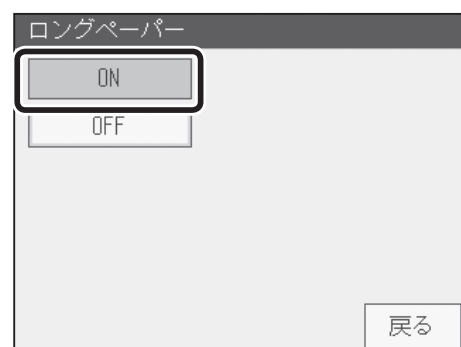
- 5 「ロングペーパー」をタッチしてください。



- 6 「ON」をタッチしてください。
ロングペーパーが設定されます。

参考

- ロングペーパーを OFF にする場合
「ロングペーパー」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



- 7 「終了」をタッチしてください。

参考

ロングペーパーを「ON」に設定すると、基本画面下にロングペーパーのアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、ロングペーパー設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



周辺機能 オンラインモード

コンピューターを使ってプリントする

オンラインモードの設定は、コンピューターを使用してプリントする場合の設定です。

「オート」は2原稿以上のとき、続けて製版が始まります。

「マニュアル」は2原稿以上の場合、1原稿製版・プリントごとにプリント動作が止まり、設定枚数以上の増刷が可能になります。2原稿以降の製版開始は、印刷機本体の「製版キー」を押すことにより再開します。

初期設定はオートになっています。

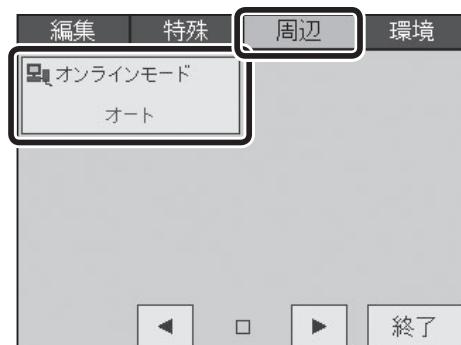
重要

● USB ケーブルで接続する場合

必ず USB ケーブルは、AB タイプコネクタで、長さが 3m 以内のものを使用してください。長さが 3m を超えるものを使用すると、正常な製版ができない場合があります。

オンラインモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「周辺」をタッチしてください。
- 4 「オンラインモード」をタッチしてください。

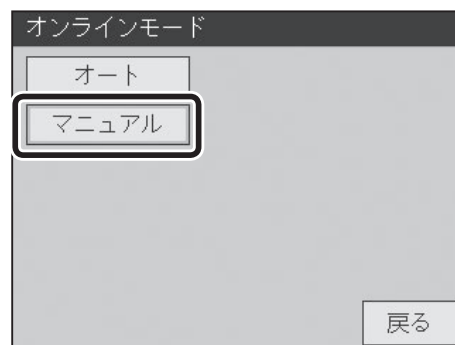


4

その他の機能

次ページへ続く…

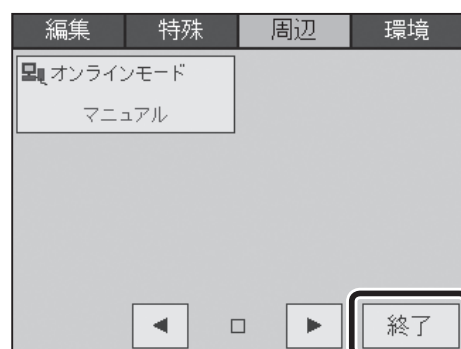
5 「マニュアル」をタッチしてください。



6 「終了」をタッチしてください。
オンラインモードが設定されます。

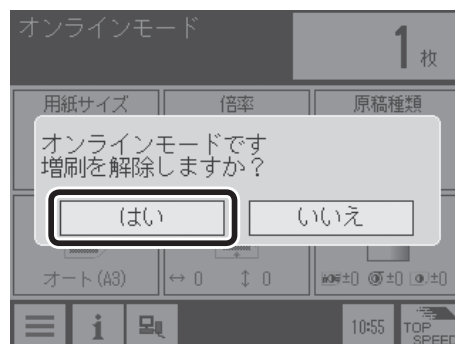
参考

- マニュアルモードでは、1 原稿製版・プリントごとにプリント動作が止まります。2 原稿以降の製版は印刷機本体の「製版キー」を押してください。
- オンラインモードを「マニュアル」に設定すると、基本画面下にオンラインモードのアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすれば、オンラインモード設定画面が表示され、設定を変更できます。
ただし、ショートカット設定を上限数まで登録済みの場合、アイコンは表示されません。



マニュアル設定時の増刷の解除のしかた

1 「製版キー」を押してください。



2 「はい」をタッチしてください。
次の原稿の製版が始まります。

環境機能 初期設定

初期設定について

機械の初期設定をお客様の使いやすいように設定できます。また、初期設定を工場出荷時の設定に戻すこともできます。

簡易設定

印刷スピード / 用紙サイズ / 倍率 / 原稿種類 / オート給紙調整 / 原稿サイズ / 濃度 / 90°回転 / 省インクモードを変更できます。

メモリ 1 ~ 9

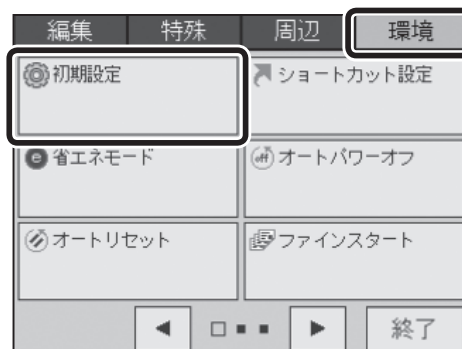
メモリ機能設定のメモリ 1 ~ 9 から選択できます。
(参考→ P. 108 「特殊機能 メモリ機能設定」)

参考

- 初期設定は、電源を入れたときや、「リセットキー」を押したときに戻る「標準モード」の設定です。

初期設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「初期設定」をタッチしてください。



その他の機能

次ページへ続く...

●簡易設定

5 「簡易設定」をタッチしてください。

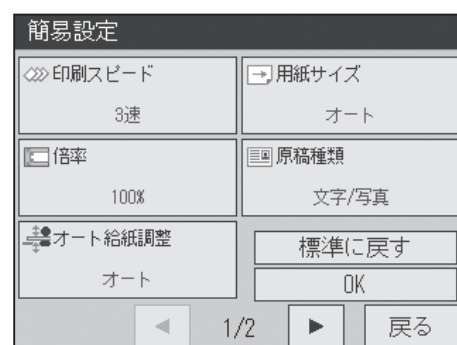


6 「印刷スピード / 用紙サイズ / 倍率 / 原稿種類 / オート給紙調整 / 原稿サイズ / 濃度 / 90°回転 / 省インクモード」をタッチし、お好みの設定に変更してください。

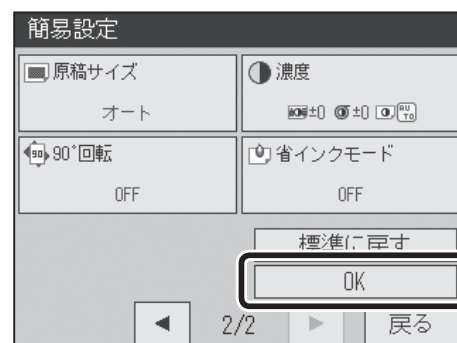
画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。

参考

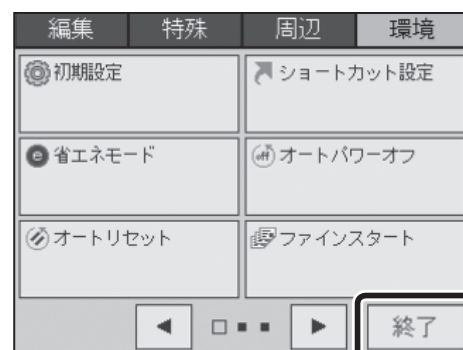
- 工場出荷時の設定に戻したい場合
・「標準に戻す」をタッチしてください。



7 「OK」をタッチしてください。
初期設定が設定されます。




8 「終了」をタッチしてください。



●メモリ機能設定

- 5 呼出したいメモリ番号をタッチしてください。

参考

保存されているメモリには、左にのアイコンが表示されます。



- 6 「切替」をタッチすると、保存されている設定が確認できます。
画面下の「ページ切替ボタン」をタッチすると、次のページが表示されます。

参考

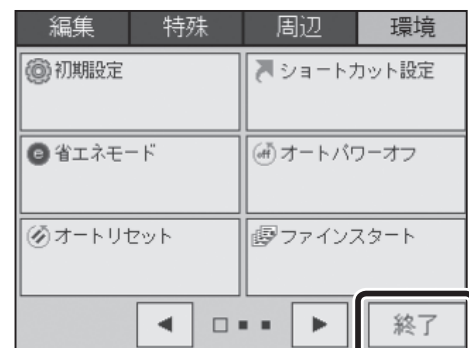
設定を変更できません。
変更する場合はメモリ機能設定で設定してください。
(参考→P. 108「特殊機能 メモリ機能設定」)



- 7 「OK」をタッチしてください。
初期設定が設定されます。



- 8 「終了」をタッチしてください。
































環境機能 ショートカット設定

ショートカット設定について

よく使用する機能を、基本画面下にアイコンを表示させ、アイコンをタッチすることにより、その機能を設定できます。

ショートカット設定は最大 6 個まで登録できます。

● ショートカット設定で登録できる項目

編集	特殊	周辺	環境
 プレビュー	 原稿サイズ※ ⁴	 USB メモリ※ ¹	 最適プリント
 多面印刷	 メモリ機能設定	 オンラインモード	 日付時刻
 ブック影消し	 用紙の種類	 テープクラスタ※ ¹	 言語設定
 90° 回転	 重送検知※ ²	 内蔵メモリ※ ¹	 情報
 180° 回転	 製版開始位置設定※ ³		
 原稿編集	 短冊用紙		
 再製版機能	 省インクモード		
	 機密保持		
	 原稿濃度読取		
	 インターバルプリント		
	 区分け / 原稿別プリント		
	 原稿セットミス検知		
	 トップブローファン※ ²		
	 ロングペーパー※ ³		

※¹ オプション装着時のみ

※² CD87DP/CD67DP のみ

※³ CD87DP/CD67DP/CD57DP のみ

※⁴ CD87DP/CD67DP および ADF (オプション) 装着機のみ

参考

- 「メニュー」をタッチして機能選択するとき、機能名の横にアイコンが表示されている機能のみショートカット設定が可能です。
- メモリ機能設定でも保存、呼出しができます。

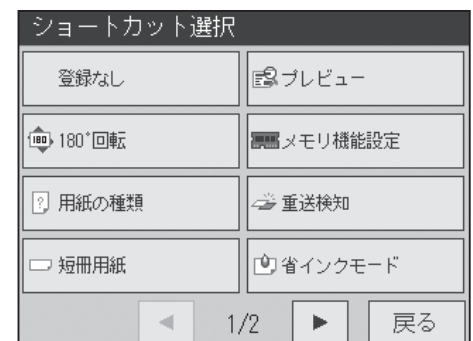
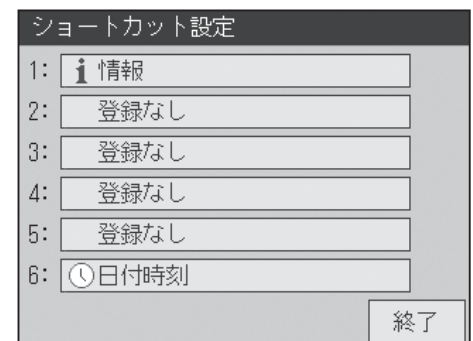
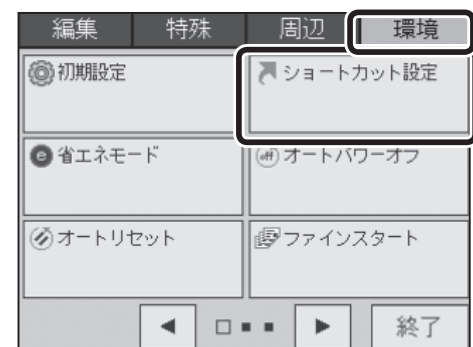
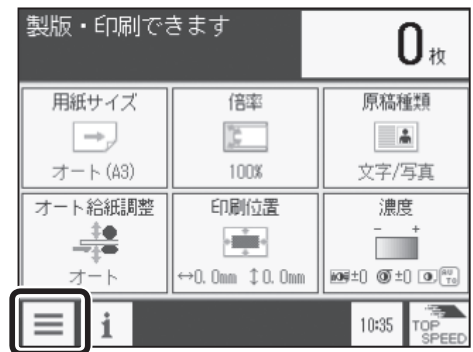
ショートカット設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「ショートカット設定」をタッチしてください。
- 5 設定をする番号をタッチしてください。

参考

設定できる項目は、6 個までです。

- 6 ショートカットに設定をする項目をタッチしてください。
設定が登録されます。

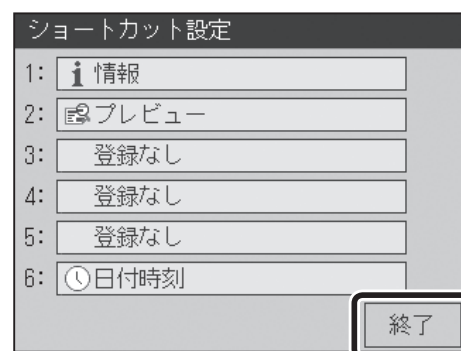


その他の機能

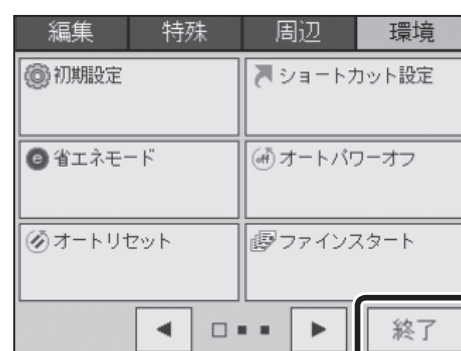
4

次ページへ続く...

- 7 「終了」をタッチしてください。



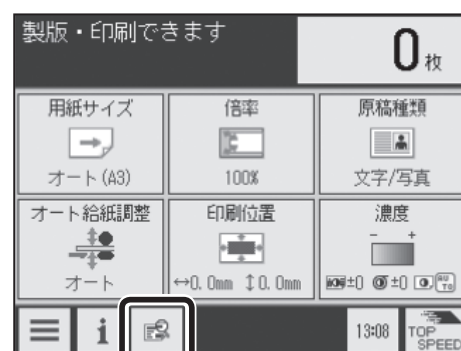
- 8 「終了」をタッチしてください。



- 9 基本画面下にショートカットのアイコンが、表示されます。
アイコンをタッチすると、それぞれのアイコンに対応した機能の設定画面に移動します。

参考

設定が入っているアイコンは色が変わります。



環境機能 省エネモード

省エネモードについて

一定時間操作されないと、液晶（タッチパネル）を自動的に OFF します。（待機時の消費電力を低減します。）設定できる時間は 1 ～ 99 分です。
出荷時は 5 分に設定されています。

重要

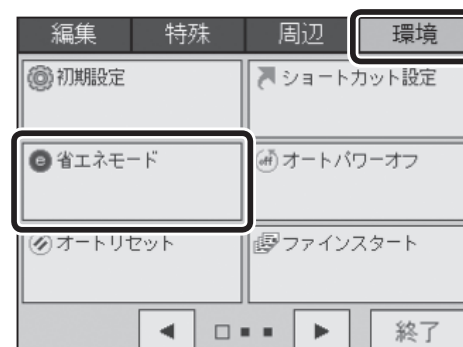
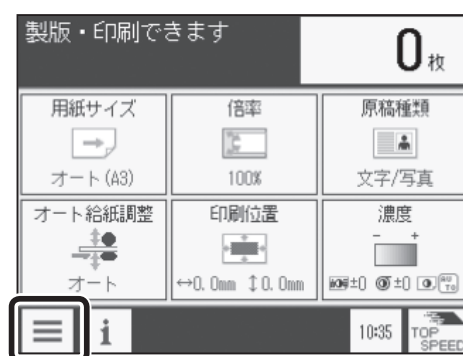
原稿押え板が開いていると、省エネモードは、はたらきません。

参考

- 省エネモードがはたらいているときは、「スリープキー」が点灯します。
- 省エネモードがはたらいているとき、「スリープキー」を押すと、省エネモードから復帰します。

省エネモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「省エネモード」をタッチしてください。



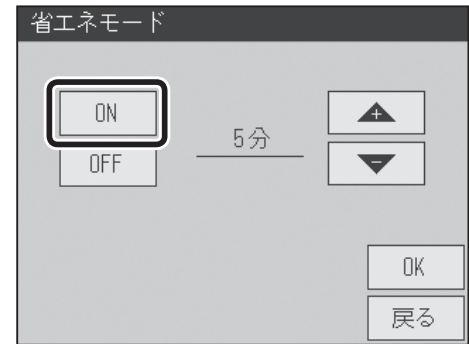
4

その他の機能

次ページへ続く…

5 「ON」をタッチしてください。

6 時間を設定してください。
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
 1分～99分まで設定できます
 数値は「テンキー」からも入力できます。

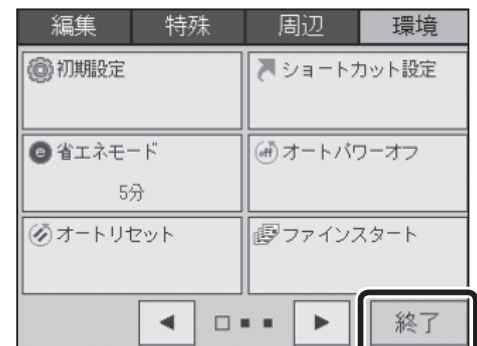


7 「OK」をタッチしてください。
 省エネモードが設定されます。

参考

- 省エネモードを OFF にする場合
 - ・「省エネモード」をタッチし「OFF」をタッチしてください。

8 「終了」をタッチしてください。



環境機能 オートパワーオフ

オートパワーオフについて

オートパワーオフは、二種類の方法で本機の電源を自動的に切ります。

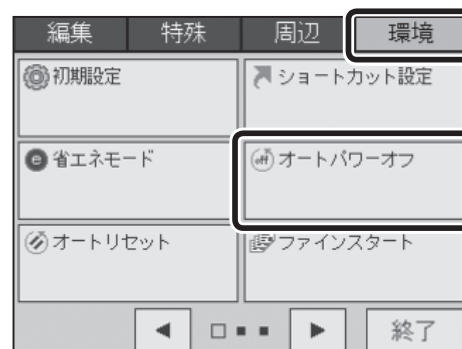
- 時刻でパワーオフ 毎日、指定した時刻になると、本機の電源を自動的に切ります。
- 時間経過でパワーオフ 毎回、指定した時間操作しない状態が継続すると、本機の電源を自動的に切ります。

参考

- オートパワーオフは、両方の設定ができます。どちらか先にきたパワーオフのタイミングで本機の電源が切れます。
- 出荷時はどちらも OFF に設定されています。

時刻でパワーオフの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「オートパワーオフ」をタッチしてください。

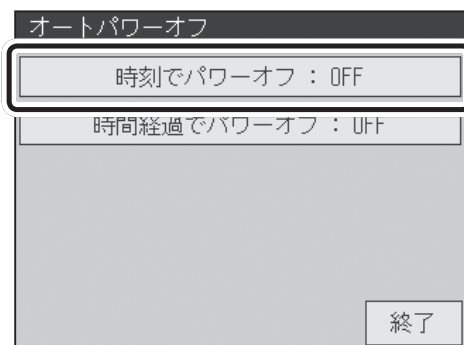


4

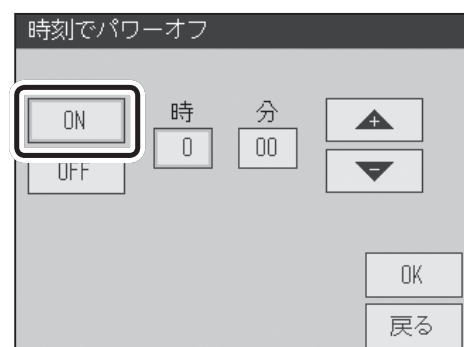
その他の機能

次ページへ続く…

- 5 「時刻でパワーオフ」をタッチしてください。



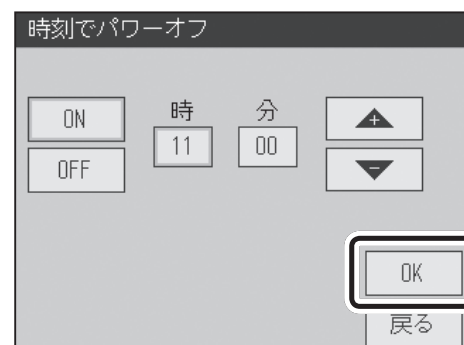
- 6 「ON」をタッチして、時間を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
数値は「テンキー」からも入力できます。



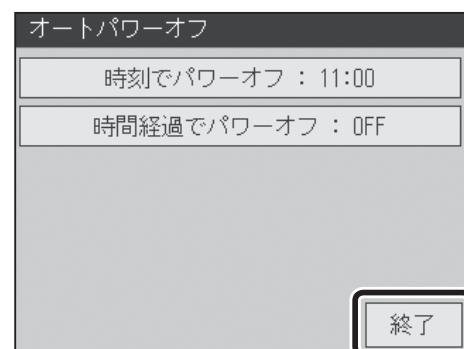
- 7 「OK」をタッチしてください。
時刻でパワーオフが設定されます。

参考

- 時刻でパワーオフを OFF（標準）にする場合
「時刻でパワーオフ」をタッチし「OFF」をタッチします。



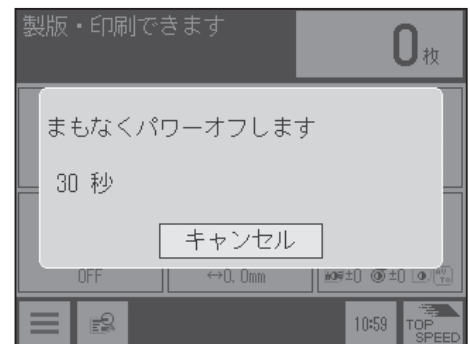
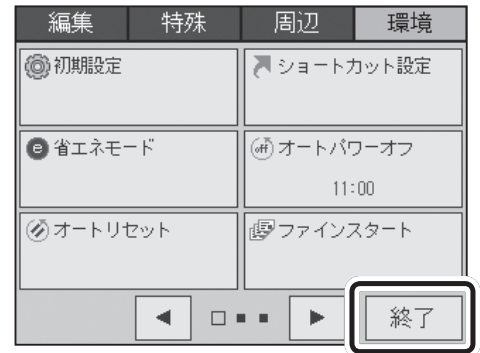
- 8 「終了」をタッチしてください。



9 「終了」をタッチしてください。

参考

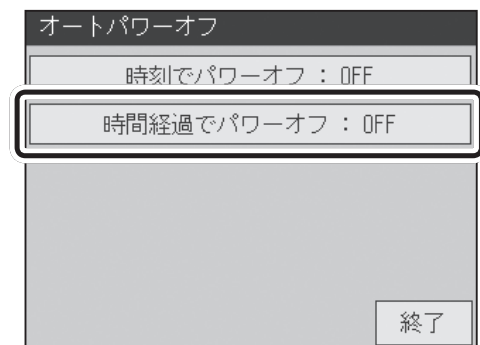
- 指定時刻の 30 秒前になると、画面上に「まもなくパワーオフします。」というメッセージとともに秒カウントダウンが表示されます。
- 秒カウントダウンが「0」になった時点で本機の電源が切れます。
- 「キャンセル」をタッチすると、一度だけパワーオフが無効にできます。



時間経過でパワーオフの設定のしかた

1 「時刻でパワーオフの設定のしかた」の手順 1～4 を実施してください。
(参考→ P. 159 「時刻でパワーオフの設定のしかた」)

2 「時間経過でパワーオフ」をタッチしてください。

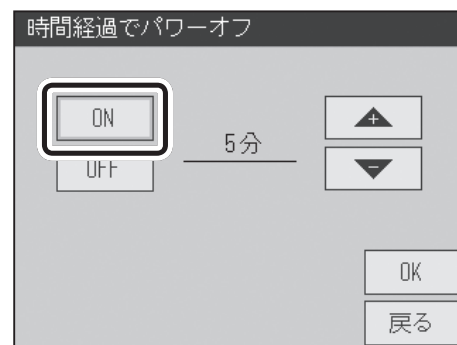


4

その他の機能

次ページへ続く…

- 3 「ON」をタッチして、時間を設定してください。
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
 1分～99分まで設定できます。
 数値は「テンキー」からも入力できます。



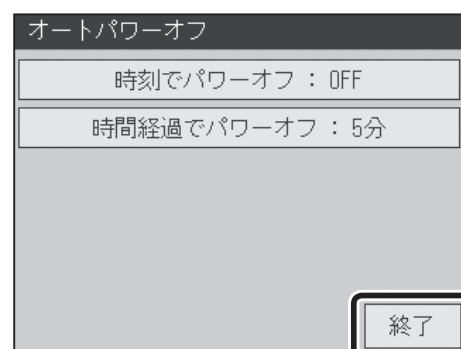
- 4 「OK」をタッチしてください。
 時間経過でパワーオフが設定されます。

参考

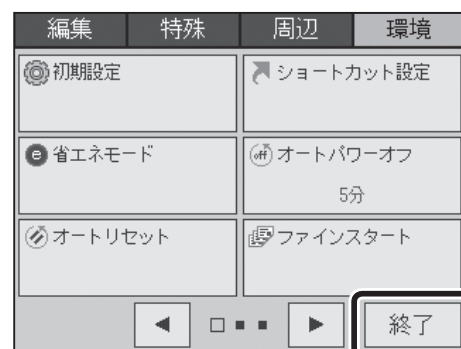
- 時間経過でパワーオフをOFF（標準）にする場合
 「時間経過でパワーオフ」をタッチし「OFF」をタッチします。



- 5 「終了」をタッチしてください。



- 6 「終了」をタッチしてください。



環境機能 オートリセット

オートリセットについて

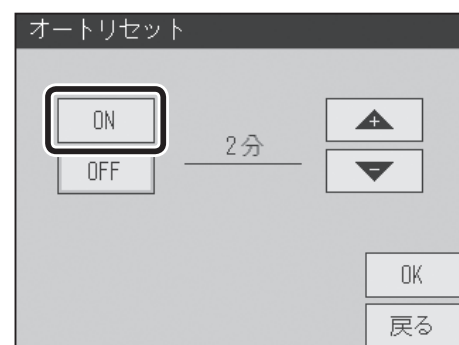
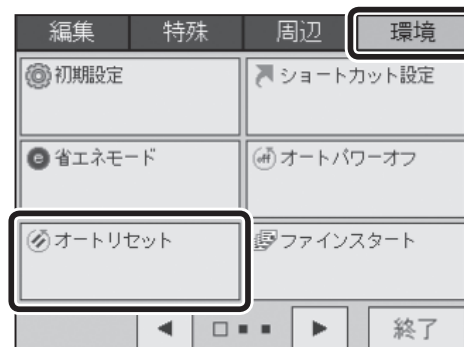
操作しない状態が一定時間継続すると、本機を自動的にリセットし、設定を「標準モード」に戻します。

設定できる時間は1～99分です。

出荷時はOFFに設定されています。

オートリセットの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「オートリセット」をタッチしてください。
- 5 「ON」をタッチしてください。
- 6 時間を設定してください。
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
1分～99分まで設定できます
数値はテンキーからも入力できます。



4

その他の機能

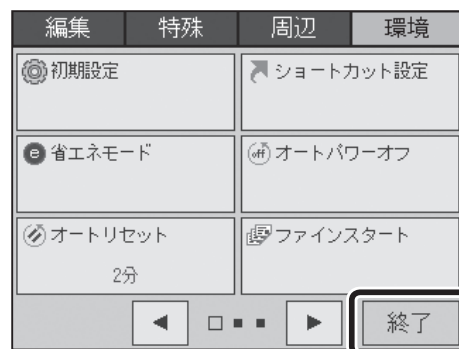
次ページへ続く…

- 7 「OK」をタッチしてください。
オートリセットが設定されます。

参考

- オートリセットを OFF（標準）にする場合
 - ・「オートリセット」をタッチし「OFF」をタッチしてください。

- 8 「終了」をタッチしてください。



環境機能 ファインスタート

ファインスタートについて

長時間使用していないときや、ドラムを交換したときにプリントをすると、刷り初めの数枚が薄くプリントされることがあります。ファインスタートの設定をすると、刷り初めから鮮明にプリントでき、余分な用紙の使用を減らせます。

参考

- ファインスタートの設定をすると、製版時間が長くなります。
特に次のような場合には製版時間が長くなります。
 - ・前回のプリント終了後より、長時間経過した場合。
 - ・機械周辺の温度が低い場合。

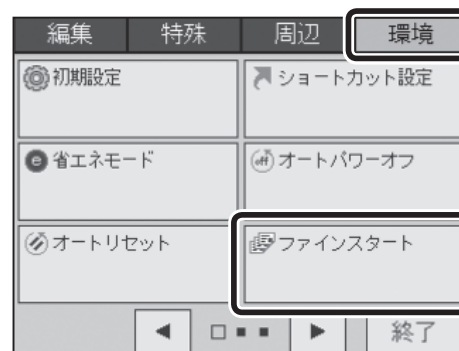
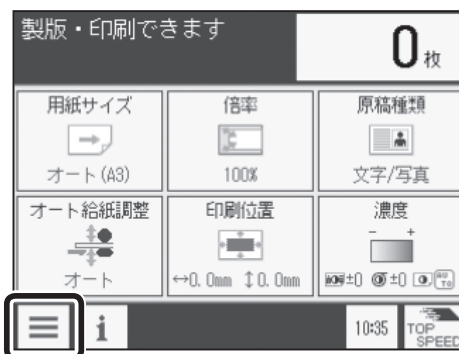
重要

- ファインスタートがONの場合でも、少ない枚数（20枚以下）で製版・プリントを連続してした場合には、刷りはじめの数枚が薄くなる場合があります。
「電池切れです」が表示されている場合、ファインスタートは正常に動作しません。

4

ファインスタートの設定のしかた

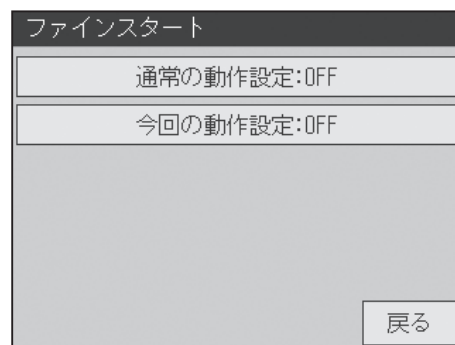
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 「ファインスタート」をタッチしてください。



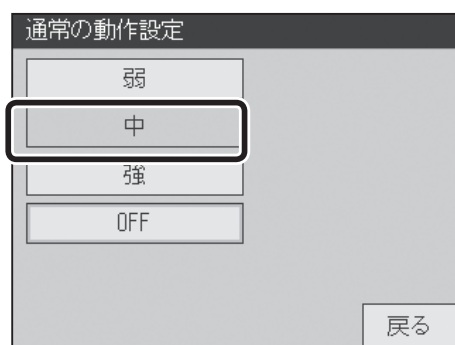
その他の機能

次ページへ続く…

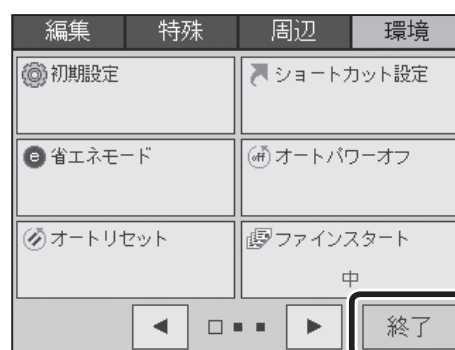
- 5 「動作設定」をタッチしてください。
- ・「通常の動作設定」
製版ごとにファインスタートが動作します。
 - ・「今回の動作設定」
一回の製版のみファインスタートが動作します。次の製版では自動的に OFF に設定されます。
- ここでは「通常の動作設定」をタッチしたとして説明します。



- 6 ファインスタートの強さを選択してください。
- 弱：「中」よりも製版してから、最初の1枚目がプリントされるまでの時間が短くなります。
- 「中」よりもファーストイメージは薄くなります。
- 中：経過時間に応じた条件で、ファインスタートがはたらきます。
- 強：「中」よりも製版してから、最初の1枚目がプリントされるまでの時間が、長くなります。
- 「中」よりもファーストイメージは濃くなります。
- ここでは「中」をタッチしたとして説明します。
- ファインスタートが設定されます。



- 7 「終了」をタッチしてください。



環境機能 最適プリント

最適プリントについて

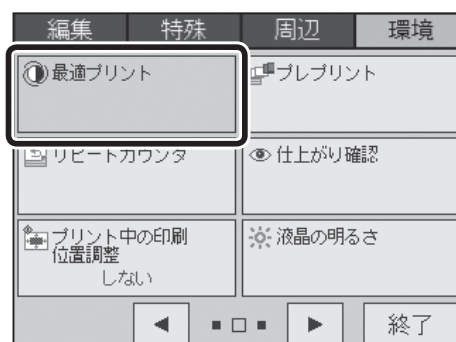
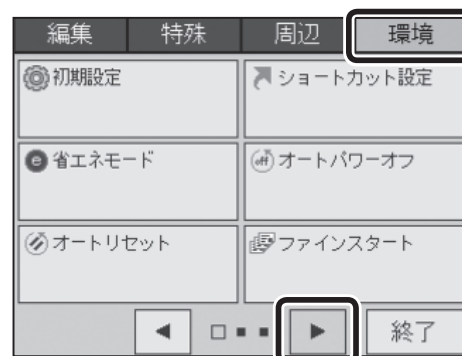
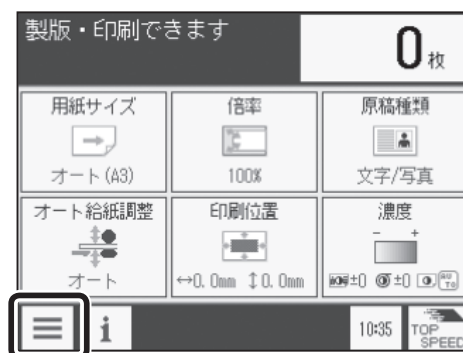
最適プリントの設定は、室内の温度条件 / 設定している印刷スピードに応じて、印刷濃度を調整して、もっとも仕上がりのよい状態にするための設定です。
出荷時は OFF に設定されています。

重要

印刷濃度の設定が変わります。

最適プリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「最適プリント」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

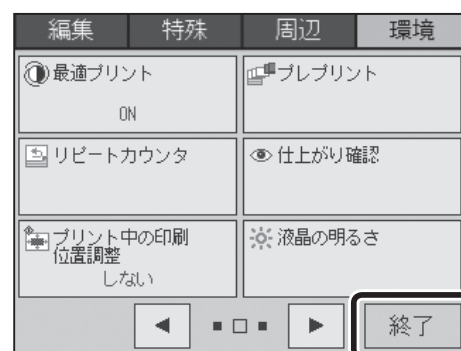
- 6 「ON」をタッチしてください。
最適プリントが設定されます。

参考

- 最適プリントを OFF（標準）にする場合
「最適プリント」をタッチし「OFF」をタッチします。



- 7 「終了」をタッチしてください。



環境機能 プレプリント

プレプリントについて

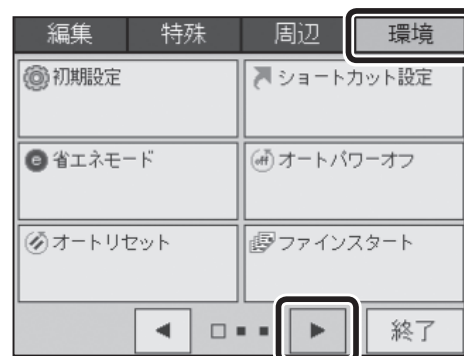
製版後、初めの何枚かをプリント枚数にカウントしないように、設定できます。例えば、3枚に設定しておくで、設定枚数をカウントしないで3枚プリントし、4枚目からカウントを始めます。プレプリント枚数は1～99枚まで設定できます。出荷時はOFFに設定されています。

参考

プレプリントの枚数はトータル印刷枚数には加算されます。

プレプリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

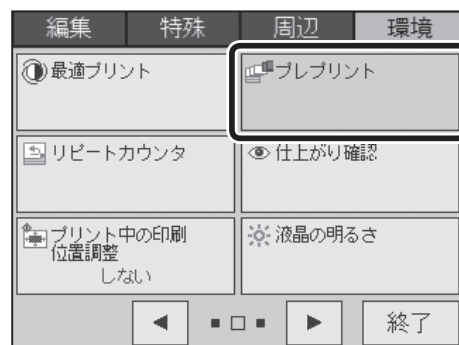


4

その他の機能

次ページへ続く…

- 5 「プレプリント」をタッチしてください。



- 6 「ON」をタッチしてください。

- 7 枚数を設定してください。
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
 1枚～99枚まで入力ができます。
 数値は「テンキー」からも入力できます。

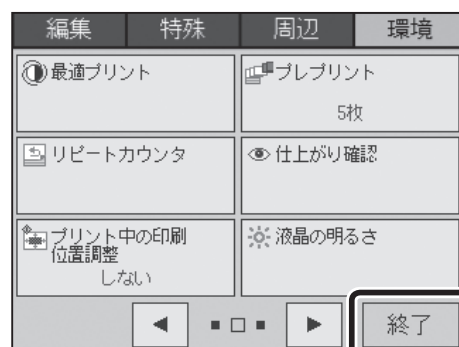


- 8 「OK」をタッチしてください。
 プレプリントが設定されます。

参考

- プレプリントを OFF（標準）にする場合
 - ・ 「プレプリント」をタッチし「OFF」をタッチしてください。

- 9 「終了」をタッチしてください。



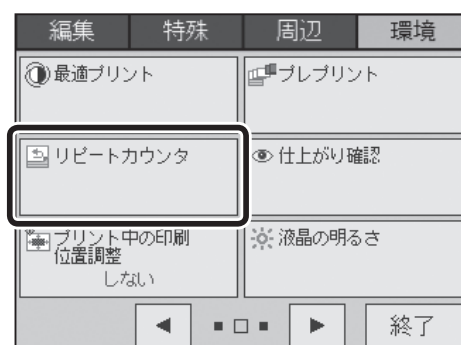
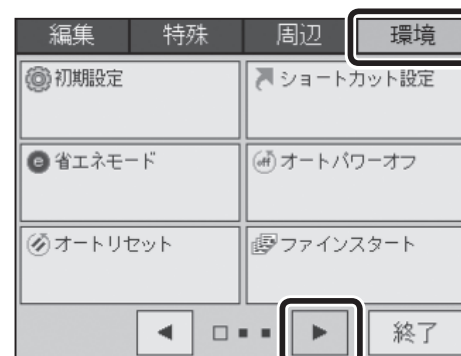
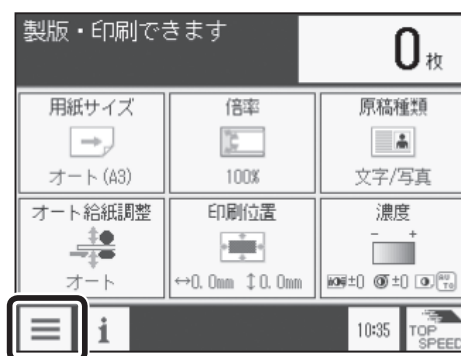
環境機能 リピートカウンタ

リピートカウンタについて

設定枚数プリント終了後、液晶（タッチパネル）上に設定枚数をリピートするか、設定枚数全てクリアするか設定できます。
出荷時は「ON」に設定されています。

リピートカウンタの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「リピートカウンタ」をタッチしてください。



4

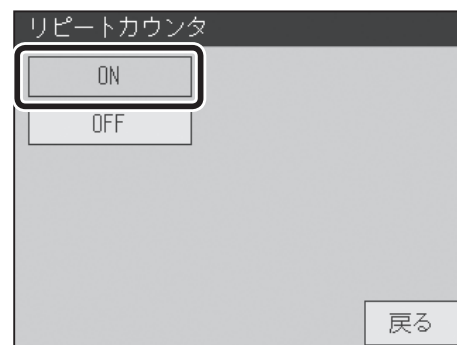
その他の機能

次ページへ続く…

- 6 「ON」をタッチしてください。
リピートカウンタが設定されます。

参考

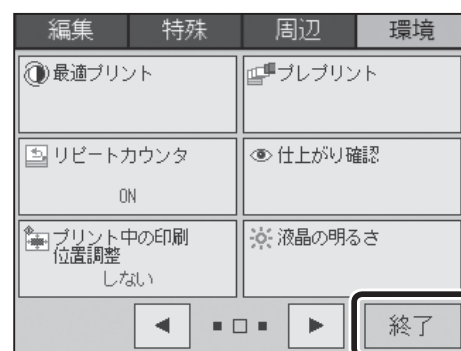
- リピートカウンタを OFF にする場合
 - ・「リピートカウンタ」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



- 7 「終了」をタッチしてください。

重要

自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) に原稿をセットしている場合は、リピートカウンタを「OFF」に設定していても、プリント終了時、設定枚数はクリアされません。



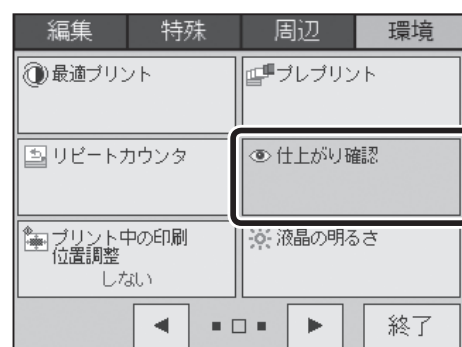
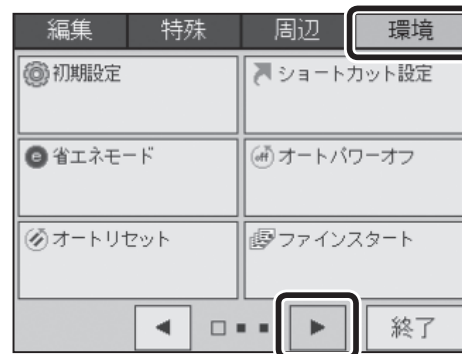
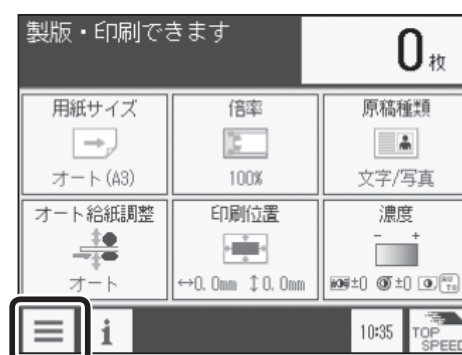
環境機能 仕上がり確認

仕上がり確認について

設定枚数に関係なく、製版後、1枚プリントして停止します。
出荷時は「OFF」に設定されています。

仕上がり確認の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「仕上がり確認」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く…

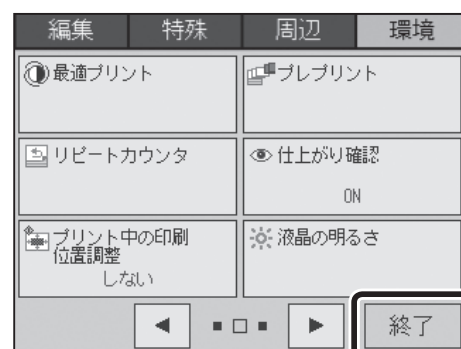
6 「ON」をタッチしてください。

参考

- 仕上がり確認を OFF（標準）にする場合
 - ・「仕上がり確認」をタッチし「OFF」をタッチしてください。



7 「終了」をタッチしてください。



環境機能 プリント中の印刷位置調整

プリント中の印刷位置調整について

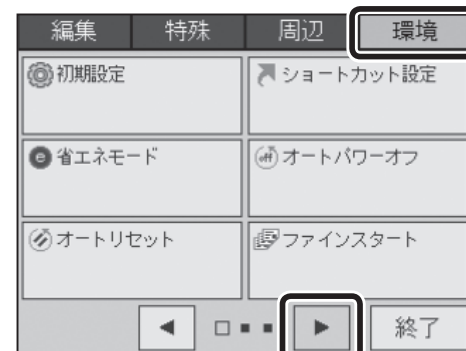
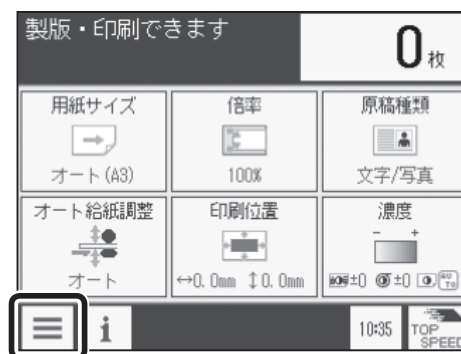
プリント中に「印刷位置調整キー」を押して、印刷位置を調整できます。

重要

- プリント中に印刷位置を調整しているときは、印刷位置の精度、給紙性能が悪くなる場合があります。
- CD57DP/CD54DP の印刷位置（左右方向）は、「給紙横微動ダイヤル」を回して調整してください。

プリント中の印刷位置調整の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

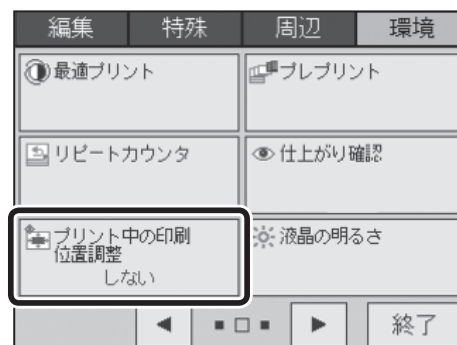


4

その他の機能

次ページへ続く...

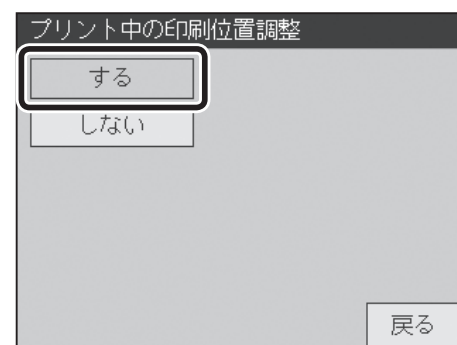
5 「プリント中の印刷位置調整」をタッチしてください。



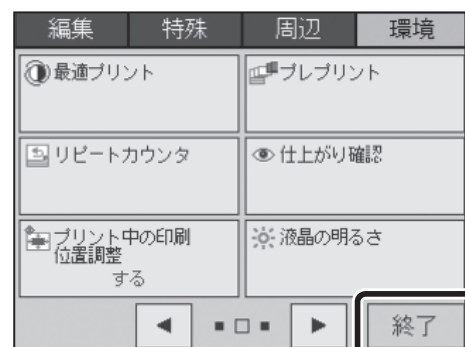
6 「する」をタッチしてください。
プリント中の印刷位置調整が設定されます。

参考

- プリント中の印刷位置調整を OFF（標準）にする場合
「プリント中の印刷位置調整」をタッチし、「しない」
をタッチしてください。



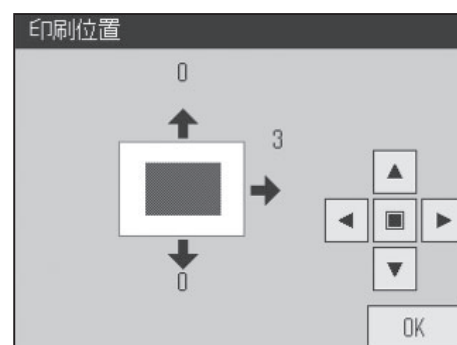
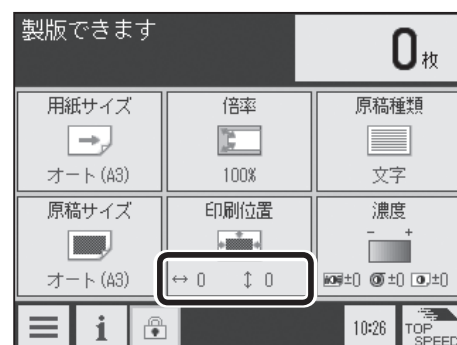
7 「終了」をタッチしてください。



重要

印刷位置の表示が mm 表示から段階表示に変わります。

- 天地（上下）方向↕ 30 段階、左右方向↔ 20 段階（1 段階 0.5mm）の調整範囲になります。
- プリント中に「印刷位置調整キー」を押して、印刷位置を調整できます。



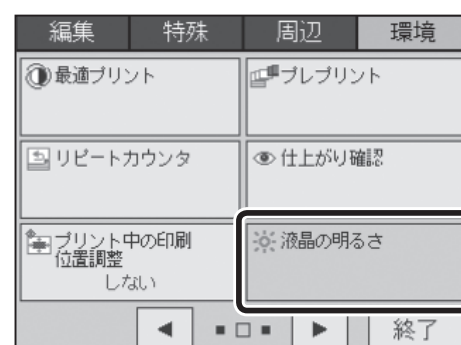
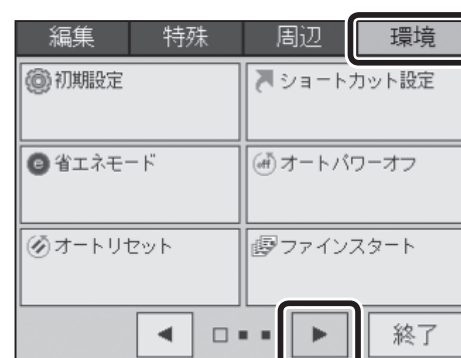
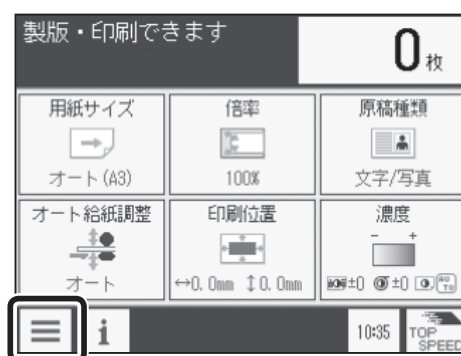
環境機能 液晶の明るさ

液晶の明るさ調整について

表示が見づらいときは、液晶の明るさを調整できます。

液晶の明るさ調整の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。
- 5 「液晶の明るさ」をタッチしてください。



4

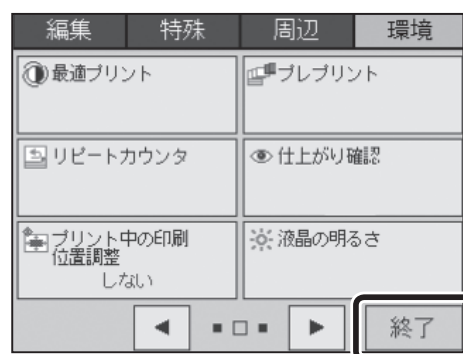
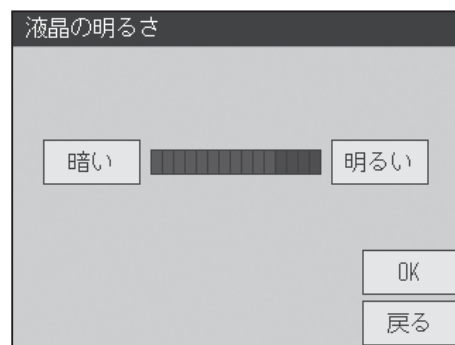
その他の機能

次ページへ続く…

- 6 明るさを設定してください。
「暗い」をタッチすると、液晶が暗くなります。
「明るい」をタッチすると、液晶が明るくなります。

- 7 「OK」をタッチしてください。
液晶の明るさが設定されます。

- 8 「終了」をタッチしてください。



環境機能 日付時刻

日付時刻について

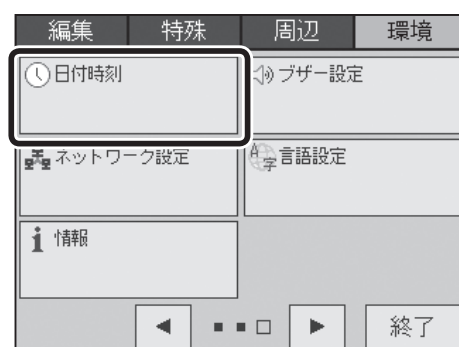
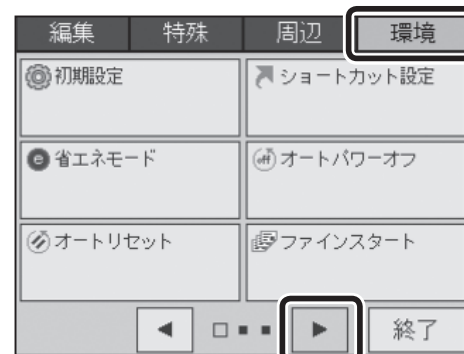
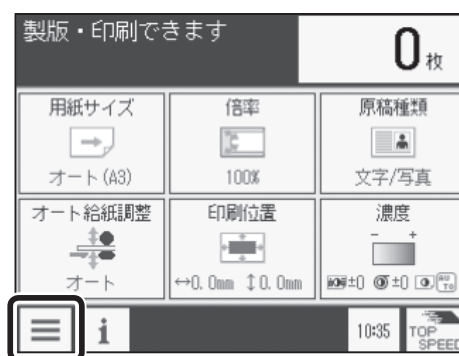
日付時刻を設定します。

重要

「電池切れです」が表示された場合、日付時刻を設定しても再度「電池切れです」が表示する場合は、サービス実施店にご連絡いただき、電池交換をしてください。

日付時刻の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「日付時刻」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

- 6 修正したい箇所をタッチし、日付時刻を設定してください。
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。
 数値は「テンキー」からも入力できます。

参考

基本画面の時刻をタッチしても日付時刻の設定画面になります。

- 7 「OK」をタッチしてください。
 日付時刻が設定されます。
- 8 「終了」をタッチしてください。

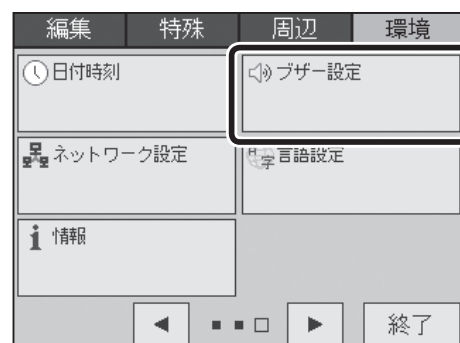
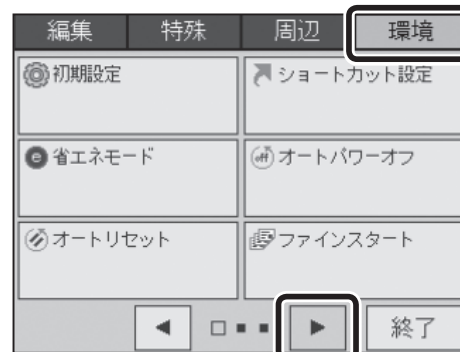
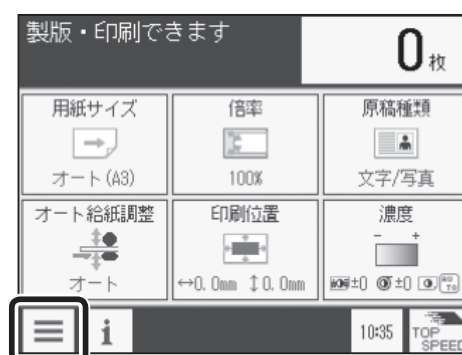
環境機能 ブザー設定

ブザー設定について

ブザー音量、ブザー音の ON/OFF を、設定できます。
出荷時の操作音は「ON」、完了音は「OFF」、エラー音は「ON」に設定されています。

ブザー設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「ブザー設定」をタッチしてください。



4

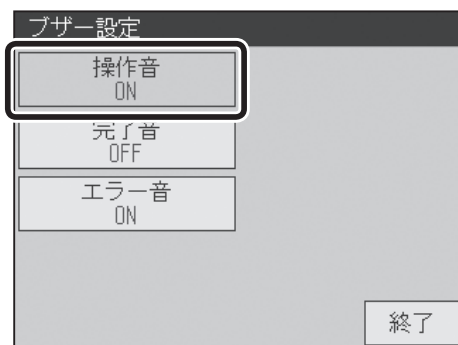
その他の機能

次ページへ続く…

6 設定をするブザー音をタッチしてください。

- ・操作音
操作音の ON/OFF と音量を調整します。
- ・完了音
完了音の ON/OFF と音量を調整します。
- ・エラー音
エラー音の ON/OFF と音量を調整します。

ここでは「操作音」をタッチしたとして説明します。

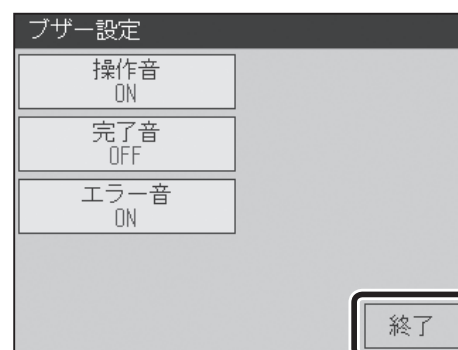


7 ブザー音量を設定してください。
「大」をタッチすると、音量が大きくなります。
「小」をタッチすると、音量が小さくなります。
「OFF」をタッチすると音が鳴りません。

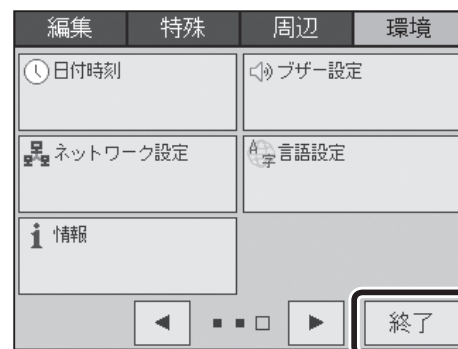


8 「OK」をタッチしてください。
「操作音」が設定されます。

9 「終了」をタッチしてください。



10 「終了」をタッチしてください。



環境機能 ネットワーク設定

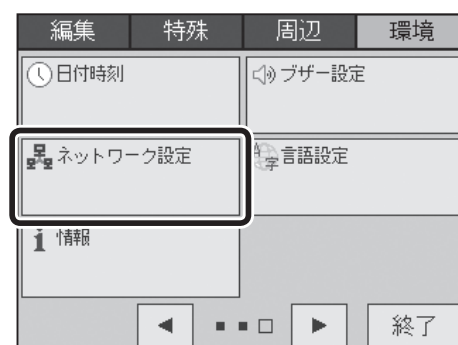
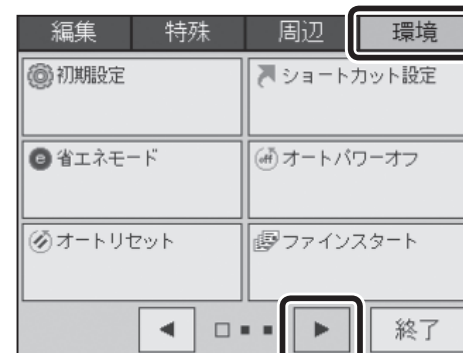
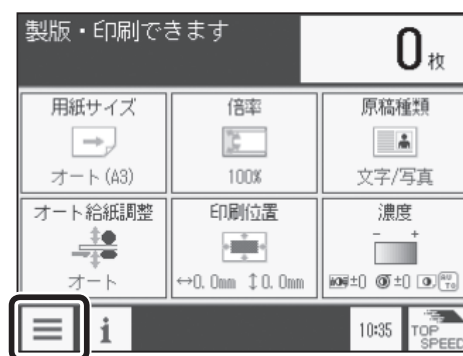
ネットワーク設定について

ご利用のネットワーク環境にあわせてネットワーク設定し、印刷機をネットワークプリンターとしてお使いいただけます。

「ネットワーク設定」は暗証機能を利用して、ネットワーク設定の変更を制限できます。

ネットワーク設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「ネットワーク設定」をタッチしてください。
- 6 暗証設定をしていない場合は、手順8に進んでください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

- 7** 暗証番号や ID またはパスワードを入力してください。
 設置時、暗証番号 4 桁の場合は「0000」、暗証番号 8 桁
 や ID またはパスワードの場合は「00000000」に設定さ
 れています。
 入力画面は 4 タイプがあります。

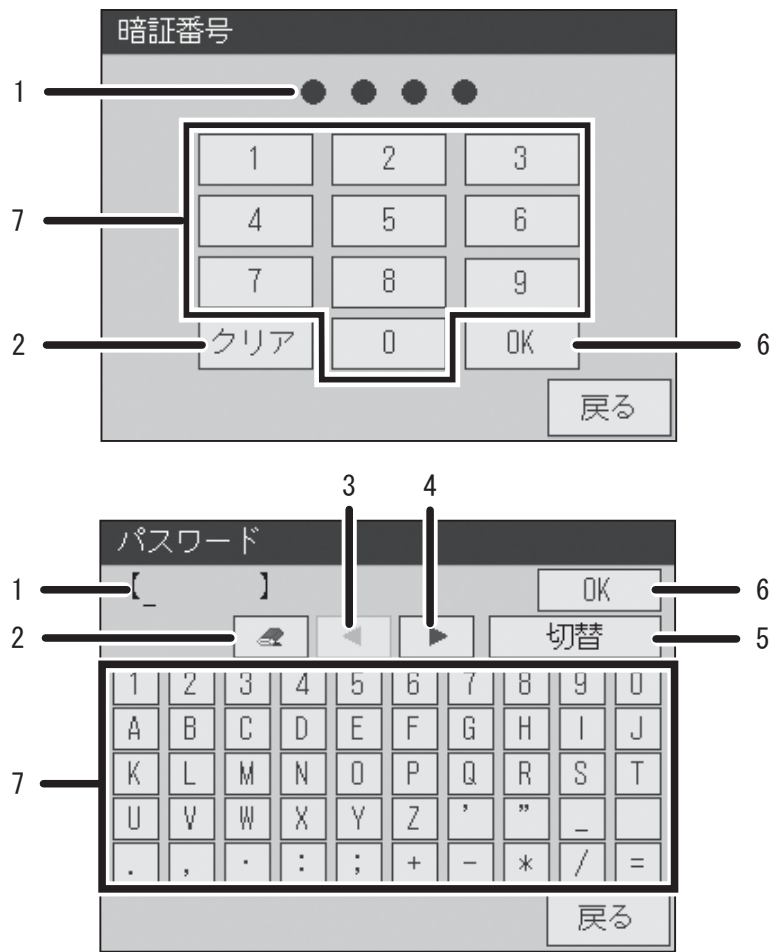
暗証番号 4 桁入力タイプ

暗証番号 8 桁入力タイプ

パスワード
 (記号 8 桁入力タイプ)

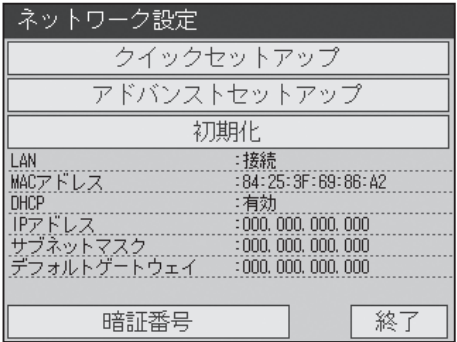
ID・パスワード
 (記号 8 桁入力タイプ)

文字入力画面説明



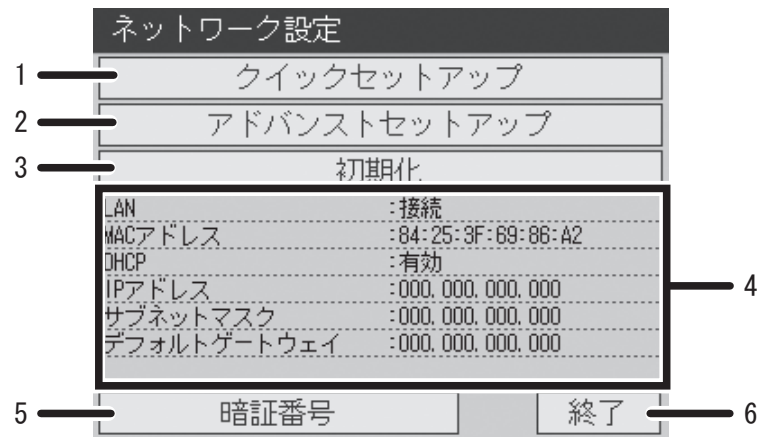
No.	名称	働き
1	暗証番号 / ID/ パスワード	暗証番号 / ID/ パスワードを表示します
2	クリアキー / Delete キー	クリアキーは暗証番号を全て消します。 ID/ パスワードの文字を消すときに使います。
3	左カーソルキー	ID/ パスワードの下のカースルを左に動かします。
4	右カーソルキー	ID/ パスワードの下のカースルを右に動かします。
5	切替キー	ID/ パスワードの入力方法をカタカナ、英数字の大文字 / 小文字切り替えができます。
6	OK キー	暗証番号、ID/ パスワードを確定します。
7	テンキー / キーボード	暗証番号 / ID/ パスワードを入力します。8 桁入力のタイプは最大 8 文字まで入力できます。4 桁入力タイプは最大 4 文字まで入力できます。

8 ネットワーク設定の画面に切り替わります。



4
その他の機能

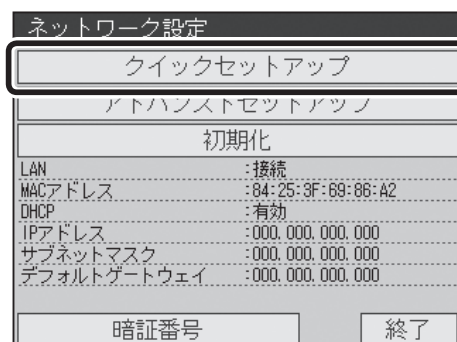
基本画面の説明



No.	名称	働き
1	クイックセットアップ	印刷機の IP アドレスを簡単に設定します。
2	アドバンスドセットアップ	印刷機の詳細なネットワーク設定をします。
3	初期化	印刷機のネットワーク設定を工場出荷時の状態に戻します。
4	ネットワーク情報	印刷機のネットワーク情報を表示します。
5	暗証番号 / 暗証	暗証機能の ON/OFF を設定します。
6	終了	ネットワーク設定を終了します。

クイックセットアップ

- 1 「ネットワーク設定」に入ります。
(参考→ P. 183 「環境機能 ネットワーク設定」)
- 2 「クイックセットアップ」をタッチしてください。



- 3 「IP アドレス指定」をタッチしてください。

参考

ご使用の環境内に DHCP サーバーがある場合は、「IP アドレス自動取得」をタッチすると、IP アドレスを自動的に取得できます。

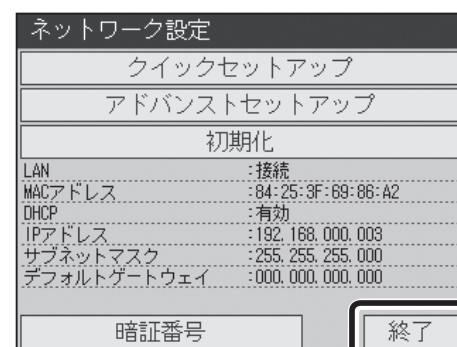
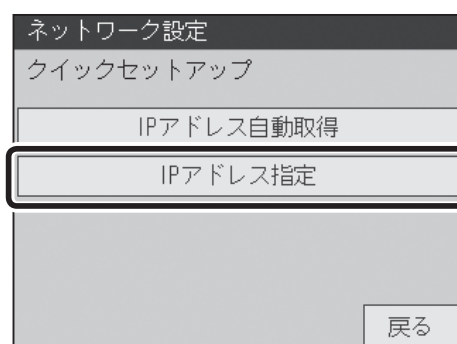
ただし、「IP アドレス自動取得」の場合、IP アドレスが変わる場合があるため、「IP アドレス指定」のご利用をお勧めします。

- 4 設定する印刷機に割り当てる IP アドレスを「テンキー」で入力して、「OK」をタッチしてください。
入力箇所は、タッチすることで選択できます。

重要

本製品へ割り当てる IP アドレスについては、必ず事前にネットワーク管理者の方にご確認ください。

- 5 「しばらくお待ち下さい」が表示され、しばらくすると「ネットワーク情報」に設定内容が表示します。



- 6 「終了」をタッチしてください。

4

その他の機能

アドバンストセットアップ

- 1 「ネットワーク設定」に入ります。
(参考→P. 183「環境機能 ネットワーク設定」)
- 2 「アドバンストセットアップ」をタッチしてください。

ネットワーク設定	
クイックセットアップ	
アドバンストセットアップ	
初期化	
LAN	: 接続
MACアドレス	: 84:25:3F:69:86:A2
DHCP	: 有効
IPアドレス	: 000.000.000.000
サブネットマスク	: 000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	: 000.000.000.000
暗証番号	終了

- 3 セットアップ画面が表示されますので、各項目をタッチして選択、または「テンキー」で値を入力してください。
入力箇所は、タッチすることで選択できます。

重要

本製品へ割り当てる IP アドレス等については、必ず事前にネットワーク管理者の方にご確認ください。

ネットワーク設定	
アドバンストセットアップ	
DHCP	: 有効
IPアドレス	: 000.000.000.000
サブネットマスク	: 000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	: 000.000.000.000
OK	
戻る	

- 4 各項目の設定が完了したら、「OK」をタッチしてください。

ネットワーク設定	
アドバンストセットアップ	
DHCP	: 無効
IPアドレス	: 192.168.000.003
サブネットマスク	: 255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	: 192.168.001.001
OK	
戻る	

- 5 「しばらくお待ち下さい」が表示され、しばらくすると「ネットワーク情報」に設定内容が表示します。

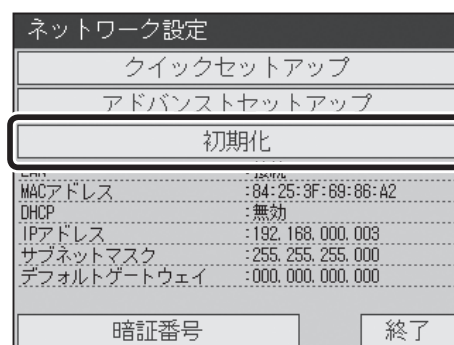
- 6 「終了」をタッチして、ネットワーク設定を終了してください。

ネットワーク設定	
クイックセットアップ	
アドバンストセットアップ	
初期化	
LAN	: 接続
MACアドレス	: 84:25:3F:69:86:A2
DHCP	: 無効
IPアドレス	: 192.168.000.003
サブネットマスク	: 255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	: 000.000.000.000
暗証番号	終了

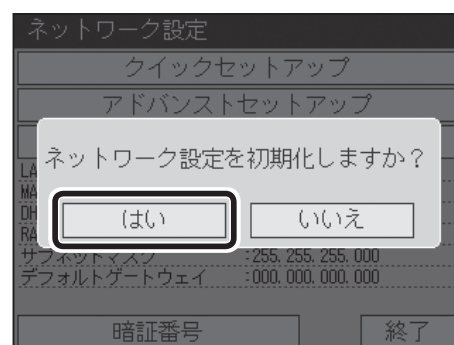
初期化

- 1 「ネットワーク設定」に入ります。
(参考→ P. 183 「環境機能 ネットワーク設定」)

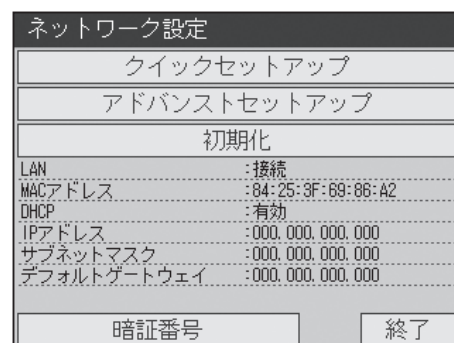
- 2 「初期化」をタッチしてください。



- 3 「ネットワーク設定を初期化しますか？」のメッセージが表示されますので、「はい」をタッチしてください。



- 4 「しばらくお待ち下さい」が表示され、しばらくすると初期化されます。



4

その他の機能

暗証番号の変更

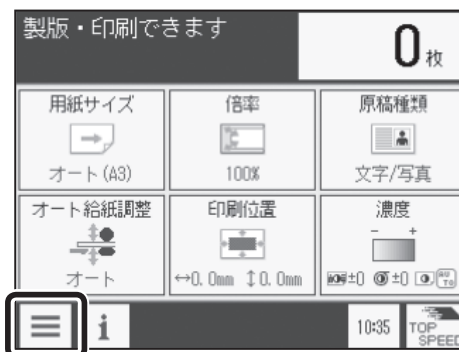
参考

「暗証機能」で「パスワード」または、「ID・パスワード」を利用している場合は、「暗証の変更」を参照してください。

(参考→P. 192「暗証の変更」)

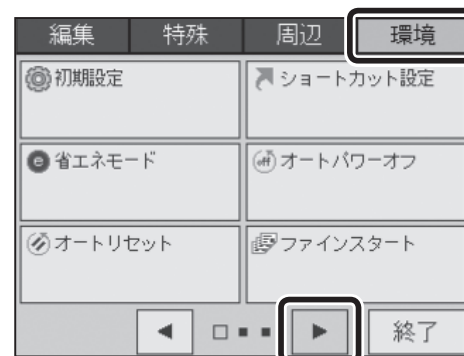
1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。

2 「メニュー」をタッチしてください。

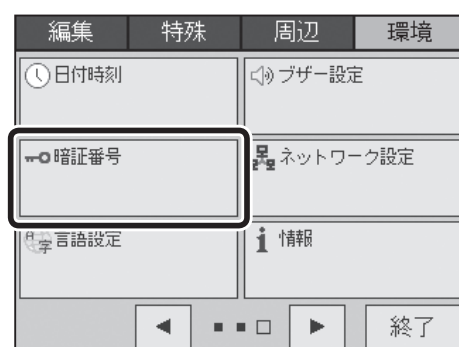


3 「環境」をタッチしてください。

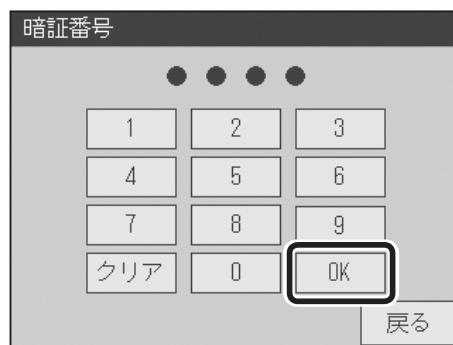
4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。



5 「暗証番号」をタッチしてください。



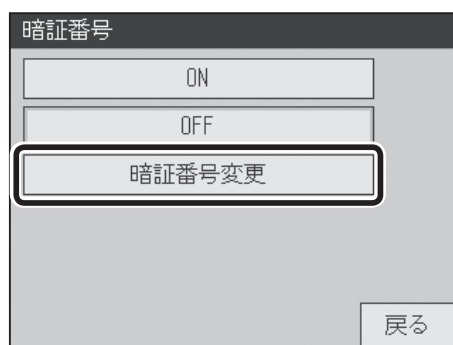
- 6 現在設定されている暗証番号を入力し、「OK」をタッチしてください。
ここでは暗証番号 4 桁入力タイプで説明します。



- 7 「暗証番号変更」をタッチしてください。

参考

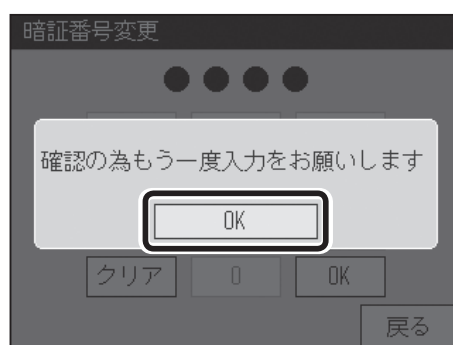
ここにある「ON」「OFF」ボタンは、電源 ON 時の「暗証設定」です。ネットワーク設定の「暗証設定」は、「暗証機能の設定」を参照してください。
(参考→ P. 195 「暗証機能の設定」)



- 8 変更したい番号を入力し「OK」をタッチしてください。
テンキーでも入力できます。



- 9 「確認の為もう一度入力をお願いします」が表示されます。「OK」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く...

- 10 手順 8 で入力した番号を入力し「OK」をタッチしてください。
新しい暗証番号が登録されます。



暗証の変更

参考

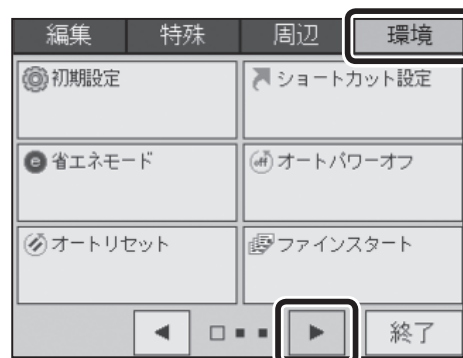
「暗証機能」で「暗証番号 4 桁」または、「暗証番号 8 桁」を利用している場合は、「暗証番号の変更」を参照してください。

(参考→ P. 190 「暗証番号の変更」)

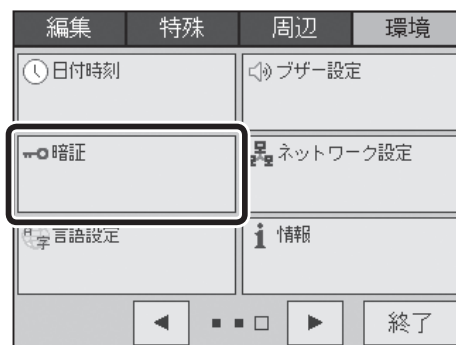
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。



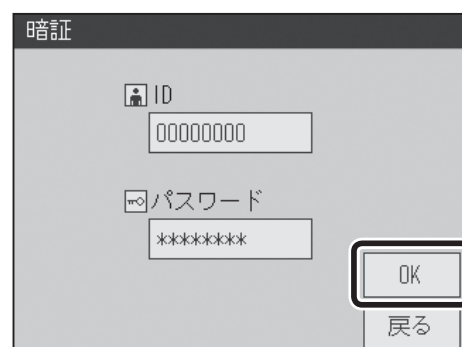
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を 2 回タッチしてください。



5 「暗証」をタッチしてください。



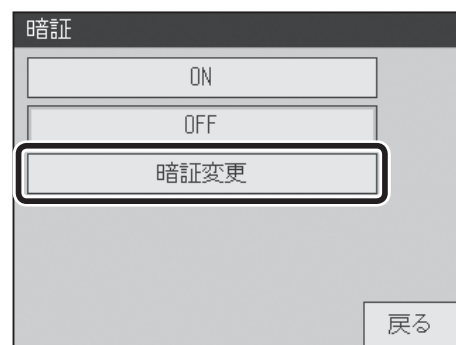
6 現在設定されている ID またはパスワードを入力して、「OK」をタッチしてください。
ここでは ID・パスワードタイプで説明します。



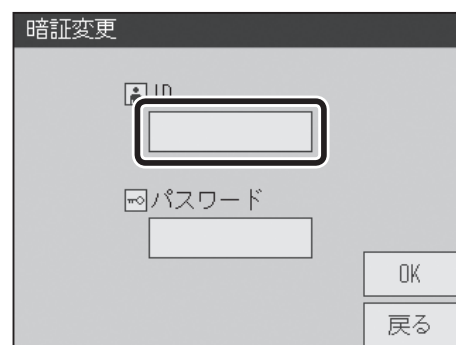
7 「暗証変更」をタッチしてください。

参考

ここにある「ON」「OFF」ボタンは、電源 ON 時の「暗証設定」です。ネットワーク設定の「暗証設定」は、「暗証機能の設定」を参照してください。
(参考→P. 195 「暗証機能の設定」)



8 「ID」をタッチしてください。



4

その他の機能

次ページへ続く…

- 9 ID 入力画面が表示されます。
変更したい文字または番号を入力し「OK」をタッチしてください。

参考

入力は画面上をタッチします。「テンキー」は使用できません。



- 10 「パスワード」をタッチしてください。



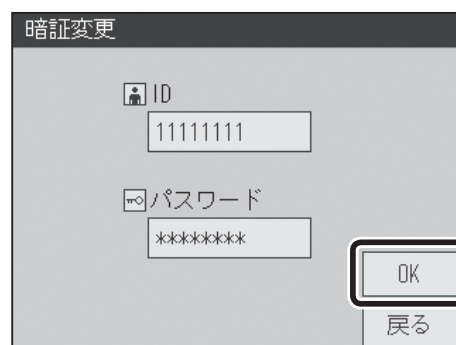
- 11 パスワード入力画面が表示されます。
変更したい文字または番号を入力し「OK」をタッチしてください。

参考

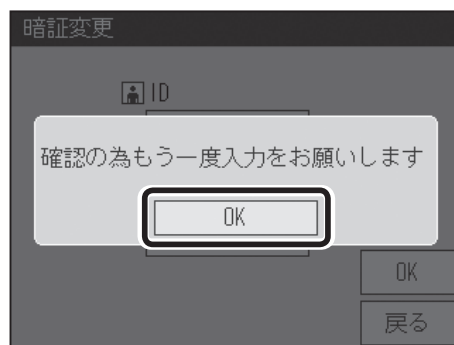
入力は画面上をタッチします。「テンキー」は使用できません。



- 12 「OK」をタッチしてください。



- 13 「確認の為もう一度入力をお願いします」が表示されず、「OK」をタッチしてください。



- 14 手順9, 11で入力したIDとパスワードをもう一度入力し、「OK」をタッチしてください。
新しいIDとパスワードが登録されます。



4

暗証機能の設定

「ネットワーク設定」を開く前に暗証番号などの入力画面を表示させて、ネットワーク設定の変更を制限できます。

その他の機能

- 1 「ネットワーク設定」に入ります。
(参考→P. 183「環境機能 ネットワーク設定」)
- 2 「暗証番号」または「暗証」をタッチしてください。

暗証番号の場合

ネットワーク設定	
クイックセットアップ	
アドバンスドセットアップ	
初期化	
LAN	: 接続
MACアドレス	: 84:25:3F:45:88:7A
DHCP	: 無効
RARP	: 無効
IPアドレス	: 192.168.000.003
サブネットマスク	: 255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	: 000.000.000.000
暗証番号	
終了	

暗証の場合

ネットワーク設定	
クイックセットアップ	
アドバンスドセットアップ	
初期化	
LAN	: 接続
MACアドレス	: 84:25:3F:45:88:7A
DHCP	: 無効
RARP	: 無効
IPアドレス	: 192.168.000.003
サブネットマスク	: 255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	: 000.000.000.000
暗証	
終了	

参考

表示されていない場合は、サービスマンにお問い合わせください。

次ページへ続く...

- 3 現在設定されている暗証番号を入力し、「OK」をタッチしてください。
ここでは暗証番号 4 桁入力タイプで説明します。

暗証番号

● ● ● ●

1	2	3
4	5	6
7	8	9
クリア	0	OK

戻る

- 4 「ON」をタッチすると、暗証機能が有効になります。
「OFF」をタッチすると、暗証機能が無効になります。

暗証番号

ON
OFF

戻る

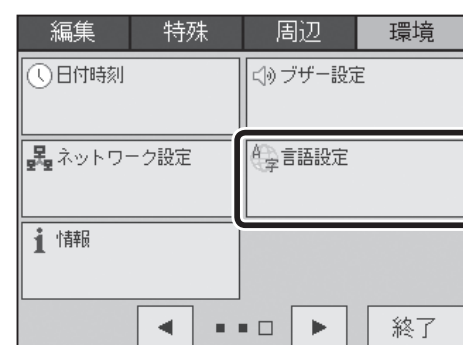
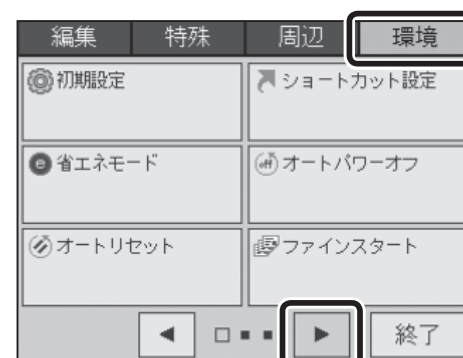
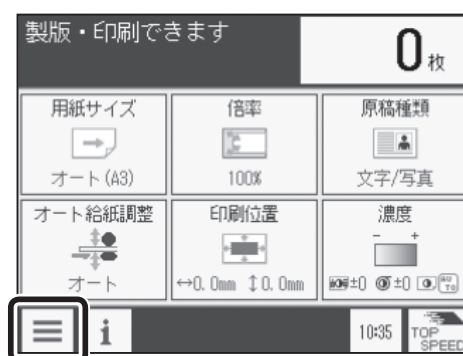
環境機能 言語設定

言語設定について

液晶に表示される言語を、日本語か英語に変更できます。

言語設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「言語設定」をタッチしてください。

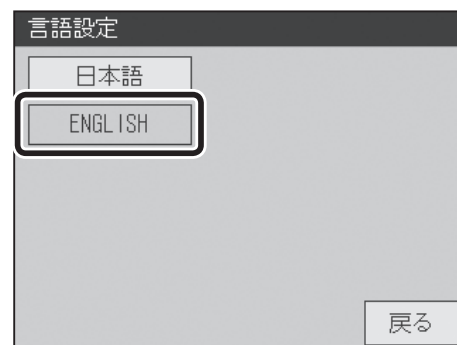


4

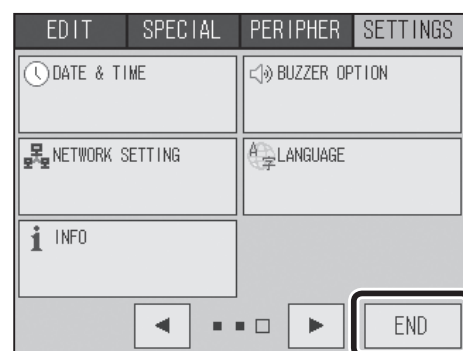
その他の機能

次ページへ続く…

- 6** 液晶に表示される言語を選択し、タッチしてください。
ここでは、「ENGLISH」をタッチしたとして説明します。



- 7** 「END」をタッチしてください。



環境機能 情報

情報について

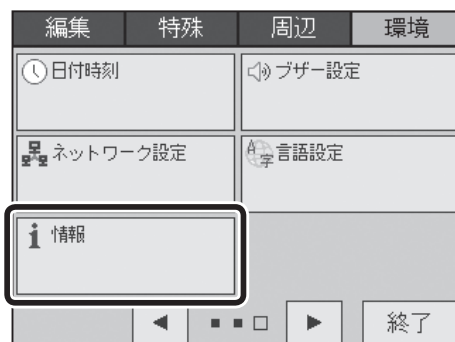
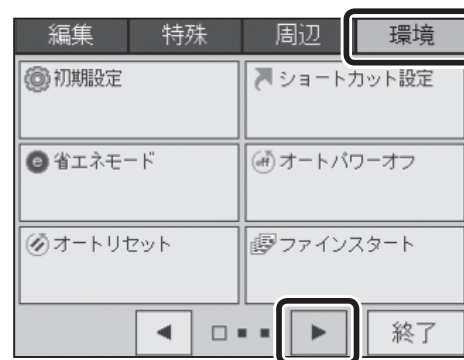
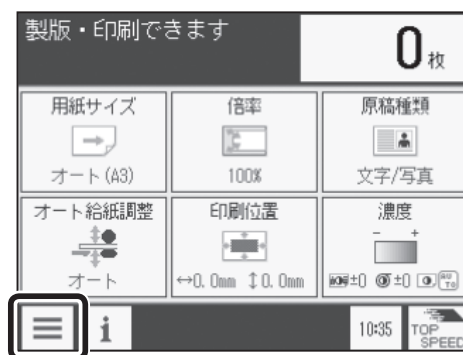
トータル製版数、トータル印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、インクの色、日付時刻、ショートカット設定の内容を確認できます。
また、エラー履歴を表示、プリント、USB メモリへの保存ができます。

重要

「USB メモリ」への保存には、「USB メモリマネージャー（オプション）」が必要です。

情報の確認のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認してください。
- 2 「メニュー」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下の「ページ切替ボタン」を2回タッチしてください。
- 5 「情報」をタッチしてください。



次ページへ続く...

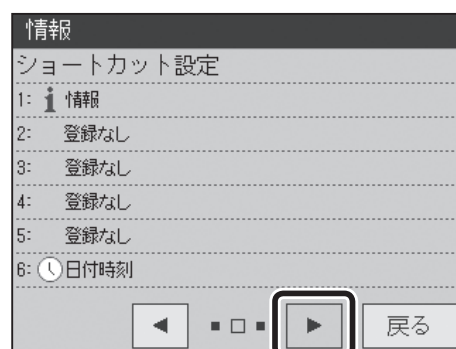
4

その他の機能

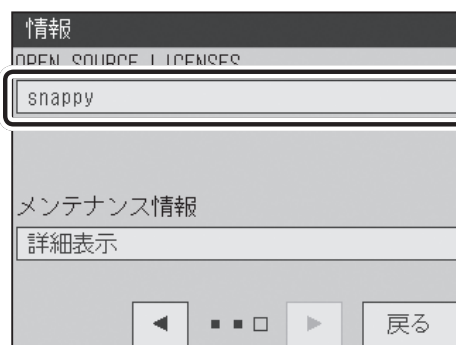
- 6 トータル製版数、トータル印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、日付時刻を確認できます。
画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



- 7 ショートカット設定の内容を確認できます。
画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。



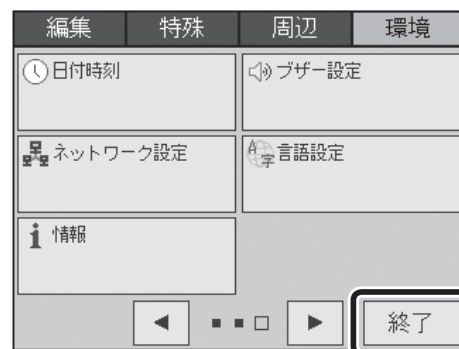
- 8 本機で使用している OPEN SOURCE LICENSES の内容を確認できます。「snappy」をタッチすると LICENSE が表示されます。



- 9 「戻る」をタッチしてください。



- 10 「終了」をタッチしてください。



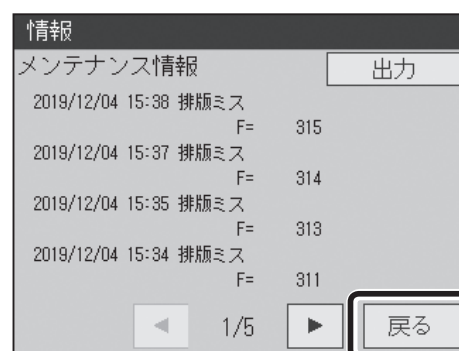
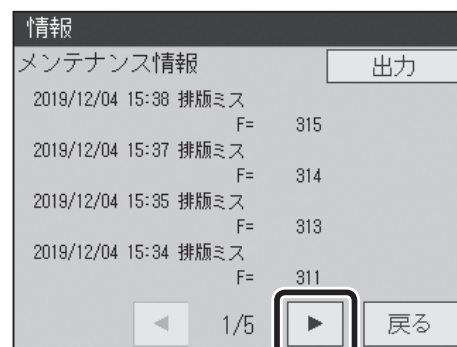
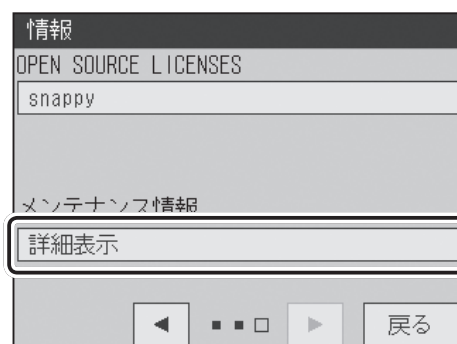
エラー履歴の確認のしかた

- 1 「情報の確認のしかた」の手順1～7をしてください。
(参考→ P. 199 「情報の確認のしかた」)
- 2 メンテナンス情報の「詳細表示」をタッチしてください。
- 3 エラー履歴が表示されます。
過去の履歴を確認したい場合は、画面下の「ページ切替ボタン」をタッチしてください。

参考

発生したエラーとその日時が表示されます。

- 4 「戻る」をタッチしてください。



4

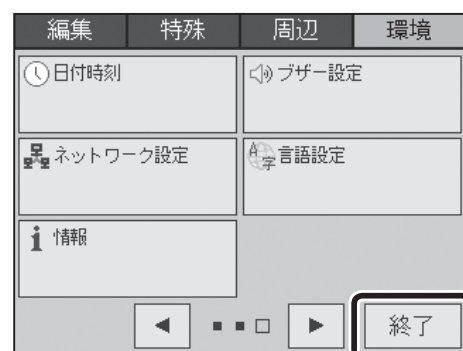
その他の機能

次ページへ続く…

- 5 「戻る」をタッチしてください。

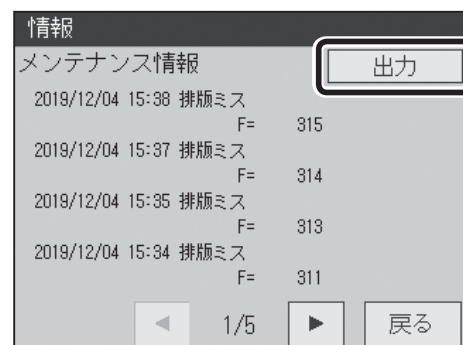


- 6 「終了」をタッチしてください。

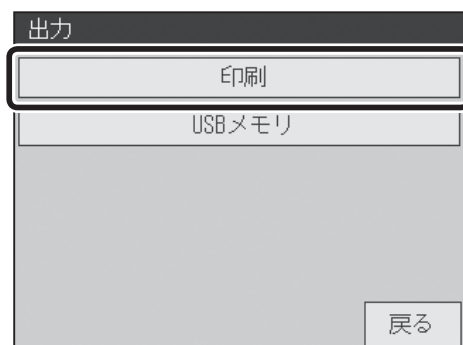


●エラー履歴をプリントする

- 1 「出力」をタッチしてください。



- 2 「印刷」をタッチしてください。

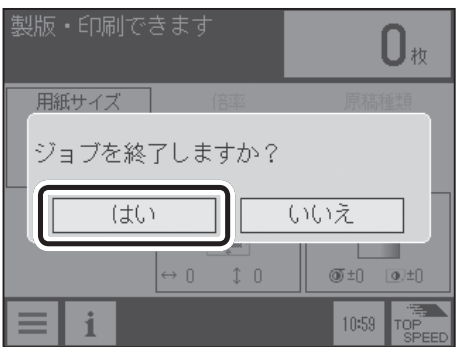


3 枚数を入力して、「製版キー」を押してください。



4 終了する場合は、「ストップキー」を押してください。

5 「はい」をタッチしてください。
基本画面に戻ります。



参考

エラー履歴の出力サンプルです。

MAINTENANCE INFORMATION				
MODEL	:	CDB7DP		
SERIAL NUMBER	:	009065250		
DATE	:	2019/12/11		
TOTAL MASTER MAKE COUNT	:	1680		
TOTAL PRINT COUNT	:	7111		
NUM. OF MASTER ROLL USED	:	10		
MAIN PCB	:	Version 3.23		
PANEL PCB	:	Version 0.80		
ERROR HISTORY				
2019/12/09	11:06	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	11:05	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	11:05	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	11:04	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	11:04	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	10:59	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/09	10:54	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/06	17:19	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/06	17:18	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/06	17:17	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/06	17:14	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/06	16:55	ADF PAPER JAM	F=	669
2019/12/05	14:55	PAPER EJECT JAM	P=	5815
2019/12/05	14:40	MASTER EJECT ERROR	F=	651
2019/12/05	14:35	PAPER WRAP UP	P=	4335
2019/12/05	14:35	PAPER WRAP UP	P=	4335
SERVICE CALL HISTORY				
2019/12/11	10:14	E043		
2019/12/11	10:13	E043		
2019/12/09	10:11	E043		
2019/11/27	10:22	E019		
ERROR COUNT				
PAPER MISFEED	:	1		
PAPER FEED JAM	:	0		
PAPER WRAP UP	:	3		
PAPER EJECT JAM	:	5		
MASTER FEED ERROR	:	0		
MASTER EJECT ERROR	:	2		
DOUBLE FEED DETECTION	:	2		
ADF PAPER JAM	:	45		
SERVICE CALL	:	11		

4

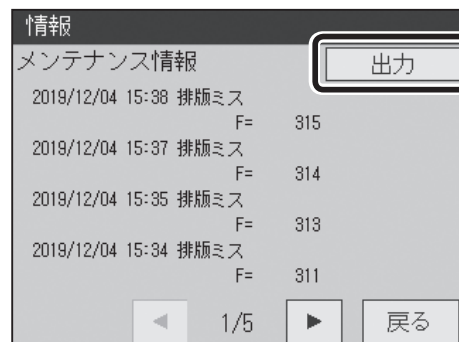
その他の機能

●エラー履歴を USB メモリに保存する

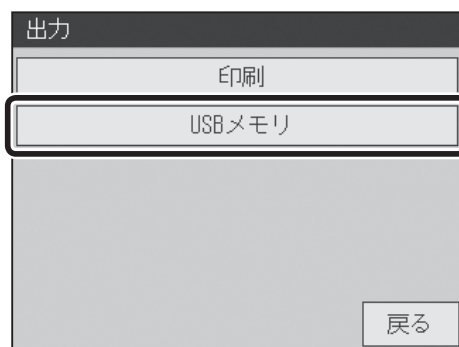
重要

USB メモリへの保存には、USB メモリマネージャー（オプション）が必要です。

- 1 「出力」をタッチしてください。



- 2 印刷機本体に「USB メモリ」を差していることを確認して、「USB メモリ」をタッチしてください。



- 3 保存が終了するとメンテナンス情報の画面に戻ります。

参考

保存ファイルは、CSV 形式になります。

5

第 5 章

消耗品の交換のしかた

この章では、ロールマスターやインクパックなどの消耗品の交換のしかたについて説明します。

.....	
インクパックの交換	206
インクパックの交換について	206
インクパックの交換のしかた	206
ロールマスターの交換	209
ロールマスターの交換について	209
ロールマスターの交換のしかた	209
使用済みマスターの処理のしかた	212
使用済みマスターの処理について	212
使用済みマスター処理のしかた	212
ドラムユニットの交換	214
ドラムユニットの交換について	214
ドラムの取り出ししかた	214
ドラムのセットのしかた	215
サバキユニットの交換	217
サバキユニットの交換について	217
サバキユニットの交換のしかた	217
補助サバキの交換	218
補助サバキの交換のしかた	218
.....	

インクパックの交換

インクパックの交換について

インクの残量が少なくなると、液晶（タッチパネル）に「インクがありません」というメッセージが表示されます。

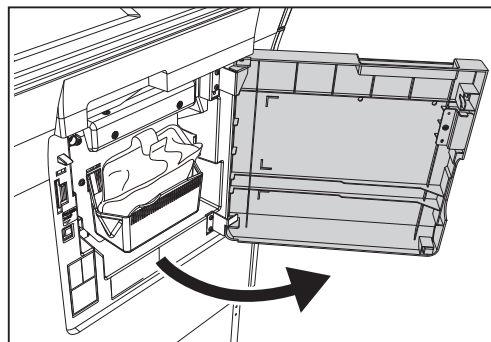
下記の手順に従って、新しい「インクパック」と交換してください。

重要

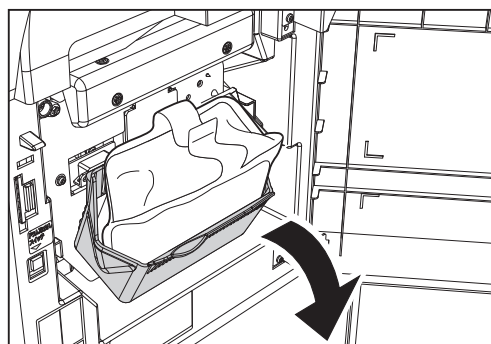
- 「インクパック」は必ず、本機専用の純正インクパックをご使用ください。
- 「インクパック」は必ず、セットしてください。「インクパック」をセットしない状態で、機械を動作させないでください。
- 使用済み「インクパック」は、各自治体の指導に従い廃棄してください。

インクパックの交換のしかた

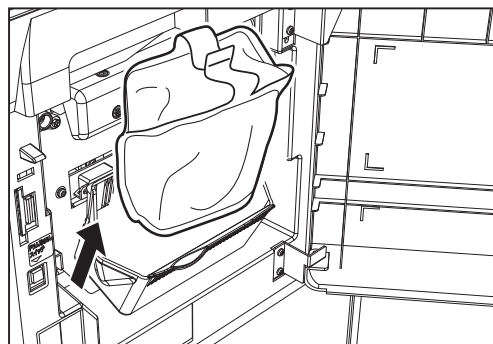
- 1 「前カバー」を開きます。



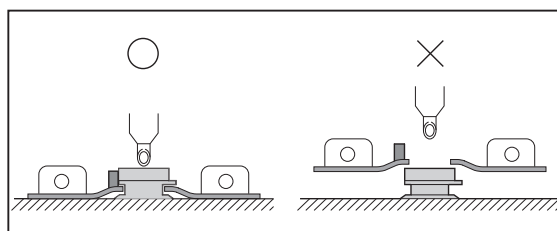
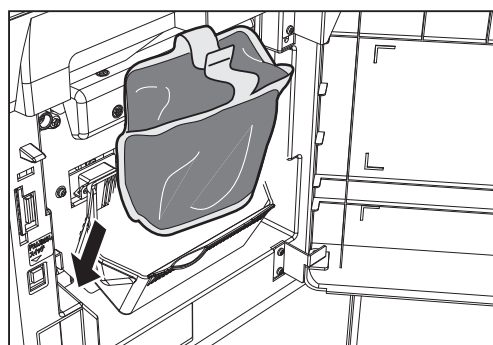
- 2 「インクホルダー」をつかんで、手前に引きます。



- 3 空になった「インクパック」を上に取り取ります。

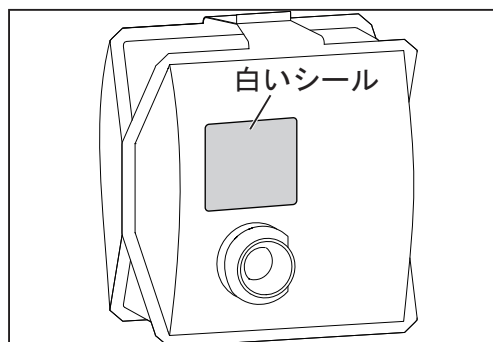


- 4 インクパック口金部の溝が、ホルダーU字部にはまるように、「インクパック」を入れます。



重要

「インクパック」に貼ってある白いシールは、はがさないでください。機械が正常に動作しなくなります。



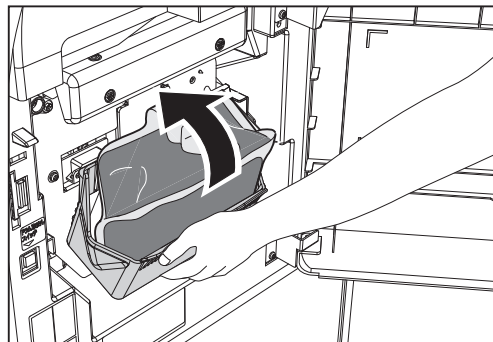
消耗品の交換のしかた

5

次ページへ続く...

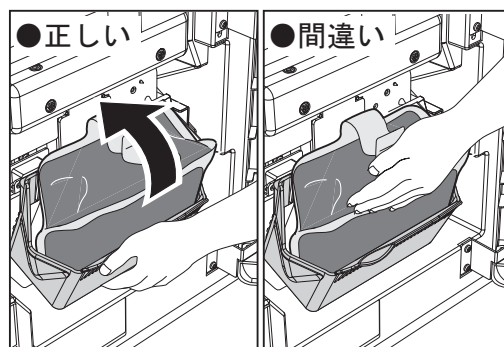
インクパックの交換

- 5 「インクパック」が奥まで入っていることを確認してから、「インクホルダー」を戻します。

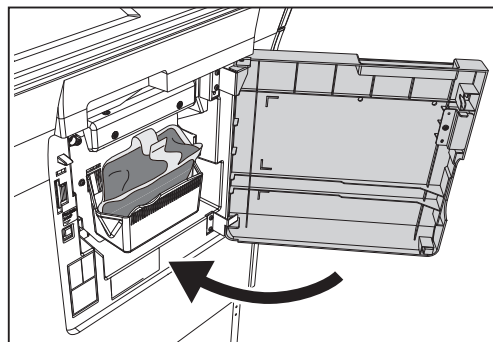


重要

「インクホルダー」を戻すときは、「インクホルダー」を持って戻してください。
「インクパック」に手を掛けたり、インクパックを押して戻すと、正常にセットできず、インクを最後まで使用できなくなる可能性があります。



- 6 「前カバー」を閉じてください。



ロールマスターの交換

ロールマスターの交換について

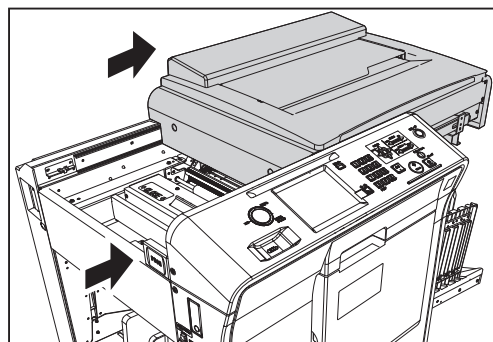
ロールマスターがなくなると、液晶（タッチパネル）に「マスターが無くなりました」というメッセージが、表示されます。下記の手順に従って、新しい「ロールマスター」と交換してください。

重要

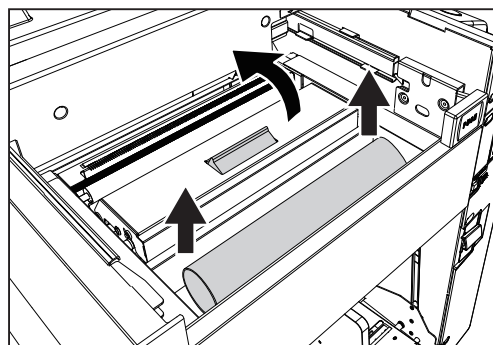
- 「ロールマスター」は必ず、本機専用の純正ロールマスターをご使用ください。
- 「ロールマスター」の入っている箱の上には、重いものをのせないでください。
「ロールマスター」にキズが入り、正常な製版ができなくなります。
- 箱から取り出したマスターは、そのまま放置しないでください。
「ロールマスター」表面に異物が付着して、正常な製版ができなくなります。
- 直射日光のあたる場所、高温、高湿、低温、低湿の場所には保管しないでください。

ロールマスターの交換のしかた

- 1 「スキャナー開閉スイッチ」を押して、「スキャナーユニット」をスライドさせてください。



- 2 「マスターカバー PUSH レバー」を押してください。「マスターカバー」が開きます。



- 3 ロールマスターの芯を上に取り上げて引き抜いてください。



警告

- 警告ラベルの貼ってあるカバーは、外さないでください。
- 内部に可動する刃物があり、けがのおそれがあります。

5

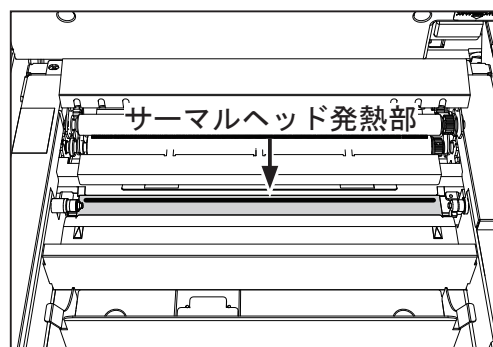
消耗品の交換のしかた

次ページへ続く…

ロールマスターの交換

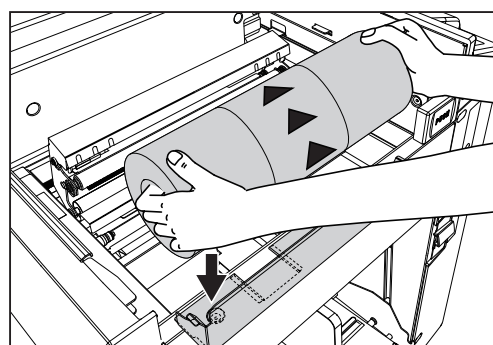
重要

サーマルヘッド発熱部には、絶対に手を触れないでください。キズがつくおそれがあります。キズがついてしまうと、正常な製版ができなくなります。

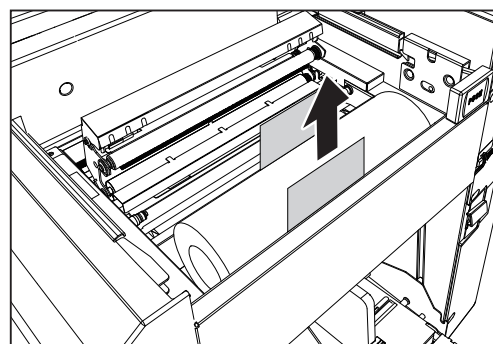


4 新しいロールマスターを、袋から取り出してください。

5 帯封の矢印の向きに注意して、本体にセットしてください。



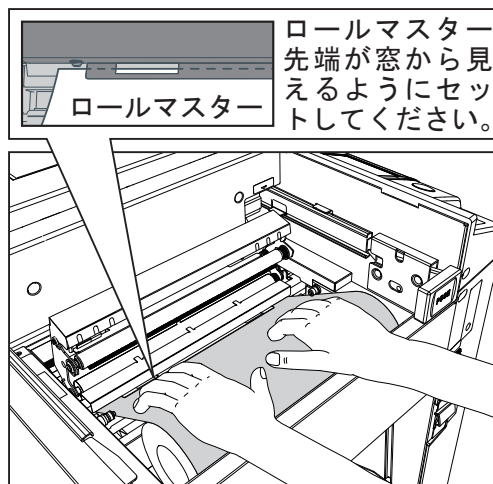
6 帯封をはがして、抜き取ってください。



- 7 ロールマスターを引き出して、ロールマスター先端を合わせてください。

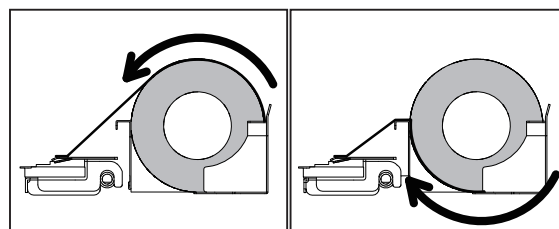
重要

- ロールマスターは、必ず正しい方向へ引き出してください。
- ロールマスターは、窓から見えるまで、引き出してセットしてください。

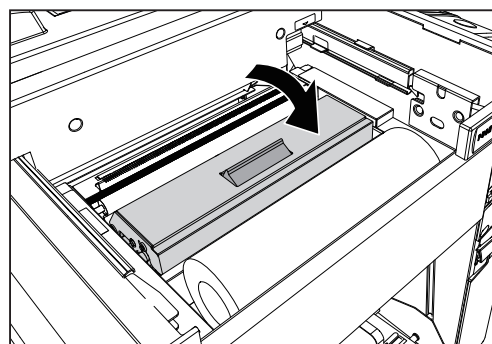


●正しい

●間違い



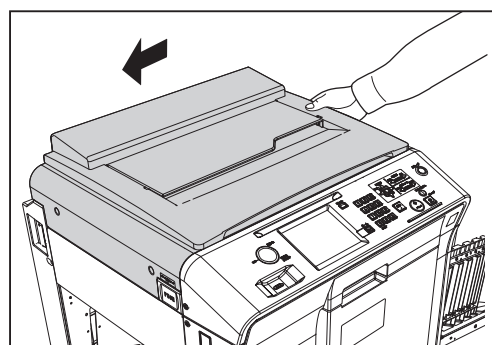
- 8 「マスターカバー」を閉めてください。



- 9 「スキャナーユニット」をスライドさせ、元に戻してください。
ロールマスターが自動的にセットされます。

重要

- ロールマスターが正常にセットされなかった場合、「再度マスターをセットして下さい」が表示されます。
マスターカバーを開けて、マスターのセットをやり直してください。
- 一度セットしたロールマスターは、使用途中で他の機械に使用しないでください。
- 「スキャナーユニット」を戻すときは、手や指を挟まないように注意してください。



5

消耗品の交換のしかた

使用済みマスターの処理のしかた

使用済みマスターの処理について

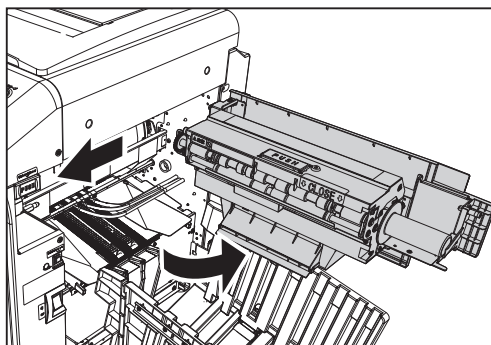
「排版ロール」がいっぱいになると、液晶（タッチパネル）に「使用済みマスターが満杯です」というメッセージが表示されます。下記の手順に従って、使用済みマスターを捨ててください。

重要

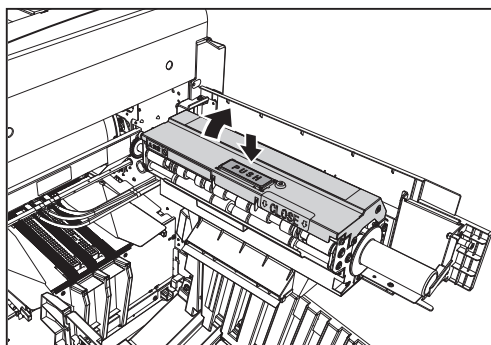
- 「排版ロール」は必ず、本機専用の「排版ロール」をご使用ください。
- オプションの「セキュリティ排版ボックス」をご使用の方は、管理者にご連絡ください。

使用済みマスター処理のしかた

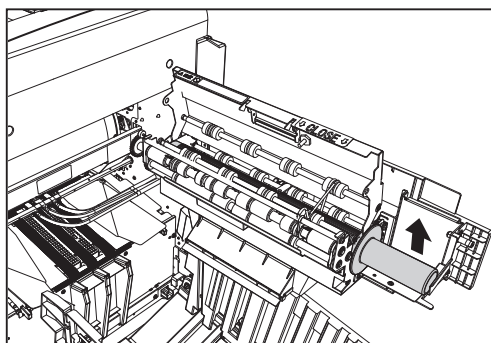
- 1 「排版ボックス開閉スイッチ」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



- 2 「排版ボックス PUSH レバー」を押しながら、「排版カバー」を上を開いてください。



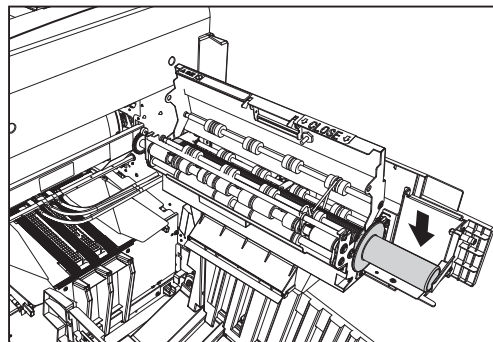
- 3 「排版ロール」の端を持って、ロールを取り出し、ゴミ箱等の上で「排版ロール」を傾けて、使用済みマスターを取り除いてください。



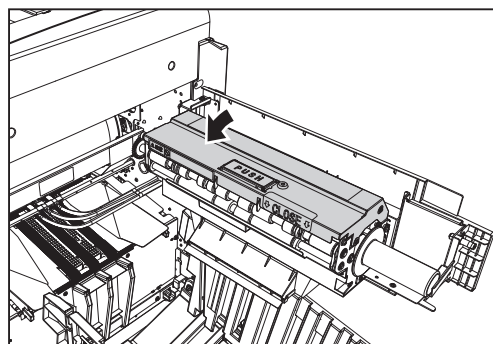
重要

排版ロールにはインクがついています。手や衣服に触れないよう注意してください。

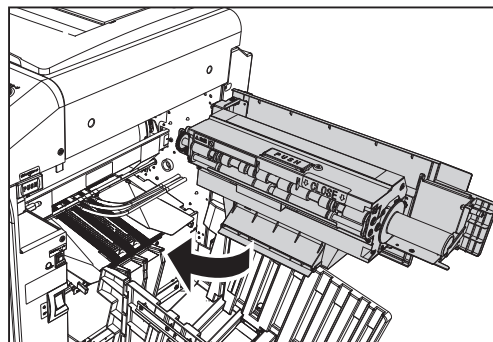
- 4 使用済みマスターを取り除いた「排版ロール」を、「排版ボックス」に入れてください。



- 5 「排版カバー」を静かに閉め、ロックがかかるまで押してください。



- 6 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



5

消耗品の交換のしかた

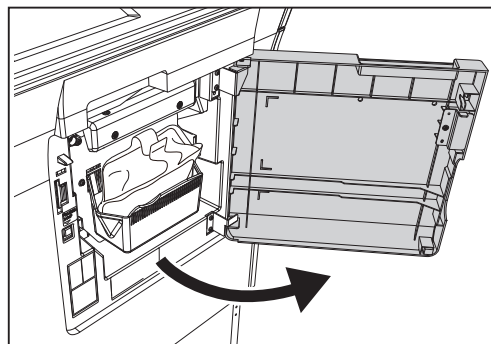
ドラムユニットの交換

ドラムユニットの交換について

- ドラムユニット表面を指で押したり、傷つけたりしないでください。指や衣服が汚れます。また、ドラムユニット表面が凹んでしまい、正常なプリントができなくなります。
- ドラムユニットを置く場合は、置く場所にももの等がないか、確認して平坦な所においてください。ドラムユニット表面に傷がついたり凹んでしまう場合があります、正常な印字ができなくなります。

ドラムの取り出し方

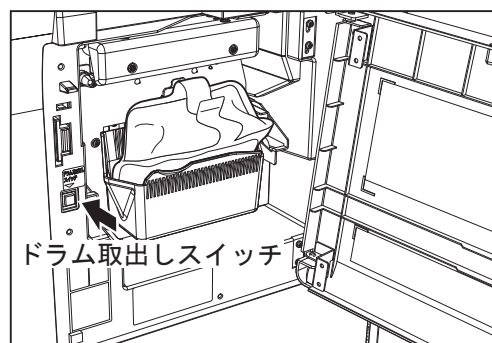
- 1 「前カバー」を開いてください。



- 2 「ドラム取出しスイッチ」を押してください。

参考

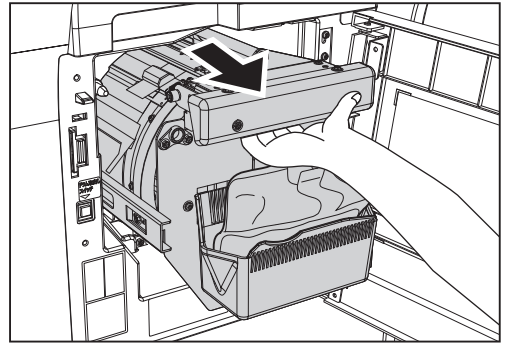
- LED 点灯 ドラム取出しできます。
- LED 点滅 ドラム取出しできません。
- LED 消灯 ドラム回転中です。取出しできません。



警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをするおそれがあります。

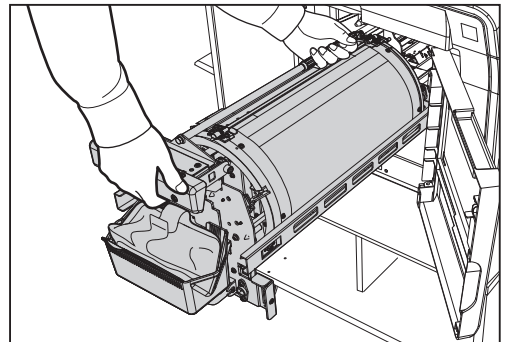
- 3 LED が点灯していることを確認してから、「ドラム解除レバー」を手前に引きそのまま、「ドラム」を手前に引き出してください。



- 4 ドラム上部の取っ手をもう一方の手で持ち、ドラム手前を少し上に持ち上げながら、「ドラム」を手前に引き出してください。

重要

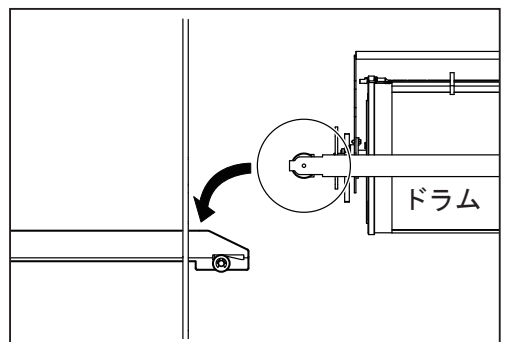
- ドラム面には手を触れないでください。
衣服がドラムに触れると、インクが付きます。
- 「ドラム」は水平に持ち、平らな安定した場所に置いてください。



- 5 液晶（タッチパネル）に「ドラムをセットして下さい」というメッセージが表示されたら、次の手順で「ドラム」をセットしてください。

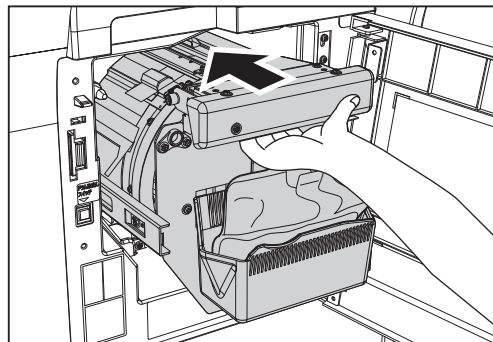
ドラムのセットのしかた

- 1 「ドラム」を水平に持ち、ドラムのコロを本体のレールの上に乘せてください。

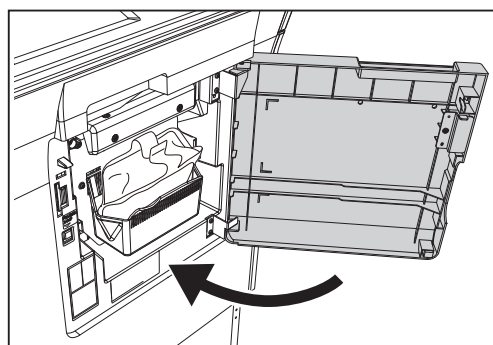


ドラムユニットの交換

- 2 「ドラム」を水平にして、止まるまで静かに押し込んでください。
セットができると「ピッ」と鳴ります。



- 3 「前カバー」を閉めてください。



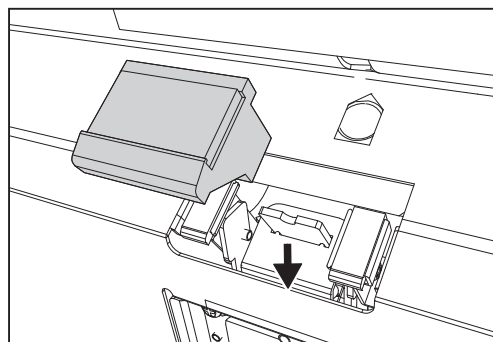
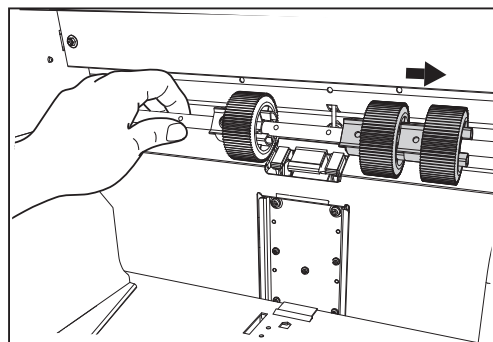
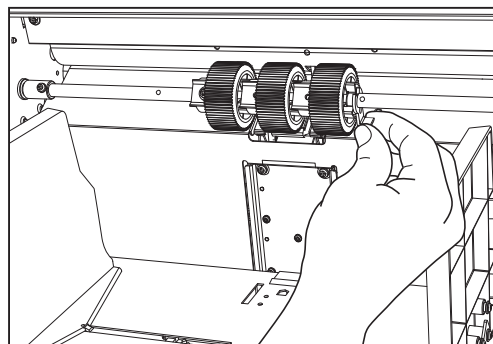
サバキユニットの交換

サバキユニットの交換について

硬度の違うサバキユニット（オプション）に、簡単に交換できます。

サバキユニットの交換のしかた

- 1 機械本体の電源を切ってください。
- 2 右端の「給紙ローラー」横についている「ストッパーリング」を手前に引っぱり、取り外してください。
- 3 右図のように軸を少し上に持ち上げ、右端と真ん中の「給紙ローラー」を右側に移動します。
- 4 「サバキユニット」を取り外し交換してください。
- 5 取り付けるときは「サバキユニット」の向きに注意してください。
- 6 給紙ローラーを元の位置に戻して「ストッパーリング」を取り付けてください。



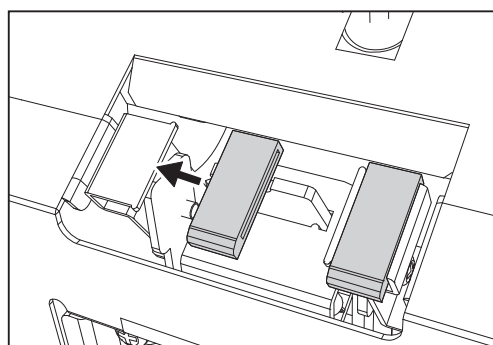
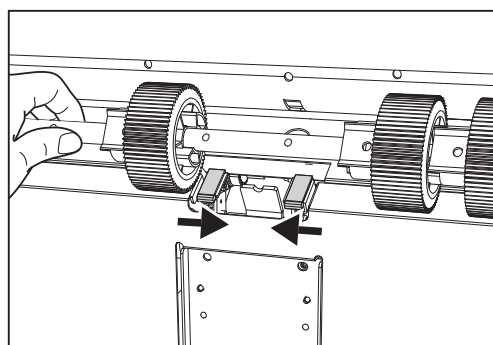
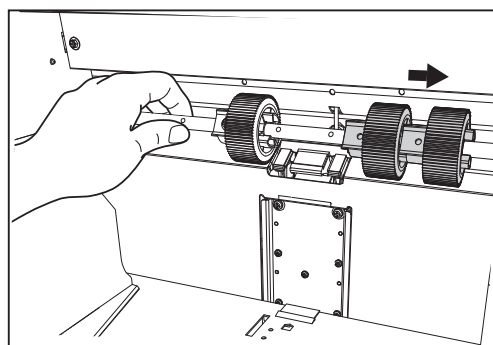
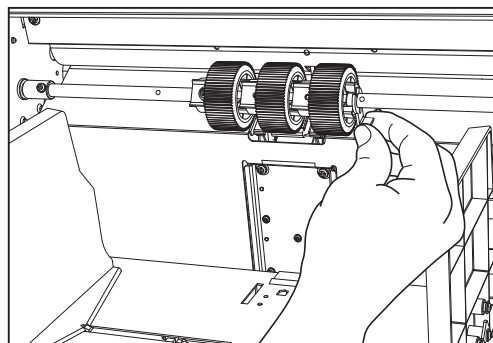
5

消耗品の交換のしかた

補助サバキの交換

補助サバキの交換のしかた

- 1 機械本体の電源を切ってください。
- 2 右端の「給紙ローラー」横についている「ストッパーリング」を手前に引っ張り、取り外してください。
- 3 右図のように軸を少し上に持ち上げ、右端と真ん中の「給紙ローラー」を右側に移動します。
- 4 「サバキユニット」を取り外してください。
- 5 「補助サバキ」を取り外し交換してください。
- 6 取り付けるときは、「補助サバキ」の向きに注意してください。
- 7 「サバキユニット」を取り付け、「給紙ローラー」を元の位置に戻して「ストッパーリング」を取り付けてください。



第 6 章

こんなときには

この章では、紙づまりやエラーメッセージなどに対する対処方法について説明します。

故障かな？と思われたとき	220
メッセージが表示されたとき	221
プリント中に用紙を補給するとき	224
プリント中に用紙がなくなったとき	224
プリント中に用紙を補給するとき	224
用紙サイズを変更するとき	225
紙づまりを起こしたとき	227
左側紙づまり（給紙トレイ）	227
右側紙づまり（排紙台）	228
ドラムに用紙が巻きついているとき	229
排版ミスを起こしたとき	231
ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた	231
着版ミスを起こしたとき	234
マスターの取り除きかた	234
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	235
ロールマスターのセットのしかた	235
消耗品情報入力画面が表示されたとき	237
インク情報入力画面の入力のしかた	237
ロールマスター情報入力画面の入力のしかた	240
ADF 原稿づまりを起こしたとき	243

故障かな？と思われたとき

故障かな？と思ったときは、担当サービスマンに連絡するまえに、次の表から原因を確認し対処してください。処置をしても現象が改善されない場合は、担当サービスマンにご連絡ください。

現象	チェックポイント	処置
電源スイッチを入れても、起動しない。	電源コードのプラグがコンセントまたは、本機インレットから外れていませんか？	電源コードを正しく接続してください。
ドラムが抜けません。	ドラム取出しスイッチのLEDは点灯していますか？	LEDが点滅のときはドラム取出しスイッチを押してください。
排出された用紙にプリントされていない。	原稿面を表裏反対にセットしていませんか？	原稿面を下にしてセットしてください。自動原稿送り装置（ADF）（オプション）ご使用の場合は原稿面を上にしてセットしてください。
	ロールマスターを表裏反対にセットしていませんか？	ロールマスターを正しくセットしなおしてください。
	ドラムに印刷用紙が巻きついていませんか？	ドラムに巻きついた用紙を取り除いてください。
ドラムに用紙が巻きついてしまう。	原稿上部に大きなベタ部がありますか？	原稿上部に大きなベタ部があると、用紙が排出されにくくなります。原稿のセット方向を天地（上下）逆にして、製版し直してください。
プリントの一部が欠けてしまう。	原稿台ガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスを乾いた柔らかい布で拭いてください。
	ドラム表面に何か付いていませんか？	ドラムを抜いて表面に付いている異物を取り除いてください。ドラムとマスター間に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、再度製版をしてください。
	用紙サイズは設定していますか？	用紙サイズを設定してください。
省エネモードに入らない。	原稿押え板が開いていませんか？	原稿押え板を閉じてください。
ファインスタートが動作しない。	「電池切れです」が表示されていませんか？	「電池切れです」が表示された場合、日付時刻を設定しても再度「電池切れです」が表示する場合は、サービス実施店にご連絡いただき、電池交換をしてください。
インク、ロールマスターをセットしたのにエラーメッセージが消えない。	インク、ロールマスターを正しくセットしていますか？	インク、ロールマスターをセットしなおしてください。
	消耗品情報のないインクパックを使用していませんか？	インクパックに貼ってあるシールをはがさないでください。はがしてしまった場合は、新しいインクパックをセットしてください。
	消耗品情報のないロールマスターを使用していませんか？	ロールマスターの品番を確認し、再度ロールマスターをセットし直してください。

メッセージが表示されたとき

液晶（タッチパネル）にイラストとメッセージでその内容と対処方法をお知らせします。メッセージが表示されたときは液晶（タッチパネル）の指示に従って適切な処置をしてください。メッセージは文字で表示されるものと数字で表示されるものがあります。

表示	メッセージの意味する状態と処置
印刷用紙がありません	状態：給紙トレイに印刷用紙がありません。 処置：給紙トレイに印刷用紙をセットしてください。
左側紙づまりです	状態：給紙トレイ側で紙づまりが発生しました。 処置：給紙トレイを下げて、つまっている用紙を取り除いてください。 左側紙づまりの発生頻度が多い場合は、「給紙圧」、「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」を調整してください。
右側紙づまりです	状態：排紙台側で紙づまりが発生しました。 処置：用紙排出スイッチを押してつまった用紙を取り除いてください。 処置：ドラムを取出し、ドラムに巻きついた用紙を取り除いてください。
中央紙づまりです	状態：機械中央部で紙づまりが発生しました。 処置：ドラムを取出し中央部につまっている用紙を取り除いてください。
原稿押え板を閉めて下さい	状態：原稿押え板が開いています。 処置：原稿押え板を静かに閉じてください。
マスターが無くなりました	状態：ロールマスターが無くなりました。 処置：ロールマスターを新しいものと交換してください。
マスターカバーを閉めて下さい	状態：マスターカバーが開いています。 処置：マスターカバーを閉じてください。
マスターセットミスです	状態：製版工程で異常が発生しました。 処置：給版部に残ったマスターを取り除き、再度ロールマスターをセットしてください。
マスター情報読み取りエラーです	状態：本機に使用可能なマスターがセットされていません。 処置：本機に使用可能なマスターをセットしてください。
本機専用マスターではありません	状態：本機専用マスターではありません。機種によってロールマスターが違います。 処置：ロールマスターの型番を確認して本機専用のロールマスターをセットしてください。
スキャナを閉めて下さい	状態：スキャナーが開いています。 処置：スキャナーを静かに閉じてください。
前カバーを閉めて下さい	状態：前カバーが開いています。 処置：前カバーを静かに閉じてください。
排版ミスです	状態：ドラムに古いマスターが残っています。 処置 1：ドラムを取り出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 処置 2：排版ボックスを開いて、つまっているマスターを取り除いてください。 参考：ドラムにマスターがついていない状態で製版をした場合も表示されます。
使用済みマスターが満杯です	状態：排版ロールがいっぱいになりました。 処置：使用済みマスターを処理してください。
排版ボックスを閉めて下さい	状態：排版ボックスが開いています。 処置：排版ボックスを静かに閉じてください。

メッセージが表示されたとき

排版ロールがありません	状態：排版ボックスに排版ロールがセットされていません。 処置：排版ロールをセットしてください。
ドラムがありません	状態1：ドラムがセットされていません。 処置1：本体にドラムをセットしてください。 状態2：ドラムが正常にセットされていません。 処置2：ドラムを奥まで差し込んでください。
インクがありません	状態：インクがありません。 処置：インクパックを新しいものと交換してください。
ドラム取出し位置ではありません	状態：ドラム取出し位置と違う所でドラムを取出そうとしています。 処置：ドラムをセットしドラム取出しスイッチを押してください。
製版後、印刷して下さい	状態：印刷できません。 処置：製版をしてから、印刷をしてください。 マスターセットミス発生直後、または機密保持が設定されている場合は、製版せずに「プリントキー」、または「テストプリントキー」を押すと表示されます。
用紙の2重送りを検出しました 排出された用紙を確認して下さい	状態：用紙が2枚重なって送られました。 処置：2重送りした用紙を取り除いてください。 2重送りの発生頻度が多い場合は、「給紙圧」、「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」を調整してください。 2重送りが発生していない場合は、重送レベルの調整をしてください。
サービスマンに連絡して下さい	状態：機械内部でエラーが発生しました。 処置：エラーコード (EXXX) をメモしてください。 一度電源を切って、再度電源を入れてください。 症状が解消されない場合は、電源を切ってサービスマンに連絡してください。液晶（タッチパネル）に連絡先が表示されている場合は、そこに連絡してください。 エラーコード (EXXX) と発生状況をできるだけ詳しく説明してください。
インクの消費期限が切れると印刷 品質が低下します	状態1：インクが古い為、品質が低下している可能性があります。 処置1：インクを交換してください。 状態2：日付時刻の設定が間違っている可能性があります。 処置2：インクを交換しても表示する場合は正しい日付時刻を入力してください。

IC カード（オプション）装着機

※詳しい使用方法については IC カードの取扱説明書をお読みください。

カードをかざしてください	状態：カードの読み取り待ちです。 処置：カード読み取り部にカードをかざしてください。
このカードは使用できません	状態：カードの種類が違います。 処置：カードを確認して再度カードをかざしてください。
このカードは使用禁止されています	状態：禁止登録されたカードです。 処置：カード管理者に相談してください。

テープクラスタ（オプション）装着機

※詳しい使用方法についてはテープクラスタの取扱説明書をお読みください。

テープが搬送できません	<p>状態 1：テープがなくなりました。</p> <p>処置 1：新しいテープをセットしてください。</p> <p>状態 2：テープが正常にセットできませんでした。</p> <p>処置 2：テープをセットしなおしてください。</p> <p>状態 3：テープが詰まっています。</p> <p>処置 3：テープを一度取り外し、セットしなおしてください。</p>
-------------	--

USB メモリマネージャー（オプション）装着機

※詳しい使用方法については USB メモリの取扱説明書をお読みください。

USB メモリを入れて下さい	<p>状態 1：USB メモリが挿入されていません。</p> <p>処置 1：USB メモリを挿入してください。</p> <p>状態 2：USB メモリが非対応のファイルシステムでフォーマットされています。</p> <p>処置 2：FAT12/FAT16/FAT32 ファイルシステムでフォーマットされた USB メモリをご使用ください。</p>
データが開けません データが入っているか確認して下さい	<p>状態：データを読み取ることができません。</p> <p>処置：データがメモリされているか確認してください。</p>
データの書き込みエラーです データの保存をやり直して下さい	<p>状態：データ書き込みに失敗しました。</p> <p>処置：再度データの保存をしてください。</p>
データを削除できません データが入っているか確認して下さい	<p>状態：データの削除に失敗しました。</p> <p>処置：データがメモリされているか確認してください。</p>
フォーマットできません USB メモリの確認を行うか別の USB メモリに交換して下さい	<p>状態：USB メモリのフォーマットに失敗しました。</p> <p>処置：違う USB メモリを使用してください。</p>

内蔵メモリ（オプション）装着機

※詳しい使用方法については内蔵メモリの取扱説明書をお読みください。

内蔵メモリの空き容量が不足しています	<p>状態：データ保存件数が、制限を超えました。</p> <p>処置：データを削除してください。</p>
データが開けません データが入っているか確認して下さい	<p>状態：データを読み取ることができません。</p> <p>処置：データがメモリされているか確認してください。</p>
オンラインモードです	<p>状態：オンラインデータを受信中です。</p> <p>処置：基本画面にして受信データを製版してください。 終了する場合は、ストップキーを押してください。</p>
内蔵メモリにアクセスできません	<p>症状：内蔵メモリにアクセスできません。</p> <p>処置：サービスマンに連絡してください。</p>
内蔵メモリをフォーマットできません	<p>症状：内蔵メモリのフォーマットに失敗しました。</p> <p>処置：サービスマンに連絡してください。</p>

自動原稿送り装置（ADF）（オプション）装着機

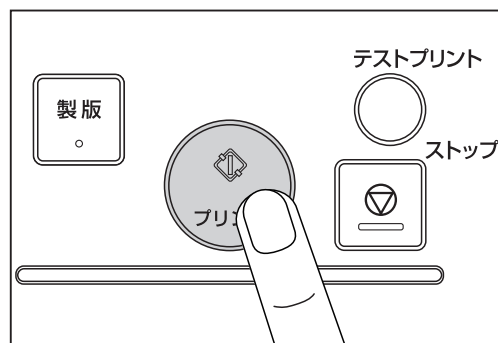
ADF 原稿づまりです	<p>状態：ADF 原稿給紙トレイ部で紙づまりが発生しました。</p> <p>処置：つまった用紙を取り除いてください。</p>
ADF カバーを閉めて下さい	<p>状態：ADF カバーが開いています。</p> <p>処置：ADF カバーを閉じてください。</p>
ADF に原稿がありません 原稿をセットして下さい	<p>状態：ADF に原稿がセットされていません。</p> <p>処置：ADF に原稿をセットしてください。</p>

プリント中に用紙を補給するとき

プリント中に用紙がなくなったとき

プリント中に用紙が無くなると、プリントが停止し、給紙トレイが自動的に下降します。そして「印刷用紙がありません」というメッセージが表示されます。

- 1 プリント中に用紙がなくなると、液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。
次の手順で用紙をセットしてください。
- 2 用紙をセットします。
(参考→P. 14「用紙のセットのしかた」)
- 3 「プリントキー」を押してください。
プリントが再開します。

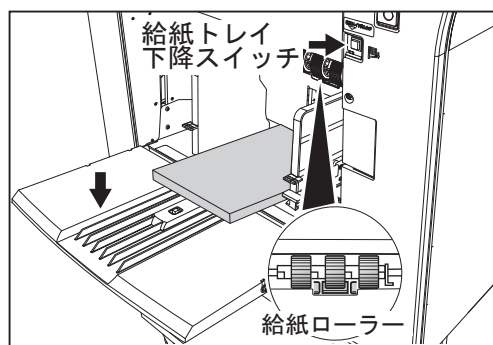
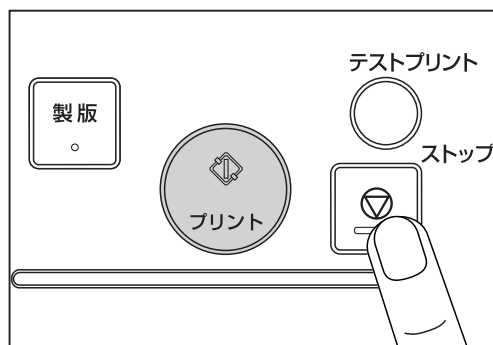


プリント中に用紙を補給するとき

- 1 「ストップキー」を押してください。
プリントが停止します。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。

重要

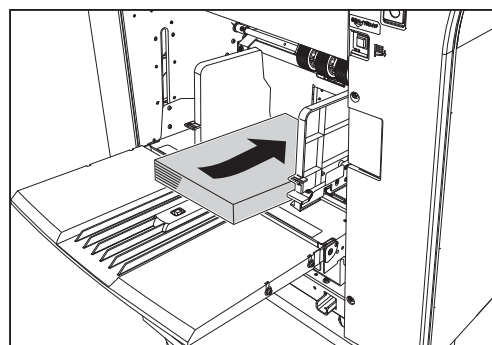
用紙が給紙ローラーに残っているときは、抜き取って揃えてください。



- 3 補給する用紙を揃えて、残っている用紙の上に置き、そのまま機械内部に向かって軽く突きあててください。
- 4 「プリントキー」を押してください。
給紙トレイが上がり、プリントが再開されます。

参考

「ストップキー」を押すと、プリントが停止します。

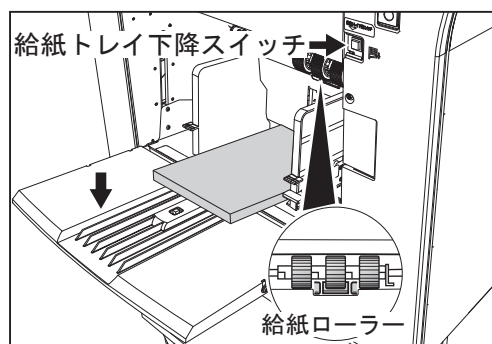


用紙サイズを変更するとき

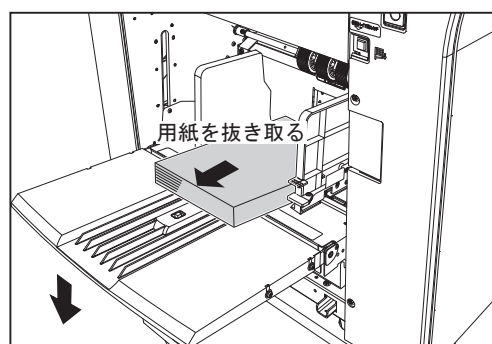
- 1 プリント中のときは、「ストップキー」を押してください。
プリントが停止します。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。

重要

用紙が給紙ローラーに残っているときは、抜き取って揃えてください。



- 3 「給紙トレイ」の用紙を抜き取ってください。
「給紙トレイ」が下がります。



6

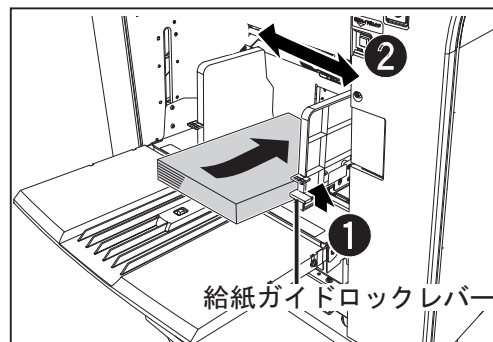
こんなときには

次ページへ続く...

プリント中に用紙を補給するとき

- 4 「給紙ガイドロックレバー」をつまんで、「給紙ガイド」を「別の用紙サイズ」に合わせてください。

- 5 「別のサイズの用紙」をセットしてください。



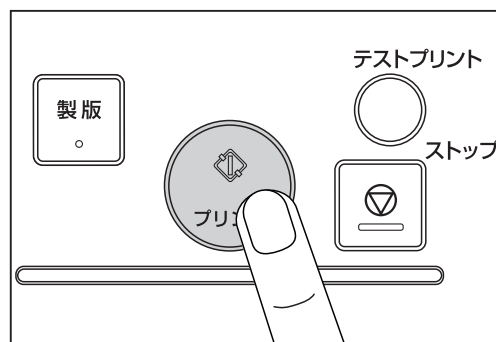
- 6 用紙サイズの設定が「オート」以外の場合は用紙サイズを設定してください。
(参考→ P. 29 「用紙サイズの選び方」)

- 7 「排紙台」の「サイドフェンス」、「ストッパー」を別のサイズの用紙に合わせてください。
(参考→ P. 18 「排紙台のセットのしかた」)

重要

CD57DP/CD54DP の場合、紙質が異なる用紙に載せかえたときは、「給紙圧レバー」、「サバキ圧調整つまみ」、「補助サバキ高さ調整つまみ」を調整してください。

- 8 「プリントキー」を押してください。
「給紙トレイ」が上がり、プリントが再開されます。

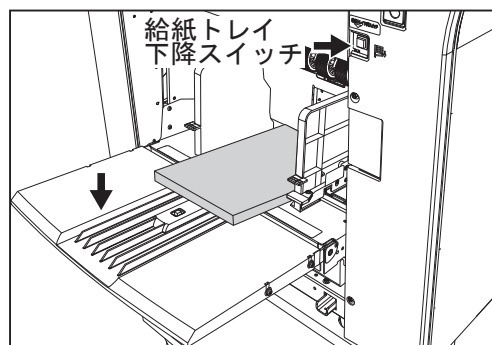


紙づまりを起こしたとき

左側紙づまり (給紙トレイ)

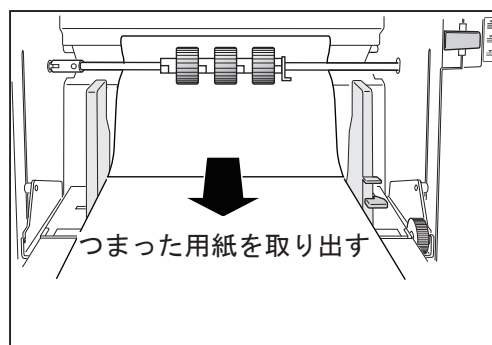
「給紙トレイ」で紙づまりが起こると、液晶（タッチパネル）に「左側紙づまりです」というメッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

- 1 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。



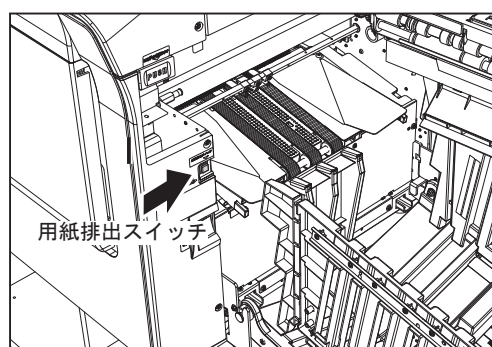
- 2 つまめた用紙を図のように取り出してください。

- つまめた用紙が、取り出せた場合
液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。「OK」をタッチして、「プリントキー」を押してください。
- つまめた用紙が、取り出せなかった場合
「用紙排出スイッチ」を押し続けてください。つまった用紙が排出されます。



警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。
手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをすることがあります。



重要

- 「厚い用紙」または「薄い用紙」を使用して、空送り、2重送りが発生した場合は、用紙厚さを調整してください。
 1. 「給紙圧」の位置確認
 2. 「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」の微調整
(参考→ P. 15 「空送り、2枚送りが発生する場合」)

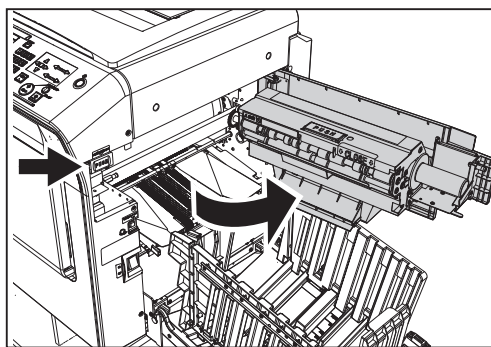
6

こんなときには

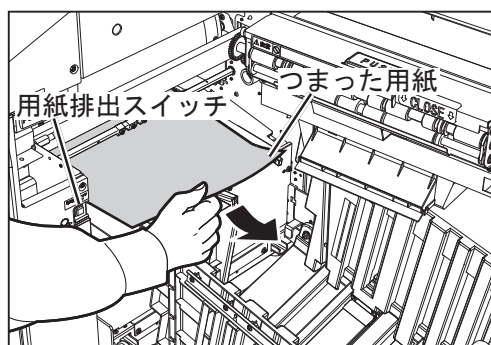
右側紙づまり (排紙台)

排紙台側で紙づまりが起こると、液晶（タッチパネル）に「右側紙づまりです」というメッセージが表示されます。次の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

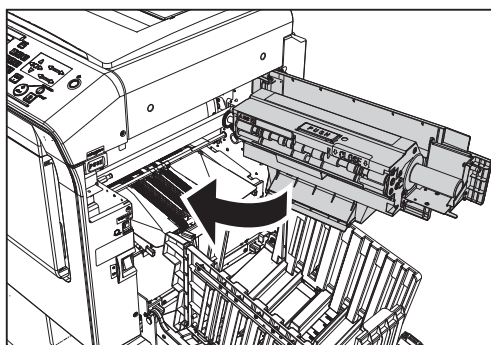
- 1 「排版ボックス開閉スイッチ」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



- 2 「用紙排出スイッチ」を押して、つまっている用紙を取り出してください。プリント途中の用紙は、「用紙排出スイッチ」を押すと排出されます。



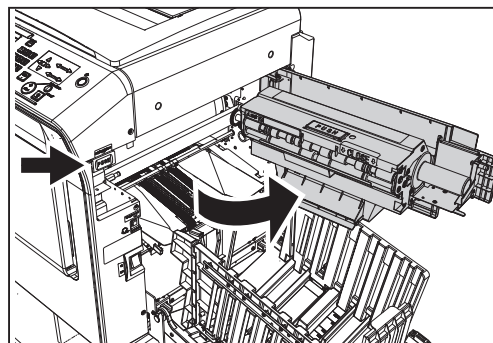
- 3 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



ドラムに用紙が巻きついているとき

「ドラム」に用紙が貼りついているときは、次の手順で取り除いてください。

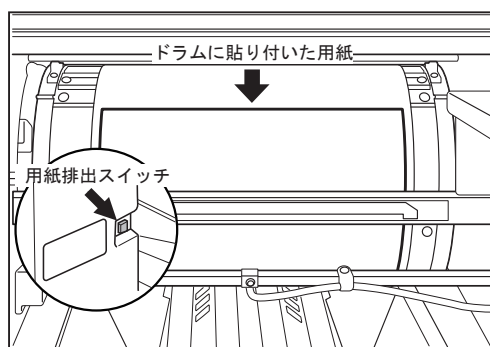
- 1 「排版ボックス開閉スイッチ」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



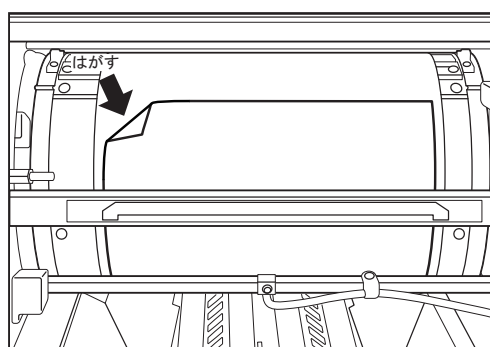
- 2 「用紙排出スイッチ」を小刻みに押し、貼りついた用紙の先端を探し、図の位置で止めてください。

警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。
手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがを
するおそれがあります。



- 3 貼りついた用紙の先端を、「ドラム」からはがしてください。



6

こんなときには

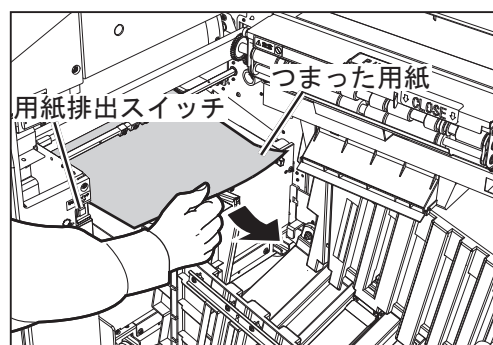
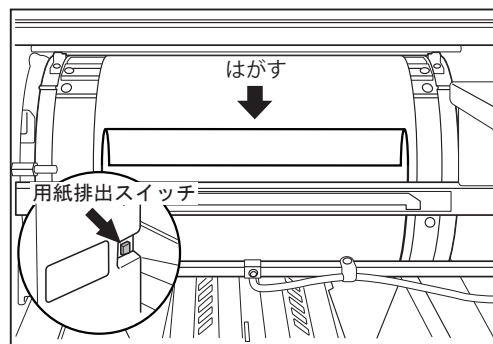
次ページへ続く…

紙づまりを起こしたとき

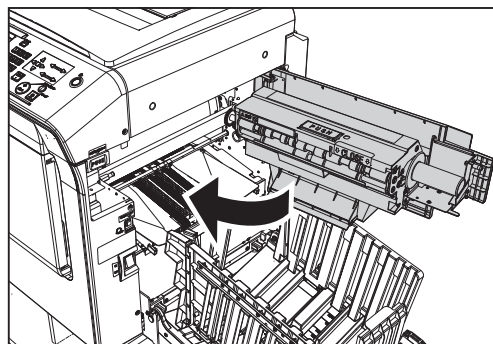
- 4 用紙を排紙側に引っ張りながら、「用紙排出スイッチ」を小刻みに押し、用紙をはがしてください。

重要

はがした用紙が衣服につかないよう注意してください。



- 5 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



- 6 もう一度、製版してください。

重要

原稿の先端に黒いベタが無いことを確認してください。

排版ミスを起こしたとき

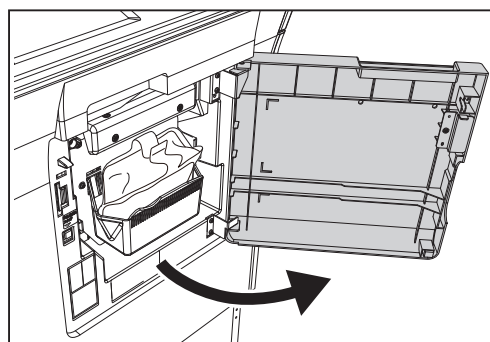
「ドラム」に古いマスターが残っていると、液晶（タッチパネル）に「排版ミスです」というメッセージが表示されます。次の手順で「ドラム」に貼りついたマスターを取り除いてください。

警告

- ドラムユニット裏面を指で押したり、傷つけたりしないでください。指や衣服が汚れます。また、ドラムユニット表面が凹んでしまい、正常な印字ができなくなります。
- ドラムユニットを置く場合は、置く所にももの等がないか確認して平坦な所に置いてください。ドラムユニット表面に傷がついたり、凹んでしまう場合があります。正常な印字ができなくなります。

ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた

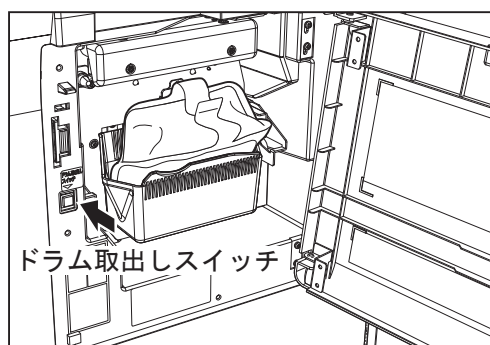
- 1 「前カバー」を開けてください。



- 2 LED が点灯しているか確認してください。
点滅している場合は「ドラム取出しスイッチ」を押してください。

警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。
手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをするおそれがあります。



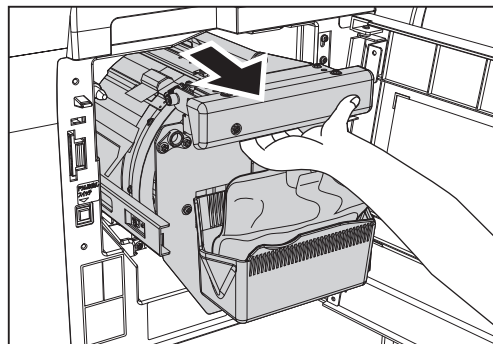
6

こんなときには

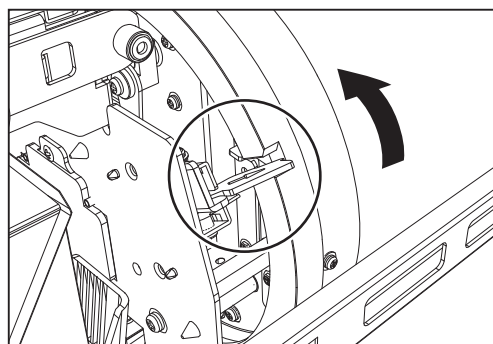
次ページへ続く…

排版ミスを起こしたとき

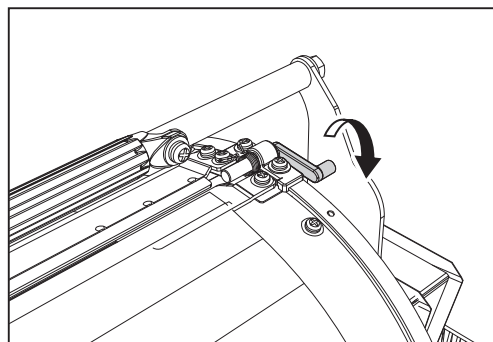
- 3 「ドラム解除レバー」を手前に引きそのまま、ドラムを手前に引き出してください。



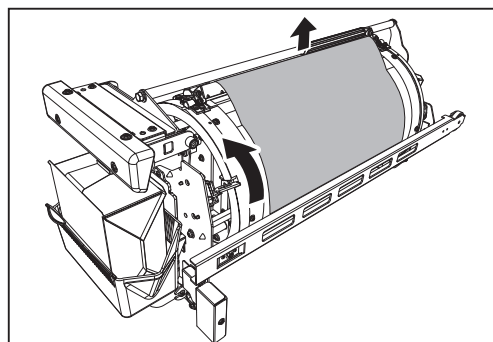
- 4 「ドラム」の「ストッパー」を上げて、「ドラム」を手で反時計回りに回転させ、手順5の「レバー」を操作しやすい位置にしてください。



- 5 「レバー」を下に押し下げます。
「マスタークランプ」が開いて、マスター先端がクランプから離れます。
マスターが離れないときは、手でマスターを離します。



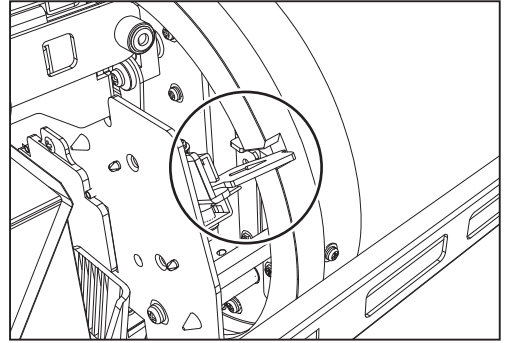
- 6 「レバー」をもとに戻し、手で「ドラム」を反時計回りに回してマスターを取り除いてください。マスターが完全にはがれるまで続けてください。



重要

はがしたマスターが衣服につかないよう注意してください。

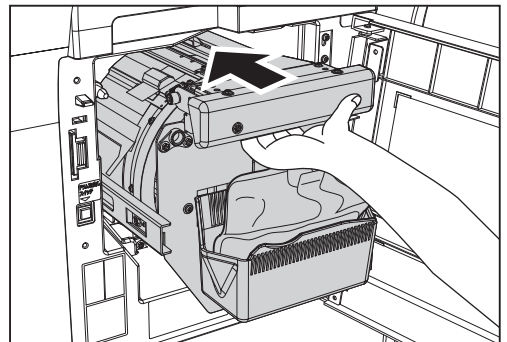
- 7 「ドラム」を手で反時計回りに回転させて、「ストッパー」が溝にはまる位置まで回してください。



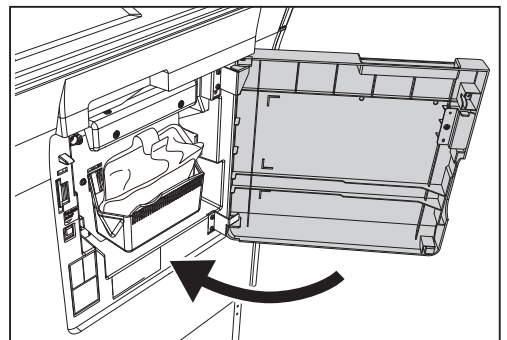
- 8 「ドラム」を水平にして、「ドラム解除レバー」を持ち、止まるまで静かに押し込んでください。

重要

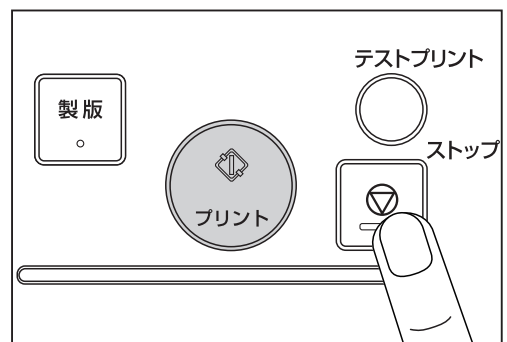
「ドラム」を押し込むときは、手や指を挟まないように注意してください。



- 9 「前カバー」を閉めてください。



- 10 「ストップキー」を押してください。
メッセージが消えます。



- 11 もう一度、製版してください。

6

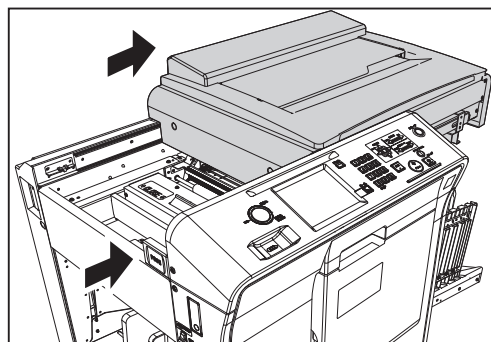
こんなときには

着版ミスを起こしたとき

液晶（タッチパネル）に「マスターセットミスです」というメッセージが表示されます。
次の手順でミスしたマスターを取り除き、もう一度製版してください。

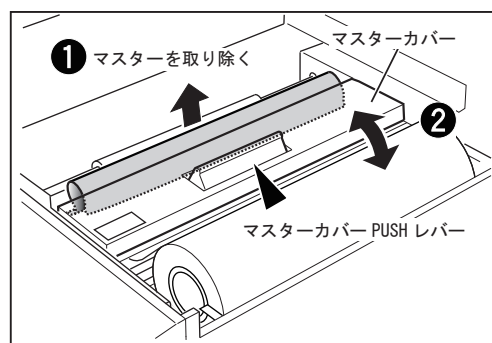
マスターの取り除きかた

- 1 「スキャナー開閉スイッチ」を押して、スキャナーユニットをスライドさせてください。



- 2 給版部に残っている「マスター」を取り除いてください。

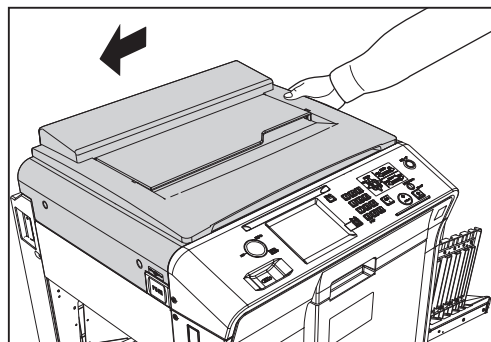
- 3 再度ロールマスターをセットしてください。
(参考→P. 235「ロールマスターのセットのしかた」)



- 4 「スキャナーユニット」をスライドさせ、元に戻してください。

重要

「スキャナーユニット」を戻すときは、手や指を挟まないように注意してください。



- 5 もう一度、製版してください。

「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき

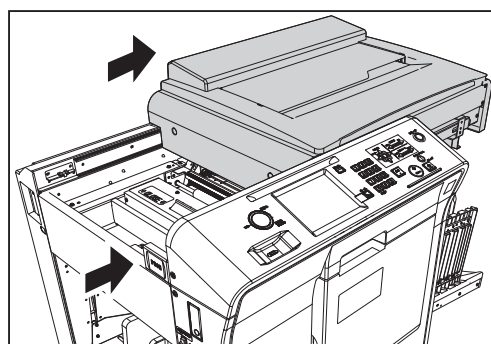
液晶（タッチパネル）に「再度マスターをセットして下さい」というメッセージが表示されます。次の手順で再度マスターをセットしてください。

重要

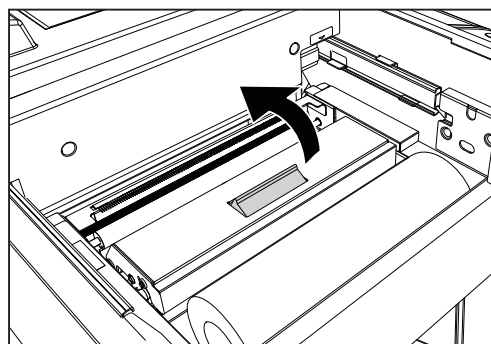
ロールマスターは必ず、本機専用のロールマスターをご使用ください。

ロールマスターのセットのしかた

- 1 「スキャナー開閉スイッチ」を押して、「スキャナーユニット」をスライドさせてください。



- 2 「マスターカバー PUSH レバー」を押してください。「マスターカバー」が上に開きます。



6

こんなときには

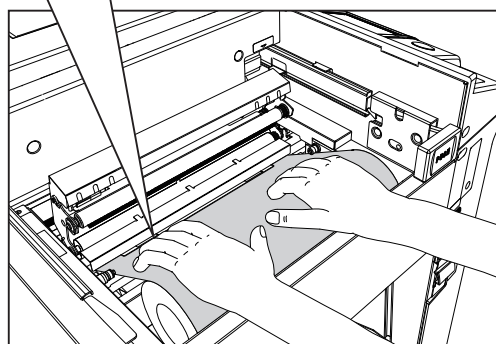
次ページへ続く…

「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき

- 3 ロールマスターを引き出して、ロールマスター先端を合わせてください。

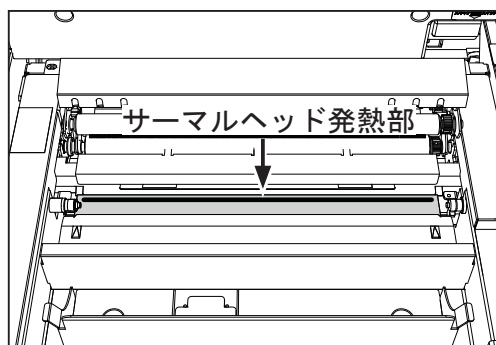
重要

- ロールマスターは、必ず正しい方向へ引き出してください。
- ロールマスターは、窓から見えるまで引き出してセットしてください。

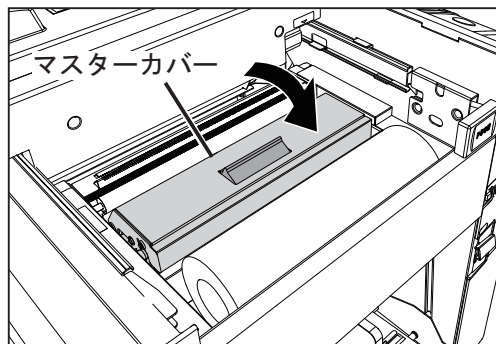


重要

サーマルヘッド発熱部には、絶対に手を触れないでください。キズがつくおそれがあります。キズがついてしまうと、正常な製版ができなくなります。



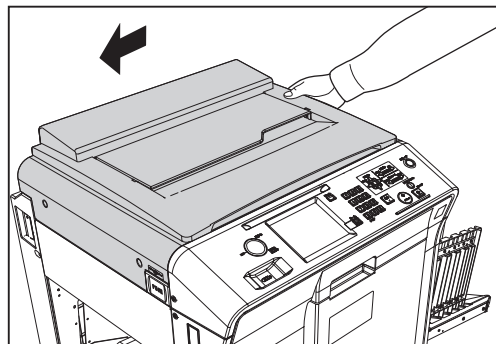
- 4 「マスターカバー」を閉めてください。



- 5 「スキャナーユニット」をスライドさせ、元に戻してください。「ロールマスター」が自動的にセットされます。

重要

「スキャナーユニット」を戻すときは、手や指を挟まないように注意してください。



消耗品情報入力画面が表示されたとき

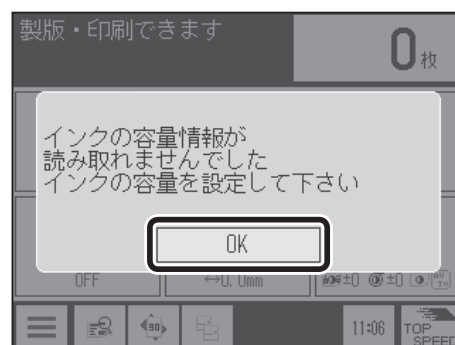
本機は最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報を得ています。
情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されますので、適切な設定値を入力してください。

重要

入力した設定値が不適切でも通常動作には問題はありませんが、プリントの仕上がりが悪くなる場合があります。

インク情報入力画面の入力のしかた

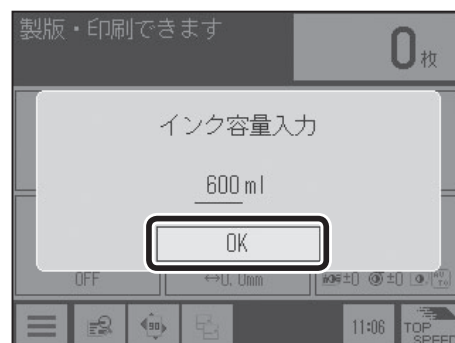
- 1 インクの情報が適切に取得できなかった場合、右図のような画面が表示されます。
「OK」をタッチしてください。



- 2 インク容量を設定してください。
「600ml」、「1000ml」、「入力」を選択し、タッチしてください。



- 3 「入力」を選択した場合、「テンキー」でインク容量を入力し、「OK」をタッチしてください。



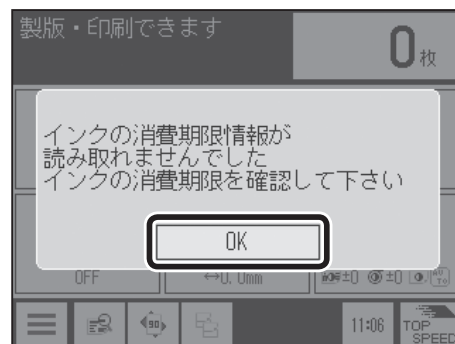
6

こんなときには

次ページへ続く…

消耗品情報入力画面が表示されたとき

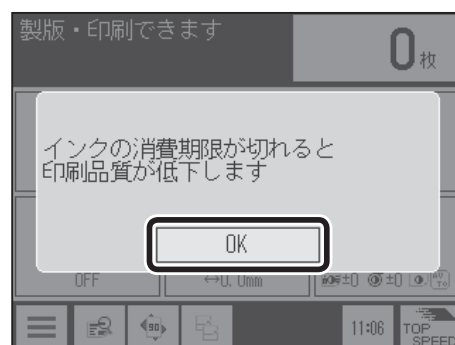
- 4 右図のような画面が表示されます。
インク消費期限情報が読み取れませんでした。
インク消費期限を確認してください。
「OK」をタッチしてください。



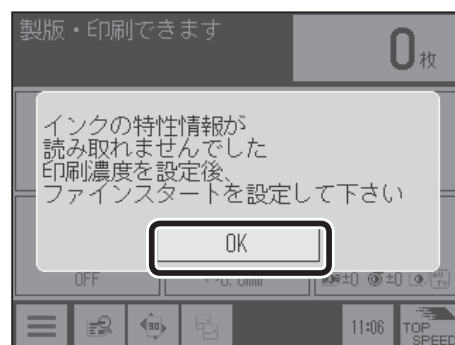
- 5 右図のような画面が表示されます。
「OK」をタッチしてください。

重要

インクの消費期限を過ぎると、印刷品質が低下することがあります。



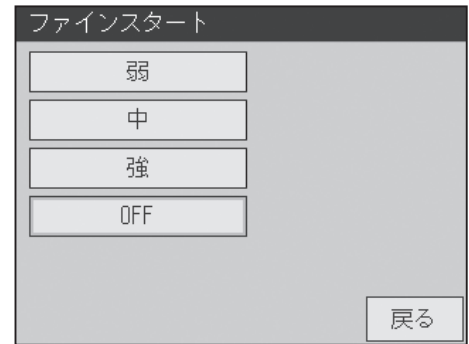
- 6 右図のような画面が表示されます。
インク特性情報が読み取れませんでした。
「OK」をタッチしてください。



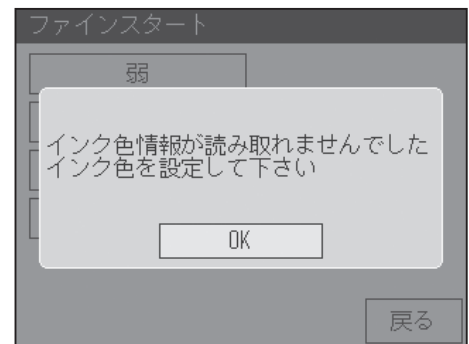
- 7 印刷濃度の設定をして「OK」をタッチしてください。



- 8 「ファインスタート設定画面」になります。
ファインスタートの強さを設定します。



- 9 右図のような画面が表示されます。
インク色情報が読み取れませんでした。
インク色を確認してください。
「OK」をタッチしてください。



- 10 インクの色を設定します。



- 11 設定が終了すると、基本画面に戻ります。

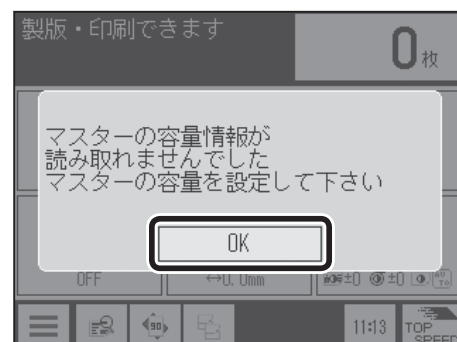


重要

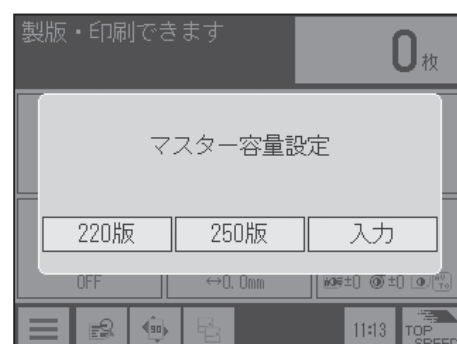
- インクパックに IC チップを搭載し、インク情報を自動設定することで、安定した印刷品質を保ちます。
インク情報は、以下の ISO 規格に準拠した IC チップを用いて取得しています。
ISO15693

ロールマスター情報入力画面の入力のしかた

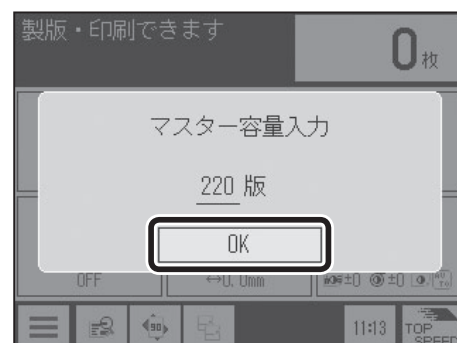
- 1 マスターの情報が適切に取得できなかった場合、右図のような画面が表示されます。「OK」をタッチしてください。



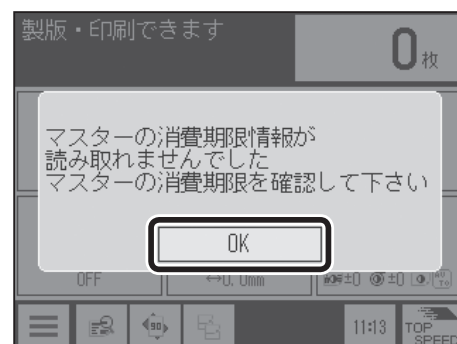
- 2 マスター容量を設定してください。
「220 版」、「250 版」、「入力」を選択しタッチしてください。



- 3 「入力」を選択した場合、「テンキー」でマスター容量を入力し、「OK」をタッチしてください。



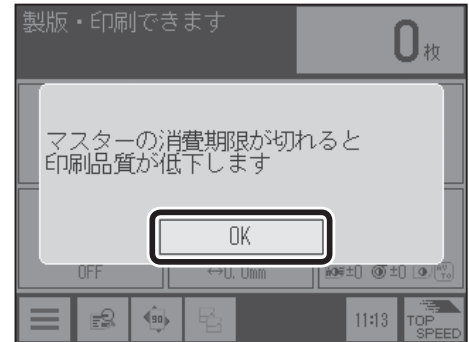
- 4 右図のような画面が表示されます。
マスター消費期限情報が読み取れませんでした。
マスター消費期限を確認してください。
「OK」をタッチしてください。



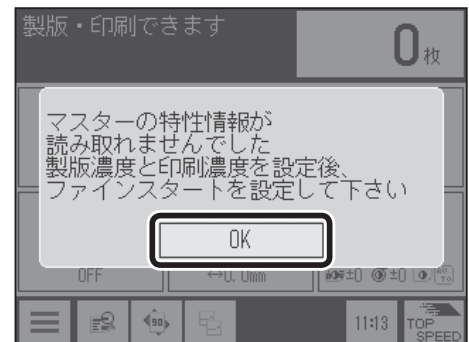
- 5 右図のような画面が表示されます。
「OK」をタッチしてください。

重要

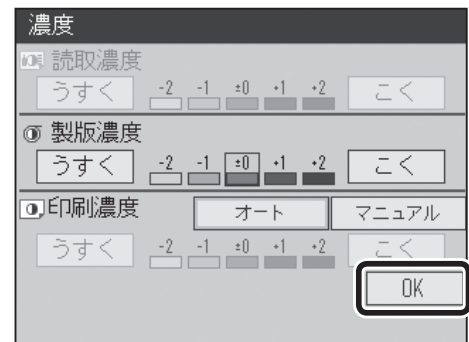
マスターの消費期限を過ぎると、印刷品質が低下することがあります。



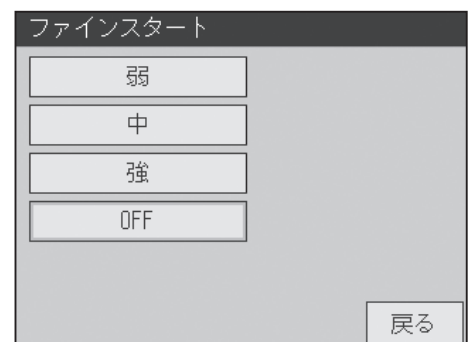
- 6 右図のような画面が表示されます。
マスター特性情報を読み取れませんでした。
「OK」をタッチしてください。



- 7 製版濃度と、印刷濃度を設定をして、「OK」をタッチしてください。



- 8 「ファインスタート設定画面」になります。
ファインスタートの強さを設定します。



6

こんなときには

次ページへ続く...

消耗品情報入力画面が表示されたとき

- 9 設定が終了すると、基本画面に戻ります。



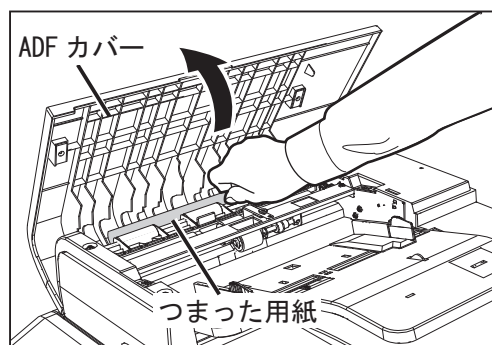
重要

- ロールマスターに、IC チップを搭載し、マスター情報を自動設定することで、安定した印刷品質を保ちます。
マスター情報は、以下の ISO 規格に準拠した IC チップを用いて取得しています。
ISO15693

ADF 原稿づまりを起こしたとき

自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) で原稿づまりが起こると、液晶 (タッチパネル) に「ADF 原稿づまり」というメッセージが表示されます。次の手順で原稿を取り除いてください。

- 1 「ADF カバー」を開いてください。
- 2 つまっている原稿を取り出してください。



参考

つまっている原稿が手が届かない場所にある場合、または、電源が瞬断して ADF 内に原稿がある場合は、液晶 (タッチパネル) の「排出」をタッチして、原稿を排出してください。「排出」をタッチしている間、ローラーが回転します。原稿が排出された後、「ADF カバー」を一度開閉してください。

重要

「ADF カバー」、「原稿押え板」を開いているときは、手や指の挟みこみ防止のため「排出」が表示されません。

警告

- 「排出」をタッチしている間は、駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。
手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをすることがあります。



6

こんなときには

MEMO

[illegible]

第 7 章

日常のお手入れ

この章では、機械の日常のお手入れのしかたを説明します。

.....	
日常のお手入れのしかた	246
.....	

日常のお手入れのしかた

機械の性能を維持するためには、機械を定期的に清掃してください。

警告

- 清掃作業をする前には、必ず「電源スイッチ」を切ってから、本体が冷えるのを待ち、「電源プラグ」を抜いてください。
火災や感電のおそれがあります。
- 本機のカバー類は絶対に外さないでください。
また、分解や調整は、絶対にしないでください。
- 水や液体を機器の中にこぼさないようにしてください。
こぼれたり中に入った場合、サービスマンに御相談ください。
そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。

外装部の汚れは次の手順でお手入れしてください。

1. 水、または中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってください。
2. 汚れを拭き取ってください。
3. 乾いた柔らかい布で、水分を拭き取ってください。

- ・ 読み取り部のガラスの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
- ・ 液晶部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
水分を含んだ布は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。

警告

- アルコール、溶剤系の洗剤液は変色や破損の原因となります。
絶対に使用しないでください。
- ベンジン、シンナー、殺虫剤等の揮発性のものをかけたりしないでください。
引火して、火災の原因になります。

ホコリがたまると、故障の原因になります。

定期的に清掃をしてください。

機械内部の清掃についてはサービス実施店に御相談ください。

第 8 章

仕様／アフターサービス

この章では、本機の仕様や保守サービスなどを記載しています。

.....	
仕様	248
保証および保守サービス	251
使用済み製品の回収とリサイクルについて	252
.....	

仕様

機種名	CD87DP	CD67DP	CD57DP	CD54DP
製版方式	感熱デジタル製版方式			
印刷方式	孔版印刷方式			
使用原稿	原稿固定式：シート、ブック（10kg 以下） 自動原稿送り装置（オプション）：シート（64～128g/m ² [55～110kg]）			
原稿サイズ	最大 297mm × 432mm （自動原稿送り装置（オプション）使用時は最小 100mm × 148mm）			
自動原稿送り装置（オプション）の原稿積載容量	100 枚（64g/m ² [55kg]）			
表示パネル	5.7 型 QVGA 透過カラー TFT 液晶 感圧式タッチパネル			
用紙サイズ	最大：320mm × 450mm 通紙可能※ 最小：100mm × 148mm（ハガキサイズ相当） （制限付きで 50mm × 148mm まで可能：横微動不可で重送検知センサー OFF。または、専用部品の取付けが必要となります。） ※ロングペーパー機能 ON 時（CD87DP/CD67DP/CD57DP）、320mm × 540mm まで通紙可能。 ロングペーパー機能 ON 時の制約 ・用紙の長さが 500mm より長い場合は、耐刷性が低下することがあります。 ・用紙の長さが 500mm より長い薄紙を使用した場合、原稿によっては用紙にインク汚れが付くことがあります。			
印刷面積	290mm × 423mm ※	290mm × 423mm ※	290mm × 423mm ※	250mm × 355mm
	※ロングペーパー機能 ON 時（CD87DP/CD67DP/CD57DP）、最大 290 mm × 411 mm			
給紙 / 排紙容量	1,500 枚（64g/m ² [55kg]）：一般上質紙）※ 1,200 枚（80g/m ² [69kg]）：一般上質紙） ※用紙の種類等の条件により、1500 枚積載できない場合があります。			
用紙種類	上質紙、中質紙、更紙、再生紙、封筒※1、ハガキ 45～210g/m ² [39～180kg] ※2 ※1 封筒の種類等の条件により使用できない場合がありますので事前にご確認ください。 ※2 ロングペーパー機能 ON 時（CD87DP/CD67DP/CD57DP）、用紙の長さが 148mm～499mm の場合は 45g/m ² ～210g/m ² [39kg～180kg]、用紙の長さが 500mm 以上の場合は 45g/m ² ～157g/m ² [39kg～135kg] の用紙を使用してください。			
印刷倍率	等倍：100% 定型変倍 CD87DP/CD67DP/CD57DP：61, 70, 81, 86, 115, 122, 141, 163% CD54DP：57, 70, 81, 86, 115, 122, 141, 173% 独立変倍：縦横独立変倍 50～500% 周囲余白：90～99% 任意ズーム：50～500% オートズーム：※ 50, 57, 61, 70, 81, 86, 100, 115, 122, 141, 163, 173, 200% ※ CD57DP/CD54DP にはオートズームはついていません。			
解像度（主走査方向 × 副走査方向）	読み取り解像度：600dpi × 600dpi 書き込み解像度：600dpi × 600dpi	読み取り解像度：600dpi × 600dpi 書き込み解像度：400dpi × 400dpi	読み取り解像度：600dpi × 600dpi 書き込み解像度：300dpi × 600dpi （マスター穿孔密度：600dpi × 600dpi）	
画像モード	文字、写真、文字 / 写真（2 種類）、イラスト、えんぴつ、網点（2 種類）			
濃度調整	読み取り濃度調整：5 段階（液晶パネル内設定） 製版濃度調整：5 段階（液晶パネル内設定） 印刷濃度調整：5 段階※（液晶パネル / 操作パネル設定） ※ CD87DP/CD67DP：TOP SPEED での印刷時のみ、6 段階調整可能			

機種名	CD87DP	CD67DP	CD57DP	CD54DP
製版時間	18 秒 (A4、100%)	15 秒 (A4、100%)	18 秒 (A4、100%)	20 秒 (A4R、100%)
印刷速度	45, 80, 100, 130, 155 枚 / 分 (5 段階可変)+TOP SPEED 200 枚 / 分※ 【TOP SPEED 印刷時の制約事項】 ・印刷可能用紙長さは、432mm 以下となります。 ・封筒、ハガキは、印刷できません。 ・ストッパーを「TOP」目盛の用紙サイズに合わせる必要があります。 ・B4 より長い用紙を印刷する場合、テープクラスタ (オプション) は使用できません。 ・排紙容量は、1,000 枚 (64g/m ² [55kg] : 一般上質紙)、800 枚 (80g/m ² [69kg] : 一般上質紙) となります。 【TOP SPEED 印刷時の注意事項】 ・紙受け性能が損なわれる場合があります。 ・印刷位置性能が若干損なわれる場合があります。 ・用紙によっては、しわや紙づまりが発生する場合があります。		45, 80, 100, 120, 135 枚 / 分 (5 段階可変)+TOP SPEED 155 枚 / 分※ 【TOP SPEED 印刷時の注意事項】 ・印刷位置性能が若干損なわれる場合があります。	
	※ロングペーパー機能 ON 時 (CD87DP/CD67DP/CD57DP)、各速度半分になります。 (全速度 2 回転 1 回給紙)			
印刷位置調整	天地方向：電動↔ 15mm (0.5 mm単位でパネル表示) 左右方向：電動↓ 10mm (0.5 mm単位でパネル表示)		天地方向：電動↔ 15mm (0.5 mm単位でパネル表示) 左右方向：手動↓ 10mm	
インク供給方式	全自動 (1,000ml / 本)			
マスター供給方式	全自動			
	220 版 / 本			250 版 / 本
マスター排版方式	全自動巻取り方式 (排版容量 55 版)			
カラー印刷方式	ドラムユニット交換方式			
各種検知	原稿サイズ検知※1、用紙サイズ検知※1、印刷用紙有り無し検知、マスター残量計測、マスター切れ検知、排版ロール容量計測、排版満杯検知、インク切れ検知、厚紙設定検知※1、用紙重送検知※1、原稿セットミス検知 (ON/OFF 切替可、原稿有り無し検知も含む) ※1 CD87DP/CD67DP のみ。			
その他の主な機能	省インクモード、多面印刷 (2、4、8、16、面取、任意：最大 5x5=25 面取、2in1)、ブック影消し、原稿編集 (メイクアップ、トリミング)、機密保持機能、短冊用紙設定、リピートカウンタ選択、区分け / 原稿別プリント枚数入力機能、枚数制限機能 (0 ~ 9999 枚)、トップブローファン風量調整機能※1、言語設定、オート給紙調整機能※1、ロングペーパー機能※2、製版開始位置設定機能※2、操作設定メモリ機能 (9 メモリ)、ショートカット設定 (5 アイコン)、お知らせランプ機能 (2 色 3 パターン表示)、原稿回転 (90°、180°)、最適イメージ機能、速度別プレス圧自動コントロール機能、再製版機能、原稿濃度読み取り設定、用紙の種類設定 (オート※1、普通紙、厚紙)、ファインスタート (3 モード)、プレプリント、インターバルプリント (2 モード、タイマー設定)、スリープモード、オートパワーオフ (2 モード)、インク補給モード、オートリセット、原稿プレビュー表示機能、液晶の明るさ調整、日付時刻設定、ブザー設定 (3 モード、音量調整)、オンライン (USB 2.0 Hi-Speed 対応) ※1 CD87DP/CD67DP のみ ※2 CD87DP/CD67DP/CD57DP のみ			
インターフェース	USB2.0 Hi-Speed イーサネット (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) ※1 IEEE802.11a/b/g/n ※2 ※1 有線 LAN インターフェース (オプション) 搭載機種のみ ※2 無線 LAN インターフェース (オプション) 搭載機種のみ			

仕様

機種名		CD87DP	CD67DP	CD57DP	CD54DP
オプション		自動原稿送り装置 カラードラムユニット（A3/B4） テープクラスタ（印字機能無し） IC カード認証（ビルドインタイプ） 暗証管理システム USB メモリマネージャー 有線 LAN インターフェースキット 無線 LAN 拡張モジュール（有線 LAN インターフェースキットが別途必要） 内蔵メモリキット ハガキ封筒専用給紙ユニット キャビネット（扉付）			
機能パーツ		LPU 専用給紙台 LPU 専用紙受け 短冊紙対応キット ループブレーカーキット サバキ台ユニット（厚紙用 / 薄紙用） ハガキ専用紙受 封筒スタッカー（板金製封筒受け） ハガキ排紙トレイ ダンボール製 封筒排紙トレイ（長 4）ダンボール製 封筒排紙トレイ（長 3）ダンボール製			
対応 OS		Windows 8.1（32bit/64bit） Windows 10（32bit/64bit）			
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、340W（3.6A）		AC100V ± 10%、50/60Hz、240W（2.5A）	
消費電力	製版時	92W		80	
	TOP SPEED 時	340W		240W	
	待機時	9.3W		6.9W	
	スリープ時	6.8W		5.0W	
使用温度 / 湿度		10℃～ 35℃、20%～ 70%（結露なき事）			
大きさ		使用時：1,405mm（W） x 690mm（D） x 1,080mm（H） 収納時：785mm（W） x 690mm（D） x 1,080mm（H） ※自動原稿送り装置使用時は、記載値 +50 mm（H）となります。			
質量		本体：102 kg ADF 付本体：108 kg キャビネット：木製扉タイプ 16.7 kg			
無償保証期間		製品設置後 1 年以内、またはトータル印刷枚数 100 万枚以内のいずれか早い方			

仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証および保守サービス

1. 保証書は、所定の事項および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
2. 本機の無償保証期間はご購入日より1年間です。
ただし、1年以内でもトータル印刷枚数が100万枚に達した場合は、その時点で保証期間は終了します。

注意



本書に記載された使用方法や注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障修理は保証期間内でも有償となります。

下記の部品は消耗部品です。消耗部品は保証期間内でも有償となります。

《消耗部品》

- ・給紙ローラー
- ・プレスローラー
- ・サバキ台ユニット
- ・補助サバキ

本機の補修用性能部品およびインク、マスターの最低保有期間は製造中止後7年間です。
詳細については販売店、または、サービス実施店にお問い合わせください。

3. 無償保証期間経過後は本機を良好な状態でご使用いただくために、次のような保守サービスを用意しております。
サービス内容、必要期間、費用等の詳細については販売店、または、サービス実施店にお問い合わせください。

・年間保守サービス

一定の年間保守契約料金で、機械が故障した場合の保守サービス、ならびに必要な場合の部品交換をお引き受けいたします。

・スポットサービス

機械の修理と部品、その他関連商品の供給および交換を、お客様のご要請の都度、有償でお引き受けするサービスです。交換する部品等はお買い上げいただきます

使用済み製品の回収とリサイクルについて

コニカミノルタは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っています。

回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しています。

また、再資源化できない部分は環境に調和した方法で処理・処分しています。

本製品のご使用後の廃棄などのお取扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。（回収は有償です）

コニカミノルタの環境保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。

- 廃棄・回収

本機を廃棄したい時は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。

相談先が不明の場合は、お客様相談室へお問い合わせください。

個人のお客様がご自身で廃棄される場合、本機は一般廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

- 二次電池について

本機には二次電池を使用しています。二次電池は機械本体と一緒に回収しています。

付 録

この章では、本機の索引を記載しています。

.....	
索引	254
.....	

索引

数字

2in1	64
2面取り	60, 61, 62
4面取り	60, 61, 62
8面取り	60, 61, 62
16面取り	60, 61, 62
90°回転	78
180°回転	80

英字

ADF	22, 26, 243
TOP SPEED	19, 31, 32, 33
USBポート	2

あ

網点（細かい）	83
網点処理（細かい）	49
網点処理（標準）	49
網点（標準）	83

い

イラスト	49, 83
インクパックの交換	206
インク補給	131
印刷位置調整	51, 175
印刷位置調整キー	6, 51, 175
印刷スピード	31
印刷スピード調整キー	6, 31
印刷スピードの調整	31
印刷濃度	47
印刷濃度調整キー	6, 47
印刷濃度の調整	47
インターバルプリント	137

え

液晶（タッチパネル）	6, 7
液晶の明るさ	177
エラー履歴	201
エラー履歴の確認のしかた	201
エラー履歴をUSBメモリに保存する	204
エラー履歴をプリント印刷する	202
えんぴつ	49, 83

お

オート給紙調整	15, 53
オートズーム	39

オートパワーオフ	159
オートリセット	163
お知らせランプ	6
オプション接続コネクタ	5
オンラインモード	149

か

拡大／縮小	28, 36
紙づまり	227
ドラムに用紙が貼りついているとき	229
左側紙づまり（給紙トレイ）	227
右側紙づまり（排紙台）	228
簡易設定	152

き

基本画面	7
機密保持	133
キャスター止め	2
給紙圧	15
給紙圧レバー	3, 16
給紙ガイド	3, 14
給紙ガイドロックレバー	3, 14
給紙トレイ	2, 17
給紙トレイ下降スイッチ	2, 17, 224, 225, 227
給紙横微動ダイヤル	3, 52
給紙ローラー	3, 217, 218
切取線	60, 71

く

クリアキー	6
クリップ置き	6
区分け／原稿別プリント	139
区分け／原稿別プリントの設定のしかた	140
区分け／原稿別プリントの入力のしかた	141
区分けプリント	139

け

原稿	
原稿の置きかた	21
使用できる原稿	11
原稿押え板	2, 21
原稿サイズ	105
原稿種類	49, 83
原稿セットミス検知	143
原稿台ガラス	2, 21
原稿濃度読取	135

原稿のセットのしかた	21
原稿別プリント	139
原稿編集	82
言語設定	197

こ

今回の動作設定	166
コンピューター用コネクター	2

さ

再製版機能	103
最適プリント	167
サイドフェンス	5, 18, 20
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	235
サバキ圧	15
サバキ圧調整ツマミ	3, 16
サバキユニットの交換	217

し

仕上がり確認	173
自動原稿送り装置 (ADF)	
原稿のセット	22
自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットする	22
写真	49, 83
写真多め / 文字少なめ	49, 83
ジャンプ台	20
ジャンプ台レバー	4, 20
重送検知	123
仕様	248
省インクモード	129
省エネモード	157
消去エリア入替	98
使用済み製品の回収とリサイクルについて	252
情報	199
情報の確認のしかた	199
ショートカット設定	154
初期設定	151
新規メイクアップ	99

す

スキャナー開閉スイッチ	2, 209, 234, 235
スキャナーユニット	3, 209, 234, 235
すこし小さめにプリントする	37
ストッパー	5, 18, 19
ストップキー	6
スリープキー	6

せ

製版開始位置	125
製版キー	6
製版濃度	46
設定	8
専用キャビネット	2

そ

操作パネル	2, 6
外枠影消し	73

た

多面印刷	60
短冊用紙	51, 127

ち

着版ミス	234
中央 + 外枠影消し	73
中央影消し	73

つ

通常の動作設定	166
---------	-----

て

テープクラスタ	123, 142
テストプリントキー	6
テンキー	6
電源スイッチ	4
電源を入れる	9
電源を切る	9
電池切れです	165, 179

と

独立変倍	43
トップブローファン	145
ドラム	
ドラムのセットのしかた	215
ドラムの取り出し方	214
ドラムユニットの交換	214
ドラム取出しスイッチ	3, 214, 231
トリミング	100

に

任意ズーム	41
任意影消し	74
任意面取り	69

ね
ネットワーク設定183

の
濃度調整 45

は
排紙台5, 18
排版カバー4, 212
排版ボックス4, 212
排版ボックス PUSH レバー4, 212
排版ボックス開閉スイッチ4, 212
排版ミス231
排版ロール4, 212
倍率28, 36

ひ
左側紙づまり (給紙トレイ)227
日付時刻179
標準モード10, 151

ふ
ファインスタート165
ブザー設定181
ブック影消し 73
プリントキー 6
プリント中の印刷位置調整175
プレビュー 56
プレプリント169

へ
ペン置き 6

ほ
ホームキー 6
保証および保守サービス251
補助サバキ
 補助サバキ高さ 15
 補助サバキ高さ調整ツマミ3, 16
 補助サバキの交換218
補助トレイ2, 14

ま
前カバー2, 206, 214, 231
マスター
 使用済みマスターの処理212
 ロールマスターの交換209
マスターカバー PUSH レバー3, 209

み
右側紙づまり228

め
メイクアップ82, 84
メイクアップ追加 96
メッセージが表示されたとき221
メニュー画面 8
メモリ機能設定 108, 151, 153
 名前の変更112
 保存されている設定を確認する115
 保存している設定をクリアする119
 保存している内容と呼出す114
目盛板2, 21

も
文字49, 83
文字多め / 写真少なめ49, 83

ゆ
ユーザ設定
 原稿サイズ107
 用紙サイズ 30

よ
用紙
 使用できる用紙 12
 先端余白 74
 プリント中に用紙がなくなったとき224
 プリント中に用紙を補給するとき224
 用紙サイズの選び方 29
 用紙サイズを変更するとき225
 用紙のセット 14
 用紙の補給 17
用紙サイズの選び方 29
用紙の種類121
用紙のセットのしかた 14
用紙の補給と載せ換えのしかた 17
用紙排出スイッチ4, 229
読取濃度 45

り
リセットキー 6
リピートカウンタ171

ろ
ロングペーパー147

お問い合わせは

■販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作方法・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

❗ 重要

- ◆本機に登録した内容は必ず控えをとってください。お客様が操作ミスをしたり、本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失する場合があります。
- ◆本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機のご使用により生じた損害について、当社は一切その責を負えませんので、あらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および取扱説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



KONICA MINOLTA

この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

コニカミノルタ ジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://www.konicaminolta.jp>

当社に関するご要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 **☎ 0120-805039** (受付時間: 土、日、祝日を除く9:00～12:00/13:00～17:00)

■おことわり 確認のためお問い合わせ内容を録音させていただいております。ご了承ください。